

社会福祉法人 三菱福社会

令和6年度 事業報告書



H10.4 開設

特別養護老人ホーム三養苑



H14.6 開設

サンホーム 桑才



H15.12

特別養護老人ホーム 箕面の郷



H18.8 開設

特別養護老人ホーム 樺原の郷



H19.4 開設

特別養護老人ホーム 白浜日置の郷



H20.6 開設

特別養護老人ホームサンフォート武庫之荘



H23.5 開設

特別養護老人ホーム樺原の郷 別館



H24.4

養護老人ホーム・地域密着型特養 四宮三養苑



H24.6 開設

特別養護老人ホーム 田辺の郷



H26.4 開設

ケアハウス 白浜緑の郷



H29.4 開設

事業所内保育所 わくわく保育園



H30.7.1 開園

ゆめの樹 保育園



H31.11.1 開設

特別養護老人ホーム 網島の郷



H31.4.1 開園

大正ゆめの樹保育園



令和2年11月1日開設

プライムガーデンズ高円寺

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
三養苑診療所
サンホーム 桑才
門真第5包括支援センター

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

介護付有料老人ホーム
特定施設入所者生活介護
居宅介護支援事業所

三養苑
三養苑
三養苑
三養苑
三養苑

白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷

住之江の郷
住之江の郷
住之江の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
ケアハウス
箕面の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
サンフォート武庫之荘診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷

サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘

田辺の郷
田辺の郷
田辺の郷
田辺の郷
田辺の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
認知症対応型共同生活介護
別館
リハビリデイサービス
介護員養成校

事業所内保育所
事業所内保育所
事業所内保育所
事業所内保育所
事業所内保育所

ケアハウス
デイサービスセンター

樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷
網島の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

令和 6 年度

社会福祉法人 三養福社会

特別養護老人ホーム 三養苑

事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 三養苑
- ・ 短期入所生活介護 三養苑
- ・ デイサービスセンター 三養苑
- ・ グループホーム サンホーム桑才
- ・ ヘルパーステーション 三養苑
- ・ 居宅介護支援事業所 三養苑
- ・ 門真第 5 地域包括支援センター

令和6年度各活動報告

介護サービス計画委員

<活動内容>

入居者の日々の状態観察で得られた情報、疾病、現ケアプランに沿ってアセスメントを行い、サービス担当者会議に出席し、決定事項はスタッフ会議にて報告する。

<報告と課題>

ケアマネジャーや栄養士、看護師と連携し、アセスメントを行った。

今後も引き続き会議に参加し、職員へのケアプランの浸透を図っていく。

接遇推進/身体拘束/虐待防止委員

<活動内容>

接遇マナー5原則【挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかい】の向上と浸透を図ることを目的に、月に1度、他部署合同の会議を開催し、身体拘束/虐待防止/接遇推進委員会を行い、虐待防止/接遇マナー向上に取り組む。

<報告と課題>

虐待や不適切ケア、ハラスメントについて撲滅すべくアンケートや啓発活動を行った。

今後も利用者や現場の声を反映し、職員の接遇意識を向上するような働きかけを行っていく。

介護技術向上委員会

<活動内容>

法定内研修を中心に看護師と共同し、職業人としてのスキルやケアの質の向上を図るべく勉強会を行う。

開催	勉強会内容
5月	新人学習会「感染症」
5月	新人学習会「緊急時の対応」
6月	認知症ケア
7月	虐待防止・身体拘束(座学)
7月	虐待防止・身体拘束(実技)
8月	介護事故防止(座学)
8月	介護事故防止(実技)
9月	リスクマネジメント
10月	職業倫理・法令
11月	褥瘡対策
12月	口腔ケア(座学)
12月	口腔ケア(実技)
1月	感染症・食中毒
2月	災害対策(座学)
2月	災害対策(座学)
3月	救急対応

<報告と課題>

看護師と共同し職員が講師となり資料作りから勉強会まで行うことで、講師の職員は知識を拡げることができ、参加した職員は勉強する機会を得ることが出来た。

今後も継続して勉強会を開催していくことと、参加人数をいかに増やすかが課題である。

介護事故防止委員

<活動内容>

事故防止担当職員を中心に事故内容・件数の把握・対策の検討を行い、スタッフ会議で報告し、職員間で共有することで、再発防止に努める。

また、事故統計を作成し、3ヶ月に一度の事故防止委員会に参加した。

<報告と課題>

ヒヤリハットの件数を増やし、重大事故に至る事のないようにノートを活用し職員間で毎日共有を行った。今後も継続し事故防止意識を高めていく。

排泄支援・褥瘡防止委員

<活動内容>

褥瘡予防対策を検討し、看護師・栄養士・ケアマネジャーと共に情報共有し、ケアの方向性を検討し、ケアプランに反映させていく。

また、入浴・排泄・食事の日常生活ケアの担当を分けることで、皮膚や栄養状態の把握をし改善課題を導きやすくした。

<報告と課題>

各担当が自覚を持ち利用者が日常生活を送るうえでの問題点の改善に向け、働きかけを行うことができた。今後も継続して活動を行う。

レクリエーション委員

<活動内容>

外出、季節を感じるおやつやレクリエーション、カラオケなどを行うことで気分転換や脳や五感への刺激などを目的とし、また楽しいひと時を提供する。

<報告と課題>

普段の業務と並行しレクリエーションを行うため、毎回時間に制限がある中での開催であった。業務内容の見直しとレクリエーション中の担当者や時間配分を細かく決めることで、利用者に無駄な待ち時間を過ごすことなく、レクリエーションを過ごしてもらうことができた。

開催	レクリエーション内容
4月	おやつレク(フルーチェ、プリン)、散歩(花見)
5月	おやつレク(ホットケーキ、プリン)、菖蒲湯体験
6月	おやつレク(いちごゼリー、水ようかん)、カラオケ
7月	おやつレク(フルーツポンチ、メロンゼリー)、映画鑑賞
8月	おやつレク(餃子、プリン)、花火、ルーレットゲーム
9月	おやつレク(蒸しパン、オレンジゼリー)、カラオケ
10月	おやつレク(フルーツムース、かぼちゃプリン)、風船バレー
11月	おやつレク(ベビーカステラ、プリン)、カラオケ
12月	おやつレク(ケーキ、はちみつゼリー)、カラオケ
1月	おやつレク(いちごゼリー、パンナコッタ)、折り紙、塗り絵
2月	おやつレク(甘酒、ぜんざい)、ビンゴゲーム、節分
3月	おやつレク(ワッフル、ココアゼリー)、カラオケ

令和6年度 施設サービス計画書 報告書

■ 暫定的な施設サービス計画の作成について。

【内容】

施設サービス計画書の作成においては、まず暫定的な施設プランの作成を行い、入居前の心身の状況や本人様の生活に対する意向、家人様の意向を収集・把握し、立案していく。
入居後1ヶ月間は暫定施設プランに基づいて様々な介護サービスを提供していく。

【結果】

新規入居者様22名の暫定プランを作成するが、入居前面接調査に基づき、各専門職より事前聞き取りアセスメントを収集し、スムーズに暫定プランの作成に努める事が出来た。
(暫定プラン作成において入居者様や家人様の思いや意向をしっかりと汲み取り、作成することが出来た。)

【内容】

毎月第3水曜日にサービス担当者会議を開催する。チームカンファレンスを定期的に行い各種専門職からのアセスメント(課題分析)シートを収集し、事前にケアマネが作成した原案をもとに情報の共有及び様々な意見交換を行い、月対象者・退院後新入居者・状態悪化等でプラン変更の入居者様の個別プランの作成に努めた。

【結果】

毎週第3水曜日の開催を行い、他職種のメンバーが変わる事もあった為、様々な意見交換が出来た様に思う。(アセスメント収集がきちんとできている。)

入居者様それぞれが様々なニーズと課題をかかえており、各種専門職の意見や見解を総合し、プラン作成に努めた。又、状態悪化等で、プラン変更が必要な入居者様に関しては再アセスメントを行うと共に、その都度カンファレンスを行い、変更プランの作成を行った。
又、新入居者様には暫定プランを基に新プランの作成に努めた。

又、個別機能訓練・褥瘡予防・栄養ケア計画プランに基づき総合的に個々のプラン作成に対する話し合いを行えた。

毎月褥瘡対策委員会に参加し「褥瘡対策に関するケア計画」を生活相談員、介護・看護主任、管理栄養士と共に作成を行い、今までより更に各入居者様の皮膚状態の把握及び確認(処置)、栄養状態の把握を行い、悪化時は専門医受診を行う事等で皮膚状態悪化傾向であった入居者が良くなったり、悪化を繰り返される入居者様には再度褥瘡ケア計画の見直しを行い、少しずつ皮膚状態の改善傾向が見られた。

月対象者が病状悪化傾向の為、途中入院となり、そのまま退居となる何名かの入居者様がおられた。又、新入居者様が増えられたが、施設生活に早く慣れて頂ける様、随時居室を訪室し、慣れていただけるよう随時居室を訪室し、コミュニケーションを図る事が出来ていた。

【内容】

入居後～6ヶ月間の施設サービス計画書においては、暫定プラン作成後、家族様への説明を行う際、本人様及び家族様の意向をしっかりと聞き、プランに反映して行く。
24時間切れ目のない生活をサポートするために、施設内の各種専門職がサービスを提供にするに当って、様々の視点でのアセスメントを行い、サービス担当者会議で立案し、入居者様ごとに個別の正式な施設サービス計画書の作成に努める。

【結果】

暫定プラン作成後、家族様への説明を行う際、しっかりと本人様、家人様の意向を聞き、プランに反映出来た。各専門職から提出されたアセスメント表を基に、カンファレンスを行い、本人様や家人様の意向を踏まえて、ケアプラン作成に努めた。又、定期的にプランの見直しを行い、再アセスメントを施行、状態の変化等モニタリングの結果を踏まえて更新プランや変更プランの作成を行えた。(入居者様ごとに個別のサービス計画書の作成を行えた。)

個別支援計画として、生活リハビリ(嚥下体操・レク活動等)を行い、個別サービス計画に導入、嚥下機能の低下を防ぎ、ADLの維持・向上に努める事が出来ていた。また、筋力低下予防としてバーをもった立ち上がりや本人様のペースに合わせた歩行訓練を行っていく。

【内容】

入居者様、家人様の生活に対する意向や希望がアセスメント項目に反映されているがどうかの確認及び把握を行うと共に施設サービス計画書が、入居者様の自立性、安全性、快適性をしっかり踏まえた上で作成していく事に重点を置く。

【結果】

入居者様の中には、意思疎通困難な為、明確な意思の確認が出来ない事も多々見受けられたが、家人様の意向をしっかり聞くと共に入居者様の安全性、快適性を主とし、プラン作成するように努めた。又、アセスメント実施に関しては、基本動作・移動・移乗・食事・排泄・意思の伝達・入浴・着脱介護度・疾患等から状況を把握し、ニーズに応じた入居者様本位のアセスメント表を作成出来た。

【内容】

施設サービス介護計画と連動し、施設リスク計画を立案する。ヒアリハット等の報告や職員の気づき集に基づき、リスクマネジメントを行い、その都度サービス担当者会議を行う。又、Drよりリスクの高い入居者様に関しては、現在の状況及び今後予知される急変リスクについて、家人様とのムンテラ後、サービス担当者会議に移行し、今後の方向性をカンファレンスし家人様の希望も含めて、リスクプランの作成を行っていく。

【結果】

施設リスク計画として立案していないが、施設サービス計画書のなかに組み入れて生活全般の解決すべきニーズの中に(リスク)と入れて対応を行っている。

統合失調症・アルツハイマー型認知症・誤嚥のリスク等状態の把握を行い、体調の管理を行っていく。

腰部、大腿骨頸部骨折等の転落や転倒におけるリスク(夜間・朝・日中において)回避に努めて行く。

◆定期バイタル測定を行い、異常の早期発見に努め、症状の把握(発熱・倦怠感・活気低下・栄養状態の把握呼吸苦・喘鳴・誤嚥等)に注意し、巡回強化、介護、看護での情報を共有、連携強化し迅速な行動を摂る。

■ モニタリングについて

【内容】

ニーズの変化や新たな問題が発生していないか等的確に分析し、1、3、6ヶ月評価を随時行っていく。プランの変更（新たな問題が発生した際や退院後のADL低下等）を随時行っていく、再アセスメントを行う。又、目標の達成等の観察や確認、評価を行っていく。

【結果】

支援経過記録(ケース記録)をもとに常に入居者様の状態把握を行い、変化があれば必要に応じケアプランの変更を考慮して行くことに努めた。同時に3、6ヶ月評価においても計画に沿ったサービスが提供されているか、計画に基づいたサービス提供する事で課題はないか（ニーズ・解決に向けた内容になっているか）等計画の目標達成に向けたサービスとなっているか等の観点からモニタリングを進めて行きあらたな計画を作成する上でのアセスメントに必要な情報の把握を行う事に努めた。

3ヶ月毎のモニタリングにおいては、入院、退院の日等に合わせてではなく、その月の最終日に合わせ、30日か31日に日付けを統一し、取り組んだ。

個別機能訓練においてはなるべく細かく訓練内容や実施記録をサービス内容に記入し、モニタリングを行えた。又、日常生活動作に対しては自己にて行える事は自己にて行えるよう他職種との統一したケアを行えた。

■ サイン及び捺印について

【内容】

完成した施設サービス介護計画書は、御家族様にケアプランの説明を必要に応じて電話で説明を行い、施設サービス計画及び栄養ケア・経口維持評価計画書を各入居様の家人様へ郵送させていただき同意を得て行く。

【結果】

令和6年の5月末より感染予防の努めながら、1日に数組限定で面会開始となるも時間が決まっておりその後プランの説明が難しく、後日郵送と行う事が多くあり。新入居様に関しては、契約の際に暫定プランの説明を行い、同意を得ている。

■ 反省点及び今後の課題について

アセスメント→暫定プラン→サービス担当者会議開催→本プラン作成→ケアの提供→モニタリングというケアプラン作成の一連の流れは計画通りに出来ていたように思う。

又、プラン作成にあたっては、入居者様のその人らしさを大切に、残存機能の維持、向上を目標に作成する事が出来たように思う。通院等、業務上の都合により書面でのサービス担当者会議も何回かあったもののその後の個人カンファにて看護・介護・栄養士との連携にて問題点等があれば、サービス内容の見直しを図る。

毎月褥瘡対策委員会に参加し、褥瘡対策に関するケア計画を相談員・介護、看護主任、副主任、管理栄養士と共に話し合いを行い、褥瘡計画や悪化リスク等注意が必要な方・様子観察を行う方等を現在の施設計画に反映・連動し、細かな処置やケアの提供を行い、入居者様が穏やかな生活を送っていただけるよう配慮している。

事業報告書

管理栄養士

■褥瘡会議について

【内容】

月1回褥瘡会議に参加。

【結果】

栄養状態が低下している方や皮膚状態の悪化がみられる方などの情報を他職種と共有し、早期に対策を立て、褥瘡への移行を防止したり、褥瘡を治癒・改善したりすることができた。

【反省・課題】

今後も継続して参加していく。

■栄養士会議について

【内容】

感染症が落ち着いてきたため、対面での栄養士会議を再開した。会議は3ヶ月に一度行っており、12施設の栄養士が出席。各施設の栄養ケアマネジメントや給食管理に関する様々なことを議題にあげ、話し合いを行う。会議後、議事録の作成を行う。

【反省・課題】

各施設、行事食やバイキングなど、様々な食事が提供されている。それらを参考に、次年度から三養苑でもバイキングや行事食を増やし、利用者様や入居者様に楽しい食事の時間を提供できるよう工夫していく。

■グループホームの栄養管理体制加算について

【内容】

定期的にグループホームへ訪問し、栄養管理指導を行った。

【結果】

栄養管理や衛生管理などに関する指導を行い、利用者様により良いサービスを提供することができたと考える。職員から栄養に関する相談を受けることも増えてつつあり、職員間でも食事や栄養の重要性が意識されるようになってきた。

【反省・課題】

全体的に体重が増加傾向。外出やレクリエーションなどをあまり行っておらず、運動不足が原因の1つと考えられる。食事量を調整しつつ、活動量もアップしていけるようレクリエーションなど企画していただきADL低下防止に努めていく。

■おやつレクリエーションについて

【内容】

家族様からのおやつ差し入れを中止したことに伴い、おやつレクリエーションを月2回→週1回に増やし、おやつの提供を行っている。レクリエーションは毎週日曜日に実施。第3、4日曜日は会議と被るため、レクリエーションの代わりに昼食時におやつを提供。

【結果】

家族様からの差し入れがなかった方もおやつを食べられるようになり、喜ばれている。レクリエーションによっては自分たちで作って食べるものもあり、QOLの向上やADLの低下予防にも繋がっている。おやつの種類に関しては、季節に合わせたものや入居者様から人気のものなどを提案し、提供している。

【反省・課題】

入居者様自身が作ったり、作業したりするレクリエーションをもっと提案し、楽しいレクリエーションの時間にしていきたい。他施設で行っているおやつレクリエーションについても情報収集し、参考にしていく。

■お誕生日について

【内容】

毎月誕生日の方にはメッセージカードと、利用者様が選んだケーキとおやつを提供している。メッセージカードはお祝いの気持ちが伝わるよう、手書きでメッセージを書き込み手作りしている。おやつやケーキに関しては、入居者様それぞれに食べたいものを選んでいただき、プレゼントしている。

【結果】

入居者様によっては認知症で誕生日を忘れてしまっていたり、日付の感覚がなくなってしまうたりしている方もいらっしゃるため、メッセージカードやケーキ、おやつをプレゼントすることで日付や誕生日を意識し、良い刺激になっている様子。皆さん笑顔で喜ばれている。

【反省・課題】

今後も継続して行っていく。

安全面も考慮し、入居者様の嚥下機能や咀嚼機能に合ったおやつを提供する。

令和6年度 医務事業報告

◆安全・衛生管理

(1) 健康管理

入居者・利用者の個々の健康状態を把握し、異常の早期発見・早期治療・合併症の予防のため、日々の健康管理(バイタル測定や定期的な検査、服薬・点滴・創処置)を行った。

多職種と連携をとり、入居者一人一人の身体状況を考慮し、管理医師や往診医(歯科・精神科)による治療に繋げた。

また、職員の体調不良に対しても相談を行った。

・糖尿病患者に対して、定期的な検査を実施し適切な内服やインスリン投与を行った。

(糖尿病患者:13名 うち内服投与:10名 インスリン投与:1名)

・バルーン留置者に対して、日々の排泄量の確認や管理を行うとともに受診先の病院の連携に努めた。

(バルンカテーテル留置者:5名)

・在宅酸素使用者に対して、適切な管理を行った。

(在宅酸素使用者:1名)

・胃瘻造設者に対して、定期的な検査にて栄養状態の確認を行い、確実な胃ろう注入を行った。

(胃ろう増設者:3名)

・人工肛門使用者に対して、適切な管理を行った。

(人工肛門使用者:2名)

(2) 感染症対策

感染症予防対策の基本として、標準予防策(スタンダードプリコーション)の浸透を図るため、勉強会の実施や外部研修に参加し、感染症予防意識の強化を図った。

感染症予防委員会と連携し、施設内でのコロナウイルス・インフルエンザウイルス・ノロウイルス等の発症予防・対策に取り組んだ。また、流行時期に合わせ、フロア移動制限・面会制限や外部との接触を避ける事で発生を防止することができた。

新型コロナウイルス対策について、厚生労働省や保健所・大阪府の発表情報を基に、可能な範囲での対策を講じた。新型コロナウイルス感染発生時、速やかな隔離・ゾーニング・感染対策を行った。また、保健所の指示の元、入院調整や往診Drの診療の補助や治療に協力した。

入居者・職員に対して、新型コロナワクチン接種を実施した。

(入居者:68名)

入居者・職員に対して、インフルエンザワクチン接種を実施した。

(入居者:93名 職員:95名)

結核予防法に基づき、入居者に対して胸部レントゲン撮影を行った。

(入居者:53名)

(3) 褥瘡予防

褥創予防委員会・スキンケア委員会会議に参加し、多職種と連携し、皮膚トラブルの早期発見・早期治癒に努めた。

褥創悪化者に対して、個別の褥創ケア計画を作成し、介護・看護で統一したケアを行うことで早期の症状改善を図った。また、栄養士とも連携を取りながら栄養状態の把握に努めた。

(4)機能訓練

入居者の毎日の習慣として嚥下体操や軽作業を行うことで、認知症悪化予防に努めた。
ケアカンファレンス・サービス担当者会議への参加にて、介護・看護共に統一したケアを目指した。

(5)職員の技術・知識向上

看護職員の資質向上・介護職員の技術、知識向上のため助言・指導研修を行った。
職員全体に虐待・身体拘束防止の意識付け徹底の働きかけを行った。

(6)物品および衛生管理

医薬品や医療物品の使用期限や在庫管理・メンテナンスを行い、物品の無駄をなくした。
入居者居室や医務室・介護室の環境衛生保持として、室温・湿度管理や換気・環境の衛生管理及び
美化などの強化に努めた。

定員：特別養護老人ホーム60名、短期入所10名										定員：特別養護老人ホーム60名、短期入所10名										全体	
特別養護老人ホーム	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	定数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均				
定数	1800	1860	1800	1860	1860	1800	1830		1860	1800	1860	1860	1860	1860	1820	21900	1825				
入居実数月累計	1800	1859	1799	1859	1858	1799	1829.0	入居実数月累計	1860	1801	1867	1853	1862	1859	1820.33	21896	1824.7				
在籍者1日平均	60.00	59.97	59.97	59.97	59.94	59.97	60.0	在籍者1日平均	60.0	60.0	60.2	59.8	58.0	59.97	59.7	718	59.82				
入院差し引く実数	1719	1731	1676	1731	1793	1643	1715.5	入院差し引く実数	1712	1675	1767	1758	1547	1673	1689	20425	1702.1				
入院者差し引く実数	57.3	55.8	55.9	55.8	57.8	54.8	56.2	入院者差し引く実数	55.2	55.8	57.0	56.7	55.3	54.0	56	671.4	56.0				
1日当り実質空床率	4.50%	6.88%	6.83%	6.88%	3.49%	8.67%	6.21%	1日当り実質空床率	7.96%	7.00%	5.38%	5.11%	7.98%	10.00%	7.24%		5.89%				
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0				
新規入所者数	0	2	1	0	3	0	1.00	新規入所者数	1	3	5	1	2	4	2.67	22	1.8				
退所者(内死亡者)	0	2(1)	1(1)	1	2	1	1.75(0.8)	退所者(内死亡者)	0	4(2)	4(2)	1(1)	2	4	1.6(1.0)	16(4)	1.08(0.9)				
1日当り入院者平均	2.70	4.13	4.10	4.13	2.10	5.20	3.73	1日当り入院者平均	4.77	4.20	3.23	3.06	4.79	6.00	4.34	48.4	4.0				
入院日数1ヵ月累計	81	128	123	128	65	156	113.5	入院日数1ヵ月累計	148	126	100	95	134	186	131.5	1470	122.5				
平均入所率	100.0%	99.9%	99.9%	100%	99.9%	100%	99.9%	平均入所率	100.0%	100.1%	100%	99.6%	100%	100%	100.0%		100.0%				
短期入所者延べ人数	425	424	376	505	469	524	453.8	短期入所者延べ人数	511	508	367	411	362	415	429.0	5297	441.4				
特養+短期 定数	2100	2170	2100	2170	2170	2100	2135	特養+短期 定数	2170	2100	2170	2170	1960	2170	2123.3	25550	2129.2				
月当り在籍者実数	2144	2155	2052	2236	2262	2167	2169.3	月当り在籍者実数	2223	2183	2134	2169	1909	2088	2117.7	25722	2143.5				
1日当実質在籍者数	71.47	69.52	68.40	72.13	72.97	72.23	71.1	1日当実質在籍者数	71.71	72.77	68.84	69.97	68.18	67.35	69.8	845.5	70.5				
稼働率(特+短)	102.1%	99.3%	97.7%	103.0%	104%	103.2%	101.6%	稼働率(特+短)	102.4%	104.0%	98.3%	100.0%	97.4%	98%	99.72%	1207.90%	100.7%				
入所者介護度平均	4.30	4.30	4.31	4.35	4.33	4.33		入所者介護度平均	4.41	4.36	4.36	4.40	4.35	4.28		52.08	4.34				
要支援	0	0	0	0	0	0	0	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0				
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(2)	0	0	0	0	1	1	0.3	2	0.2				
要介護(3)	5	6	7	7	7	6	6.3	要介護(3)	5	6	6	5	6	6	5.7	72	6.0				
要介護(4)	28	27	27	25	26	26	26.5	要介護(4)	25	26	26	26	24	28	25.8	314	26.2				
要介護(5)	27	27	26	28	27	27	27.0	要介護(5)	30	28	28	29	29	25	28.2	331	27.6				
合計	60	60	60	60	60	59	59.8	合計	60	60	60	60	60	60	60.0	719	59.9				
外泊日数	0	0	1	1	1	1	0.7	外泊日数	0	0	0	0	1	1	0.3	6	0.5				
外出数	0	0	0	0	0	0	0.00	外出数	0	0	0	0	0	1	0.17	1	0.1				
通院者数	33	47	27	23	24	23	29.5	通院者数	31	34	25	27	28	21	27.7	343	28.6				
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0				
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0				

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	1
	A2	9
重度	B1	11
	B2	15
最重度	C1	17
	C2	7
合計		60

③痴呆性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	2
	IIa	1
中度	IIb	2
	IIIa	16
重度	IIIb	14
	IV	16
最重度	M	9
合計		60

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	12	6	42	60
食事	44	7	9	60
排泄	12	5	43	60
入浴	6	0	54	60

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	31
夜間のみ	16
合計	47

⑥在所期間の状況

	1 年 未 満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	平 均 在 所
男	8 人	2 人	2 人	2 人	0 人	0 人	2.0 年
女	15 人	14 人	7 人	9 人	2 人	0 人	3.4 年
計	23 人	16 人	9 人	11 人	2 人	0 人	2.7 年

⑦日常生活の状況調査

区 分					実数	割合	区 分					実数	割合
移動	自立	独立歩行	5 人	8.3 %	排泄	昼間	便所	自己で可能	12 人	20.0 %			
		杖等の歩行補助器使用	0 人	0.0 %				一部介助	5 人	8.3 %			
	車椅子使用	55 人	91.7 %	全部介助				11 人	18.3 %				
		要介助	55 人	91.7 %				ポータブル便器	自己で可能	1 人	1.7 %		
	食	自己で可能	44 人	73.3 %			一部介助		0 人	0.0 %			
一部介助		7 人	11.7 %	全部介助			0 人		0.0 %				
事	全部介助	9 人	15.0 %	おむつ使用			31 人	51.7 %					
	入浴	自己で可能	6 人	10.0 %			夜間	便所	自己で可能	12 人	20.0 %		
一部介助		0 人	0.0 %	一部介助		0 人			0.0 %				
全部介助		54 人	90.0 %	全部介助		0 人			0.0 %				
着脱衣	自己で可能	12 人	20.0 %	ポータブル便器	自己で可能	1 人		1.7 %					
	一部介助	17 人	28.3 %		一部介助	0 人		0.0 %					
	全部介助	31 人	51.7 %		全部介助	0 人		0.0 %					
じょくそう者数		0 人	0.0 %		おむつ使用			47 人	78.3 %				
認知症	重 度	25 人	41.7 %	トイレ誘導実施者数					29 人	48.3 %			
	中 度	30 人	50.0 %										
	軽 度	5 人	8.3 %										

令和6年度事業報告書

短期入所生活介護 三養苑

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男													0
	女													0
要支援2	男													0
	女											1		1
要介護1	男			1	2	2	1	2	2		2	1	2	15
	女	2		0	0	0	1	1	1	1	1	1	3	11
要介護2	男	1	1	1	1	1	1	2	0	1	2	2	2	15
	女	2	1	1	1	1	2	2	3	4	6	4	3	30
要介護3	男	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	女	4	6	6	4	3	4	4	4	4	3	3	3	48
要介護4	男	4	5	4	6	5	5	4	5	5	4	3	3	53
	女	3	6	5	6	6	5	5	4	4	3	2	2	51
要介護5	男	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	12
	女	0	0	0	1	1	1	1	1	2	1	3	2	13
合計		18	21	20	22	20	20	22	21	22	23	21	23	253
夜間人数		425	421	376	447	414	425	445	432	367	434	388	383	4957
平均		14.2	14.0	12.5	14.9	13.8	14.2	14.8	14.4	12.2	14.5	12.9	12.8	13.6

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
門真市	15	18	18	19	17	18	21	19	20	23	20	21	229
守口市	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	12
四条畷市													0
寝屋川市	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	11
大阪市													0
大東市													0
その他	1	1	1	1	1								5
合計	18	21	20	22	20	20	23	21	22	24	22	24	257

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	2	1	2	1	1	4	1	3	0	2	4	21
女	0	3	1	2	0	3	2	2	4	4	5	2	28
計	0	5	2	4	1	4	6	3	7	4	7	6	49

緊急ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
女	0	1	2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	7
計	0	2	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	9

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男									0			0
	女								1	1			2
61～65	男									0			0
	女									0	1		1
66～70	男								2	2	1	1	6
	女								0	0	1	1	2
71～75	男				2	1	1	1	1	1	1	1	10
	女	1	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	15
76～80	男	1	3	2	1	1	3	3	2	1	0	1	19
	女	2	3	2	2	2	3	3	3	4	2	2	31
81～85	男	5	4	5	5	4	3	4	4	3	3	5	48
	女	1	2	2	3	3	4	4	4	6	5	4	42
86～90	男	1	1	1	1	2	0	2	1	0	3	2	16
	女	6	5	5	3	3	3	4	5	3	4	4	49
91～95	男	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	女	1	1	1	2	1	1	1	1		0	0	10
96以上	男										0	1	1
	女										1	2	3
合計	18	21	20	22	20	20	23	21	22	24	22	24	257

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	7	7	6	7	6	8	10	8	8	8	8	7	90
第5包括(委託)													0
他事業所	11	14	14	15	14	12	13	13	14	16	14	17	167
合計	18	21	20	22	20	20	23	21	22	24	22	24	257

事業所別 延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	151	140	99	150	158	162	182	168	184	190	164	162	1910
第5包括(委託)													0
他事業所	283	292	286	366	311	251	283	290	195	236	212	271	3276
合計	434	432	385	516	469	413	465	458	379	426	376	433	5186
平均	14.5	14.4	12.8	17.2	15.6	13.8	15.5	15.3	12.6	14.2	12.5	14.4	14.2

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑	151	140	99	150	158	162	182	168	184	190	164	162	1910
第5包括(委託)													0
守ロラガール													0
愛泉会	11			14	31	30	31	30	31	31	28	31	268
さくら													0
友楽											2		2
萱島ラガール									2	2	8		12
柏友会	60	75	81	100	82	63	62	45	31	31	28	31	689
SOMPOケア							2	26		26	6	12	72
都	30	31	30	31	31	30	31	30		6			250
クオレ門真	30	31	32	31	6							8	138
なるなる													0
まるせ										14			14
みどり						1	4	3					8
YURA											9		9
さつき	30	31	30	31	20								142
ミーツ	60	48	30	31	31	30	31	30	24		11	31	357
ひかり大和田													0
ニチイ													0
ホットケア								30	31				61
あじさい													0
赤い屋根				2									2
つくしの里												22	22
蒼の里		3											3
ホットケア							6			31	28	31	96
いろり	60	62	60	62	62	60	43	60	25	17	31	41	583
まある	2	2	8	30	28	29	28	29	29	23	6	5	219
ちどり											27	13	40
ファミリア		7	5					4	10	6		7	39
まぶち		2	10	34	15	4			4	8			77
ぶどう					5			3		3		3	14
朝日												5	5
あいしん						4	31		7	31	28	31	132
つむぎ							14		1	7			22
他事業所合計	283	292	286	366	311	251	283	290	195	236	212	271	3276
合計	434	432	385	516	469	413	465	458	379	426	376	433	5186

令和6年度 三養福社会 デイサービスセンター三養苑 事業報告書

令和6年度もコロナの影響により他事業所訪問ができない状態ではありましたが、
その中でもたくさんの問い合わせを頂きました。

食費が100円も地域のCMに浸透しており、体験依頼を受ける際に
利用者様に勧めやすいとたくさんのお言葉を頂戴しています。

現在利用されている利用者様・家族様のニーズを把握していく事で
利用回数の増加、安心して利用して頂ける環境構築を図って参ります。

次年度もご利用者様からの意見を取り入れて、想像力豊かにスタッフ一人一人の
提案・企画し、若い世代の方から高齢の方まで満足してご利用頂けるサービスを
提供します。令和7年度も職員一丸となって取り組みを行って参ります。

【 三養福祉会 デイサービスセンター三養苑 介護保険 令和6年度報告 】

介護保険 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	25	25	22	22	23	21	20	19	18	17	20	20	252
女 性	39	37	39	39	41	43	39	39	40	39	41	42	478
合 計	64	62	61	61	64	64	59	58	58	56	61	62	730

要介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護度 1	57	61	54	61	53	66	57	55	59	53	66	79	721
要介護度 2	68	58	53	58	65	65	72	74	65	54	58	62	752
要介護度 3	196	202	186	195	185	201	193	170	174	158	176	175	2211
要介護度 4	223	217	185	187	218	178	182	172	187	180	171	198	2298
要介護度 5	201	207	198	191	190	171	182	154	156	143	155	173	2121
合 計	745	745	676	692	711	681	686	625	641	588	626	687	8103

デイサービス 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所介護 I 11	22	26	21	24	20	18	17	16	15	19	27	30	255
通所介護 I 12	4	4	5	5	5	11	10	7	9	8	9	10	87
通所介護 I 13	26	27	24	27	17	22	17	17	18	12	16	18	241
通所介護 I 14					7	10	10	11	12	10	10	16	86
通所介護 I 15	5	4	4	5	4	5	3	4	5	4	4	5	52
通所介護 I 21	8	1	3	1	5	10	12	12	11	1	1		65
通所介護 I 22	26	19	17	21	24	22	25	15	18	15	14	14	230
通所介護 I 23	25	28	25	27	27	25	26	27	26	30	35	40	341
通所介護 I 24	1							2	1				4
通所介護 I 25	8	10	8	9	9	8	9	18	9	8	8	8	112
通所介護 I 31	66	79	71	76	75	79	71	70	79	67	87	73	893
通所介護 I 32	58	54	46	49	38	38	39	39	37	36	35	40	509
通所介護 I 33	46	46	45	46	49	54	57	43	41	33	33	35	528
通所介護 I 34	17	16	16	16	14	22	18	13	13	18	17	22	202
通所介護 I 35	9	7	8	8	9	8	8	5	4	4	4	5	79
通所介護 I 41	67	72	79	77	88	82	66	66	75	72	61	77	882
通所介護 I 42	60	69	64	76	60	63	80	78	73	67	67	86	843
通所介護 I 43	72	54	32	28	62	26	20	21	22	22	18	9	386
通所介護 I 44	20	17	6	6	7	7	16	7	17	19	25	26	173
通所介護 I 45	4	5	4		1								14
通所介護 I 51	58	65	66	33	37	25	34	28	30	27	36	54	493
通所介護 I 52	46	46	41	65	69	63	63	66	59	41	42	32	633
通所介護 I 53	25	25	24	25	24	24	25	18	25	35	37	46	333
通所介護 I 54	42	43	39	40	34	34	43	42	42	40	40	41	480
通所介護 I 55	30	28	28	28	26	25	17						182
合 計	745	745	676	692	711	681	686	625	641	588	626	687	8103

【 三養福祉会 デイサービスセンター三養苑 介護予防 令和6年度報告 】

予防介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性		1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
女 性	5	6	4	3	5	5	6	6	7	6	6	6	65
合 計	5	7	6	5	7	7	8	8	9	8	8	8	86

要支援別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 1	2	3	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	37
要支援 2	3	4	4	3	4	4	5	5	5	4	4	4	49
事業対象者													0
合 計	5	7	6	5	7	7	8	8	9	8	8	8	86

デイサービス 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所型サービス1													0
通所型サービス2													0
通所型サービスAⅡ	29	45	35	30	36	47	50	44	47	44	36	42	485
合 計	29	45	35	30	36	47	50	44	47	44	36	42	485

月	日付	行事	月	日付	行事
4月	9、11	カラオケ	11月	5、7 19、21	カラオケ カラオケ
	23、25	カラオケ			
5月	13～18	母の日週間プレゼント	12月	3、5 17、19 20、21 25	カラオケ カラオケ 冬至イベント【ゆず湯】 クリスマス会
	7、9 21、23	カラオケ カラオケ			
6月	4、6	カラオケ	1月	4～8 9～15 21、23	福笑い 書初め カラオケ
	10～15	父の日週間プレゼント			
	18、20	カラオケ			
7月	1～6	七夕週間(七夕飾りプレゼント)	2月	1～3 8 10～ 4、6 18、20	部分週間 ボランテイアイさん南原玉すだれ ハレンタイン週間 カラオケ カラオケ
	9、11 23、25	カラオケ カラオケ			
8月	6、8 5、6	カラオケ ミニ納涼会	3月	4、6 10～ 19 18、20	カラオケ ホワイトデー週間 健太殿 カラオケ
	20、22	カラオケ			
9月	10、12 16～ 24、26	カラオケ 敬老祝賀会 カラオケ			
10月	14～ 8、10 22、24	運動会 カラオケ カラオケ			

医務学習会

新人職員研修会
第1回 感染症について
第2回 救急対応について

※法定研修については
動画の視聴で行う。

学習会 歯科

口腔ケアについて

4月	4/23(火)18:00～	場所:デイフロア
5月	5/28(火)18:00～	場所:デイフロア
6月	6/25(火)18:00～	場所:デイフロア
7月	7/23(火)18:00～	場所:デイフロア
8月	8/20(火)18:00～	場所:デイフロア
9月	9/24(火)18:00～	場所:デイフロア
10月	10/22(火)18:00～	場所:デイフロア
11月	11/19(火)18:00～	場所:デイフロア
12月	12/24(火)18:00～	場所:デイフロア
1月	1/21(火)18:00～	場所:デイフロア
2月	2/18(火)18:00～	場所:デイフロア
3月	3/25(火)18:00～	場所:デイフロア

4月	17:30～	場所:デイフロア 一般浴について
5月	17:30～	場所:デイフロア 特浴について
6月	17:30～	場所:デイフロア 食事介助について
7月	17:30～	場所:デイフロア 排泄介助について
8月	17:30～	場所:デイフロア 車椅子誘導方法について
9月	17:30～	場所:デイフロア 歩行介助について
10月	17:30～	場所:デイフロア ベットから車椅子の移乗方法について
11月	17:30～	場所:デイフロア 利用者様とのコミュニケーションについて
12月	17:30～	場所:デイフロア ヒヤリハットについて
1月	17:30～	場所:デイフロア 離苑について
2月	17:30～	場所:デイフロア 安全な乗車・降車方法
3月	17:30～	場所:デイフロア ノロBOXの使用について

令和6年度事業報告書
サンホーム桑才(認知症対応型共同生活介護)

1.入居者の状況 (ショートステイ含む)

①月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在籍者数(月末)	25	26	26	27	27	27	27	27	27	27	25	26	317
新規入所数	0	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	9
延べ利用	738	755	785	832	806	774	824	789	781	823	669	783	9359
退所数	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1	2	1	9
空室数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	7
空延日数	72	82	25	5	31	36	13	21	56	14	31	23	409

②要介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2(月末)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	4	5	5	4	4	5	4	5	4	5	4	4	53
介護度2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	37
介護度3	5	8	9	9	9	8	9	8	9	8	7	8	97
介護度4	3	2	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	62
介護度5	10	8	6	5	5	5	5	5	5	5	5	4	68
平均介護度	3.5	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2

③介護度別延利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	108	155	150	124	124	126	124	150	124	154	109	113	1561
介護度2	90	93	90	93	62	85	93	90	68	93	84	124	1065
介護度3	150	248	272	279	279	240	266	222	279	244	190	236	2905
介護度4	90	62	93	181	186	173	186	180	181	186	168	186	1872
介護度5	300	197	180	155	155	150	155	147	129	146	118	124	1956
月合計	738	755	785	832	806	774	824	789	781	823	669	783	9359

④日常生活自立度(令和7年3月現在)

ランク	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	
認知度		8	8	4	2	4		
ランク	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
寝たきり度	1	2	1	3	5	9	1	4

⑤市町村別入所者数(令和7年3月現在)

都道府県	大 阪 府				府外			合 計
市町村	門真市	四条畷市	守口市					
人数	25	0	1					26

⑥面会・外泊・入院・外出の状況(月末)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数	18	15	25	29	11	17	18	17	23	41	21	27	262
外出者数	0	0	0	0	0	4	1	2	1	2	0	2	12
外泊者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
通院者数	5	8	4	11	3	7	3	8	4	16	8	4	81
入院者数	1	2	1	1	1	3	1	2	2	1	1	1	17

⑦入居者の身体状況(令和7年3月末)

視力			言語			歩行			聴力		
普通	弱視	片盲	普通	少し不自由	不自由	自立	一部介助	全介助	普通	やや難聴	難聴
16	10		11	10	5	10	5	11	4	17	5
排泄			リハパン			食事			入浴		
自立	一部介助	全介助	なし	夜使用	昼夜使用	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
3	15	8	6	0	20	19	2	5		19	7
紙おむつ			尿取りパット								
なし	夜のみ	昼夜使用	なし	昼のみ	昼夜使用						
14	4	8	6	0	20						

⑧入居者平均年齢

	男性	女性
人数	5	21
平均	86.6	83

2.年間行事 報告

月	日	行 事 名	実 施 場 所
4	7	散歩 日光浴	サンホーム各階
	28	おやつレク	サンホーム各階
5	5	端午の節句	サンホーム各階
	12	母の日(ケーキでお祝い)	サンホーム各階
6	9	散歩 日光浴	サンホーム各階
	23	おやつレク	サンホーム各階
7	7	七夕	サンホーム 1階
	28	おやつレク	サンホーム各階
8	25	おやつレク	サンホーム各階
9	16	敬老の日	サンホーム各階
	29	おやつレク	サンホーム各階
10	20	散歩 おやつレク	サンホーム各階
11	3	散歩 おやつレク	サンホーム各階
12	25	クリスマス(ケーキでお祝い)	サンホーム各階
	31日	大晦日(年越し)	サンホーム各階
1	1~3	お正月	サンホーム各階
	13	おやつレク	サンホーム各階
2	3	節分	サンホーム各階
	23	おやつレク	サンホーム各階
3	3	ひな祭り	サンホーム各階
	23	おやつレク	サンホーム各階

[illegible]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男1生1	84	93	70	39	51	39	88	67	69	68	64	112	824
男1生1-演習			1	3			男1生1-演習						4
男1生2	44	40	35	46	48	46	41	44	39	38	26	42	509
男1生2-演習							男1生2-演習						0
男1生3							男1生3						0
男1生3-演習							男1生3-演習						0
男1生4							男1生4						0
男1生5							男1生5						0
男1生6							男1生6						0
男1生7							男1生7						0
男2生1	22	23	19	17	17	17	18	21	22	22	19	20	237
男2生1-演習							男2生1-演習						0
男2生2	12	13	12	12	9	11	9	3	10	9	29	14	143
男2生2-演習							男2生2-演習						0
男2生3	6	5	5	8	7	7	8	3	4	3	4	7	67
男2生4							男2生4						0
男2生7							男2生7						0
男3生1		1					男3生1		1			3	3
男3生2							男3生2					1	2
男3生3							男3生3					0	0
男4生1							男4生1					0	0
男4生2							男4生2					0	0
男4生3							男4生3					0	0
男4生4							男4生4					0	0
男5生1							男5生1					0	0
男5生2							男5生2					0	0
男5生3							男5生3					0	0
男6生1							男6生1					0	0
男6生2							男6生2					0	0
男6生3							男6生3					0	0
男7生1							男7生1					0	0
男7生2							男7生2					0	0
男8生1							男8生1					0	0
男8生2							男8生2					0	0
男8生3							男8生3					0	0
男9生1							男9生1					0	0
男9生2							男9生2					0	0
男9生3							男9生3					0	0
男10生2							男10生2					0	0
合計	168	175	162	125	132	120	合計	145	138	145	143	136	1789
							合計	219.0	225.5	216.0	176.5	190.5	199.3
							合計	182.0	199.5	249.5	249.5	2398.8	

(要介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
生活2	112	121	121	128	121	160	生活2	210	90	87	96	112	1481	58.0	60.5	64	60.5	80.0	生活2	103.0	45.0	43.5	48.0	57	61.0	740.5
生活3	621	671	606	631	610	602	生活3	627	595	591	574	654	7356	621.0	606.0	631	610.0	602.0	生活3	627.0	595.0	581.0	574	654.0	7356.0	
生活2・要介護							生活2・要介護						0						生活2・要介護						0.0	
生活3・要介護							生活3・要介護					1	1						生活3・要介護					1.0	1.0	
合計	733	792	727	759	731	762	合計	837	685	678	670	687	777	合計	677.0	695.0	670.5	682.0	合計	732.0	694.5	622.0	630.5	718.0	8097.5	

生活2・要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活2・要介護							生活2・要介護						0												0.0
生活3・要介護							生活3・要介護						0												0.0
生活2・要介護							生活2・要介護						0												0.0
生活3・要介護							生活3・要介護						0												0.0
合計	0	0	0	0	0	0	合計	0	0	0	0	0	0		合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活2・要介護	13	5	8	4			生活2・要介護	16	17	10	11	13	97		生活2・要介護	13.0	5.0	5.0	9.0		8.5	10.0	11.0	13.0	84.5
生活3・要介護	182	202	161	189	171	188	生活3・要介護	217	175	183	174	229	180	2231	生活3・要介護	177.0	193.0	161.0	171.0	171.0	190.0	174.0	229.0	180.0	2221.0
生活2・要介護	1	5	9				生活2・要介護								生活2・要介護	1.0	14.0	9.0							
合計	176	212	178	193	171	188	合計	183	175	200	135	145	159	2328	合計	191.0	212.0	178.0	171.0	171.0	190.0	135.0	145.0	159.0	2305.5

【身体障害者】							【身体障害者】							
訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	14	15	14	14	15	14	身体介護1	15	14	14	14	14	14	171
身体介護1-家族							身体介護1-家族							0
身体介護1-親類							身体介護1-親類							0
身体介護2	10	12	11	12	12	12	身体介護2	12	12	12	12	10	12	139
身体介護2-家族							身体介護2-家族							0
身体介護3							身体介護3							0
身体介護3-家族							身体介護3-家族							0
身体介護4							身体介護4							0
身体介護4-家族							身体介護4-家族							0
身体介護4-親類							身体介護4-親類							0
身体介護5							身体介護5							0
身体介護6							身体介護6							0
身体介護7							身体介護7							0
身体介護8							身体介護8							0
身体介護10							身体介護10							0
身体介護11							身体介護11							0
身体介護12							身体介護12							0
身体介護13							身体介護13							0
身体介護14							身体介護14							0
身体介護15							身体介護15							0
合計	24	27	25	26	27	26	合計	27	26	26	26	24	26	310

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			1				家事援助1							1
家事援助1-家族							家事援助1-家族							0
家事援助2	36	39	25	38	36	36	家事援助2	38	36	36	36	36	36	428
家事援助2-家族							家事援助2-家族							0
家事援助3							家事援助3							0
家事援助4							家事援助4							0
家事援助4-家族							家事援助4-家族							0
家事援助5							家事援助5							0
家事援助6							家事援助6							0
合計	36	39	26	38	36	45	合計	38	36	36	36	36	36	429

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	7	7.5	7	7	7.5	7	身体介護1	7.5	7	7.0	7	7.0	7.0	85.5
身体介護1-家族							身体介護1-家族							
身体介護1-親類							身体介護1-親類							
身体介護2	10	12	11	12	12	12	身体介護2	12	12.0	12.0	12	10.0	12.0	139.0
身体介護2-家族							身体介護2-家族							
身体介護3							身体介護3							0.0
身体介護3-家族							身体介護3-家族							
身体介護4							身体介護4							0.0
身体介護4-家族							身体介護4-家族							
身体介護4-親類							身体介護4-親類							
身体介護5							身体介護5							0.0
身体介護6							身体介護6							0.0
身体介護7							身体介護7							0.0
身体介護8							身体介護8							0.0
身体介護9							身体介護9							0.0
身体介護10							身体介護10							0.0
身体介護12							身体介護12							0.0
合計	17.0	19.5	18.0	19.0	19.5	19.0	合計	19.5	19.0	19.0	19.0	17.0	19.0	224.5

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			0.5				家事援助1							0.5
家事援助1-夜間							家事援助1-夜間							0.0
家事援助2	36	39	25	38	36	36	家事援助2	38	36	36	36	36	36	428.0
家事援助2-夜間							家事援助2-夜間							0.0
家事援助3							家事援助3							0.0
家事援助4							家事援助4							0.0
家事援助4-夜間							家事援助4-夜間							0.0
家事援助5							家事援助5							0.0
家事援助6							家事援助6							0.0
家事援助10							家事援助10							0.0
家事援助11							家事援助11							0.0
家事援助12							家事援助12							0.0
合計	36.0	39.0	25.5	38.0	36.0	36.0	合計	38.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	428.5

【精神障害者】							【精神障害者】							
訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	44	44	44	44	44	44	身体介護1	44	44	44				396
身体介護2							身体介護2							0
身体介護3							身体介護3							0
身体介護4							身体介護4							0
身体介護5							身体介護5							0
合計	44	44	44	44	44	44	合計	44	44	44	43	0	0	396

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			1				家事援助1							1
家事援助1-夜間							家事援助1-夜間							0
家事援助2	53	53	51	52	52	52	家事援助2	52	52	52	9	9	9	496
家事援助2-夜間							家事援助2-夜間							0
家事援助3							家事援助3							0
合計	53	53	47	52	52	52	合計	52	52	52	9	9	9	497

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	22	22	22	22	22	22	身体介護1	22	22	22				198
身体介護2							身体介護2							0.0
身体介護3							身体介護3							0.0
身体介護4							身体介護4							0.0
身体介護5							身体介護5							0.0
合計	22.0	22	22.0	22.0	22.0	22.0	合計	22.0	22.0	22.0	22.0	0.0	0.0	198.0

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			0.5				家事援助1							0.5
家事援助1-夜間							家事援助1-夜間							0.0
家事援助2	53.0	53	51.0	52.0	52	52	家事援助2	52.0	52	52	9	9	9	496.0
家事援助2-夜間							家事援助2-夜間							0.0
家事援助4							家事援助4							0
家事援助5							家事援助5							0
合計	53	53	51	52	52	52.0	合計	52.0	52.0	52.0	9.0	9.0	9	496.5

【移動支援】							【移動支援】							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問回数	0	0	0	0	0	0	訪問回数	0	0	0	0	0	0	0
訪問時間	0	0	0	0	0	0	訪問時間	0	0	0	0	0	0	0

【訪問回数】							【訪問回数】							
介護保険種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	介護保険種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	261	363	318	309	366	325	身体介護	292	286	248	210	228	240	3446
生活介護	722	778	703	714	687	606	生活介護	657	685	678	670	687	777	8364
複合介護	156	182	151	159	178	161	複合介護	171	138	145	140	143	196	1920
合計	1139	1323	1172	1182	1231	1092	合計	1120	1109	1071	1020	1058	1213	13730

【訪問時間】							【訪問時間】							
介護保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	介護保険者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	136.8	183.3	160.8	155.0	177.0	152.5	身体介護	138.0	135.8	131.8	115.8	129.8	129.0	1745.6
生活介護	662.5	718.0	643	651.0	633.0	567.0	生活介護	614.0	640.0	634.5	622.0	630.5	716.0	7729.5
複合介護	205	240	197.5	212	220	218	複合介護	214	177	191	182	200	250	2502.5
合計	1003.8	1139.3	1001.3	1017.5	1029.5	937.5	合計	965.5	952.3	956.8	919.8	959.8	1094.5	11977.6

【訪問回数】														
介護予防施設利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合	146	153	140	171	161	191	総合	164	176	200	135	145	159	1941
合計	146	153	140	171	161	191	合計	164	176	200	135	145	159	1941

【訪問時間】														
介護予防施設利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合	146	153	140	171	161	191	総合	164	176	200	135	145	159	1941
合計	146	153	140	171	161	191	合計	163	161	156	135	145	159	1941

【訪問回数】							【訪問回数】							
障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	24	27	26	26	27	26	身体介護	27	26	26	26	26	26	313
家事援助	36	39	26	38	36	45	家事援助	38	36	36	36	36	36	438
合計	60	66	52	64	63	71	合計	65	62	62	62	62	62	751

【訪問時間】							【訪問時間】							
障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	17.0	19.5	18.0	19.0	19.5	19.0	身体介護	19.5	19	19	19.0	17.0	19.0	224.5
家事援助	36.0	39	25.5	38	36	36.0	家事援助	38.0	36.0	36.0	36.0	36	36	428.5
合計	53.0	58.5	43.5	57.0	55.5	55.0	合計	57.5	55	55	55.0	53.0	55.0	653.0

【訪問回数】							【訪問回数】							
精神障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	精神障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	44	44	44	44	44	44	身体介護	44	44	44				396
家事援助	53	53	47	52	52	52	家事援助	52	52	52	9	9	9	492
合計	97	97	91	96	96	96	合計	96	96	96	9	9	9	888

【訪問時間】							【訪問時間】							
精神障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	精神障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	身体介護	22.0	22	22				198.0
家事援助	53.0	53	51	52	52	52.0	家事援助	52.0	52.0	52.0	9.0	9	9	496.0
合計	75.0	75.0	73.0	74.0	74.0	74.0	合計	74.0	74	74	9.0	9.0	9.0	694.0

利用者状況】

利用人数(人)							利用人数(件)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険者	96	97	101	102	103	106	介護保険者	105	108	109	107	111	115	1260
身体障がい者	3	3	3	3	3	3	身体障がい者	3	3	3	3	3	3	36
精神障がい者	2	2	2	2	2	2	精神障がい者	2	2	2	1	1	1	21
移動支援	0	0	0	0	0	0	移動支援	0	0	0	0	0	0	0
実費	2	3	1	0	1	1	実費	1	0	0	0	0	0	9
合計	103	105	107	107	109	112	合計	111	113	114	111	115	119	1326

介護施設利用実績														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防施設受入	32	30	39	39	36	40	介護予防施設受入	43	41	41	37	40	39	457
介護度1	21	25	23	27	27	27	介護度1	28	30	22	29	23	23	284
介護度2	23	22	21	22	24	23	介護度2	25	24	20	22	20	22	245
介護度3	12	12	15	13	14	14	介護度3	14	14	13	13	12	13	147
介護度4	6	6	12	9	9	10	介護度4	7	7	11	13	13	14	111
介護度5	2	2	2	3	3	3	介護度5	3	3	2	4	3	4	32
合計	96	97	112	113	113	117	合計	120	119	109	118	111	115	1340

【企画・外部研修】

- ・ 令和6年07月17日 門真市高齢者虐待防止ネットワーク会議
- ・ 令和6年08月4日 利用者から受けるパワハラ時の対応方法勉強会
- ・ 令和6年12月18日 高齢者虐待防止のための勉強会
- ・ 令和6年12月8日 門真介護保険サービス事業者連絡会研修
- ・ 令和7年1月15日 門真市高齢者虐待防止ネットワーク会議

【通所利用について】

- ・ 色々な状況を考えてできる限り高齢ヘルパー以外で対応
- ・ 単位数のことも踏まえてできる限り職員で対応

【移動支援】

- ・ 利用者なし・受け入れていません

【サービスの状況】

- ・ 件数、サービス内容増加については状況を見ながら検討しています

令和6年度事業報告書

居宅介護支援事業所 三養苑

今年度はくすのき広域連合が解散し、門真市単独の介護保険事業の運営が開始となりました。また門真市として初めて運営指導もありました、記録の方法等について再度、確認していきたいと思います。

今はインターネット等で情報を簡単に得る事ができ、便利になっていますが、サービスを利用する時に、施設、サービス事業所のホームページを見て判断される方も多くなっています。インターネットでの情報等はうまく活用しながらもそれだけではなく、自身で確認し、正確な情報を得る事ができるよう努めていきたいと思います。

介護支援専門員2人体制でケースについての情報共有、困難ケースの事例報告等、積極的に行った。

介護予防プランの委託や困難事例等の対応に関して地域包括支援センター等に報告し、連携強化に努めた。

厚生労働省からの介護保険情報や市等からの情報収集を積極的に行い制度の理解に努めた。

運営基準に基づいたケアマネジメントの実施、利用者様、ご家族様の心身の状況、生活状況等を勘案し、意向を尊重した上で自立した生活を送る事ができるよう支援を行った。

{業務内容}

- ① 要支援、要介護認定代行申請
- ② 重要事項説明書の説明及び契約、要支援、事業対象者の方は地域包括支援センターとの委託契約
- ③ 市への必要書類の提出
- ④ アセスメント
- ⑤ サービス担当者会議の開催及び事業所との連絡調整
- ⑥ ケアプラン作成
- ⑦ サービス計画書(1)、(2)、(3) 利用者様、サービス事業所への交付、同意を得る
- ⑧ サービス事業者への個別サービス計画書の提出依頼
- ⑨ 毎月の利用票の作成
- ⑩ 毎月の訪問(モニタリング)、要支援、事業対象者の方は3か月に1度
- ⑪ 毎月のサービス提供票の作成とサービス事業所への交付
- ⑫ 毎月の実績のチェック
- ⑬ 毎月の給付管理
- ⑭ ケアプラン請求のチェック
- ⑮ 相談業務
- ⑯ サービス事業所へ依頼、連絡調整、報告、状況確認等
- ⑰ 各ケースの記録
- ⑱ 電話対応
- ⑲ 住宅改修、福祉用具購入、福祉用具レンタル時、事業所との連絡調整及び同行訪問にて状況把握、住宅改修、福祉用具購入に際しては意見書の作成
- ⑳ 福祉用具貸与理由書の作成(要支援1・2、要介護1)
- ㉑ 特養入居申請にあたり意見書作成
- ㉒ 短期入所サービス延長理由書の作成
- ㉓ 退院前のカンファレンス
- ㉔ 入院中の状況確認
- ㉕ 来苑者の対応
- ㉖ 要支援、事業対象者の方の毎月の状況確認の電話
- ㉗ 要支援、事業対象者の方の包括支援センターへの書類提出、実績報告
- ㉘ モニタリング以外での必要時の訪問
- ㉙ 主治医への病状確認、医療系サービス導入に際して相談等
- ㉚ 有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等の情報提供
- ㉛ 配食等インフォーマルサービスの情報提供
- ㉜ 介護保険負担限度額認定の説明及び代行申請
- ㉝ 勉強会、研修、法定外研修等の参加

* 本年度は利用者宅訪問回数が1108 回でした。

利用者宅訪問	1108
利用者電話	1404
関係機関訪問	745
関係機関電話連絡	1109

(令和7年3月末現在)

{月別請求ケース数}

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援・事業対象者	26	26	25	28	28	30	
介護	72	68	69	70	72	74	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援・事業対象者	31	30	33	34	35	35	361
介護	72	70	70	67	62	60	826

{今年度の勉強会、研修等の参加}

・令和7年2月

法人全職員対象「アンガーマネジメント研修」動画視聴

R6年度事業報告書(三養福祉会)

門真第5地域包括支援センター

R6年度は、当圏域の課題の一つである認知症高齢者の増加を踏まえ、地域住民が認知症を正しく理解するため介護予防教室やサポーター養成講座を開催し周知啓発を図り、地域の支援体制をつくるため認知症カフェ、認知症ステップアップ講座を開催しております。認知症当事者と地域住民が交わる場であるれんかでは、大学生ボランティアの参加もあり、若い世代への認知症の理解にもつながるものと思われます。また、圏域内ケアマネジャーとは今後の支援に活かせるよう、認知症の方の対応で重きをおく意思決定支援のプロセスを学びました。地域の通いの場には2層、3層生活支援コーディネーターの協力を得た後方支援と介護予防教室や出前講座の開催を行いました、今後も続けて自治会館の活性化を目指していきます。

年次相談実績

(1)総合相談件数(相談者 区別)

	本人	家族・親族	知人・近隣住民	関係機関	介護支援専門員	医療機関	行政機関	その他	合計
延べ人数	1653	1090	79	354	1167	275	254	188	5060

(2)相談内容内訳

	介護に関する事 (介護保険に関する ことを含む)	介護予防・生活 支援サービスに 関すること	健康・医療に 関すること	権利擁護・高齢者 虐待(消費生活含 む)	介護者離職防止 に關すること	認知症に関する 相談	その他	合計
延べ人数	3497	507	489	241	25	104	312	5175

(1) 介護予防事業

- 4月9日 第1回家族介護教室 音楽療法で心と身体をリフレッシュ(UR東門真)
- 5月11日 出前講座 介護予防(高齢者ふれあいセンター)
- 5月27日 第2回介護予防教室 防災について(高齢者ふれあいセンター)
- 6月13日 第3回介護予防教室 コグニサイズ(千石南自治会館)
- 6月15日 第4回介護予防教室 通いの場立ち上げに向けて(島頭南自治会館)
- 6月20日 第5回介護予防教室 筋肉量をチェックしてフレイル対策(三ツ島住宅集会所)
- 6月25日 第6回介護予防教室 腰痛予防(門真住宅A地区自治会集会所)
- 6月27日 第7回介護予防教室 熱中症にご用心(千石東自治会館)
- 7月2日 第8回介護予防教室 骨粗鬆と転倒予防(千石西町A自治会集会所)
- 7月13日 第9回介護予防教室 笑いは健康の元、笑いヨガで元気になろう(千石西町A自治会集会所)
- 10月29日 第10回介護予防教室 脳卒中の予防 高齢者ふれあいセンター
出前講座 介護保険サービスについて(三ツ島住宅)
- 11月12日 第11回介護予防教室 転倒予防について(UR東門真団地)
- 1月28日 第12回介護予防教室 いきいき百歳体操とミニモルック(三ツ島住宅集会所)
- 2月25日 第13回介護予防教室 お薬との上手な付き合い方(上三ツ島自治会館)

認知症サポーター養成講座、ステップアップ教室

- 6月27日 島頭東自治会館 認知症サポーター養成講座
- 9月20日 南部市民センター 認知症サポーター養成講座
- 2月13日 島頭東日会館 認知症ステップアップ講座

通いの場<いきいき百歳体操>

- 7月6日、13日、20日、27日 立ち上げ支援・全4回(島頭南自治会館)
- 10月16日、23日、30日、11月6日 立ち上げ支援・全4回(門真団地中央自治会館)
- 体力測定(南門真ハイライフ他7回)

市域包括ケア会議

- 4月23日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・保健事業と介護予防の一体化事業について他
- 5月28日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・一体的実施について他
- 6月19日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・信愛大学看護学生実習受け入れについて他
- 7月17日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・一体的実施について他
- 8月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・ケアマネジメントBについて他
- 9月18日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・大塚製薬・地域と連携したフレイル予防語他
- 10月16日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・一体的実施について他
- 11月20日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・中核機関について他
- 12月18日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・次年度予算書・決算書のフォーマット等変更について他
- 1月15日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・オムロンシステムについて他
- 2月19日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・一体的実施について他
- 3月19日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・中核的機関設置及び重層的支援事業について他

小地域ネットワーク委員会

(小地域ネットワークの推進について)

6月27日 9月27日 1月15日

高齢者虐待防止実務者会議・ネットワーク会議

(事例を通して虐待について考える、大阪府・門真市の虐待相談と通報状況について)

5月15日 7月17日 9月24日 11月20日 1月15日 3月19日

地域ケア会議(元気はつらつカンファレンス)

(ケアマネジメントの質の向上や事業所の専門職の専門性の向上、高齢者の抱える問題など地域課題を把握する)

4月16日 5月21日 6月18日 7月16日 8月20日 10月15日 11月19日 12月17日 1月21日

地域ケア会議(個別)

(個別ケースの支援内容を検討し課題を解決し、また地域課題を積み上げる)

6月11日 9月5日 12月24日 3月6日

認知症初期集中支援事業チーム員会議・検討委員会

(チームの活動状況、医療機関との連携について)

6月19日 7月17日 9月18日 10月16日 11月20日 12月18日 1月15日 2月19日

事例検討会・勉強会

(認知症の方の意思決定支援について)

8月29日

圏域ケア会議

(地域課題の共有と協議し多機関、多職種の参加により、ネットワークの強化につながった)

11月16日 3月19日

(2) その他会議と地域福祉活動

圏域内地域密着型サービス事業所運営推進会議

南郷デイサービス(10月21日)、ソラストれんか(6月20日、8月22日、12月19日、2月20日)

かたぐるま(9月24日、3月25日)、SOMPOケア(3月13日)

(3) 三専門職会議

社会福祉士連絡会

①通所介護、訪問介護分科会との勉強会

②高齢者虐待対応の仕方について、社会福祉士の意見を投げかけ、検討していく

主任ケアマネ連絡会

①ケアマネ連絡会と協同し法定外研修を実施

②ケアプラン提出書類、自立支援に資する研修内容について

医療職連絡会

①いきいき百歳体操プレゼン内容の検討

②運動サポーター養成講座について

(4) 参加した主な研修・講演等

5月20日 感染症対策について

7月8日 利用者の力を引き出すコミュニケーションを考える

8月20日 相談員が知っておきたい成年後見制度

8月26日 認知症地域支援推進員研修

9月19日 ヤングケアラーを理解する

他、年間計画を元に実施

(5) 認知症カフェ

偶数月に開催。

認知症地域支援推進員と協力し、住民が主体的に活動できる体制をつくることを目的としている。

(6) ゆめ伴サロン・ファーム

サロン、ファーム共に毎週水曜日に活動、ファームは屋外活動であり、猛暑の炎天下は一時休止したが、認知症当事者と家族、住民等が作業を通して交流している。包括に相談があり、介護サービスを利用しなくとも趣味活動のできる方、元気はつらつ等介護保険サービスの利用を卒業した方等の通いの場として、住民一人ひとりができること、やりたいことが実現できる場として効果が期待できる。

令和6年度 事業報告

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

事業報告概論

特別養護老人ホーム(短期入所を含む)

デイサービスセンター

ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所

ケアハウス

給 食

虐待防止委員会

感染症・褥瘡委員会

事故対策委員会

身体拘束適正化委員会

社会福祉法人三養福祉会
指定介護老人福祉施設 箕面の郷

令和6年度箕面の郷事業報告概論

【概論】

まず初めに前年度末に虐待案件の認定を受け、今年度は改善計画に沿って虐待防止や不適切なケアの排除に職員一同全力で取り組んだ1年でした。

その結果、虐待とは？不適切なケアとは何か？という意識が職員間に根づいたと思えるようになりました。再建計画は一応終了いたしました。今後とも虐待や不適切なケアといった不名誉な事案が起きない様職員一同頑張っています。

次に次ページの表のとおり収入は箕面の郷全体で前年比で約3400万円（6.5%）の増額だが、利益が前年度比で約2100万円の減額になり利益率が大きく落ち込む結果になりました。これは、令和6年度に産休、育休や退職入職者が多く出たため、人員不足に陥り、人材会社等の紹介料費用が増大したことも一因であります。

また、箕面の郷は開設以来22年目を迎え設備等老朽化に伴う修理や入れ替え工事は避けられず、1Fと5Fの濾過器の入れ替え工事やエレベーターの劣化部品交換をはじめ将来に向けた改修工事の調査費用や設計費用、ロボット化のためのWi-Fi工事（補助金あり）等の大型の工事費と訪問看護開設に伴う費用等が利益を圧迫した大きな要因と考えます。

- ・ ケアハウスについても特養と同様に設備の老朽化によるろ過機入れ替え工事が大きな要因だと考えます。

人件費については約1500万円の増額だが、人件費率では約1%増のほぼ横ばい状態で、社会状況を鑑みるとや無得ないと考えます。

- ・ デイサービスにおいては前年度の赤字から辛うじて黒字転換することができましたが、さらなる創意工夫をして利用率のUPを図ることが必要不可欠と考えます。
- ・ また、前年度9月に立ち上げた訪問看護事業については、当初の計画から大きくはずれ、利用率が伸びず、黒字化に長い時間を要すると判断され、休止に至りました。
- ・ 診療所につきましては新型コロナ等の感染症の落ち着きとともに感染対策費等が減少し、収入が減額でしたが利益は微減のほぼ横ばい状態になりました。このことは喫茶においても、感染対策のため閉店する期間が減り収入が倍増したと考えます。
- ・ ヘルパーステーションにおいては前年度末にサ責3人体制になり、そのために人件費増になり収益がその分減額しましたが、今後の利用件数増を期待できると考えております。
- ・ 居宅介護支援事業所の収益はほぼ横ばい状態ですが経費増の為、赤字幅が拡大したと考えます。しかしながら、居宅の果たす他事業所への有形、無形の効果を鑑みると、3人体制にして特定事業所加算取得を目指すように勧めるべきと考えます。

以上簡単ですが令和6年度箕面の郷の概況報告といたします。

箕面の郷 施設長 生島 諄

箕面の郷収支報告

		特養	s s	小計	デイ	ヘルパー	居宅
収入	収入R.6	312,797,783	73,947,168	386,744,951	59,311,427	25,934,747	10,111,982
	R.5	291,847,992	65,231,527	357,079,519	54,602,022	25,683,623	10,491,093
	前年比	20,949,791	8,715,641	29,665,432	4,709,405	251,124	-379,111
		7.18%	13.36%	8.31%	8.62%	0.98%	-3.61%
	稼働率						
支出	R.6業者			108,511,232	16,784,105	4,961,706	2,959,999
	R.5			83,959,187	14,940,573	3,350,586	2,439,059
	前年比			24,552,045	1,843,532	1,611,120	520,940
				29.24%	12.34%	48.08%	21.36%
	R.6人件費			235,337,576	42,471,563	19,764,214	9,866,389
	R.5			233,611,315	40,096,895	17,588,053	9,387,520
	前年比			1,726,261	2,374,668	2,176,161	478,869
				0.74%	5.92%	12.37%	5.10%
収入 － 支出	R.6収入－支出			42,896,143	55,759	1,208,827	-2,714,406
	R.5			39,509,017	-435,446	4,744,984	-1,335,486
	前年比		3,387,126	491,205	-3,536,157	-1,378,920	
			8.57%	112.81%	74.52%	-103.25%	

		診療所	喫茶	ケアハウス	訪看	総合
収入	収入R.6	16,899,504	287,025	62,932,311	1,801,031	563,735,953
	R.5	19,234,173	121,980	62,271,764	0	529,362,194
	前年比	-2,334,669	165,045	660,547	1,801,031	34,373,759
		-12.14%	135.30%	1.06%	#DIV/0!	6.49%
	稼働率					
支出	R.6業者	6,272,490	57,230	41,613,830	2,328,857	183,489,449
	R.5	8,931,801	39,528	29,579,136	0	143,239,870
	前年比	-2,659,311	17,702	12,034,694	2,328,857	40,249,579
		-29.77%	44.78%	40.69%	#DIV/0!	28.10%
	R.6人件費	940,836		20,530,876	5,459,896	334,371,350
	R.5	0		18,328,429	0	319,012,212
	前年比	940,836		2,202,447	5,459,896	15,359,138
		#DIV/0!		12.02%	#DIV/0!	4.81%
R.6収入－支出		9,686,178	229,795	787,605	-5,987,722	45,875,154
R.5		10,302,372	82,452	14,364,199	0	67,110,112
前年比	-616,194	147,343	-13,576,594	-5,987,722	-21,234,958	
	-5.98%	178.70%	-94.52%	#DIV/0!	-31.64%	

令和6年度事業報告書

特別養護老人ホーム 箕面の郷

期間: 令和6年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

指定介護老人福祉施設床数 定員: 指定介護老人福祉施設 56名、短期入所 14名)

I 特別養護老人ホーム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要介護1	男性													0	0.0
	女性													0	0.0
要介護2	男性				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	0.8
	女性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	1.1
要介護3	男性	6	6	6	5	4	4	4	4	4	4	4	4	55	4.6
	女性	13	13	12	12	12	13	13	13	13	12	13	11	150	12.5
要介護4	男性	4	4	3	3	4	4	4	4	4	2	2	2	40	3.3
	女性	19	17	19	19	17	17	17	17	16	18	18	20	214	17.8
要介護5	男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	女性	10	12	12	12	14	13	13	14	15	13	13	12	153	12.8
合計		54	54	54	54	54	54	54	55	55	52	53	53	646	53.83
平均介護度		3.68	3.71	3.73	3.71	3.77	3.73	3.73	3.82	3.84	3.61	3.66	3.64	44.64	3.72

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入所者数	男性	11	11	10	10	10	10	10	10	10	8	8	8	116	9.7
	女性	43	43	44	44	44	44	44	45	45	44	45	45	530	44.2
退去者数	男性				1						1		1	3	0.3
	女性	1				1	1	1				1		5	0.4
入院者数	男性			2	1						3	1	1	8	0.7
	女性	2	4	3	4	3	4	2	2	3	2	7	4	40	3.3
外泊者数	男性													0	0.0
	女性	2	1	1						2	2			8	0.7
新規利用者数	男性													0	0.0
	女性	2			2	1		1			2	1		9	0.8
外出者数		9	1	9	3	1	4	2	4	10	10	1	0	54	4.5
通院者数		25	28	18	32	15	22	22	30	28	17	17	27	281	23.4
面会者数		81	188	231	194	30	80	110	175	227	228	97	90	1731	144.3
施設見学者数									6	3	7	10	4	30	2.5
実習生受入日数		0	0	0	0	2	0	4	0	0	4	0	0	10	0.8

退所者理由	看取り介護にて永眠	長期療養型病院	急性期病院
	3	6	2

階層別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第4段階	26	27	27	26	30	30	30	32	32	28	31	30	349
第3段階②	19	19	19	20	16	17	17	16	16	17	15	16	207
第3段階①	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
第2段階	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	18
第1段階													0
合計	54	54	54	54	54	54	54	55	55	52	53	53	646

(入所者の状況) 2025年3月31日付け

保険者市町村名	大阪府						兵庫県		滋賀県	和歌山県
	箕面市	吹田市	池田市	豊中市	大阪市	豊能町	芦屋市	宝塚市	大津市	新宮市
男性	7					1				
女性	34		3	3	1	1	1		1	1
合計	41	0	3	3	1	2	1	0	1	1

(待機者状況)

2025年3月31日付け	美面市	吹田市	豊中市	池田市	大阪市	茨木市	高槻市	豊能郡	その他
待機者市町村名	67	4	5	1	3			1	20

取消理由	辞退	逝去	他施設入所	その他
		12	8	9

【利用状況について】

*令和5年度は、コロナクラスターを経験し多くの退所者が発生し、新規入所者を確保するのに苦戦しましたが、令和6年度については令和5年度の経験を活かし待機者確保 ロングショート人数増加した事により、入院部屋 空室利用が増加し稼働率の安定に努める事ができました。

*職員一人一人、入院部屋の利用について使用して当たり前の意識づけもできました。

入所者身体状況 2025年3月31日付け

入所者平均年齢

	男性	女性
人 数	8	45
平均年齢	89	
最高年齢	96	98
最低年齢	81	78

認知症老人の日常生活自立 障害老人の日常生活自立度

0	I	人数
軽度	II a	4
	II b	10
中度	III a	20
	III b	11
重度	IV	7
	M	1
合計		56

寝たきり度	人数
軽度	J1 0
	J2 0
中度	A1 4
	A2 5
重度	B1 8
	B2 27
最重度	C1 3
	C2 8
合計	55

(年間行事)

5月	菖蒲湯
9月	敬老祝賀会
10月	秋祭り
12月	クリスマス会
1月	餅つき

今年は、感染状況に配慮しつつ、家族交流を含む季節を感じる行事を開催し、入居者様の社会参加と生活の質の向上を図りました。ユニットケアを基盤とした個別的な関わりを深め、日々のレクリエーションや季節の工夫を通じて、入居者様の豊かな生活を支援しました。

(部署会議)

実施期日	会議
4月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
5月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
6月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
7月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
8月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
9月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
10月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
11月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
12月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
1月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
2月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
3月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議

入居者様一人ひとりの気持ちを大切に、地域とのつながりも育みながら、笑顔あふれる毎日をサポートします。安心できる環境の中で、いきいきとした暮らしを共に創ります。

II ショートステイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	32	39	31	26	29	27	26	30	26	30	34	30	360	30
延利用者数	294	391	389	380	397	382	419	435	460	455	446	467	4915	410
1日平均利用者数	9.8	12.6	13	12.3	12.8	12.7	13.5	14.5	14.8	14.7	15.9	15.1	164	13.7

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1						1						1	2
要支援2					1								1
要介護1	5	7	2	2	2	3	1	2	1	3	3	2	33
要介護2	7	9	7	3	4	4	3	3	2	4	7	7	60
要介護3	11	12	10	7	8	7	10	12	9	9	8	7	110
要介護4	4	4	6	8	9	8	8	9	10	10	9	9	94
要介護5	5	7	6	6	5	4	4	4	4	4	6	5	60
合計	32	39	31	26	29	27	26	30	26	30	34	30	360
SS夜間稼働率	62%	84%	81%	74%	80%	84%	82%	90%	98%	90%	91%	87%	84%
特養+SS稼働率	86%	95%	96%	94%	94%	95%	97%	97%	97%	96%	95%	95%	95%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規利用者	7	10	6	2	2	3	6	3	3	2	2	2	48

新規利用者担当事業所	雲ヶアネットケアプランセンター	5件	ケアプランセンターアリス箕面	1件
	我が家ケアプランセンター	5件	ケアプランセンターポプラ箕面	1件
	箕面の郷居宅介護支援事業所	4件	さくらそう豊中ケアプランセンター	1件
	箕面市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	3件	しずかケアプランセンター	1件
	すみれケアプランセンター	3件	ひまわりケアプランセンター	1件
	箕面グリーンビル居宅介護支援事業所	2件	あそびクラブ居宅介護支援事業所	1件
	ケアプラン元気づくり	2件	白鳥荘居宅介護支援事業所	1件
	葉ケアプランセンター	2件	ケアプランセンターかえで	1件
	あかつき居宅介護支援事業所	2件	巽ケアプランセンター箕面	1件
	ホームケア北摂	2件	紅葉の郷ケアプランセンター	1件
	エルケア箕面ケアプランセンター	2件	クレールケアプランセンター	1件
*今年度 閉鎖及び休止事業所			ニチイケアプランセンター箕面	1件
			いばらきケアプランセンター	1件
			中東部包括ケアプランセンター	1件
			東部包括ケアプランセンター	1件

(利用者階層別日数)

階層別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第4段階	20	26	21	19	22	20	20	21	17	21	24	20	251
第3段階②	7	9	7	5	5	4	4	6	4	5	5	6	67
第3段階①	2	2			1	1			1	1	1	1	10
第2段階	3	2	3	2	1	2	2	3	4	3	4	3	32
第1段階													0
合計	32	39	31	26	29	27	26	30	26	30	34	30	360

【利用状況について】

*ロングショートの利用者数を14部屋中、7部屋利用から10部屋利用に変更し常に安定した稼働率維持できるよう変更し、定期利用者については、残り2部屋と入院部屋活用で大幅に稼働率上昇させた。

*ロングショート及び特養待機入所希望者については、地域療養型病院及び老人保健施設との密に連携し待機施設として活用し、地域全体で高齢者の方がスムーズに施設入所ができるように連携を行いました。

*家族様のニーズに合わせ、受診同行及び外出援助などの支援充実され、顧客満足度に増加に努めた。

令和6年度事業報告書 デイサービス箕面の郷

【デイサービス登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	138	154	160	167	181	149	172	165	169	156	146	190	1947
女	517	545	507	536	520	503	512	477	484	492	455	460	6008
合計	655	699	667	703	701	652	684	642	653	648	601	650	7955

【デイサービス登録・利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	655	699	667	703	701	652	684	642	653	648	601	650	7955
実利用者数	608	627	613	636	596	472	571	538	569	555	518	554	6857
登録者数平均	25.1	25.9	26.7	26.0	26.0	26.0	25.3	23.6	24.7	25.0	25.0	25.0	25.4
実利用者数平均	23.3	23.2	24.5	23.5	22.1	18.8	21.1	20.7	21.9	20.6	21.6	21.3	21.9
実施日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313

【要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請中	5	6	2	4	2	2	3	4	3	2	3	3	39
総合支援事業	2	2	2	2	2	2	1	1	3	5	4	5	31
要支援Ⅰ	5	6	5	6	6	6	6	4	5	7	5	6	67
要支援Ⅱ	2	4	5	6	6	6	8	9	8	19	7	8	88
要介Ⅰ	23	22	21	23	21	20	18	18	19	18	18	21	242
要介Ⅱ	9	14	14	13	13	12	11	19	19	19	19	18	180
要介Ⅲ	15	14	18	14	13	11	12	9	12	12	13	12	155
要介Ⅳ	2	3	3	3	3	5	5	4	3	2	3	2	38
要介Ⅴ	2	1	1	1	1	1	0	1	1	2	2	3	16
計	65	72	71	72	67	65	64	69	73	86	74	78	856

【障害者利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用状況】

令和6年度の利用実績が、6,857人 昨年比105.0% 予算比 97.9%と昨年より若干は回復するがコロナ感染等で苦戦。平均利用者数21.9人と定員25名をクリアすることができなかった。2月付けで定員30名に変更行う。日々の登録数を30名にすることで、キャンセルが出ても平均利用者を25名確保できるようにする。定員数増やしたことで、新規利用者様の登録は後半増えているが、9月以降コロナ感染や転倒骨折から入院や施設入所される利用者様が多数おられデイサービス再開となる利用者がなく、登録数の増減なく苦戦が続いた。最終損益が100(千)とギリギリ確保できる。昨年、最終損益▲300(千)からは改善出来ているが、修繕費や水道光熱費等が増額しており平均利用者25名を確保できないと利益が出ない状況であることを考え、デイサービス新聞や体験利用の案内媒体の作成を行い新規契約の営業を継続していきます。

今年度、利用者様に参加してもらい作品作りの実施と作品展示やお花見等での外出、イベント食やおやつレクリエーション、秋祭り等を実施して利用者様にも喜んでいただきました。今後も、職員皆で考え基本サービス以外に利用者に興味を持って参加できるようなレクリエーションを考え実施していく。また、コロナ等の感染予防の為、ボランティアさんの参加自粛をしていましたが箕面四中吹奏楽部の演奏会や音楽クラブ様も再開して利用者様に喜んでもらいました。

【年間行事】

コロナウイルスの予防の為、外出及びボランティアレクリエーションは9月まで自粛しています。誕生日会は、毎月第3水曜日実施。音楽クラブが第2・第3水曜日に実施。毎月、利用者様に参加もらい 貼り絵やビーズ作り等テーマを決めて作品作りを行い施設内に展示。

令和6年5月4・5日 菖蒲湯	令和6年12月28日 餅つき
令和6年9月16日 敬老会	令和6年12月30・31日 焼き芋(おやつレク)
令和6年10月14日 秋祭り(さんま祭り&焼き芋おやつレク)	令和7年1月2・3・4日 初詣
令和6年11月27・28日 紅葉鑑賞	令和7年2月1日 箕面四中吹奏楽部演奏会
令和6年12月20・21日 ゆず湯	令和7年2月14日 おやつレク(チョコレート作り)
令和6年12月25日 クリスマス会	

春は、桜の鑑賞。秋には、紅葉鑑賞会、冬は初詣と外出レクリエーション実施。夏祭りは中止、秋祭りを実施。(さんま祭り&焼き芋おやつレク)。敬老会・クリスマス会・餅つきと恒例の催しの実施。

毎年、箕面第四中学校の吹奏楽部や茶花道部のお茶会等を定期的に年3～4回程実施していましたが、感染予防で吹奏楽部の演奏会が1回出来ただけでした。また、もみじ保育所との交流会も出来なかった。外食レクリエーションも実施が難しかった。利用者様も、外出・外食レクリエーションや交流会を楽しみにされている利用者様も多く、今後要望に応じていきたいと思う。

【食事】

1. 実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計
令和4年4月		597	576		1,173
令和4年5月		619	610		1,229
令和4年6月		605	595		1,200
令和4年7月		625	613		1,238
令和4年8月		584	574		1,158
令和4年9月		514	502		1,016
令和4年10月		558	547		1,105
令和4年11月		533	519		1,052
令和4年12月		557	547		1,104
令和4年1月		545	543		1,088
令和4年2月		495	492		987
令和4年3月		549	546		1,095
		6,781	6,664		13,445

【食事】

食事に関しては、毎日の選択食と月2回のイベント食や実演での昼食の提供を実施。利用者様に熱々の食事を提供し好評です。おやつレクリエーションもチョコレート作りやたこ焼きを実施しました。

以上

令和6年度事業報告書 ヘルパーステーション箕面の郷

(A)訪問介護	145	165	176	189	176	134	139	123	129	118	118	136	
	406	400	338	405	404	364	360	367	366	346	305	339	(回数)
回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体01	66	59	39	40	50	30	30	38	42	31	14	18	457
身体01夜	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体01 二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
身体介護1夜	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	1	7
身体介護1	65	65	50	91	85	76	63	61	61	53	46	53	769
身体介護1二人	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体1生活1	143	136	110	124	139	143	157	157	148	152	143	154	1706
身体1生活1夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活2	28	30	36	40	33	27	27	25	41	30	32	33	382
身体1生活2夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体介護2	41	44	37	43	34	27	28	25	17	28	19	9	352
身体2二人	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	17
身体介護2夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身2生1夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活1	11	10	11	9	9	10	9	9	12	9	3	1	103
身2生1二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活2夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活2	1	1	0	0	1	0	3	0	1	0	0	5	12
身体2生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護3	2	1	1	1	2	1	0	1	1	0	1	0	11
身体介護3 夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体3生活1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
身体3生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体3生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護4	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	4
身体4生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体4生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体4生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
身体5生活1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
身体5生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体5生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
身体7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時訪問介護加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護初回加算	3	2	3	3	0	1	0	0	0	2	3	5	22
訪問介護処遇改善加算	45	47	49	50	49	48	42	47	43	40	42	44	546
合計	406	400	338	405	404	364	360	367	366	346	305	339	4400

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助2	9	9	8	10	12	4	0	0	0	2	12	12	78
生活2深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活援助3	136	156	168	179	164	130	139	123	129	116	106	124	1670
生活3夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	145	165	176	189	176	134	139	123	129	118	118	136	1748

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男	85	63	75	82	68	52	41	50	38	39	19	8	620
	女	106	156	136	153	163	145	156	135	108	79	66	61	1464
要介護2	男	46	48	45	50	54	53	56	51	68	69	67	75	682
	女	115	110	115	139	124	109	91	100	111	118	116	149	1397
要介護3	男	6	8	8	8	5	10	10	8	18	27	13	0	121
	女	76	80	38	31	29	20	42	42	49	49	44	58	558
要介護4	男	13	14	12	49	32	9	8	8	9	9	16	31	210
	女	42	21	13	13	39	33	37	32	35	24	24	34	347
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	女	14	16	20	16	17	18	16	17	16	8	8	10	176
その他	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		503	516	462	541	531	449	457	443	452	422	378	426	5580

(B)介護予防訪問介護

(回数)

回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	I	26	26	25	30	31	38	32	29	35	36	32	34	374
	II	66	68	51	56	59	58	69	57	58	56	59	49	706
	III	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	83
	予防Ⅰ・日割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初回加算	0	0	1	0	2	1	0	0	2	1	0	2	9
	処遇改善加算	14	14	12	14	15	17	17	14	16	16	16	18	183
合計		106	108	89	100	107	114	118	100	111	109	107	186	1355

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	男	21	19	17	20	19	17	27	18	20	19	18	19	234
	女	20	23	19	21	18	21	13	14	13	13	12	13	200
要支援2	男	8	7	6	6	10	17	14	11	18	17	16	18	148
	女	43	45	34	39	43	41	47	43	42	43	45	33	498
独自	男	29	26	23	26	29	34	33	27	38	36	34	37	372
	女	63	68	53	60	61	62	68	59	55	56	57	46	708
要支援・日割り	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		184	188	152	172	180	192	202	172	186	184	182	166	2160

(C) 全額利用者負担

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助2	9	7	7	6	6	6	7	4	7	4	7	9	79
生活援助3(1時間)	2	2	2	3	6	1	0	0	8	0	0	1	25
生活援助3(1.5時間)	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	7
生活援助3(1.75時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
生活援助3(2時間)	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
生活援助3(3時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
身体介護1	4	1	1	1	0	3	2	0	4	1	3	3	23
身体1生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護2	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	6
身体介護3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
身体介護4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	10	11	11	13	11	11	6	29	6	12	13	151

(D) 地域支援事業(身体障害者)

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護を伴う													0
身体介護を伴わない													0
合計													0

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男													0
女													0
合計													0

(E) 自立支援

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体日中0.5	3	1	1	1		3	2		4	1	3	3	22
身体日中1.0	2				1			1		1	1		6
身体日中1.5	1								1		1		3
身体日中2.0				1									
合計	6	1	1	2	1	3	2	1	5	2	5	3	31

・訪問回数 内訳

(回数)

(A) 訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身・生	6	1	1			3	2	1	5	2	5	3	29
合計	23	10	11	9	12	12	11	6	28	6	12	14	154

(総括)

- ・今年度の訪問平均件数は576件 平均利用時間514時間 ・利用者人数60名(要支援15名)
- ・常勤の訪問件数は堅持しているが登録さんの訪問件数は体力的な事、猛暑の影響もあり減少になっていった
- ・ケアハウスの利用者様のヘルパー利用が大きく響いている 外部利用者は微増
- ・ヘルパー人員は 常勤3名、登録は5名の8名体制 各ヘルパーとの個人面談を大切にしている
(年齢65歳以上5名)
- ・自費利用 年末の大掃除微増 2024年度19件 28:15H 2023年度14件 20H
- ・ふらすワンケアサービスの提案(15分 500円) 定期利用4件
- ・新規利用者様31名獲得 新規事業所は
- ・利用者人数が60名(要支援利用者15名)
- ・新規事業所開拓5件予定が3件の新規事業所獲得
- ・タブレット導入がケアマネへの迅速な報連相に繋がり、利用者様のリスク最小化へと繋がっている
- ・タブレット導入により事務が軽減され時間外労働の改善につながり有給利用につながった

<研修> ヘルパー研修

開催月	研修内容	開催日	研修内容
4月17日 (水)	接遇動画研修 ・事例ケースについて	10月16日 (木)	口腔ケア ・事例ケースについて
5月15日 (水)	字自立支援援助 ・事例ケースについて	11月20日 (水)	介護事故・感染症 ・事例ケースについて
6月19日 (水)	脱水・熱中症対策 ・事例ケースについて	12月18日 (水)	感染症について緊急時の対応 ・事例ケースについて
7月17日 (水)	食中毒 ・事例ケースについて	1月18日 (金)	緊急時の対応 ・事例ケースについて
8月28日 (水)	気づきレポート(ヒヤリはっと) タブレット操作	2月19日 (月)	苦情対応 ・事例ケースについて
9月18日 (水)	セルフネグレスト ・事例ケースについて	3月16日 (火)	自分を守る感染対策 ・事例ケースについて

令和6年度事業報告書

居宅介護支援事業所 箕面の郷

令和6年度 居宅・(予防)居宅介護支援事業の利用実績について、ご報告申し上げます。

〔実際に行った業務内容〕

- ① 介護保険新規申請代行・・・内容及び手続きの説明及び同意・契約
- ② 介護・予防ケアマネジメント
- ③ 各ケースの把握と更新申請代行
- ④ アセスメント
- ⑤ サービス担当者会議・ケアプランの作成
- ⑥ 月ごとの利用票・提供票の作成
- ⑦ モニタリング 利用票確認・意向確認
- ⑧ 地域包括支援センター・病院・各サービス事業所への連絡調整とサービスの調整
状態の変化の発見により他職種へつなぐ等
- ⑨ 毎月の実績管理
- ⑩ 毎月の給付管理
- ⑪ ケアプラン請求のチェック
- ⑫ 認定調査
- ⑬ 急変時の対応、入院情報提供、退院時カンファレンス出席、サービス調整
- ⑭ 新規ケースに関する業務
- ⑮ 各ケースの相談業務
- ⑯ 居宅介護支援の提供に関する記録の整備
- ⑰ 外部研修、施設内研修、委員会の参加

〔認定調査〕

	箕面市	吹田市	豊中市	その他	計
R6.4	2	1	0	0	3
R6.5	2	0	0	0	2
R6.6	2	0	1	3	6
R6.7	2	1	1	1	5
R6.8	2	0	1	2	5
R6.9	2	0	0	1	3
R6.10	2	3	0	1	6
R6.11	2	1	1	1	5
R6.12	2	1	1	0	4
R7.1	2	1	1	2	6
R7.2	2	0	1	2	5
R7.3	2	3	0	0	5

〔居宅サービス:予防・介護給付費請求実績〕

年月日	予防	介護	計
R6.4	32	50	82
R6.5	32	52	84
R6.6	34	51	85
R6.7	34	50	84
R6.8	38	46	84
R6.9	40	47	87
R6.10	42	46	88
R6.11	40	54	94
R6.12	40	52	92
R7.1	40	53	93
R7.2	38	55	93
R7.3	40	52	92

〔新規・紹介元〕

包括	12
ケアハウス	10
病院	3
家族	7
訪問看護	4
ショート	4
事業所閉鎖	6
ケアマネ退職	4
	50

〔中止・行先〕

入院	4
特養入所	5
施設入居	3
老健入所	2
グループホーム	1
ケアマネ変更	2
サービス終了	1
ご逝去	12
	30

〔外部研修会 参加状況〕

R6年6/21 中東部圏域第1回事業所ネットワーク会議
R6年8/24 箕面モデル第42回多職種勉強会
R6年9/26 主任ケアマネ向け研修 生活困窮者自立支援事業について
R6年11/20 令和6年度中東部圏域第2回事業所ネットワーク会議
R6年11/20 訪問看護コア Zoom勉強会訪問看護質問集
R6年11/27 養生訪問看護研修会
R6年12/7 令和6年度第3回多職種連携研修会
R6年12/18 中東部圏域第2回居宅支援事業所勉強会
R7年3/19 第3回東部・中東部圏域事業所ネットワーク会議

〔ケアプラン点検〕

R7年2/20 ケアプラン点検研修会

〔施設内研修会 参加状況〕

R6年6/11 認知症研修会
R6年7/24 明日からやりたくなる認知症ケア(箕面市立病院認定看護師)
R7年1/24 アンガーマネジメントを学ぶ(ライフサポート協会)

〔委員会・研修 参加状況〕

4/年 身体拘束適正化委員会
2/年 身体拘束委員会研修
4/年 感染症委員会
2/年 感染症委員会研修
2/年 BCP委員会
4/年 BCP研修・訓練
2/年 車椅子体験

〔集中減算チェックシート〕

R6年3月、9月提出済

〔利用者様アンケート〕

R6年 11月実施

〔居宅会議での研修〕

R6年4月 認知症の理解について
R6年5月 人権及びプライバシー保護について
R6年6月 接遇について
R6年7月 倫理及び法令遵守について
R6年8月 リスクマネジメント
R6年9月 緊急時対応について
R6年10月 非常災害時の対応について
R6年11月 感染症対策について
R6年12月 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について
R7年1月 高齢者に多い疾病について
R7年2月 ターミナルケアについて
R7年3月 インフォーマルサービスについて

令和6年度事業報告書

ケアハウス箕面の郷(軽費老人ホーム)

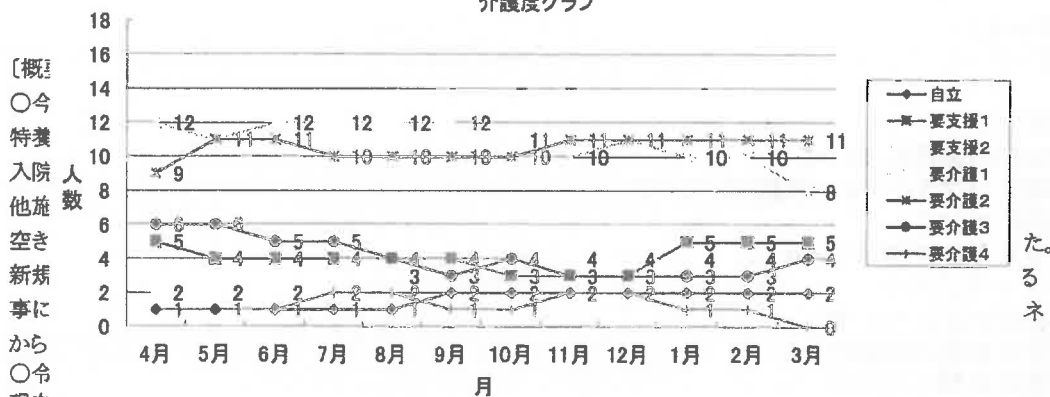
・入退所および外泊入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数(月末)	35	35	35	35	35	35	34	35	33	36	34	34	416
新規入居者数	1	1	1	1	1	2	0	1	1	3	0	0	12
外泊者数	3	5	4	2	3	5	4	5	6	6	3	4	50
入院者数	1	1	0	1	3	8	4	4	2	3	5	1	33
退居者	特養入所者数	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	他施設入居	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	7
	病院入院	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
	家人宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	死亡者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
空室数	1	1	1	1	2	1	2	1	3	0	2	2	17

・要介護度別 (2024年4月～2025年3月 各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
自立	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1.6
要支援1	5	4	4	4	4	4	3	3	3	5	5	5	4.1
要支援2	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	3.2
要介護1	12	11	12	12	12	12	11	10	11	10	10	8	10.9
要介護2	9	11	11	10	10	10	10	11	11	11	11	11	10.5
要介護3	6	6	5	5	4	3	4	3	3	3	3	4	4.1
要介護4	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	0	1.3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
人数	36	36	36	36	36	35	35	35	36	36	36	34	35.6
対入居者割合	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	91.7%	91.7%	91.7%	94.4%	94.4%	94.4%	88.9%	32.78

介護度グラフ



繋がる方が少ない。紹介業者と密に連絡を取り合い、紹介して頂く方を増やす。

○平均年齢は83.7歳となっており、緊急時に備える必要がある。既往歴、現病歴への理解を深め医療面との細かな連携を行う。

・利用前住所別

(2024年3月31日現在)

都道府県	地元市町村	同一圏内市町村							同一圏外	
市町村名	京都府	京都市	宇治市	八幡市	宇治市	宇治市	宇治市	宇治市	宇治市	宇治市
人数	19	2	4	1	1	1	1	1	1	1

都道府県	他府県		
市町村名	京都府	宇治市	宇治市
人数	1	1	1

計 35名

・在宅サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
訪問介護	22	23	21	22	21	22	20	21	21	23	22	21	21.6
通所介護	30	32	33	33	32	30	28	30	30	31	33	31	31.1
ショート利用者数	0	1	2	0	0	1	1	0	1	2	1	1	0.8
福祉用具貸与	18	19	19	19	18	18	17	18	17	20	21	21	18.8
自費ヘルパー利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	70	75	75	74	71	71	66	69	69	76	77	74	72.3
対入居者割合	194.4%	208.3%	208.3%	205.6%	197.2%	197.2%	183.3%	191.7%	191.7%	211.1%	213.9%	205.6%	401.4%

・年齢状況一覧

(2024年3月31日現在)

以上	65	70	75	80	85	90	95	100	合計	構成比	最高	最小	平均
未満	70	75	80	85	90	95	100	105					
男	2	1	0	1	4	0	1	0	9	25.0%	97	68	84.8
女	0	0	2	2	10	11	0	0	25	69.4%	98	79	87.6
合計	2	1	2	3	14	11	1	0	34	94.4%	195	147	86.8
構成比	5.6%	2.8%	5.6%	8.3%	38.9%	30.6%	2.8%	0.0%	-	-	-	-	-

・事務費階層区分(2024年度)

階層区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	対入居者割合(%)
1 1500000以下	25	26	27	27	26	26	25	24	25	26	26	25	22.0%
2 1500001~1600000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
3 1600001~1700000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	2.1%
4 1710001~1800000	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1.2%
5 1800001~1900000	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1.2%
6 1900001~2000000	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	10.2%
7 2000001~2100000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
8 2100001~2200000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9 2200001~2300000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
10 2300001~2400000	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5%
11 2400001~2500000	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1.6%
12 2500001~2600000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
13 2600000以上	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5.8%
夫婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	36	36	36	36	36	36	35	35	36	36	36	35	

・待機者の状況

(2024年3月31日現在)

現居住地	箕面市	吹田市	大阪市	豊中市	茨木市	高槻市	池田市	寝屋川市	摂津市	他府県	計
男	10	1	0	2	0	0	1	0	1	0	15
女	26	2	1	6	0	0	0	0	1	6	42
計	36	3	1	8	0	0	1	0	2	6	57

〈クラブ活動〉(定期的月間行事)

項目	曜日	時間	内容
ラジオ体操	月～土	10:00～10:15	健康増進、身体機能維持を目的とし、VTRを見ながら体を動かす
レクリエーション	不定	13:30～15:30	今年も主に室内で行える、調理レクやお散歩を行った。

〈外来訪問業者〉

- ・訪問歯科・・・毎週月・火 10:30～12:00(かつらぎ歯科)
- ・訪問理容・・・毎月第2水曜 午前中
- ・ヤクルト販売・・・毎週火曜日 11:15～12:00
- ・白洋舎(クリーニング)・・・毎週土曜日 9:30
- ・生協・・・毎週火・水 11:00～

・行事等報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クラブ等	懇談会					懇談会						懇談会
	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科
	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容
	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会
	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売
	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定
	給食懇談会	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
行事	外食レク	外食レク	調理レク	大衆演劇			秋祭り		クリスマス会	餅つき		
										調理レク		

〔概要〕

- ・令和6年8月、9月にコロナウイルスに6名感染し、職員5名全員が時期をずらして感染してしまった。
3名が入院対応となったがADLが落ちてしまい、結果的に退居になった方が2名おられた。
一昨年は軽度のノロウイルスに感染した方が数名おられたが、一昨年来を教訓にし感染対策を強化したためか、一人も感染しなかった。
今後も、感染対応を徹底して、安心して生活できるケアハウスを持続していきたい。
- ・施設内で感染症が流行すると面会制限が設けられるが、家族様に会えないことで不穏になり、認知症の症状が進行してしまう方が毎回おられる。ご家族様に会える事で、身体的にも精神的にも健康を保っている方たちのケア、また面会制限のあり方を考える必要があると感じた。
- ・ここ数年、ケアハウスの高齢化が進むと同時に認知症発症者も増えているため介護サービスを利用する方が増えている。この状況を鑑み、今年度は自立～要介護1までの方を積極的に入居して頂こうと思っている。

令和6年度 事業報告

箕面の郷 給食関係

令和6年度は下記表のとおり給食を実施いたしました故、ご報告いたします。

1, 特養実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和6年4月	1499	1494		1499	4492	98
令和6年5月	1604	1605		1606	4815	103
令和6年6月	1516	1511		1517	4544	100
令和6年7月	1593	1592		1590	4775	104
令和6年8月	1562	1560		1561	4683	99
令和6年9月	1534	1532		1534	4600	98
令和6年10月	1550	1549		1550	4649	98
令和6年11月	1549	1548		1551	4648	101
令和6年12月	1598	1592		1597	4787	105
令和7年1月	1545	1539		1545	4629	101
令和7年2月	1340	1344		1343	4027	91
令和7年3月	1509	1509		1511	4529	96
合計	18399	18375		18404	55178	
平均	1533	1531		1534	4598	99

2, 短期入所実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和6年4月	234	266	36	235	771	82
令和6年5月	328	358	59	330	1075	108
令和6年6月	432	453	44	431	1360	133
令和6年7月	317	329	48	320	1014	80
令和6年8月	399	427	37	404	1267	104
令和6年9月	370	389	44	371	1174	106
令和6年10月	414	429	66	413	1322	123
令和6年11月	391	410	46	394	1241	106
令和6年12月	457	472	60	459	1448	125
令和7年1月	485	504	77	490	1556	116
令和7年2月	435	456	65	437	1393	145
令和7年3月	442	458	58	444	1402	160
合計	4704	4951	640	4728	15023	
平均	392	413	53	394	1252	116

令和6年度 行事食(特養)

令和6年4月	お花見御膳(たけのご飯、鯛の塩焼き、茶碗蒸し、真薯さくらあん、ゼリー)
令和6年5月	端午の節句(お赤飯、天ぷら、筍と真薯の銀あんかけ、抹茶ムース、清汁)
令和6年6月	
令和6年7月	七夕(ちらし寿司、茶碗蒸し、三色そうめん清汁、七夕ゼリー)
令和6年8月	納涼祭
令和6年9月	敬老祝賀会(赤飯、天ぷら、茶碗蒸し、紅白なます、清汁、紅白まんじゅう)
令和6年10月	ハロウィン(かぼちゃプリン)
令和6年11月	
令和6年12月	クリスマス(エビピラフ、フライドチキン、野菜サラダ、コーンスープ、クリスマスデザート)
令和7年1月	お節料理
令和7年2月	節分(巻き寿司、炊き合わせ、いわしつみれの清汁、みかん)
令和7年3月	ひな祭り(ちらし寿司、炊き合わせ、菜の花和え物、茶碗蒸し、ひなあられ)

3, デイサービス実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和6年4月		601	580		1181	118
令和6年5月		624	615		1239	112
令和6年6月		605	595		1200	118
令和6年7月		633	621		1254	112
令和6年8月		589	579		1168	110
令和6年9月		519	507		1026	92
令和6年10月		564	553		1117	103
令和6年11月		539	525		1064	105
令和6年12月		562	552		1114	105
令和7年1月		550	548		1098	111
令和7年2月		502	499		1001	96
令和7年3月		553	550		1103	99
合計		6841	6724		13565	
平均		570	560		1130	107

令和6年度 デイ イベント食

令和6年4月	オムライス
令和6年5月	ぶっかけうどんと助六寿司 (いなり2個・巻きずし3個)
令和6年6月	
令和6年7月	ちらし寿司・冷やしうどん
令和6年8月	夏野菜カレー
令和6年9月	芋煮・炊き込みご飯
令和6年10月	豚汁
令和6年11月	おでん
令和6年12月	ちゃんちゃん焼き(ホイル焼き)
令和7年1月	おせち料理
令和7年2月	ラーメンセット
令和7年3月	助六寿司・うどん

4、ケアハウス実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和6年4月	986	597		950	2533	94
令和6年5月	1053	665		1015	2733	101
令和6年6月	1048	661		1011	2720	111
令和6年7月	1039	656		1001	2696	98
令和6年8月	1040	673		1000	2713	95
令和6年9月	939	643		910	2492	90
令和6年10月	918	595		895	2408	85
令和6年11月	883	569		861	2313	88
令和6年12月	964	646		929	2539	95
令和7年1月	947	663		926	2536	94
令和7年2月	891	618		871	2380	97
令和7年3月	987	683		959	2629	99
合計	11695	7669		11328	30692	
平均	975	639		944	2558	96

5、職員食実数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和6年4月		330			330	94
令和6年5月		336			336	93
令和6年6月		318			318	91
令和6年7月		324			324	95
令和6年8月		338			338	105
令和6年9月		290			290	88
令和6年10月		358			358	108
令和6年11月		348			348	120
令和6年12月		367			367	119
令和7年1月		379			379	124
令和7年2月		278			278	102
令和7年3月		248			248	82
合計		3914			3914	
平均		326			326	102

7,事故報告

令和6年4月	きざみ食の方に普通食を提供してしまった→きざみ食を食数通り盛り付ける
令和6年5月	朝食のパンのジャム忘れ→食札の記載を把握し付け忘れないよう対応する
令和6年6月	牛乳のとりみがダマになっていた→しっかり攪拌しダマがないか確認して提供する
令和6年7月	
令和6年8月	
令和6年9月	
令和6年10月	
令和6年11月	補助食品の提供者間違い→再指導と配膳のチェック強化
令和6年12月	
令和7年1月	小鉢に袋片が入っていた→袋の開封方法を確認し異物混入がないよう確認し提供
令和7年2月	
令和7年3月	

※事故報告考察

食事のジャムつけ忘れなど提供時に気づき提供する分には大きな問題にはならないが、とりみのダマが残っていることや異物混入に関しては誤嚥のリスクが高まることより大きな事故につながる恐れがあるため、確認を怠らずチェック体制を整えていく必要がある。

令和6年度 虐待防止委員会

1. 目的

高齢者虐待防止法、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律では、高齢者を介護している養護者(家族など)による虐待だけでなく、福祉・介護サービス業務の従事者等による虐待の防止についても規定しており、虐待につながる不適切なケアが生じないよう、職員一人一人が介護について正しい知識、技術を身につけるとともに、事業所全体で高齢者虐待をなくす取り組みを進める。さらに、箕面の郷については、昨年度箕面市による虐待通報もあり施設全体で虐待に重き向き合い施設長を中心として施設全体で虐待研修実施してきました。次年度についても、引き続き職員一人一人の意識づけが必要であるため委員会としても定期的研修の実施を進めていく。

令和6年度介護報酬改定

高齢者虐待防止の推進

*利用者の人権の擁護、虐待の防止等をより推進する観点から虐待の発生又はその再発を防止するための措置が講じられてない場合基本報酬減算する。

単位数

高齢者虐待防止措置未実施減算 所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算

算定要件

虐待の発生又はその再発を防止するための措置(虐待発生又はその再発を防止する為委員会の開催 指針の整備 研修の実施 担当者を定めること)が講じられない場合

2. 役割

高齢者虐待防止に基づき、「虐待防止員会」を設置する。

開催について、年2回(5月・10月実施)

1. 高齢者虐待についての指針の確認
2. 高齢者虐待が発生した又は再発防止について委員会開催
3. 研修実施(施設内 外部研修)
4. 日常的ケアを見直し、利用者様に対して人として尊厳のあるケアが行われているかを検討する。

3. 委員会構成メンバー

特養			居宅	看護師	ケアハウス	デイ	ヘルパー
森	昆田	佐伯	竹端	稗田	福島	松本	藤村
西浦	小西	リッキー	前川		垣内	小林	
眞鍋	西田						
前川(節)	眞野						

4. 運営

1. 委員会開催日程及び各事業所よりの議題の確認

↓

2. 委員会開催 令和6年5月7日 10月1日 16時15分より実施予定

↓

3. 議事録の作成

↓

4. 各事業所内で、周知伝達する(議事録の回覧)

研修開催した際は、各事業所の代表者は伝達研修を行う。

5. 年間委員会実施報告

○委員会

		テーマ
5月	14日	虐待防止委員会の意義及び運営方法について
		高齢者虐待防止指針について
10月	2日	高齢者虐待について理解しよう
		昨年度箕面市における虐待通報ケース内容確認

○研修

5月11日 5月21日	5月14日 5月25日	高齢者虐待とは グループワーク実施 76名参加
10月	1日	法人全体虐待研修 53名参加
2月	1日	法人全体虐待研修 アンガーマネジメント 61名参加
1月24日 2月18日 3月1日		虐待研修におけるアンガーマネジメント 72名参加

令和6年度 箕面の郷 感染症・褥創委員会 事業報告書

委員会実施項目

	感染症予防対策委員会	褥瘡予防委員会
5月16日	1、令和6年度箕面の郷感染症・褥瘡委員会事業計画の周知と共有 2、箕面の郷 感染症及び食中毒の予防、蔓延防止のための指針 3、SARAYA感染症Webセミナー	
7月18日	事業計画と指針の共有(褥瘡) 「吐しゃ物の処理の仕方」研修打ち合わせ	事業計画と指針の共有
10月17日	吐しゃ物処理実技 ・インフルエンザ施設内感染予防	
1月16日	ガウンテクニック研修 コロナウイルス研修	褥瘡予防研修

訓練・研修実施項目

	感染症予防対策委員会	褥瘡予防委員会
5月16日	PPE研修(SARAYA,Webセミナー)	
7月18日	「吐しゃ物の処理の仕方」処理研修打ち合わせ企画	
10月17日	吐しゃ物所持実技 手洗いマスター実技 感染対策グッズ各部署、各ユニット在庫確認補充	
1月16日	ガウンテクニック研修	褥瘡予防研修

上記のとおり、5月・7月・10月・1月と研修を実施。

感染対策として、感染予防対策の物品が不足していないか各部署の在庫確認実施。不足している物品の品揃確認と補充実施。感染予防の物品の設置場所や在庫の確認は各部署の感染症対策委員が確認し職員に周知徹底する。尚、ウイルスを持ち込まない、広げないないためにも、日々の感染予防対策を怠らないようにする。

令和6年度 事故対策委員会 実施報告書

令和6年度、事業計画に伴い事故対策委員会の活動について報告いたします。

<月別テーマ>

	テーマ		テーマ
4月	事故対策委員会の役割について	10月	各部署の事故の振り返りについて
5月	研修	11月	研修
6月	各部署の事故の振り返りについて	12月	各部署の事故の振り返りについて
7月	各部署の事故の振り返りについて	1月	各部署の事故の振り返りについて
8月	各部署の事故の振り返りについて	2月	各部署の事故の振り返りについて
9月	各部署の事故の振り返りについて	3月	今年度の事故内容の振り返り

<委員会活動実績>

実施日	テーマ	実施内容
4月8日	事故対策委員会の役割について	当月発生事故の検討
5月13日	リスクマネジメントについて ～ヒヤリハットと介護事故の違い～	研修
6月10日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
7月8日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
8月12日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
9月9日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
10月14日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
11月11日	現場でよくある 不適切なケアについて	研修
12月9日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
1月13日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
2月10日	各部署の事故の振り返り	当月発生事故の検討
3月10日	令6年度の振り返り／令和9年度の運営方法	年度の振り返り

令和6年度は、職員個々のヒヤリハットの意識付けに焦点を置き、伝達研修を通じて

周知徹底を行いました。その結果、令和6年度の事故集計は、

ヒヤリハット210件 介護事故189件 重大事故2件の事故件数となりました。

令和5年度と比較すると遥かにヒヤリハットの数の上回る結果となりました。

令和7年度も引き続き、事故対策委員が中心となってユニット会議等でリスクマネジメントについて発信していき、ヒヤリハットの意識付けを目標に取り組んでいきます。

令和6年度 身体拘束適正化検討委員会実施報告書

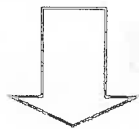
令和6年度、身体拘束適正化検討委員会事業計画書に伴い委員会について報告します。

○委員会

		テーマ
5月	1日	身体拘束適正化検討委員会の意義及び運営方法について 身体的拘束等の適正化のための指針、基本方針について
7月	3日	身体拘束の種類と範囲について 身体的拘束等の報告方法について
10月	2日	身体拘束がもたらす身体的・精神的影響について 身体拘束を行わずにケアを行うために
1月	1日	身体拘束発生時の対応について 身体拘束に関する記録方法について

○研修

5月	1日	身体拘束適正化と虐待防止について
10月	2日	人権研修・ハラスメント研修



○委員会

		テーマ
5月	1日	身体拘束適正化検討委員会の意義及び運営方法について 身体的拘束等の適正化のための指針、基本方針について
7月	3日	身体拘束の種類と範囲について 身体的拘束等の報告方法について
10月	2日	身体拘束がもたらす身体的・精神的影響について 身体拘束を行わずにケアを行うために
1月	15日	身体拘束発生時の対応について 身体拘束に関する記録方法について

○研修

5月	1日	身体拘束適正化と虐待防止について
10月	2日	人権研修・ハラスメント研修

- ・ R6年度から委員会の回数を減らし、研修については虐待防止委員会と一緒に取り組みました。
- ・ 月1回の開催から年4回の開催にする事で、職員も出席しやすくなり、集中して委員会に取り組むことができました。

社会福祉法人 三養福祉会

檀原の郷

令和6年度 事業報告書

- 1、特別養護老人ホーム（各委員会）
- 2、短期入所生活介護
- 3、グループホーム
- 4、デイサービスセンター
- 5、リハビリデイサービス
- 6、居宅介護支援事業所
- 7、事業所内保育所 わくわく保育園

特別養護老人ホーム 樫原の郷 全体 令和6年度統計

令和6年度(R6年4月1日～R6年9月30日)

令和6年度(R6年10月1日～R7年3月31日)

定員：特別養護老

定員：特別養護老人ホーム119名 短期入所15名

44

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月平均		10月	11月	12月	1月	2月	3月	10~3月平均	合計	月平均
定数	3570	3689	3570	3689	3689	3570		定数	3689	3570	3689	3689	3332	3689		43435	
入居実数月累計	3555	3669	3553	3647	3593	3462		入居実数月累計	3668	3559	3668	3678	3332	3686		43070	
在籍空床累計	15	20	17	42	96	108	49.7	在籍空床累計	21	11	21	11	0	3	11.2	365	15.9
在籍者1日平均	118.50	118.35	118.43	117.65	115.90	115.40	117.4	在籍者1日平均	118.32	118.63	118.32	118.65	119.00	118.90	118.6		118.0
入居→介護へ入居	95	101	200	196	69	101	127.0	入居→介護へ入居	225	232	165	238	169	180	201.5	1971	164.3
入居退し引く人数	3460	3568	3353	3451	3524	3361		入居退し引く人数	3443	3327	3503	3440	3163	3506		41099	
入居退し引く1日平均	115.3	115.1	111.8	111.3	113.7	112.0	113.2	入居退し引く1日平均	111.1	110.9	113.0	111.0	113.0	113.1	112.0		112.6
1日当たり入居者平均	3.17	3.26	6.67	6.32	2.23	3.37	4.2	1日当たり入居者平均	7.26	7.73	5.32	7.68	6.04	5.81	6.6		5.4
1日当たり退居者平均	3.08%	3.28%	6.08%	6.45%	4.47%	5.85%	4.87%	1日当たり退居者平均	6.67%	6.81%	5.04%	6.75%	5.07%	4.96%	5.88%		5.38%
新規入所者数	2	2	2	4	4	7	3.5	新規入所者数	5	4	6	5	2	4	4.3	47	3.9
退所者(内死亡者)	2(2)	2(0)	4(2)	7(4)	5(1)	2(2)	3.7(1.8)	退所者(内死亡者)	4(2)	5(1)	5(4)	5(4)	2(2)	4(3)	4.2(2.7)	47(27)	3.9(2.3)
平均入所率	99.6%	99.5%	99.5%	98.9%	97.4%	97.0%	98.63%	平均入所率	99.4%	99.7%	99.4%	99.7%	100.0%	99.9%	99.70%		99.56%
3日間入所率≧入居	263	332	345	250	268	249	284.5	3日間入所率≧入居	236	272	329	340	347	398	320.3	3629	302.4
介護小退所 定数	4020	4154	4020	4154	4154	4020	4087.0	介護小退所 定数	4154	4020	4154	4154	3752	4154	4084.7	48910	
月当たり在籍者数	3723	3900	3698	3701	3792	3610	3737.3	月当たり在籍者数	3679	3599	3832	3780	3510	3904	3717.3	44728	3727.3
1日当たり在籍者数	124.10	125.81	123.27	119.39	122.32	120.33	122.5	1日当たり在籍者数	118.68	119.97	123.61	121.94	125.36	125.94	122.6		122.6
退所率(特十)	93%	94%	92%	89%	91%	90%	91.44%	退所率(特十)	89%	90%	92%	91%	94%	94%	91.48%		91.46%
入所者介護度平均	3.66	3.62	3.64	3.59	3.59	3.62	3.62	入所者介護度平均	3.64	3.62	3.62	3.59	3.56	3.56	3.60		3.61
要介護(1)	2	2	2	2	2	2	2.0	要介護(1)	2	2	2	2	2	2	2.0		
要介護(2)	5	6	6	7	7	7	6.3	要介護(2)	7	8	8	8	9	9	8.2		
要介護(3)	45	46	43	44	44	44	44.3	要介護(3)	43	43	43	46	46	46	44.5		
要介護(4)	47	46	48	44	44	46	45.8	要介護(4)	47	45	45	44	44	44	44.8		
要介護(5)	20	19	19	17	17	19	18.5	要介護(5)	20	20	20	19	18	18	19.2		
合計	119	119	118	114	114	118	117.0	合計	119	118	118	119	119	119	118.7	1414	117.8
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
外出数	1	1	0	0	0	0	0.3	外出数	0	1	1	6	0	1	1.5	11	0.9
通院者数	33	20	19	19	23	27	23.5	通院者数	32	33	33	33	30	32	32.2	334	27.8
面会者数	379	405	304	234	17	371	285.0	面会者数	349	420	504	393	389	449	417.3	4214	351.2
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0

特別養護老人ホーム 橿原の郷 全体
令和6年度 利用者別状況表(R7年4月1日現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別		保険者別	住所地別
橿原市	77	81	吉野町	1	1
香芝市	1	1	広陵町	2	2
大和高田市	5	5	川西町	1	1
葛城市	1	1	天川村	3	3
桜井市	3	3	曾爾村	1	1
奈良市	3	3	東吉野村	1	1
大和郡山市	1	1	大阪市	3	2
御所市	1	1	松原市	1	1
田原本町	9	8	京田辺市	1	1
下市町	1	1	宝塚市	1	0
高取町	1	1	和歌山市	1	0
計				119	119

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	20	99	119
平均年齢	86.5	88.8	87.7
最高年齢	96	108	
最低年齢	65	75	

③障害老人の日常生活自立度

寝たきり度	人数
軽度	J1 0
	J2 0
中度	A1 11
	A2 17
重度	B1 14
	B2 60
最重度	C1 5
	C2 12
合計	119

④認知性老人の日常生活自立度

レベル	人数
なし	5
軽度	I 7
	IIa 19
	IIb 6
中度	IIIa 59
	IIIb 7
重度	IV 15
	M 1
合計	119

⑤日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	31	48	40	119
食事	73	27	19	119
排泄	14	45	60	119
入浴	0	47	72	119

⑥オムツ使用者状況

	人数
なし	41
夜間	30
常時	48
合計	119

1、特別養護老人ホーム 檀原の郷

(総評)

○運営状況について

令和6年度の平均入居率は99.16%となり、令和5年度の99.56%と比較し微減した。

要因としては、入院がほぼ倍増したことと、短期間に退居者が集中し、またその状態が数カ月続いたことにより、空床が多く出たためと考えられる。

6月～8月と11月～1月が特に退居が多かったが、10月以降に入居申し込みが増加したため、下半期は空床自体は少なかった。

その他、令和6年度は下記のような特徴がみられた。

【入院の状況】

入院延べ人数・・・1,971人(R5年度 1,062人)

平均、1日5.4人入院(R5年度 2.9人)

入院者実数・・・92人(R5年度 63人)

平均、1人あたり22.9日(R5年度 16.9日)

前年度より、入院延べ人数、入院者実数ともに、大きく増加している。

入居者の重度化により、入院が多くなったことに加えて、治療に時間がかかり、またリハビリにも時間がかかったため、入院日数も増加したと考えられる。

【平均年齢】

R6年度 平均87.7歳 最低年齢 65歳 最高年齢 108歳

R5年度 平均88.7歳 最低年齢 64歳 最高年齢 107歳

※特に大きく変わりなし。

【平均介護度】

R4年度 3.61

R5年度 3.63

※ 平均介護度は、R5年度と大きく変化ないが、特例入所の人数が6名(新規入居の方3名、更新により特例入居の方3名)となり、若干の低下あり。

【入退居の状況】

○退居者数【 47名 】： R5年度 47名

(内訳) 逝去 25名 長期入院 21名 他施設入居 1名
(R5年度 逝去 23名 長期入院 13名)

檀原の郷開設以降最多の退所人数となった。

○新規入居者数【 47名 】

○新規入居者の入居前状況

R6年度 在宅16名 病院17名 施設等14名

(R5年度 在宅12名 病院24名 施設等11名)

※入居前状況は、昨年度と病院が最多は変わらないが、比率は

他とほぼ横ばいとなった。病院からの紹介が減少したというよりは、在宅からや老健からの入居が増加した印象である。
特に、年末辺りから、老健からの入居者が増加しだした。

○営業活動について

前年度に引き続き、主に病院と居宅介護支援事業所に対して、訪問や電話、文書による営業活動を、定期的・継続的に行った。今後も継続的に行っていく。老健からの入居が増加したこともあり、年末からは老健に対しても積極的に営業活動行っている。

また、以前から交流のある病院や老健の相談員が、橿原の郷を勧めて下さっている。
居宅介護支援事業所でも、友好的な関係を築けている為、ケアマネから家族様に対して橿原の郷を薦めてくださっている方がおられる。今後も良好な関係を継続していく。

○人材育成について

⇒勉強会や研修等は、オンラインと対面式と混合で行う。

(研修内容)

※ステップアップ委員会報告書参照

⇒各ユニットごとに介護技術・知識の勉強会の開催。

(勉強会の実施内容)

- | |
|--------------|
| ①身体拘束について |
| ②高齢者虐待予防について |

○感染症について

- ①アルコールでの職員、利用者様の手指の消毒、うがいの徹底
- ②感染症予防に関する啓発ポスターの掲示
- ③フロア内の消毒と定時の換気を徹底
- ④感染症勉強会の実施及び感染症に関する研修会への参加
- ⑤感染症対策物品を各ユニットに完備
- ⑥職員、面会者のマスク着用と消毒を義務化する
- ⑦看護師、医師との速やかな連携
- ⑧体調不良の職員は、仕事を休み、すぐに受診する。

→橿原の郷において、新型コロナウイルス感染は複数回あったが、いずれも数人程度で収まり、約1か月以内に全面解除できる程度の拡がりであった。

○リスクマネジメントについて

【報告書件数(内訳)】

- ・骨折 11件 (R5年度 10件)
- ・転倒、転落 125件 (R5年度 197件)
- ・落薬、服薬ミス、配薬ミス 44件 (R5年度 35件)

【ヒヤリハット報告書件数】

651件 (R5年度 596件)

・転倒、転落件数は、約4割減少している。入居者の重度化により、一人で動くことができる方が少なくなり、転倒の件数が減少したのではないかと考える。
しかし、骨折の件数は微増している。主に大腿骨頸部骨折や大腿骨転子部骨折が多く、退院後からは車イス使用の方が増えている。

令和6年度 QC委員会(運営計画書)報告書

報告者:特養主任

【今年度の活動内容】

●ユニット年間予定表の作成、実施

年度初めに、ユニットリーダーが年間の予定表を作成し担当職員を割り振った。
感染症予防対策を実施し、全館・各フロア(ユニット)にてレクを実施した。

●出納帳の作成

実施した企画ごとに、必要事項(店名や金額)を記入。
毎月27日ユニットリーダーが確認押印後、事務主任に提出。

●コロナウイルス(インフルエンザ)に対する対策

- ・年間を通しての換気や消毒実施。
- ・マスクの常時装着。必要に応じて看護師共相談し、使用するマスクの種類検討も実施。
- ・利用者様への直接介助時、食事・おやつ介助、口腔ケア時はフェイスシールド着用。
- ・緊急用感染症キットを作り、静養室での管理。感染症発生時はキットを全てフロアへ動かし、新しく感染症キットを組み直す。
- ・新型コロナウイルス(インフルエンザ)に感染したフロアへの人員確保、協力態勢、連絡を密にとり、現状の把握や必要物品を配布。
- ・医務、感染症委員会で啓発、指導を行った。
- ・外部より講師の方に来ていただき、感染症についての勉強会も実施した。

●新人職員指導

外国人職員を始め、指導を担当とする職員と連携し、講習や現場での指導を行った。
今年度より、数名の外国人職員への業務追加として委員会の参加・居室担当の配置を実施。
少しずつ新しい業務を追加指導していくこととなった。

【反省と今後の課題】

- ・レクを積極的に実施するユニットと、あまりやらないユニットに差があった、もう少し主任からも促しが必要であった。
- ・コロナウイルスのみの感染ではなく、インフルエンザ・疥癬と感染症が多くあった。
ここ数年コロナウイルスにとらわれ過ぎた為、その他の感染症対策を忘れてしまう事があった。
その為、各感染症のマニュアル等の作成も今後の課題と考える。
- ・外国人職員の増加により、伝達が上手くいかない事があった。
指導部・各フロアでの指導強化行い、各職員のレベルアップをはかる。

【来年度の目標】

- ・看護師、感染症委員と連携して、定期的な感染対応の講習を行っていく。

STEPUP勉強会の年間予定にも組み込み、全部署対象に行う。

- ・どのフロア、どのユニットにも新人を配属できるように、指導者の育成について担当者と話し合う場を設ける、また、既存の職員にはお手本となるように注意喚起行う。

- ・施設内だけでの生活を余儀なくされている利用者様に、少しでも明るい気持ちになってもらえるような、レクや取り組みを個々人に投げかけるだけではなく、主任、ユニットリーダーを中心にフロア全体で模索し、行動に移していく。

- ・研修などを通して学習した内容を、現場におろすことができていない、認知症や新人指導、ユニット運営など、業務に深く関わる内容になっている為、全職員が周知できる方法を構築していく。

令和6年度 ステップアップ委員会 報告書

報告者:特養主任

【今年度の活動】

4月	倫理	叶施設長
5月	感染症	看護師
6月	口腔ケア指導 BCP	歯科衛生士 島原副施設長
7月	ターミナルケア	オンライン
8月	身体拘束	主任
9月	褥瘡予防	オンライン
10月	高齢者虐待	オンライン
11月	感染症・BCP	外部看護師(土庫病院)
1月	周辺症状を理解しての リスクマネジメント	リスマネ委員
2月	認知症	グループホーム
2月	口腔衛生	歯科・相談員
3月	ポジショニング	リハデイ

【入職時研修内容】

日程	内容	担当
随時	・身体拘束 ・感染症 ・業務継続計画(BCP) ・事故防止 ・虐待	指導部
採用後 1年以内	認知症介護基礎研修	副施設長

・新型コロナウイルス感染防止の為、昨年同様、勉強会を書面・オンラインで実施したが、感染状況見ながら、対面や実地講習も行った。

【反省と来年度の目標】

- ・昨年に比べてオンライン講習を閲覧し、感想を送信した職員の数が増加傾向であった。しかし、提出が期限ギリギリではあった。

余裕をもって閲覧できるような工夫が必要である。

今年も業務内に閲覧できるような調整ができず、確実に参加できるよう構築できなかった。

- ・勉強会に関しては、内容がマンネリ化してきている為、外部からの研修や、担当者、内容を考える必要がある。

- ・リーダー会議で、高齢者虐待、身体拘束、感染に関しての研修を行っているが、議事録閲覧が特養主任のみになっている為、全職員が確認できるようにしていく。

令和6年度 ケアプラン委員会 報告書

報告者:杉本UL・小山UL・松岡

今年度の活動

- ・毎月、各フロアごとにケアマネージャー、管理栄養士、各フロアのケアプラン委員、看護師にてサービス担当者会議を実施。

ご利用者様の転倒事故や入院、状態に大きな変化が見られた場合はその都度サービス担当者会議を実施した。

- ・毎月、該当の利用者様のサービス担当者会議を実施し、そのための資料作成と1ヶ月評価、3ヶ月評価などの確認をケアプラン委員が行い、修正が必要な場合は居室担当の職員への説明後に修正を依頼し、再度確認を行った。
入力箇所を間違えていた場合は、なぜこの箇所に入力するのかの理由も含めて説明し修正を依頼した。

- ・バーサルインデックスの入力について

本年度より、3月、6月、9月、12月に入力する事となり、各フロアにて入力を実施した。
ロングショートの利用者様が特養入居となった際の入力については移動前のフロア職員にて漏れなく実施した。

また、利用者様の入院、退院に絡む入力についても、入院期間を確認の上各フロアの委員会職員から入力依頼を行い、実施できていた。

- ・新規の委員会職員には、各職員にて入力してもらった1ヶ月・3ヶ月評価の確認、更新されたフェイスシートの確認、各利用者様のサービス担当者会議や3ヶ月評価の実施月を確認するカウント表の見方や更新、サービス担当者会議実施時の報告方法についての説明を実施した。

1ヶ月・3か月評価の確認については、絆のケアプラン照会画面やカウント表を見ながら正しい入力箇所がどこになるのかを見る必要がある旨の説明を行った。

- ・本年度より外国人職員も居室担当を持つこととなり、1ヶ月評価、3ヶ月評価の入力方法やサービス担当者会議に向けての資料作成の手順の説明をケアプラン委員より実施。
言葉の使い方や入力方法など、不備などあれば都度説明を行った。
取り組みにおいて、特に文章を作ることが難しい様子であった為、一緒に付き添って考えた。

- ・サービス担当者会議の開催日をシフトが出てから決めていたので業務時間外になることが多く、相談員からできるだけ業務時間内に行うよう指示があったので、フロア主任、ケアマネージャーと相談し業務時間内に開催できるよう調整した。

今後の課題・反省

- ・ケアマネージャーより、1ヶ月評価、3ヶ月評価の入力内容が毎月同じもしくは内容が薄いとの指摘があり。

各フロアのケアプラン委員が再度、入力内容を確認し必要な箇所の修正と担当職員への再度の説明を行った。

- ・昨年に続いてであるが、委員会職員の入れ替えがあったフロアでの業務の引き継ぎができていない部分があった。
具体的には利用者様のケースファイルの整理方法(各書類を綴じる箇所)が誤っていたりサービス担当者会議や3ヶ月評価の実施月を確認するカウント表の見方や更新の方法が分からず、月初に正しい入力や資料作成の依頼ができなかったことがあった。
- ・昨年度よりフェイスシートを入院時の介護サマリーとしても使用しているが、内容の更新ができておらず急に入院となった際に慌てて更新することがあった。
- ・かかりつけの病院がある利用者様の救急搬送時、その病院を希望されていることを把握しておらず別の病院に搬送され、家族様から苦情を頂いたことがあった。

来年度の課題・目標

- ・1ヶ月評価/3ヶ月評価の入力について
その期間に各利用者様がどういった状態であったのか、何か変わったことはなかったか熟考し、内容を充実させるよう入力担当職員への指導と確認を行う。
ケアプラン委員会メンバー自身も上記を念頭に置いて入力する。
また、サービス内容がその時の当該利用者様に即したものであるかを評価し、異なる場合は担当ケアマネージャーに報告、サービス担当者会議を実施し内容の変更をして頂く。
- ・新しく居室担当を持つことになる職員、委員会メンバーの入れ替えに伴う引継ぎについて
毎年の課題ではあるが、初めて居室担当の業務を行う際は特に難しく感じる職員が多く、より分かりやすく指導を行う必要がある。来年度以降も今年度と同様に外国人職員へ居室担当を持ってもらうことが増えると予想され、1回の説明後にすぐに1人で取り組んでもらうのではなく、暫くの間は取り組み時に委員会職員が付き添って指導を行い、流れを理解し慣れてもらうようにしていく。
委員会メンバーが入れ替わる場合はケアプラン委員の仕事内容、その時の業務状況をしっかりと伝達し滞りなく業務ができるよう配慮する。
- ・フェイスシートの更新とケースファイルの整理について
各利用者様の現在の状態が最新のフェイスシート上にしっかり記載されているようにする為変更点や新しい情報は都度入力、更新していくよう努める。
かかりつけの病院がある利用者様の場合は必ず反映させておく。
ケースファイルに綴じている書類はどの職員が見ても分かるように順番が決まっている為こまめに確認し正しく整理するようにする。

令和6年度 リスクマネジメント委員会 報告書

報告者:萩原主任、南UL、巽UL、森田、松本卑
島澤、松本博、松浦

令和6年 1月 ～ 令和6年 12月までのヒヤリハット 統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本館2階	24	15	20	16	23	15	21	18	11	32	19	15
本館3階	18	5	5	6	14	4	10	9	15	11	6	8
別館1階	5	7	5	3	11	1	5	1	3	3	1	3
別館2階	22	28	30	13	12	9	11	7	13	10	7	6
別館3階	2	7	11	12	5	8	8	14	5	10	5	7
合計	71	62	71	50	65	37	55	49	47	67	38	39

令和6年 1月 ～ 令和6年 12月までの事故件数 統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本館2階	4	3	3	2	6	1	3	5	6	0	4	7
本館3階	10	6	5	9	9	4	8	3	5	8	4	5
別館1階	7	3	1	3	2	2	2	5	4	5	0	2
別館2階	3	1	5	5	1	1	4	2	1	4	2	4
別館3階	3	4	2	3	2	4	3	3	2	3	4	2
合計	27	17	16	22	20	12	20	18	18	20	14	20

事故件数 内訳

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
転倒	19	13	10	14	13	7	8	9	7	10	10	12
薬	3	4	5	2	4	2	6	5	8	4	0	1
他	5	0	1	6	3	3	6	4	3	6	4	7
救急搬送	9	7	2	6	3	9	6	2	7	12	10	8
合計	36	24	18	28	23	21	26	20	25	32	24	28

今年度の活動報告

- ・ 今年度、1月にSTEP UP勉強会を開催した。
テーマは【各認知症の「周辺症状」と「中核症状」について】として、委員会で用意した資料を基に勉強会を行った。症状に合わせたリスクマネジメントに取り組めるよう、各認知症に伴う症状と違い、対応方法への理解を深めた。
- ・ 新型コロナが第5類に分類された事により、面会が解禁された。それに伴い、
家人様が利用者様の移乗介助を行い、バルーンの抜去に繋がりそうになるという
ヒヤリ・ハットや、臥床しておられる利用者様におやつを提供しようとしておられたりという

ヒヤリ・ハットが発生したりと、コロナ禍にはなかったリスクが増えた。
コロナ禍以降に就職した職員も増えている為、これまでとは違ったリスクが高くなっている事を全体にて共有した。また家人様にも、利用者様の安全と安心の為、何かご希望される際は、気兼ねなく職員にお声掛けして頂く様、促しを行った。

- ・ 夜間の緊急時の対応の為、「夜勤リーダー」という担当が割り振られ、専用のPHSを持ち歩く事になった。緊急時にはまず、夜勤リーダーへ報告という対応で統一する事により、報告や対応の遅れを減少させる事に繋がっている。
また、ちょっとした異変、異常が発生した際や、緊急の対応を終えた際にも、夜勤リーダーへ報告をする事により、個人での判断のみで対応する事無く、職員自身が安心して対応を行う事が出来る様になった。
- ・ 職員が食事介助を行っている際に、喉詰めされ心肺停止、その後蘇生されICUに入院されるという重大な事故が発生した。原因として、事故までの数日間、嚥下機能の低下やムセが見られていたにも関わらず、食事形態の見直しや変更が行われていなかったという事、当日の朝にもムセが見られていたが、早出職員から遅出職員への申し送りが甘く、具体的な状態が共有出来ておらず、通常のスプーンいっぱいに食事をすくい提供してしまっていたという事が挙げられた。対策として、利用者様の体調、昨日全般のこまめな観察、介助時の些細な異変を見逃さない様にした上で、細やかな申し送りを行い、職員間での認識が必ず統一される様、お互いに確認を行う事、また、変化が見られた際、食事形態や水分のトロミの量の変更についての見直しの検討を早急に行う様に、全体へ啓発を行った。

今年度の目標の振り返り

- ・ 大きな事故が発生し、委員会にて対策案を考え、再発のないよう事故防止に繋げて行く為に、リスクマネジメント委員会の会議毎に、考えた対策案を実施しての経過報告、見直し、修正や確認を行い、施設全体の事故防止に向けての統一の継続性を図っていく。また、時間経過と共に忘れたり、抜けていくことの発生を防ぐ為に、各ユニット会議でも対策案の見直しの報告を行う。
→大きな事故や繰り返し起こってしまった事故に対しての対策案を委員会で話し合い、その対策を実施後に再度見直しをするという形で、委員会全体でPDCAサイクルを機能させることで対策の精度を高める事ができ、事故の再発や他フロアでの同様の事故の予防に努める事が出来た。
また、各ユニット会議でも対策案の見直しの報告を行い、特養全体に注意喚起した。
- ・ 事故発生時の初期対応、判断力が全職員対応できるようにする必要がある。個々のスキルアップ、自己啓発がしっかりとできるよう、ヒヤリハットから事故に繋がるかもしれない危険リスクへの気付き、事故が発生する前の状況や情報共有できる職員との連携、申し送りの内容の重要さと正確さ、を各主任、委員会より発信していき、施設全体のレベルアップを図っていく。

→利用者様の体調や機能全般のこまめな観察、介助時の些細な異変など、申し送りを基本とする情報共有を確実にし、会議や話し合いの場だけでなく、日常の見直しをスピード感を持って行うこと、その積み重ねが事故防止に繋がる為、そういった意識を日頃から持って欲しいと委員会から特養全体に発信した。

- ・ 報告書の正しい記載の仕方、申し送りを正確に伝達できる力を身につけるため、今年度のSTEP・UP勉強会で行った知識を職員全体に広げ、誰もが情報共有し利用者様に対して、同じ介護ができるよう施設全体の統一を行っていく。

→報告書が正しく記載できているか、事故に対しての対策が適切かどうか、曖昧な表現ではなく出来るだけ具体的且つ、実施可能な対策の立案が出来ているかなど、委員会メンバーが中心となってチェックを行い、正しく記載できていない箇所に関しては直接指導を行った。

今後の課題・反省点

- ・ 転倒や薬、その他の事故全てにおいて、後に見直せば防げる事故が多数あった。決して見守りをおろそかにしている訳ではないが、利用者様に対しての観察力や注意力が掛けたり、過信や油断をした際に事故は起こりやすくなっている。同じ事故を起こさないよう、1件でも事故を無くすよう、職員全体が情報を把握し正確な報連相や申し送りを意識付け、事故軽減に繋げることが必要である。リスマネ会議での様々な内容を議事録だけではなく、フロアやユニットでの話し合いの場で生かせる工夫や、周知の徹底を図らなければならない。

- ・ 利用者様の見守りや巡回に努めてはいるが、日常的にもっと細やかな観察に尽力することが重要である。誤嚥や喉詰り、転倒事故は必ずしも職員の目の前で起きるとは限らない。現場を離れる時は勿論のこと、利用者様が居室で過ごされている際の行動や動線にも細心の配慮や予測が必要となる。骨折事故に至っては、利用者様単独で起こされ、事後に判明するケースもあるので身体状況や体調の観察や確認・情報の共有や対策を常に行うよう努める。

来年度の目標

- ・ 大けがに繋がる様な事故が発生し、リスクマネジメント委員会で予防策であったり、対策を話し合い、再発のないよう事故防止に努めていきたい。リスクマネジメント委員会の会議毎に、考えた対策案を実施してどうであったかを報告し、全フロアの事故防止に向けての統一の継続性を図っていく。また、日にちが経つにつれ、転倒への意識も遠くなる為、ユニットに入る際に気を引き締め、業務に当たる。
- ・ 事故が起こった時の対応や何をすべきかを考え、全職員対応できるようにする必要がある。全職員が迅速に正しい対応をして頂ける様に全フロアに啓発を行っていく。また、事故に繋がりそうなヒヤリは事故が発生する前の状況や情報共有できる職員との連携、申し送りの

内容の重要さと報告漏れが無い様にしていく。上記の事を各主任、委員会より発信していく。

- ・ 報告書の記入場所が職員によって違う事がある。(2人で移乗を行う、〇〇を処置して頂く等)
全職員が正しく記入できるようにリスマネ委員が先頭に立って対応していく。
また、正しく記入する事で他の職員から他の職員へ記入方法を教え合う事が出来る為、
全フロアレベルアップにも繋がる。

令和6年度 苦情処理委員会報告書

報告者:松本主任、梶田、畑中

【今年度の苦情・要望・相談・SS忘れ物報告書件数】

◎苦情 …17件	12月までの件数 1月分は後日入力します。
◎要望 …33件	
◎相談 …2件	
◎その他 …1件	
◎SS忘れ物報告書…8件	計61件

【今年度の活動】

- ①苦情の発生を防ぐ為に注意喚起及び再発防止への取り組み。
苦情について注意喚起や再発防止を行う為に過去の事例を参考にしながら苦情の発生内容を精査しその苦情を基に今後起こり得る様な事柄をピックアップし3回(3ヶ月)に渡りユニット会議で話し合ってもらいながら啓発を行う。
ピックアップした内容をユニット会議で話し合う事で職員の意識向上が見られると報告を受けるが変わらないとの声も有る。
また、苦情が発生した内容を選さし今後もユニット会議で話し合ってもらう事となる。
- ②ショートステイの忘れ物が何故発生するのかその原因を探る。
ショートステイの忘れ物が何故行ってしまうのか調べてみると、その原因の殆どが職員間の伝達不足やうっかりミスによるものが大半を占めていた。
また他所のショートフロア閉鎖に伴い入退の利用者様が一カ所集中した事で多忙とユニット業務も平行して行っている事から体勢も整わず発生してしまったと考えられそこで改めて業務内容の見直しが必要とされ改善が図られる。
主任を中心に業務内容の改善や職員の意識の向上を行った事で職員間のミスも減担当職員1人1人の努力によって忘れ物は減少傾向になる。
また、ショート会議のテーマとして忘れ物防止の取り組みが加えられる。
- ③苦情等を絆に入力出来る様にする。
苦情等を絆へ入力する際に決まり事が無く其々が異なる形で絆入力を行っている事から絆への入力時や検索確認を行う際などに、容易に行えるように出来ないかと意見あり。
苦情・要望・相談・その他の4項目を情報入力が行える様に出来ないか確認した結果R6年8月1日より絆への入力が設定され入力可能となる。設定以降は入力を実施される。
ショートステイの忘れ物については従来通りショート日誌にて入力を行う事となる。

【反省と課題】

苦情会議の進行にあたり報告書の読み合わせを行い発生した内容を話し合っていました。松田主任相談員より会議の有り方の見直しが必要ではと指摘があった。また、その後の会議に於いても的確なアドバイスを頂く事で苦情委員会として取り組む事を考えながら進める事が出来たと考えます。

今後は、各フロアで取り組んで頂いた事が継続的に行われているかの確認を行うと共に今以上に苦情等を無くす為の注意喚起等に取り組む必要有ると考えます。

【来年度の目標】

苦情については苦情としての明確な事と分かりますが、要望・相談はそれぞれの捉え方で変わってしまい何が要望で何が相談で何が依頼なのかの意見が分かります。

要望・相談と依頼についての違いを具体的な内容を基に、基準的な事を表記していき判断が容易になる様にしていく。

苦情については引き続き注意喚起を継続して行っていく。

忘れ物については、職員の意識向上を図りながら継続して取り組む。

令和6年度 広報委員会報告書

報告者: 中・井上・田中

【今年度の活動】

* 令和6年度こもれび新聞

・年に4回の郷新聞『こもれび』の発行(6月、8月、11月、2月)

新聞を発行する前に、各部署(特養・GH・居宅・デイ・リハデイ・保育)の広報委員が集まり、掲載内容や担当記事を決めていった。そして締め切り日までに各部署が写真等を保存し、編集担当者が1つの新聞になるように編集を行った。その後、島原副施設長に確認してもらい必要に応じて修正を行った。1月の会議にて来年度分の発行月と編集担当を決

令和7年度 こもれび新聞年間計画

発行月	編集担当	会議(17時～)
6 月	リハデイ	5/6(火) 5/20(火)締め切り 5/27(火)最終確認
8 月	GH	7/1(火) 7/15(火)締め切り 7/22(火)最終確認
10 月	デイ	9/2(火) 9/16(火)締め切り 9/23(火)最終確認
2 月	特養	1/6(火) 1/20(火)締め切り 1/27(火)最終確認

*状況次第で変更の可能性あり

令和6年度 ひまわり新聞年間計画

・年3回特養新聞(ひまわり)の発行(5月、11月、1月)

新聞発行前に、各フロアの広報委員が集まり、掲載内容、担当記事を決め締め切り日までに担当者がフォルダーに記事を入力し、編集担当者が一つの新聞になるよう編集を行った。その後、島原統括主任に確認して頂き、修正を行った。また、1月の特養広報委員会会議にて、来年度分の発行月、年間計画、編集担当を決めた。

令和7年度 ひまわり新聞年間計画

発行月	編集担当	会議(16時～)
5 月	本館2階	4/8(火) (5/1発行) 4/22(火)締め切り 4/29(火)最終確認
9 月	本館3階	8/5(火) (9/1発行) 8/19(火)締め切り 8/26最終確認
1 月	全体	12/9(火) (1/5発行) 12/23(火)締め切り 12/29(月)最終確認

*状況次第で変更の可能性あり

【今年度の反省・今後の課題・来年度の目標】

～こもれび新聞～

新型コロナウイルス等、感染症の影響もだいぶ落ち着き、少しずつ外出レクなどのレクリエーションが増えてきており以前のようにA3、2ページでの掲載が出来るようになった。
今後は「行事」と「日常」の様子をメインにしながら記載内容を広げていきたい。
また、日常の様子も今後記載していく事で、外部の方にも施設の様子を知ってもらえるように工夫していきたい。

～ひまわり新聞～

まだまだ大きな行事は行えていないが、各階などでの食事レクなど、以前のようなレクリエーションが行えるようになってきている。掲載内容も「日常」と「行事」の2つを掲載できるようになってきた。今後も様子を見ながら掲載をしていきたい。

全体

担当職員が新聞編集に慣れておらず、発行日が予定よりも数日遅れてしまうことがあった。
こまめに連絡を取り、協力体制が取れるように対応していく。

写真については、今年度は昨年のように写真が取れていないことは無く、レクの前に周知することで写真を撮ってもらえていた。今後も引き続き対応していく。

写真掲載可能かどうかの表も、上半期はうまく対応していたが、下半期にかけて更新が間に合わなくなっていってしまった。定期的に更新月を決めるなどして対応していきたい。

令和6年度 物品委員会報告書

報告者:原主任・前田UL・杉本UL・山崎・
太田・ターナン・赤滝

【今年度の活動】

・センサーマット、L字柵の管理

備品委員会フォルダ内のエクセルシートにてセンサーマットとL字柵の数や、使用場所、保管場所の管理を行った。

・車椅子の管理

台数のバランスなどを把握する為、定期的に各フロアの車椅子使用状況を調べた。

・物品の管理

物品ファイルの紙の補充

【今年度の活動に対する反省と今後の課題】

・変更の更新ができていない時があり、L字柵・センサーマットの設置・保管してある数と、パソコン上の数と利用者様の名前が合っていなかった。

漏れなく更新することが今後の課題である。

・L字柵、センサーマットに関しては、特養分、SS分をきちんと分別していくとともに、使用者の見直しや、また継続して必要なかの更新を随時していく。

・車椅子の管理方法の統一、徹底ができていなかった、空気がなく使い続けることでパンクに繋がったり、掃除についても徹底できるよう各フロアの主任と相談し、調整していく。

【来年度の目標】

・修理や物品関係は各フロアで補えており、備品委員として関わらずとも成立している為、委員会としての在り方を検討する必要がある。

まずは主任会議で話し合っていく予定。

・各フロアで修理の処理を行っている為、備品委員の職員が現状管理、把握できていない担当の事務員と相談して、把握できる方法を模索していく。

令和6年度 褥瘡・感染症予防委員会報告書

●感染症委員

【本年度の活動】

・コロナ感染者が判明した時点で使用できるように、必要な物品を、本館2階静養室にまとめて置いている。

(管理は特養主任であるが、持ち上がりは感染者確認時にフロア職員で行う)

・手洗い、うがい、ガウンの着脱方法などの注意喚起を定期的に書面で行った。

・看護師とともに感染症の勉強会の実施

※今年は土庫病院看護師が外部から来られ実施

【反省点と来年度の課題、目標】

・コロナ、インフルエンザなどの感染確認時にどう動くべきなのか、蔓延させないようにするにはどうすべきなのかを、分かっている職員と分かっていない職員がいる。

お互いに教え合う、声を掛け合えるように、主任、リーダーと連携をとって取り組む必要がある。

・今年度もコロナ感染者、インフルエンザ感染者、疥癬の蔓延と各フロアで対応したが、主任が出勤していなくても、栄養士や看護師と連携をとって、対応の変更や決定が誰でもスムーズにできるように、発信していく必要がある。

・現在ほとんどのフロアにESBL保菌者が入居されている状態で、ある程度の対応方法は共有されているが、ばらつきも見られる。

ESBL、CD腸炎のマニュアル作成が急がれる。

・感染対応として既存されている各マニュアルを、随時更新する。

●褥瘡予防委員会

褥瘡保有者について、今以上に悪化させないように様子を見ながら、医務と連携をとりながら対応する。

【反省点と来年度の課題、目標】

・全職員、褥瘡保有者に対しての、関わり方や対応の仕方は理解できているが、褥瘡予防に関しての理解が薄く感じる、体位変換の重要性、クッションの活用にまで至らないケースがあり、医務や主任から指摘されないと分からないことがある。

褥瘡委員会として、自分がいないユニットのことも視野を広げてアドバイスしていく。

・褥瘡保有者リストの更新ができていないフロアがある、毎年課題として挙がっている為、更新の仕方、必要性などケアマネを交えて話し合う。

・エアマット、青マットに関しては、特養分、SS分をきちんと分別していくとともに、使用者の見直しや、また継続して必要なのかの更新を随時していく。

2、短期入所生活介護 樫原の郷

R6年度事業報告書

(総評)

昨年と比べて平均稼働率10%近く上がっている。7～10月が稼働率が大きく下がってしまっているが、特養の退居者が多く、ロングショートの数が増えたことが主な原因である。地道に各事業所や病院への営業を行ったことや、紹介業者の利用を開始したことで入居申し込みが増え、11月頃から稼働率が回復している。

また稼働率が上がったもうひとつの要因として、ロングショートの枠を10～13床に広げた事も理由として考えられる。来年度からは15床すべてをロングショートとして運営し、特養の入院部屋を緊急や希望者の通常ショートとして運営予定で、更なる稼働率のアップが見込める。

施設特有の利用料減額制度、ご家族の自由面会、レクリエーションの充実、リハビリ関係の充実など、樫原の郷ならではの強みを活かして今後も営業をこまめに行い、入居希望者を増やしていきたい。

(下の表から読み取れる傾向)

- ・ロングショートの方を中心に受け入れするようになった12月頃から、稼働率が上がってきている。部屋が全て埋めつつ、入院部屋のショート利用を続けて稼働率100%以上を目指したい。
- ・昨年よりも新規利用者数が増えている。上記にもあるように、ロングショートがそのほとんどを占めている。入居申し込み者が増えている事も要因。
- ・緊急ショートの受入数自体は減っているが、長期利用での受入がメインである。
- ・他市町村が保険者の利用者が増えている。こちらもロングショートの方がほとんどである。ホームページやネット掲載関係の入居者募集によって幅広い地域からの入居者獲得につながった。
- ・年齢別の表では、90代以上の利用者が増えている。体調不良による入院などのリスクが増える可能性がある。

R6年度 月別稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5年度	R4年度
%	58.4	71.3	76.6	53.7	57.6	55.3	50.7	60.4	70.7	73.1	83	86	66.4	58%	58%

R6年度 介護度別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5合計	R4合計
区変中、その他	2	5	2	1	4	3	0	0	3	2	1	2	25	26	18
要支援	3	3	4	4	5	3	3	2	4	5	4	3	43	28	42
1	11	7	11	9	14	13	16	13	12	17	14	11	148	114	114
2	12	18	9	13	11	11	13	11	9	6	9	7	129	110	136
3	7	5	5	6	3	4	6	6	4	4	9	9	68	123	164
4	6	6	8	8	7	3	7	8	8	7	6	4	78	66	109
5	4	6	5	4	4	4	6	5	3	3	1	1	46	38	58
合計人数	45	50	44	45	48	41	51	45	43	44	44	37	537	505	641
月平均人数													44.75	42.08	53.42

R6年度 新規利用者(月別・事業所別内訳)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5合計	R4合計
新規利用者数	男	4	2	4	2	3	0	6	1	2	1	1	1	27	17	30
	女	6	5	2	4	6	2	9	4	7	3	4	2	54	48	50
	計	10	7	6	6	9	2	15	5	9	4	5	3	81	65	80
	(LSS)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(0)	(4)	(2)	(4)	(1)	(4)	(3)	(26)	14	13
居宅介護支援事業所別	樫原の郷	5	3	2	3	0	0	5	2	5	1	4	2	32	24	19
	他事業所	5	4	4	3	9	2	10	3	4	3	1	1	49	41	61
	計	10	7	6	6	9	2	15	5	9	4	5	3	81	65	80

R6年度 緊急・追加ショート利用件数

緊急 ショート 追加 ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R6年	9	7	4	3	9	0	5	3	4	7	2	5	58
	R5年	5	6	7	8	8	4	7	2	8	9	4	5	73
	R4年	10	12	6	4	3	13	3	8	9	10	9	13	100

R6年度 市町村別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5合計	R4合計
橿原市	44	47	41	41	44	39	44	40	37	40	37	29	483	444	546
田原本町	1	2	1	1	2	2	3	3	2	1	2	2	22	37	56
大和高田市	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	10	8
その他市町村	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	5	6	24	5	19
他府県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	4	9	12
合計	45	50	44	45	48	41	51	45	43	44	44	37	537	505	641

R6年度 年齢別利用者内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5合計	R4合計
60才以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66～70	男	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	12	7	10
	女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	13
71～75	男	2	2	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	10	17	10
	女	3	2	3	3	3	3	4	2	2	3	2	2	32	35	9
76～80	男	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	6	5	19
	女	5	4	3	3	5	3	2	2	5	3	2	3	40	47	39
81～85	男	1	2	2	2	4	2	3	4	4	6	4	5	39	11	20
	女	7	7	6	6	6	5	7	9	8	7	6	7	81	68	116
86～90	男	4	4	4	3	4	3	4	3	3	1	1	0	34	58	91
	女	10	13	12	12	10	8	11	8	6	10	11	10	121	156	158
91～95	男	2	2	3	2	3	2	3	3	2	3	2	1	28	15	24
	女	6	8	7	11	8	10	8	7	9	7	11	6	98	51	92
96才以上	男	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	5	10
	女	2	3	1	1	3	3	5	4	1	3	3	3	32	24	20
合計	男	11	12	12	9	13	9	14	13	12	11	9	6	131	120	
	女	34	38	32	36	35	32	37	32	31	33	35	31	406	394	
		45	50	44	45	48	41	51	45	43	44	44	37	537	505	641

R6年度 担当居宅介護支援事業所(自事業所・他事業所)利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年合計	R4年合計
自施設事業所	17	22	17	20	16	12	15	12	13	18	19	22	203	215	237
他事業所	28	28	27	25	32	29	36	33	30	26	25	15	334	290	404
合計	45	50	44	45	48	41	51	45	43	44	44	37	537	505	641

R6年度 新規ロングショート受け入れ数 ※単発SSからの受け入れも含む

新規 ロング ショート	R6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入居	5	3	1	1	1	0	4	2	4	1	6	4	32
	退居	1	1	1	6	2	2	1	3	4	2	2	3	28
	R5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入居	3	0	4	2	1	1	5	2	1	3	0	3	25
	退居	1	4	0	2	2	2	1	6	2	0	3	2	25
	R4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入居	1	4	3	3	0	3	2	1	1	4	2	4	28
	退居	1	6	4	4	0	4	2	0	2	3	5	3	34

3、グループホーム檀原の郷

【総評】

1.入退居の状況

今年度は、退居者が2名おられた。内、1名は圧迫骨折からの状態低下による退居となり、1名は体調の急変にて救急搬送され入院期間中に永眠され退居となった。退居後の利用者確保については待機者や、病院からの申し込みにより行ったが、10日～2週間の期間を要した。

延べ入院日数も昨年度より、73日増加となっている。主な原因として、転倒による骨折や、尿路感染があげられる。特に、10月～12月にかけて入院者が増加した。事故予防の取り組みや、清潔保持について話し合いを行い、以降は減少し、年度末までに入院者はゼロとなった。

2、利用者様の処遇について

○家族様、利用者様との連携を中心に自由で開かれた施設を目指す。

LINEを活用し、日々の様子や、体調の変化など、こまめに連絡をさせていただくことで、信頼も深まり、ご家族様にも安心していただくことができ、運営推進会議でも感謝を述べていただけた。

○認知症介護の技術向上と寄り添う介護の徹底

夢企画を通して、利用者様自身の興味や嗜好を引き出せるよう、積極的な関わりを持つことで、信頼関係の形成をできた。

認知症の方が転倒する原因や要因について掘り下げて検討することで、下半期は転倒事故件数も減少に転ずることができた。

また、施設内研修で、認知症についての勉強会の開催を行った。開催にあたり、改めて事業所内での勉強会も行い、認知症介護について知識と技術向上を行った。

3、稼働率の安定と営業について

待機者を、常時3名以上確保する目標は達成できた。問い合わせを頂けたが、空床になる見込みのない時期の問い合わせについては、当施設のショートステイ、デイサービスと連携し利用案内を行った。

4、職員連携、情報共有

毎月の研修については、参加職員がユニット会議を通じてフィードバックする方法を行い、情報共有を行った。

毎月のユニット会議を実施。利用者様の対応方法や、業務内容について話し合いを行い、利用者様への対応方法の統一と、業務内容の統一を進めていくことができた。

日程	研修内容	詳細
4月	職員倫理	プライバシー保護、高齢者虐待予防・身体拘束予防、感染症、リスクマネジメント、認知症、BCP等
5月	感染症予防研修・訓練	感染症予防研修
6月	BCP計画研修・訓練	非常災害時の対応・訓練
	歯科指導	口腔ケアの指導
7月	ターミナルケア	看取り対応の研修
8月	身体拘束	身体拘束に関する研修
9月	褥瘡予防	褥瘡予防研修
10月	高齢者虐待	虐待に関する研修
11月	感染症予防訓練・BCP研修	インフルエンザ・ノロウイルス・コロナ
12月	リスクマネジメント	事故発生・緊急時の対応
1月	認知症	認知症に関する研修
2月	口腔衛生	歯科医師による研修
3月	ポジショニング	ポジショニングの基礎研修

5、感染症予防・対策について

インフルエンザ・コロナの利用者様感染はなく過ごして頂くことができた。職員の発症はあったが、早期の適切な対応をとる事により、利用者様などへの感染拡大は見られなかった。

また、体調不良者・熱発者の早期発見を行ったことで、居室対応を早期に開始できたことも、予防に繋がった要因と考えられる。

6、虐待・身体拘束について

虐待の芽について、職員の感情のコントロール法や、シチュエーションで虐待に繋がりそうな要因についての相談できるアンケートを取り、集計結果についてユニット会議で共有して、虐待についての意識づけや、相談や意見の言える環境を作ることができた。

身体拘束については、定期的に施設巡回・自主点検を実施し、その都度職員間で話し合いを行った。対応方法について検討を行い、改善に向けて取り組んだ。

7、リスクマネジメント

誤薬0件(落薬3件) 認知症の進行に伴い、飲み込み状態に変化があったが、確認できていなかった事での落薬。状態変化に対応した服薬方法を職員間で

共有行った。

転倒19件

認知症進行に伴い、同様の方の転倒が繰り返しあった。

要因として、利用者様自身の危険行動への認識低下があげられる。

職員の配置が十分であったが、不注意から転倒に繋がる事案があった。

各事故に対して、リスクマネジメントを行い、全職員へ周知を行い、再発防止を行った。

8、各委員の取り組みについて

・行事、イベント委員

毎月のイベントに担当を振り分け、企画書や準備物等、協力して利用者様に楽しんでいただける取り組みを行った。

1か月に1回はイベントの開催をさせていただき、季節に合わせたものや、利用者様からのリクエストがあったら、柔軟に対応を行い、年間通してたくさんのイベントを行うことができた。

イベント時は普段見せられない表情や、食欲低下されてる方もたくさん召し上がってくださり、楽しい時間を過ごして頂くことができた。またイベントでの様子を家族様にもお伝えし、たくさんの感謝の言葉をいただくこともできた。

【年間行事】

日 時	企 画 名
4月 3～5日	桜ドライブ
5月 13日	母の日イベント
5月 27日	水ようかん作り
5月 30日	ボーリングイベント
6月 10日	紫陽花祭り
6月 25日	お好み焼き作り
8月 22日	夏祭り
9月 18日	敬老会
10月 22日	運動会
12月 24日	クリスマス会
1月 2日	年始料理
1月 2～3日	特養合同初詣
1月 27日	新年会
2月 18日	節分レク

・園芸委員

中庭に季節に合わせた花を植えて、利用者様と共に成長を見守った。合わせて、中庭の鯉に餌やりも行った。

例年行っているあじさい祭用の、あじさいの準備を行い、利用者様とあじさい祭を楽しむ事ができた。

外に庭については、雑草の手入れが職員の負担になっていた。

・環境整備委員

物品管理を滞りなく行った。

季節ごとの飾りは、利用者様と一緒に作成した。

フロアの片付けについては、後回しになり、一部の片付けのみとなった。

・アクティビティ

夢を叶える企画は、年々誕生日企画と混同してしまう傾向になった。

実施するにあたり、利用者様への聞き取りから要望もつかむことができ、叶えることができたが、希望を言えない方への対応が今後の課題となった。

季節感のあるイラストを利用者様を作成し、カレンダーの作成した。

おやつレクとして明確に取り組めていなかった。計画性が課題となった。

大浴場での入浴を試みたが、他部署との兼ね合いもあり、利用者様本位の入浴をしていただくことが困難だった。全体の流れや、グループホーム内での動きも踏まえ、個浴での入浴が困難な方に、気持ちよく入浴していただく事が課題となった。

・広報委員

こもれば新聞(年4回)、ひだまり新聞(年8回)作成し、利用者様に見ていただくよう掲示と家族様には書類郵送時に同封し、様子等をみていただくことができた。

・衛生委員会

会議に参加することが時間帯で困難なことが多く、会議録を見させてもらい、各職員へ情報共有や、意見収集を行い、職場環境の改善を行った。

・危機管理委員

全体会議に参加し、情報収集をした上で、職員間で情報共有と、書面の更新を行った。

避難訓練は、グループホーム内で火災発生想定で計画書の策定も行い、主体性をもって避難訓練に取り組むことができ、利用者様の避難経路や、動きを考えることができた。

①月別入退居状況（毎月末日集計）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5
在籍者数 畝傍	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	108
新規入居者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
在籍者数 耳成	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107	108
新規入居者数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
延べ利用日数	497	537	533	558	558	540	510	489	522	539	504	558	6345	6401
退居者数	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4
空ベッド数	3	1	1	0	0	0	3	4	2	0	0	0	14	64
空延べ日数	43	21	7	0	0	0	48	51	36	19	0	0	225	64
延べ入院日数	43	21	0	0	0	0	37	30	36	19	0	0	186	113

②要介護度（月末日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5
要支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
要介護1	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119	93
要介護2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	16	52
要介護3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	21
要介護4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40	20
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16	12
平均介護度	2.1	2	2	2	2	2	2	2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.0

③要介護度別延利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5
要支援	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
要介護1	257	310	270	310	310	300	291	274	305	310	280	310	3527	2779
要介護2	60	62	60	62	62	60	62	49	0	0	0	0	477	1508
要介護3	30	10	53	31	31	30	18	30	31	31	28	31	354	650
要介護4	90	93	90	93	93	90	77	76	124	124	112	124	1186	732
要介護5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	43	56	62	436	366
月合計	497	537	533	558	558	540	510	489	522	539	504	558	6345	6400

④日常生活自立度

ランク	I	II	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M
認知症度	3	0	2	3	0	2	1	7	0
ランク	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
寝たきり度	0	0	6	4	0	5	0	3	

⑤面会・外泊・外出の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5
面会者数	22	29	32	25	16	22	22	22	25	27	15	21	278	278
外出者数	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	36	0
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑥入居者身体状況

視力			言語			歩行			聴力		
普通	弱視	全盲	普通	少し不自由	不自由	自立	一部介助	全介助	普通	やや難聴	難聴
17	1	0	12	3	3	6	4	8	17	0	1
排泄			オムツ/リハパン			食事			入浴		
自立	一部介助	全介助	無し	夜使用	昼夜使用	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
7	2	9	5	0	13	9	5	4	7	3	8

⑦入居者平均年齢(3月末現在)

	男性	女性
人数	3	15
平均	90	88

4、デイサービスセンター樫原の郷 令和6年度 事業報告書

○利用者数の推移、利用者状況の傾向について(令和5年度比較)

→新規利用者・登録者数・利用者延べ人数ともに増加した(前年比 稼働率8%上昇)。

(要因)

①毎月のお知らせ(空き情報含む)等封書で新規事業所への営業や、当施設のケアマネジャーへの空き情報を提供した(見学希望・体験希望・新規依頼に対し随時対応が出来た)。

②要支援から要介護への変更に伴い利用回数の増加に繋げることができた。

③利用回数の多い利用者が転倒・骨折の為長期入院・在宅生活困難になり入所の為中止される利用者も多くいたが、営業等により要支援の方の利用者も多く受け入れることができた。

○利用者依頼件数について

→樫原の郷内の他サービスとの併用利用希望者は昨年同様多かった。

→樫原の郷内サービス間の連携により、当施設の居宅介護支援事業からの依頼件数が増加した。

○サービス内容について

→午前中:入浴介助及び個別レク【脳トレ(計算プリント・間違いさがし)、カレンダー作り等。

→昼食前:ラジオ体操・計算プリント答え合わせ・口腔体操。

→午後:職員による軽体操・歌体操と同時間に、運動指導士による6名～10名程度のグループリハビリ体操を開始した。(家人様・利用者様希望者優先)

体操後は合同でゲーム・リモート演奏会・カラオケの再開も喜んで頂いた。

漢字・数字等の脳トレボード(利用者に合わせて提供)は、熱心に取り組まれる方も多かった。

季節の行事に合わせたレクリエーション・ゲーム等への参加時の様子を写真に取り、後日配布
本人様、家族様より喜びの声も多く頂いた。

月曜日にダンス教室(ヒップホップ)を開催し、皆様喜んで参加頂いています。

誕生日の色紙プレゼントを贈呈、100歳の誕生日を迎えた利用者職員の手作りの花束を贈呈し喜んで頂いた。

○登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
男	18	18	19	19	15	16	18	19	16	15	20	21	214	193
女	63	62	60	61	61	57	66	65	64	61	63	60	743	708
合計	81	80	79	80	76	73	84	84	80	76	83	81	957	901

○利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
総合事業	3	8	8	5	6	9	9	8	8	6	8	8	86	33
要支援1	35	29	27	32	33	37	44	46	37	26	28	44	418	424
要支援2	82	84	74	75	84	80	98	102	105	104	119	107	1114	897
要介護度1	319	331	315	349	367	335	414	423	340	255	297	313	4058	3368
要介護度2	129	138	140	141	130	156	145	137	144	145	123	133	1661	1463
要介護度3	63	88	96	66	84	86	89	71	64	50	51	43	851	1115
要介護度4	92	82	56	78	53	46	39	29	31	37	34	27	604	880
要介護度5	16	17	18	22	20	12	14	13	10	7	12	4	165	54
合計	739	777	734	768	777	761	852	829	739	630	672	679	8957	8234
1日平均(人)	28.4	28.7	29.3	28.4	28.7	30.4	31.5	31.8	28.4	26.2	28	26.1	28.8	26

○新規利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
2	5	3	2	2	5	9	5	4	7	7	2	52	41

○体験利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
	7	4	2	2	11	1	9	3	2	6	5	7	59	37
本契約となった利用者数	6	4	1	1	10	1	7	3	2	6	4	5	50	32

○利用追加者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
3	3	4	3	4	2	0	1	1	1	4	2	28	26

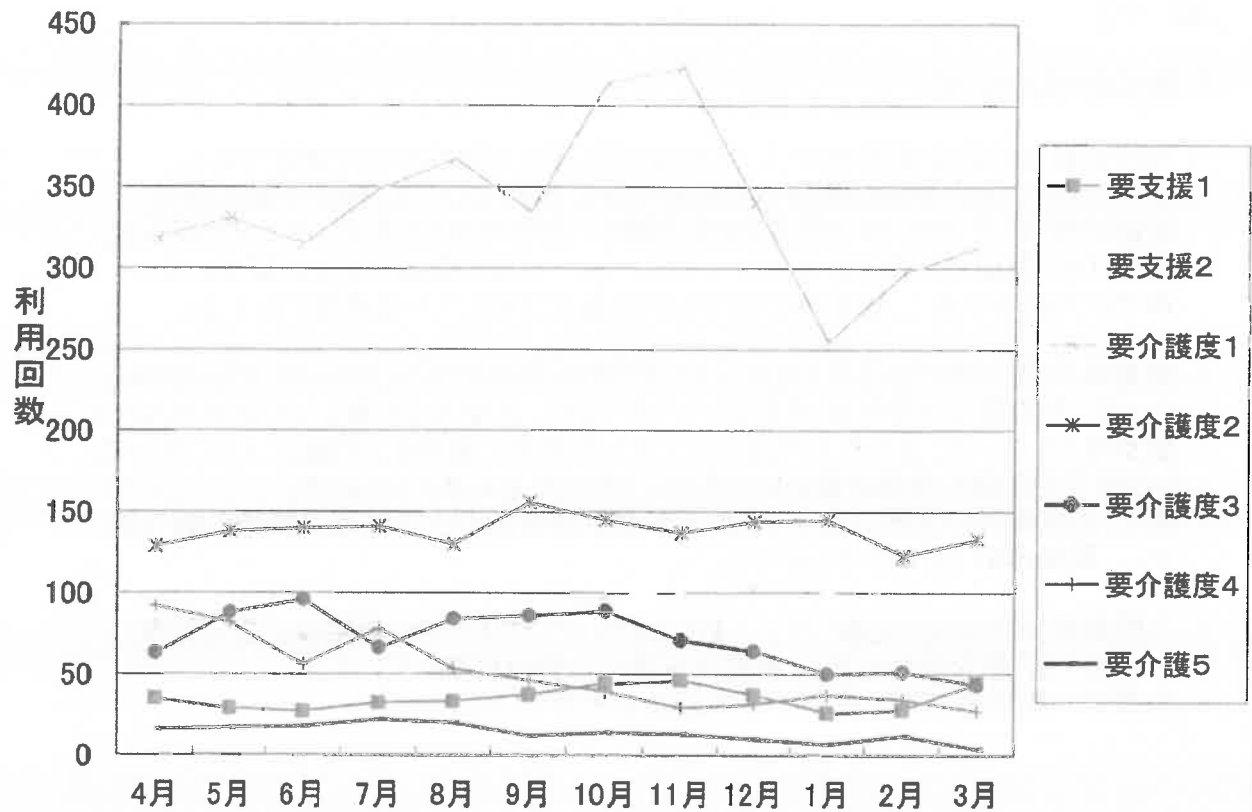
○利用休止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
入院	2	3	5	4	2	0	3	3	5	5	4	7	43	38

○利用中止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度合計	R5年度合計
逝去	0	0	1	0	0	0	1	1	1	2	6	0	12	2
当施設入所	0	2	0	0	0	2	0	2	0	1	3	0	10	12
他施設入所	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	3	0	8	5

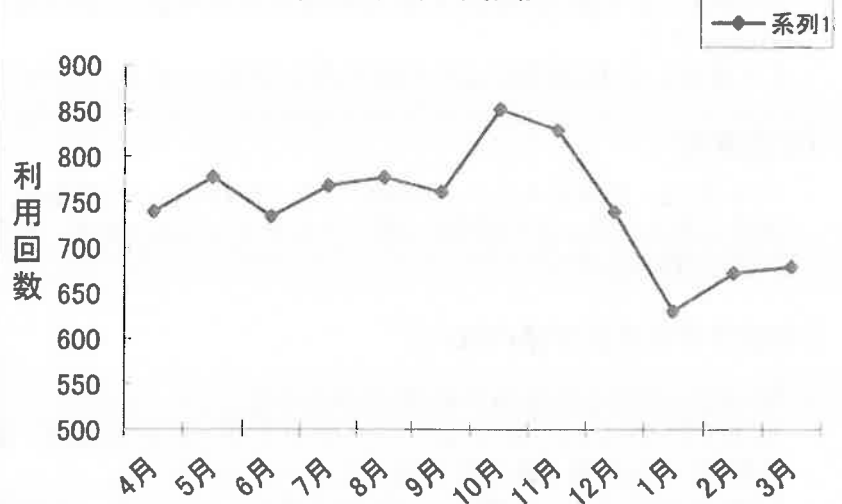
要介護度別利用回数推移



行事内容

4月	桜の花見ドライブ
5月	母の日
6月	父の日
7月	塗り絵
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	公園散策
11月	クリスマス準備
12月	脳トレ
1月	百人一首
2月	開運厄除け
3月	ひな祭り

合計利用回数推移



5、リハビリデイサービス樫原の郷 令和6年度事業報告書

【総 評】

○運営状況について

- ・ 利用者状況は総合事業約80%、地域密着型通所介護約20%の割合である。
例年と同様、総合事業の利用が稼働率安定に繋がっている。総合事業の利用者数が増加しており、リハビリ目的とし介護サービスの入り口を担っていると感じる。
また、例年同様にお盆と正月、ゴールデンウィーク等の祝日がある期間中は私用での欠席者が多く、稼働率の低下傾向も毎年予測している範囲内とする。
- ・ 稼働率が7月を境に急下降し8月～2月までの約半年間が78.8%～87.2%と低迷となった。利用者の平均年齢が高くなってきており、R5年度と比較しても逝去された人数が増加している。また長年利用されてきた利用者の高齢化(90歳以上)に伴うADLの低下や疾病の憎悪が重なり利用終了となった方が多くみられた。
また、新規獲得の営業が上手くいかず新規利用者数が少ない事で登録者数が減少し、稼働率低下となってしまった。
- ・ 入院者数はR5年度と比較して、人数は減少しているものの、退院後に自宅療養をされている人数を合わせると、長期欠席者の人数は増加している。
入院者の詳細としては、骨折が半数以上を占めていた。

【第一号通所事業(総合事業)の傾向】

(樫原市)

- ・ 事業対象者(チェックリスト)の新規利用者様の問い合わせが多くなり、介護予防の認識が進んでいると思われる。
- ・ 利用されていた方が一旦終了となり、体調が回復され再度利用開始されるケースが度々みられた。
- ・ 骨折後に自宅療養されている方が区分変更申請するも『却下』となるケースが数件みられた。
- ・ 【卒業者】(状態改善により介護保険非該当となられた方は今年度も該当者おらず。

(田原本町)

- ・ 今年度は、田原本町からの体験の問い合わせが0件であり、地域密着型の定着が出来たと思われる。空き情報の問い合わせが1件あったが、希望の曜日と合わず体験利用に繋がらず。

【地域密着型通所介護の傾向】

- ・ 認知症と診断された方の新規が多かった。
- ・ 疾病の憎悪により、要支援の方が区分変更をかけた結果、要介護状態になられた方や更新申請の結果、要介護状態になられた方がいた。
- ・ 登録者がR5年度と比較して、約40名減少しているが、介護度の平均は上がっている為、介助量が多くなってきている。

○利用者登録状況 総合事業(榑原市)・通所型サービス(田原本町)・地域密着型通所介護

(表2)

* 橿原市総合事業

(表3)[illegible]

(表4)

○地域密着型通所介護

サービス項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度 (実人数) 合計	R5年度 (実人数) 合計
地域密着型通所介護21.時給	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4	0
地域密着型通所介護11	12	13	12	13	10	8	11	8	7	7	7	7	115	147
地域密着型通所介護12	9	8	8	8	9	6	7	6	5	5	6	7	84	105
地域密着型通所介護13	0	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	13	31
地域密着型通所介護14	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	2	10	0
地域密着型通所介護15	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	0

(表5)

○体験利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度 合計	R5年度 合計
体験利用者数	3	3	4	3	8	3	0	6	0	2	9	10	51	49
本利用者数	2	2	3	2	5	3	0	2	0	1	8	10	38	32

(表6)

○新規利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度 合計	R5年度 合計
要介護	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	6	5
総合事業	1	2	3	1	3	2	0	2	0	1	7	10	32	27

(表7)

○利用休止者数

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度 合計	R5年度 合計
入院	2	5	1	4	1	3	0	0	4	4	4	1	29	36
自宅療養	1	5	1	3	1	2	3	3	1	2	5	4	31	16
私用その他	0	0	1	0	0	2	0	0	3	2	0	0	8	17

(表8)

○利用中止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度 合計	R5年度 合計
逝去	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1
当施設入所	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	10
他施設入所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
自己都合	0	4	0	6	4	1	2	1	3	4	2	3	30	26
非該当(卒)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(表9)

○利用再開者数

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度 合計
利用再開	0	0	1	2	1	2	3	1	0	2	0	1	13

(表10)

○利用延べ人数

合計利用回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R6年度延べ人数	607	629	547	642	535	543	602	527	548	483	473	553	6689
R5年度延べ人数	517	594	590	551	579	577	621	635	602	574	598	574	7012

【令和6年度分】

- (表1) 登録者数は約80名減少しており、8月以降の登録者数が大きく減少している。
例年同様にお盆と正月の期間中は欠席者が多く、稼働率の低下に繋がっている。また、稼働率が7月を境に急下降し8月～2月までの約半年間が78.8%～87.2%で推移している。終了者が多くおられた事と新規獲得数が少なかった事が重なった為ではないかと考える。
今年度の新たな取り組みとして、『easyコース』を設置して登録者数の維持に努めた。『easyコース』の定義として、超高齢・運動により身体への負担が強い・疾病の憎悪の3項目を考慮して対象となる利用者を選出する。その後、本人様・家族様に意向を確認し、継続した利用を希望された場合に限り利用して頂く。
- (表2) サービス実施状況をみると、樫原市総合事業の数に増減はなく、田原本町総合
(表3) 事業の数と地域密着型の数に減少がみられる。この事から、地域密着型の定着と
(表4) 介護予防の認識が数字に反映された形となっている。
- (表5) 体験利用、新規利用者数は年間を通してみると、R5年度と比較して増加している。
しかし、10月と12月は問い合わせの件数が0と伸び悩んでいる月もあった。
新規利用者の獲得割合でも総合事業が84%となっており、登録者の状況と合致している。8月と11月は体験の問い合わせの件数が多かったにも関わらず、利用者のニーズや他利用者との年代が合わなかった等の理由の為、獲得数が少なかった。
- (表6) 毎月、実績配布と一緒に空き情報のチラシを同封し、情報発信行う。
R6年度 74.5% R5年度 65% (本利用に繋がった率)
【キャンセルの理由】
・進行性の難病により継続した利用が困難と判断する
・ADL(入浴困難)が当事業所のサービスと合致しない
・マッサージを希望された
・他事業所もみてみたい
・その他
獲得率を上昇させる為に、体験利用時からどのようなニーズを持っているか聞き取り行う。また、運動負荷を軽度にして、継続した運動が必要である事を説明する。

(表7) 利用休止者の人数は横ばいで利用中止者(終了者)の数はR5年度と比較して

(表8) 減少している。入院者・自宅療養者は毎月数名はおり、1日平均・稼働率に影響を及ぼしている。

入院の詳細は「骨折」や「疾病の憎悪」と例年と同じ事由であった。

退院後に自宅療養される方が昨年より2倍近くおられ、長期の休止になり延べ利用者人数に反映された形となっている。

終了者の理由としては、下記の通りとなっている。

- ・逝去
- ・筋力、体力の低下により、当施設のデイサービスや特養への移行
- ・骨折や疾病で入院され、再開の目途が立たない
- ・その他

(表9) 今年度より、一旦終了された利用者が利用再開された人数の統計を開始した。

入院後に利用再開の目途が立たずに終了となった方や配偶者の介護の為に終了された方等の私用での終了となった方に対して、担当CMに様子を伺う等の働きかけを行う事で度々利用再開につなげる事が出来た。

(表10) R5年度と比較して利用延べ人数が300名余り減少している。特に、1月・2月ともに100名前後減少しており、利用者の変動の底となっている。高値維持する為に受診や私用で欠席される方に振替利用を提案し、利用延べ人数減少の歯止めとしたい。

6、令和 6年度事業報告書

居宅介護支援事業所 樫原の郷

【総 評】

- ・要介護者登録延べ件数 949件(R5年度 931件)
- ・要支援者登録延べ件数 920件(R5年度 819件)
- ・登録延べ件数合計 1869件(R5年度 1750件)
- ・要介護新規依頼件数 57件(R5年度 45件)
- ・要支援新規依頼件数 41件(R5年度 24件)

⇒新規依頼件数は要支援者・要介護者合わせて、登録延べ件数合計で前年度比119件増加した。

⇒月間登録人数は平均155.8件で月間目標登録件数160件には達しなかったが、2月と3月は登録件数170件を超える事ができた。

⇒要支援者から要介護になり継続依頼で新規利用者に繋がるケースが多かった。

<自法人への紹介率>

デイサービス樫原の郷紹介率 73.2%、リハビリデイサービス樫原の郷紹介率 96.7%、

ショートステイ樫原の郷紹介率 86.2%

⇒デイサービスでは認知症がある利用者様や、独居で利用の準備が難しい方への積極的な受け入れがあったが、年度後半で入院や施設入所が増えた為、紹介率は前年比マイナス0.6%となった。

⇒リハビリデイサービスでは他市の地域密着型通所介護を利用された方が1件あった為、紹介率は前年比マイナス3.3%となっている。

⇒ショートステイでは利用者様の希望日程が満床だった事や、リハビリを希望して

他施設を利用された事、定期的に利用されていた方が施設入所された事などで

紹介率は前年比マイナス2.6%となっている。

<令和6年度事業計画目標について>

○最新の地域ニーズを把握する。

⇒利用者様とLINEアプリでやりとりした内容を印刷する方法を取り入れた為、

支援経過等の入力に関して業務改善ができた。

⇒近隣事業所の情報やチラシを収集し他部署に回覧、情報提供した。

○地域から信頼され求められる介護支援専門員になる。

⇒オンラインや対面での研修に参加する事で、情報収集ができた。

⇒意見交換会を主催し、近隣の居宅介護支援事業所と事例検討会を行った。

情報交換ができ、介護支援専門員同志の交流機会にもなった。

⇒上半期は特定事業所加算Ⅱを算定する事ができたが、下半期は特定事業所集中減算

の対象となった為、加算の算定ができなかった。次年度から加算算定を再開出来る様に

介護支援専門員実習受入や週一回の朝礼などを継続している。

⇒感染症や自然災害のBCP計画を見直し、机上訓練を行った。

○地域包括ケアシステムを推進する。

⇒周知活動の為新口町、大垣町、豊田町、小槻町、飯高町へブランチのチラシを

全戸配した。

⇒上半期は担当小学校区内で8回の教室を開催。下半期は地域包括支援センターに

協力して、教室や会議に参加した。

⇒各小学校区で月1回出張介護相談室を開催し、数件相談や問い合わせがあった。

⇒相談には迅速に対応し、代行申請だけではなく実態調査や基本チェックリストを行った。

⇒まちの介護相談室周知の為、『ランチ便り』を年2回作成し、自治会等への配布を継続した。

1、居宅介護支援

①月間登録者数

要介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
6年度	79	74	80	79	73	73	77	77	77	83	88	89	949	79.1
5年度	78	78	76	77	77	79	77	77	75	80	79	78	931	77.6
要支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
6年度	71	73	71	72	73	76	77	75	82	80	84	86	920	76.7
5年度	63	63	60	62	67	71	73	72	73	71	72	72	819	68.3
合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
6年度	150	147	151	151	146	149	154	152	159	163	172	175	1869	155.8
5年度	141	141	136	139	144	150	150	149	148	151	151	150	1750	145.8

②要介護者ケアプラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
6年度	14	21	18	15	22	21	27	21	18	28	16	14	235	19.6
5年度	13	18	19	18	15	21	19	21	27	19	17	18	225	18.8

③新規 要介護利用者比較表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
6年度	3	8	3	1	5	3	6	4	4	6	9	5	57	4.8
5年度	4	0	6	5	3	4	3	5	3	5	6	1	45	3.8

要支援から介護	15件	ロングショートステイ	13件
樋原包括から紹介	3件	田原本包括紹介	2件
ランチからの依頼	8件	利用者からの紹介	1件
本人・家族の希望	10件	他事業所からの依頼	3件
その他(病院等)	2件		

(要支援実績件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	36	36	37	34	34	34	36	36	37	36	39	40	435
要支援2	36	34	34	35	36	36	37	37	37	38	39	40	439
事業対象者	2	2	3	3	2	3	4	4	5	5	6	6	45
計	74	72	74	72	72	73	77	77	79	79	84	86	919
5年度計	63	62	61	66	65	69	70	70	69	67	69	71	802

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要介護1	26	29	30	28	29	27	32	33	31	29	30	30	354	29.5
要介護2	18	16	16	16	16	17	17	15	16	17	16	17	197	16.4
要介護3	7	9	9	8	5	6	7	7	8	10	12	11	99	8.3
要介護4	13	11	12	13	11	8	7	7	9	9	9	10	119	9.9
要介護5	8	8	9	8	9	11	10	10	10	10	11	9	113	9.4
計	72	73	76	73	70	69	73	72	74	75	78	77	882	73.5
		5年度総合計			902		6年度総合計			882				

[illegible]

入院時Ⅰ		1	1	1				1	2	2			8
入院時Ⅱ	1	1			3	1	2	3	2	2	1		16
退院退所ⅠⅠ											2		2
通院時連携			1		1	3		3	3	1	2	1	15
退院退所ⅠⅡ			1				1			1			3
退院退所ⅡⅠ													0
退院退所ⅡⅡ		1								1		1	3
退院退所Ⅲ													0
計	4	9	8	2	5	10	9	9	15	10	14	5	100

(介護報酬)

4月	1,254,616	10月	858,882
5月	1,148,086	11月	753,404
6月	1,311,003	12月	746,399
7月	1,288,019	1月	846,109
8月	1,138,897	2月	823,790
9月	1,101,234	3月	870,154
上半期計	7,241,855	下半期計	4,898,738
合計	12,140,593		

R5年度介護報酬	
上半期	7,619,267
下半期	8,135,765
合計	15,755,032

※下半期は特定事業所集中減算の対象となり、特定事業所加算が算定できなかった。

※要支援者数は増えたが、長期入院や施設入所される利用者様が多く、特に要介護者の実績が減少している。

⑤他事業所との連携

日時	場所	内容	
6月12日	ホームナーシングセンター	ケアプランについて他	橿原市ケアマネ連絡会
3月11日	橿原の郷	事例検討会、他	ケアマネ意見交換会

2、ランチ

①ランチ 総合相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
件数	40	30	31	35	25	25	29	32	8	15	17	10	297	24.8
	6年度総合計				297		5年度合計						617	

※R6.10にランチの変更があり、校区が中学校区のみとなった為、耳成小学校区の担当が終了し、下半期は相談件数が減っている。

②総合相談件数 内訳(小学校区別)

(耳成小学校区はR6.4～R6.9)

	真菅北	耳成西	耳成	合計
相談件数	118件	118件	61件	297件
代行申請	51件			
基本チェックリスト	14件			

③教室等の開催・協力

日時	開催場所	対象	教室名	参加人数
4月1日	新口本村集会所	地域住民	いきいき百歳体操とコグニサイズ	19名
6月22日	葛本第二集会所	地域住民	オーラルフレイルについて	18名
6月29日	東竹田町集会所	地域住民 (ふれあいサロンスマイルみみなし)	笑顔でコグニサイズ	40名
7月6日	十市本村集会所	地域住民 (ふれあいサロンスマイルみみなし)	座って体操	43名
7月21日	樫原の郷	地域住民・施設職員	認知症サポーター養成講座	19名
7月22日	樫原の郷	地域住民・施設職員	認知症サポーター養成講座	13名
9月16日	豊田グリーンタウン集会所	地域住民 (老人会)	介護保険の流れ	37名
9月21日	新賀町集会所	地域住民 (ふれあいサロンスマイルみみなし)	コグニサイズ	23名

10月8日	中曽司本町会館	地域住民 (ひまわりサロン)	介護保険の話	37名
10月27日	櫃原の郷	十市団地 (ふれあいサロンスマイルみみなし)	会場提供・送迎 対応	31名
1月28日	中曽司本町会館	地域住民 (ひまわりサロン)	包括主催の講座に協力	29名
奇数月第二火曜日 (計3回)	コープみみなし	地域住民	介護相談	案内配布
偶数月第二火曜日 (計4回)	ひがみりウマチ・糖尿病内科クリニック	地域住民	介護相談	案内配布
毎月第二火曜日 (～9月) 奇数月第二火曜日 (10月～) (計9回)	ウエルカフェ 中曽司店	地域住民	介護相談	案内配布

④地域行事・会議参加

日時	開催場所	行事名	校区
4月9日	中曽司町	ひまわりサロンふれあいウォーク	真菅北
4月20日	真菅地区公民館	真菅地区民協定例会	真菅北
5月26日	中曽司本町会館	真菅北小学校区地域福祉推進委員会総会	真菅北
5月11日	耳成地区公民館	耳成小学校区地域福祉推進委員会総会	耳成
5月14日	櫃原の郷	八木(北)中学校区ランチ会議	耳成
5月15日	櫃原の郷	櫃原中学校区ランチ会議	真菅北・耳成西
5月30日	多地区公民館	かがやき会五役会	耳成西
6月7日	新中町集会所	新中町ミニサロン	耳成
6月22日	十市町	田植え祭り	耳成
6月23日	中曽司本町会館	真菅北小学校区地域福祉推進委員会定例会	真菅北

6月26日	十市町本村集 会所	十市町かがやきの会	耳成
7月16日	あすならホーム 畝傍	八木(北)中学校区ランチ会議	耳成
7月17日	榎原の郷	榎原中学校区ランチ会議	真菅北・耳成西
7月20日	真菅小学校	真菅地区そうめん流し	真菅北
8月3日	十市町	盆踊り	耳成
9月6日	新中町集会所	新中町ミニサロン	耳成
9月11日	榎原の郷	榎原中学校区ランチ会議	真菅北・耳成西
9月13日	バンデ絆	八木(北)中学校区ランチ会議	耳成
9月25日	十市町本村集 会所	十市町かがやきの会	耳成
10月15日	榎原市保健セ ンター南館	ランチ連絡会	真菅北・耳成西
11月10日	飯高町	飯高町掃除	真菅北
11月13日	榎原の郷	榎原中学校区ランチ会議	真菅北・耳成西
11月14日	多地区公民館	かがやき会・出前講座参加	耳成西
11月24日	中曽司本町会 館	ふれあい交流会	真菅北
11月20日	真菅小学校	真菅地区もちつき	真菅北
12月15日	多地区公民館	かがやき会・モルック大会	耳成西
1月12日	大垣町	とんど	真菅北
1月17日	榎原の郷	榎原中学校区ランチ会議	真菅北・耳成西
2月15日	多地区公民館	ふれあい交流会	耳成西
2月19日	ミグランス	多職種交流勉強会 (包括主催、三中学校区合同)	真菅北・耳成西

2月28日	藤井様宅	一步会遊楽	耳成西
3月19日	檀原の郷	檀原中学校区ランチ会議	真菅北・耳成西

⑤多職種交流勉強会・生活支援地域ケア会議

日時	開催場所	対象	会議名	参加人数
7月18日	多地区公民館	耳成西小学校区地域福祉推進委員	生活支援地域ケア会議	20名
8月29日	耳成地区公民館	八木(北)中学校内の医療・介護関連事業所	多職種交流勉強会	24名
9月19日	多地区公民館	檀原中学校内の医療・介護関連事業所	多職種交流勉強会	22名
9月2日	耳成地区公民館	耳成小学校区地域福祉推進委員	生活支援地域ケア会議	15名
9月22日	中曽司本町会館	真菅北小学校区地域福祉推進委員会	生活支援地域ケア会議	13名
1月26日	中曽司本町会館	真菅北小学校区地域福祉推進委員会	生活支援地域ケア会議(包括主催)	13名
2月19日	ミグランス	中学校区内の医療・介護関連事業所	多職種交流勉強会(包括主催)	50名
3月23日	多地区公民館	耳成西小学校区地域福祉推進委員	生活支援地域ケア会議(包括主催)	11名

⑥地域との連携

【真菅北小学校区】

- ・地域福祉推進委員会役員に挨拶、生活支援地域ケア会議の相談。
- ・民生委員、各自治会長、老人会に挨拶
- ・コンビニや交番へ周知活動。

※各町へかしはらの郷だよりの回覧依頼。(年間2回)

※大垣町、豊田町、小槻町、飯高町にランチチラシ全戸配

【耳成西小学校区】

- ・地域福祉推進委員会役員に挨拶、生活支援地域ケア会議の相談。

- ・多地区公民館館長・喜楽会会長に挨拶

- ・民生委員、各自治会長、老人会に挨拶

※各町へかしはらの郷だよりの回覧依頼。(年間2回)

※新口町(飛鳥荘園)町にランチチラシ全戸配

【耳成小学校区】

- ・地域福祉推進委員会役員に挨拶、生活支援地域ケア会議の相談。

- ・葛本第二つどう会、東竹田町・新賀町・十市町ふれあいサロンでの教室依頼。

- ・多職種交流勉強会の開催。

- ・十市町かがやき会への参加。

- ・新ランチや地域包括支援センターへの引き継ぎ

7、事業所内保育所 わくわく保育園 令和6年度事業報告書

(総評)

○運営状況について

・利用状況については16名で新年度を開始し、従業員の仕事復帰に伴い4名が途中入園、2月に19名の定数となった。(表1参照) 最終的には従業員枠13名、地域枠6名と、今年度も事業所内保育所としての役割を果たすことができたと考える。(表2参照)

・19名と少人数ではあるが、様々な家庭環境があるため保護者との連携を密にし、園児と保護者の思いに寄り添い、共に考えるという姿勢を大切にしながら保護者支援に努めた。

・南海トラフ地震臨時情報が発令され、今後懸念されている南海トラフ地震・巨大地震発生時の登園基準や、園児の引き渡しなどについて保護者に周知した。また、月1回の避難訓練では大地震を想定した訓練を実施し、非常用物品の確認と見直しを行い、非常食の準備を行った。

・働きやすい職場環境として、指導計画作成、日々の記録、保育事前準備などの業務に効率よく取り組めるよう、非常勤職員の協力を得ながらノンコンタクトタイムを確保した。また、書類内容も見直し、簡素化できるものと充実させるものを精査して少しずつノンコンタクトタイムが定着してきている。

・年間を通して、RSウイルス・手足口病・ノロウイルスなどの感染症が流行した。その都度対策を見直し、基本的な感染対策に加えて細やかな予防対策に努めていたが、異年齢児保育での感染防止対策の難しさを改めて感じる年となった。

○保育内容について

・年齢別の担当制で保育を行い、良好な環境と保育者の愛着関係のもと、安心して過ごせるよう園児一人一人の発達状況に合わせた関わりを大切にした。また、愛着関係を深める「わらべうた遊び、触れ合い遊び」を毎日繰り返し取り入れた。令和7年度も継続して行っていく。

・保護者参加の行事を年間3回(親子遠足・運動会・発表会)計画した。親子遠足は今年度初めての行事だったが、天候不良ため園内での保育参加に変更して行った。親子の触れ合い遊びを中心にプログラムし「園での様子がよく分かり、安心しました」と喜んでいただくことができた。

・野菜の収穫、クッキング活動の家庭への発信(園だより・掲示・SNS)を継続して行った。また、園内で育てたイチゴの収穫を、今年度は親子で楽しんでいただいた。園の入り口にプランターを置くことで、興味が広がり親子で生長を観察し、日々の変化や生長を楽しみに登園する姿があった。保護者にも園の取り組みを伝えることができたと考える。

・自然環境のひとつとして、園庭の花壇やプランターで花を育て、散歩をされるご利用者様や施設に来られる家族様にも季節感を与え、喜んでいただくことができた。

○安全対策、危機管理への取り組み

・大きな事故はなかったものの、擦り傷や打ち身などの報告が年間10件あった。事故防止対策として保育の中での細かな気付きを記録できるよう「気づきノート」を準備したが、活用には至っていない。さらに活用の仕方を検討し、軽微な事故についても防ぐことができるよう安全管理に努めていく。

・月1回「作業の日」を設定し、全員で掃除、片付け、点検などを行うことで園を清潔に保ち、整理整頓を意識することができた。引き続き安全な環境づくりに努めていく。

・重大事故につながることをないよう「不適切保育」「安全な環境」について職員間で意見交換や環境の見直しを定期的に行った。

・法人内研修や外部研修会への参加、ICTシステム「コドモン」の動画研修を活用し、保育の質の向上に努めた。キャリアアップ研修については、専門分野においてリーダー的職員の育成と保育の質の向上を図った。

・非常勤職員については、勤務時間が異なるため時間や日にちを分けるなど工夫することで、全職員が研修に参加することができた。

・新型コロナウイルス感染症の流行から実施できていなかった他部署との交流については、夏まつりの施設内パレード、子どもの日の集い、施設内散歩という形で行うことができた。また、「異文化に触れる」というねらいのもと、今年度初めて、ハロウィンイベントを実施した。仮装をして施設職員からお菓子をいただいたり、特養を訪問したり、利用者様だけでなく施設職員とも交流する機会となった。次年度のハロウィンは利用者様との交流にもつなげていきたい。

- ・ 5月 こどもの日(デーサービス)
- ・ 9月 おみこしパレード(特養)
- ・ 10月 ハロウィン・ハロウィンパレード(事務所・特養)
- 随時 郷施設内散歩

・今年度も奈良県高等養護学校の職場体験事業として2年生1名の受け入れを行った。卒業後は企業就労をめざすということで、園児の身の回りの援助や様々な保育活動を経験してもらうことができた。

・JAならけん真菅支店より、ヒヤシンスの球根をいただき園内で育てた。花が咲くことを期待したり、匂いをかいだりして生長を楽しむことができた。

・奈良県より光熱費・食材費等の高騰による利用者負担の増加を抑制し、認可外保育施設の継続的な運営を図るため「認可外保育施設における光熱費等高騰対策事業支援金」が創設され、支援金が交付された。

[illegible][illegible]

表4 【行事報告】

4月	保育参加	10月	親子で運動会ごっこ・ハロウィン
5月	こどもの日の集い	12月	クリスマス会
6月	水遊び開始	1月	お正月遊び
7月	七夕まつり・水遊び	3月	保育参観(発表会)・お別れ会
8月	夏まつりごっこ		
9月	特養との交流(パレード)		

※毎月、身体計測(身長・体重)、誕生会、避難訓練(火災・地震・水害・不審者)を実施

表5 【菜園活動】

5月	イチゴ摘み・タマネギ収穫 夏野菜苗植え (ピーマン、トマト、オクラ、キュウリ)	7月～9月	クッキング(ピザ)・夏野菜収穫
		10月	サツマイモ掘り
6月	サツマイモ苗植え・タマネギクッキング	11月	サツマイモクッキング・タマネギ苗植え イチゴ苗植え・チューリップ球根植え
		12月	ヒヤシンス球根植え

○健康管理について

- ・内科検診 年2回実施(6月19日・12月4日)
- ・歯科検診 年1回実施(6月17日)
- ・尿検査 年2回実施(5月29日・10月30日)

○職員研修実施状況

・各種研修会に積極的に参加し、保育の専門性と質の向上に努めた。

園内研修 4月 保育理念・基本方針・今年度の事業計画について

6月 安全な水遊びをするために(心肺蘇生・AEDと心肺蘇生法)

7月 乳幼児突然死症候群について

8月 避難訓練のマニュアル確認

南海トラフ巨大地震に備えて準備や職員間の連携について

9月 保育園における虐待について

重大事故への発展を防止するために

10月 「丁寧に保育する」ってどういうこと？乳児の健やかな育ちを支える保育者の関わり

11月 不適切保育について

12月 保育の事故防止について(ヒヤリハット・気付き)

1月 安全保育について

2月 アンガーマネジメント

3月 保育環境について

外部研修 児童育成協会実施研修

- ・キャリアアップ研修(マネジメント、保護者支援・子育て支援)各1名
- ・保育安全研修 1名
- ・施設長研修 1名

自治体実施研修

- ・事故防止研修会(災害)
- ・事故防止研修会(アレルギー)
- ・保育施設長向け研修
- ・認可外保育施設保育従事者研修

その他

- ・法人研修(月1回)
- 介護職専門の研修については、保育に関する内容に変更して実施し、全職員が紙面に研修報告を行った。

令和6年度

社会福祉法人 三養福祉会

特別養護老人ホーム

サンフォート武庫之荘

事業報告書

・特別養護老人ホーム サンフォート武庫之荘

(併設短期入所生活介護)

・デイサービスセンター サンフォート武庫之荘

・ヘルパーステーション サンフォート武庫之荘

・居宅介護支援事業所 サンフォート武庫之荘

令和6年度 事業報告書

特別養護老人ホーム 入所状況

令和6年度(R6年4月1日—R6年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム80名、短期入所10名						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4—9月平均
定 数	2400	2480	2400	2480	2480	2400	2440
入居実数月累計	2398	2354	2393	2426	2473	2394	2406.3
在籍者1日平均	79.9	75.9	77.7	78.3	76.2	79.8	78.0
入院差し引く実数	2282	2364	2331	2459	2384	2299	2353.2
入院者差し引く実数	76.1	99.6	99.8	100.0	99.7	99.7	95.8
1日当り実質空床率	4.8%	4.7%	3.3%	8.5%	3.2%	2.7%	4.51%
新規入所者数	1	3	4	0	4	1	2.17
退所者(内死亡者)	2	3(2)	3(1)	0	5(4)	0	2.1
1日当り入院者平均	3.90	3.74	2.60	0.68	3.10	2.13	2.69
入院 日数1ヵ月累計	118	116	69	21	96	101	86.8
平均入所率	99.9%	94.9%	99.7%	97.8%	99.7%	99.8%	98.6%
短期入所者延べ人数	271	207	185	271	249	208	231.8
特養＋短期 定数	2700	2790	2700	2790	2790	2700	2745.0
月当り在籍者実数	2553	2581	2496	2701	2628	2495	2575.7
1日当実質在籍者数	82.4	83.3	83.2	87.1	84.8	83.1	84.0
稼働率(特＋短)	94.6%	92.5%	92.4%	96.8%	94.1%	92.4%	93.8%
入所者介護度平均	3.56	3.56	3.53	3.52	3.51	3.46	3.52
要介護 (1)	3	3	3	3	3	3	3.0
要介護 (2)	9	10	10	10	11	11	10.2
要介護 (3)	23	24	26	24	25	26	24.7
要介護 (4)	31	28	29	28	27	26	28.2
要介護 (5)	15	17	16	15	16	14	15.5
合 計	81	82	84	80	82	80	81.5
外泊日数	1	2	4	2	0	3	2.0
外出数	0	2	2	2	3	2	1.8
通院者数	15	24	22	18	23	20	20.33
面会者数	156	206	185	237	238	264	214.3
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0

令和6年度(R6年10月1日—R7年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム80名、短期入所10名								全体	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合 計	月平均
定 数	2480	2400	2480	2480	2240	2480	2426.7	29200	2433.3
入居実数月累計	2480	2398	2475	2471	2226	2469	2419.8	28922	2410.2
在籍者1日平均	80.0	79.9	78.6	78.5	78.7	79.6	79.2	943	78.60
入院差し引く実数	2390	2324	2451	2440	2220	2469	2382	28413	2367.8
入院者差し引く実数	99.8	99.8	99.8	99.7	99.5	99.6	100	1173.0	97.8
1日当り実質空床率	3.2%	1.7%	1.2%	1.1%	0.8%	0.4%	1.40%		2.95%
新規入所者数	2	2	3	0	4	0	1.83	24	2.0
退所者(内死亡者)	2(2)	3(3)	2(2)	1(1)	3(2)	0	4.50	39	3.3
1日当り入院者平均	2.90	1.36	0.94	0.90	0.71	0.35	1.19	23.3	1.9
入院 日数1ヵ月累計	90	76	29	40	20	11	44.3	787	65.6
平均入所率	100.0%	99.9%	99.8%	99.6%	98.3%	99.5%	99.5%		99.1%
短期入所者延べ人数	183	230	272	286	242	300	302.6	2904	806.9
特養＋短期 定数	2790	2700	2790	2790	2520	2790	2730.0	32850	2737.5
月当り在籍者実数	2572	2556	2711	2721	2446	2769	2629.2	31229	2602.4
1日当実質在籍者数	83.0	77.5	87.5	87.8	82.3	89.3	84.6	1011.1	84.3
稼働率(特＋短)	92.2%	94.7%	97.2%	97.5%	97.1%	99.2%	96.31%	1140.69%	95.1%
入所者介護度平均	3.47	3.50	3.52	3.51	3.56	3.60	3.53	42.30	3.53
要介護 (1)	3	3	3	2	2	3	2.7	34	2.8
要介護 (2)	11	11	10	10	10	9	10.2	122	10.2
要介護 (3)	26	25	26	26	28	21	25.3	300	25.0
要介護 (4)	28	28	27	26	25	31	27.5	334	27.8
要介護 (5)	14	15	16	16	18	16	15.8	188	15.7
合 計	82	82	82	80	83	80	81.5	978	81.5
外泊日数	1	2	2	4	2	2	2.2	25	2.1
外出数	2	3	7	7	5	0	4.0	35	2.9
通院者数	18	24	31	25	26	29	25.50	275	22.9
面会者数	274	281	111	241	206	215	221.3	2614	217.8
実習生(累計)	0	18	0	0	0	0	3.0	18	1.5

(入所者別状況表)

①保険者別

保険者別	住所別
尼崎市	82
宝塚市	2
西宮市	2
伊丹市	12
神戸市中央区	1
大東市	1
大阪市	1
彦根市	
豊名川町	1
川西市	1
名古屋市	1
計	104

②入所者平均年齢

	男性	女性	全体
人数	35	69	104
平均年齢	83.0	87.0	86.0
最高年齢	91	105	
最低年齢	72	70	

③障害高齢者日常生活自立度

寝たきり度	人数
軽度	
Ⅰ1	0
Ⅰ2	3
中度	
A1	9
A2	20
重度	
B1	19
B2	34
最重度	
C1	12
C2	7
合計	104

④認知症高齢者日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	7
	Ⅱa	16
	Ⅱb	13
中度	Ⅲa	29
	Ⅲb	15
重度	Ⅳ	20
	M	2
合計		102

⑤日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	22	21	61	104
食事	50	25	22	97
排泄	10	52	42	104
入浴	5	39	60	104

⑥オムツ使用者状況

状況	人数
常時	43
夜間のみ	29
合計	72

⑦在所期間の状況

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	平均在所
男	7人	11人	4人	3人	0人	0人	3.6年
女	17人	24人	21人	16人	0人	1人	4.6年
計	24人	35人	25人	19人	0人	1人	4.4年

⑧日常生活の状況調査

区 分				実数	割合	区 分				実数	割合		
移動 食 事 入 浴 着 脱 衣	自立	独立歩行	6 人	5.8	%	排泄	日間	便所	自己で可能	18 人	17.3	%	
		杖等の歩行補助器使用	7 人	6.7	%				一部介助	43 人	41.3	%	
		車椅子使用	12 人	11.5	%				全部介助	0 人	0.0	%	
		要介助	78 人	75.0	%				ポータブル 便器	自己で可能	0 人	0.0	%
	食事	自己で可能	50 人	48.1	%			一部介助		0 人	0.0	%	
		一部介助	25 人	24.0	%			全部介助		0 人	0.0	%	
		全部介助	26 人	25.0	%			おむつ使用			43 人	41.3	%
		入浴	自己で可能	5 人	4.8			%	夜間	便所	自己で可能	10 人	9.6
	一部介助		39 人	37.5	%		一部介助	21 人			20.2	%	
	全部介助		60 人	57.7	%		全部介助	0 人			0.0	%	
	着脱衣		自己で可能	11 人	10.6		%	ポータブル 便器			自己で可能	0 人	0.0
		一部介助	34 人	32.7	%		一部介助			2 人	1.9	%	
		全部介助	59 人	56.7	%		全部介助			0 人	0.0	%	
		じょうそう者数			6 人		5.8			%	おむつ使用		
認知症	重	度	22 人	21.2	%	ト イ レ 誘 導 実 施 者 数					23 人	22.1	%
	中	度	44 人	42.3	%								
	軽	度	36 人	34.6	%								

(年間行事)

	イベント名	内 容	実施場所
4月	○お花見	桜の鑑賞を通じて季節感を味わって頂く	山田神社
5月	○母の日	日頃の感謝を伝えお祝いする	サンフォート武庫之荘
6月	○父の日	日頃の感謝を伝えお祝いする	サンフォート武庫之荘
7月	○七夕	短冊に願いを書き、季節感を味わって頂く	サンフォート武庫之荘
8月	○納涼祭	夏祭りの雰囲気を感じ、各フロアで楽しんで頂く	サンフォート武庫之荘
9月	○敬老会	ご利用者に向けて日々の感謝と敬意を払う	サンフォート武庫之荘
10月	○コスモス鑑賞	コスモスの鑑賞を通じて季節感を味わって頂く	武庫川河川敷
	○ハロウィン	お化けの恰好をして写真を撮っていただく	サンフォート武庫之荘
12月	○クリスマス会	クリスマスの雰囲気を感じて頂く	サンフォート武庫之荘
1月	○初詣	新年のお参りを行い季節感を感じて頂く	山田神社
2月	○節分	豆まきを行い、季節感を感じて頂く	サンフォート武庫之荘
	○ひな祭り	ひな壇の前で記念撮影	サンフォート武庫之荘

(研修活動)

実施月	研修内容	参加職種
4月	虐待研修、新入職員	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
5月	認知症の理解と身体拘束研修、介護技術研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
6月	感染症・食中毒研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
7月	BCP研修、高齢者虐待防止研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
8月	接遇研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
9月	倫理研修、事故再発防止研修、感染症・災害対策研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
10月	中途採用研修、認知症研修、高齢者虐待防止研修、排泄介助&ポジショニング研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
11月	中途採用研修、事故対策研修、	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
12月	身体拘束をなくすための研修、介護技術研修、認知症研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
1月	介護技術研修、救命救急講習会、BCP研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
2月	アンガーマネジメント研修、BCP訓練、介護技術研修、職業倫理研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
3月	中途採用研修、身体拘束をなくすための研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士

(部署・委員会 会議)

()内は開催日

実施月	内 容
4月	リーダー会議(9)・安全衛生(22)新聞、行事(25)・拘束、虐待(24)・感染、褥瘡(25)・事故防止(26)
5月	リーダー会議(14)・安全衛生(27)新聞、行事(23)・拘束、虐待(29)・感染、褥瘡(30)・事故防止(30)
6月	リーダー会議(11)・安全衛生(24)新聞、行事(20)・拘束、虐待(26)・感染、褥瘡(27)・事故防止(28)
7月	リーダー会議(9)・安全衛生(22)新聞、行事(23)・拘束、虐待(24)・感染、褥瘡(25)・事故防止(26)
8月	リーダー会議(13)・安全衛生(26)新聞、行事(27)・拘束、虐待(28)・感染、褥瘡(29)・事故防止(30)
9月	リーダー会議(10)・安全衛生(23)新聞、行事(24)・拘束(24)、虐待(25)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
10月	リーダー会議(8)・安全衛生(21)新聞、行事(22)・拘束(22)、虐待(23)・感染、褥瘡(24)・事故防止(25)
11月	リーダー会議(12)・安全衛生(25)新聞、行事(26)・拘束(26)、虐待(27)・感染、褥瘡(28)・事故防止(29)
12月	リーダー会議(10)・安全衛生(23)新聞、行事(16)・拘束(24)、虐待(25)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
1月	リーダー会議(14)・安全衛生(20)新聞、行事(28)・拘束(29)、虐待(22)・感染、褥瘡(17)・事故防止(24)
2月	リーダー会議(11)・安全衛生(17)新聞、行事(25)・拘束(19)、虐待(26)・感染、褥瘡(14)・事故防止(21)
3月	リーダー会議(11)・安全衛生(17)新聞、行事(3)・拘束(19)、虐待(26)・感染、褥瘡(14)・事故防止(21)

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	7	8	7	8	9	7	8	7	9	6	7	4	87
要介護2	6	7	7	10	8	8	8	5	4	6	5	7	81
要介護3	8	5	6	4	3	8	7	9	11	7	8	7	83
要介護4	6	4	4	5	3	4	5	5	5	2	2	3	48
要介護5	2	6	2	4	4	3	2	0	1	1	1	23	49
合計	29	30	26	31	28	31	30	26	30	22	23	23	329

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	1	0	1	1	1	1	2	2	0	1	0	10
	女	2	2	2	3	5	1	4	5	1	1	2	2	30
	計	2	3	2	4	6	2	5	7	3	1	3	2	40

[illegible]

(年齢別 利用状況)

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
65未満	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4
65～75	1	0	1	2	1	3	2	1	1	1	0	0	13
75～85	9	10	8	8	8	7	5	4	7	4	7	7	84
85以上	18	20	17	21	19	21	23	21	21	16	16	15	228
合計	29	30	26	31	28	31	30	26	30	22	23	23	329

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	4	3	3	4	3	2	2	5	6	4	3	3	42
他事業所	25	27	23	27	25	29	28	21	24	18	20	20	287
合計	29	30	26	31	28	31	30	26	30	22	23	23	329

減額度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
1段階	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5
2段階	4	4	4	4	5	5	4	3	4	5	4	5	51
3段階	7	7	5	5	6	5	7	5	5	4	2	4	62
4段階	18	19	17	21	16	21	19	18	20	13	16	13	211
合計	29	30	26	31	28	31	30	26	30	22	23	23	329

令和6年度 安全衛生・防災対策委員会

安全衛生の面では、施設で働く職員が健康に働けるための環境整備やご入居者様の生活環境を整備をすることによって、安全・安心にお過ごしいただけるよう努めてきました。

防災対策の面では消防署と連携し、避難訓練・防火訓練、救急救命の講習を開催しました。また、BCP委員会へ参画し、様々な災害への対応ができるよう日頃から準備してきました。

委員会担当者名

委員長名	構成員								
施設長	主任相談員	相談員	1F	2F	さくらひまわり		つつじりんどう		
伊地知	永田	明石	柴田	野口	奥田	岡崎		角岡	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月22日	安全衛生・防災対策委員会	年間スケジュールについて
5月	5月27日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・研修の参加率を上げるには
6月	6月24日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・災害用物資の配置について
7月	7月22日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・委員会の原点について
8月	8月26日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・台風10号接近による災害対策について
9月	9月23日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・アルコール消毒スプレーの増加について
10月	10月21日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・腰痛防止、ベッド・ナースコールリモコンの修理・通勤の安全確保
11月	11月25日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・自転車通勤の注意点・大型ゴミ回収・風呂の大掃除・大浴場前のマット
12月	12月25日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・BCP立ち上げ
1月	1月20日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・救命救急研修について・腰痛予防の啓発について
2月	2月17日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・4月定例の「健康診断とストレスチェック」について
3月	3月25日	安全衛生・防災対策委員会	委員会活動報告・緊急避難時に障害となるものの点検・BCP備品の保管場所・腰痛予防・春の交通安全運動

令和6年度 新聞・行事委員会

施設からご家族・地域へ向けた情報発信を目的とし、機関紙「サンSUNだより」の編集・発行を行いました。
「施設内の様子が知りたい、顔を見たい」という声を大切に、文章ばかりではなく、出来る限り、ご入居者様のお元気な
ご様子の写真を掲載しました。あわせて、施設のインスタグラムも活用し委員会中心となって日常の風景や
レクリエーション時の様子を発信しました。来年度も施設行事を積極的に企画遂行し、ご入居者様の生活が刺激的な
ものとなるよう継続していきます。

委員会担当者名

委員長名		構成員									
施設長	主任相談員	相談員	1F		2F		さくらひまわり		つつじりんどろ		
伊地知	永田	明石	岡本	植田	萬	ミイン	トウオイ	伊藤	角岡	中井	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月23日	新聞行事委員会	サンSANだより5月号の内容について、納涼祭について
5月	5月28日	新聞行事委員会	サンSANだより6月号の内容について、5月度の行事(父の日)、納涼祭について
6月	6月25日	新聞行事委員会	サンSANだより7月号の内容について、6月度の行事、納涼祭について
7月	7月23日	新聞行事委員会	納涼祭について
8月	8月27日	新聞行事委員会	敬老会について
12月	12月16日	新聞行事委員会	クリスマス会について、行事に関して、サンSANだよりについて
3月	3月3日	新聞行事委員会	行事報告と今後のレクリエーションに関して、4月発行のサンSANだよりについて

令和6年度 拘束・虐待防止委員会

サンフォート武庫之荘では、身体拘束ゼロを宣言し、毎月、身体拘束適正化委員会で適正の判断を討議しました。また、少しの時間でも拘束をなくす取り組みを行ってきました。4月時点で6名から令和7年3月には、3名に減らすことが出来ました。虐待防止委員会では、ご入居者様の人権が守られ、施設での生活が快適なものとなるよう努めました。また、「不適切ケア」の積み重ねが、虐待につながることを念頭に、委員が「不適切ケア」の施設内チェックを行い互いに注意できる環境づくりに努めました。

委員会担当者名

委員長名		構成員								
施設長	主任相談員	相談員	1F		2F		さくらひまわり		つつじりんどう	
伊地知	永田	明石	岡本	上山	萬	マー	山本(高)	岡崎	友田	宮崎
					ヒダル				尾崎	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月24日	拘束虐待防止委員会	年間スケジュールについて
5月	5月29日	拘束虐待防止委員会	虐待防止に関する取り組み、身体拘束に関する評価について
6月	6月26日	拘束虐待防止委員会	身体拘束解除の取り組みについて、虐待防止について
7月	7月24日	拘束虐待防止委員会	身体拘束介助の取り組み、虐待防止について
8月	8月28日	拘束虐待防止委員会	身体拘束防止について、虐待防止について
9月	9月24日	身体拘束委員会	身体拘束解除の取り組みについて
9月	9月25日	虐待防止委員会	虐待に関する意識について、フリートーク
10月	10月22日	身体拘束委員会	身体拘束解除の取り組みについて
10月	10月23日	虐待防止委員会	尿量の記録、記入方法などの問題点について
11月	11月26日	身体拘束委員会	身体拘束解除の取り組みについて、身体拘束をなくすための研修について
11月	11月27日	虐待防止委員会	尿量の表記について、パットモニター3名様の状況説明、不適切ケアについて
12月	12月24日	身体拘束委員会	現状報告各ユニットから、研修実施報告
12月	12月25日	虐待防止委員会	オムツパッドの使い方、不適切ケアの見直し
1月	1月29日	身体拘束委員会	現状報告各ユニットから 工夫や今後の可能性も含めて、新入所された方の状態変化等の検討
1月	1月22日	虐待防止委員会	不適切ケアの見直し、各フロアから、委員による「不適切ケア・施設内チェック」運用について
2月	2月19日	身体拘束委員会	現状報告各ユニットから 工夫や今後の可能性も含めて、新入所された方の状態変化等の検討
2月	2月26日	虐待防止委員会	不適切ケアの見直し、各フロアから、委員による「不適切ケア・施設内チェック」の報告
3月	3月27日	身体拘束委員会	現状報告各ユニットから 代替え案や今後の可能性も含めて、新入所された方の状態変化等の検討
3月	3月27日	虐待防止委員会	不適切ケアの見直し、各フロアから、委員による「不適切ケア・施設内チェック」の報告

令和6年度 感染・褥瘡防止委員会

感染症の発生は、施設では避けることのできない事態の一つではありますが、日頃から標準予防策を徹底することが、最重要と心得、委員会においても予防策の啓発活動を実施するとともに、実技的研修を開催し、身につけるよう努めました。

たとえ感染者が出たとしても、早期に収拾、蔓延を防ぐ取り組みを行って来ました。

褥瘡に関しては、除圧・体圧分散等の基本介護の見直しや介護の統一をし、改善と予防を徹底しました。

委員会担当者名

委員長名	構成員									
施設長	主任相談員	相談員	1F		2F		さくらひまわり		つつじりんど	
伊地知	永田	明石	柴田		野口	山本就	中井		山口	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月25日	感染褥瘡防止委員会	今年度研修について、コロナ対応について、褥瘡について、今月の目標
5月	5月30日	感染褥瘡防止委員会	6月研修について、コロナ対応について、褥瘡について
6月	6月27日	感染褥瘡防止委員会	11月研修について、衛生面について、コロナ対応について、褥瘡について
7月	7月25日	感染褥瘡防止委員会	コロナ感染発生とその対応について、衛生面について、褥瘡について
8月	8月29日	感染褥瘡防止委員会	褥瘡・コロナウイルス対応について
9月	9月26日	感染褥瘡防止委員会	褥瘡・コロナウイルス対応について
10月	10月24日	感染褥瘡防止委員会	感染症発症傾向、感染症対策、褥瘡予防について
11月	11月28日	感染褥瘡防止委員会	感染症発症傾向、感染症対策、褥瘡予防について
12月	12月26日	感染褥瘡防止委員会	感染症発症傾向、スタンダードプリコーション研修について、12月度目標の振り返り、褥瘡の現状報告と対策
1月	1月17日	感染褥瘡防止委員会	感染症発症傾向、スタンダードプリコーション研修について、褥瘡の現状報告と対策、褥瘡指針とマニュアル
2月	2月14日	感染褥瘡防止委員会	感染症発症傾向、褥瘡の現状報告と対策、1月度目標振り返り
3月	3月14日	感染褥瘡防止委員会	感染症発症傾向、褥瘡の現状報告と対策、1月度目標振り返り

令和6年度 事故・再発防止委員会

事故の原因を追及し、未然に防ぐために起きてしまった事故の分析(事故の内容・発生場所・発生時間)をデータ化し、予防対策の検討材料としました。まずは、職員一人ひとりが起こった事故の振り返りと再発防止策を考え、事故を起こさないための意識改革や介護の見直しから始め、ユニット毎にその対策を話し合い、取り組んでいくよう道筋をたてました。

今後も、すべての入居者様が安全で安心できる生活を送っていただけるよう研鑽してまいります。

委員会担当者名

委員長名	構成員							
施設長	主任相談員	相談員	1F	2F	さくらひまわり	つつじりんど		
伊地知	永田	明石	信時	奥田	山本(高)	中西	角岡	

(委員会活動内容)

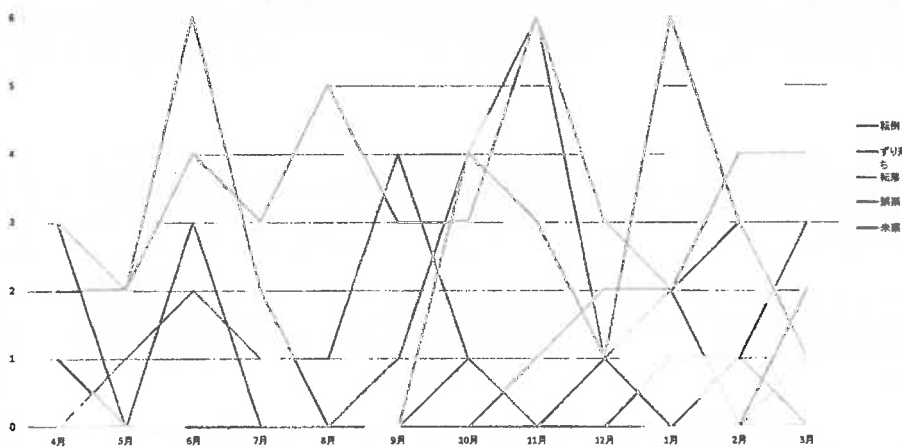
月	実施日	委員会	内 容
4月	4月26日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、転倒転落を防ぐにはどうすればいいのか
5月	5月30日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、事故の防止について
6月	6月28日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、防げる事故
7月	7月28日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、今後の課題
8月	8月30日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、事故報告書について
9月	9月27日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、事故再発防止研修会について
10月	10月25日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、事故再発防止研修会について
11月	11月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、事故再発防止研修会報告
12月	12月27日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、予防策の検討、指針・マニュアルについて
1月	1月24日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、予防策の検討、リスクの高い人の対応検討
2月	2月21日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、予防策の検討、リスクの高い人の対応検討
3月	3月21日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、分析・考察、予防策の検討、リスクの高い人の対応検討

年間事故報告集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	3	2	4	3	5	3	3	6	3	2	4	4	42
すり落ち	2	2	8	2	0	0	4	3	1	6	3	1	30
転落	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
誤服	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
未服	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	1	9
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
刺傷	0	1	2	1	1	4	1	0	1	0	1	3	15
外傷	2	1	1	4	1	1	1	0	0	3	3	4	21
その他	3	0	3	0	0	1	4	8	1	2	0	1	21
合計	11	6	18	10	7	8	14	15	8	16	15	16	144

10

7



令和6年度事業報告書

デイサービスサンフォート武庫之荘

令和6年(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(事業概要)

- ・令和6年度は、ご利用者は5,796名(前年比108.1%)の実績を収めました。
- ・令和6年度10月より、新たにデイ相談員が加わり新体制となり新規ご利用者の獲得にも努めましたが、月間稼働目標92%までは届かなかった。
- 事業計画では月平均600名としていましたので、月平均483名と600名には至りませんでした。
- ・令和7年度の傾向としては、令和6年2月に不適切なケアの発生の件から、信用、信頼回復に向け各事業所への訪問を継続し、今期4月より徐々に回復基調となっており、デイサービスの情報及び利用者様の利用状況等を含め各事業所へ必ず伺っています。
- ・過去からマンネリ化していた行事ごとや業務改善を行い、充実したレクリエーション、体操等、組織(チーム)として取り組み職員一丸となって利用者様、家族様から喜んで頂けるデイサービスを目指します。

(月間延べ利用者推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	単位 人 一月平均
要支援	17	14	26	24	26	28	39	48	45	51	35	41	394	32.8
要介護	439	459	416	455	459	464	474	454	459	465	411	447	5,402	450.2
合計	456	473	442	479	485	492	513	502	504	516	446	488	5,796	483.0
令和5年度	459	486	359	455	472	502	504	474	471	486	482	457	5,607	467.3

前年度比 208名減

(利用者分析) 介護度別利用状況(実人数/延べ回数)

(内容:介護予防通所介護)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
要支援1	1	4	1	3	1	16	1	5	0	0	0	0	0	0	2	6	2	9	2	9	2	8	2	8
要支援2	3	13	3	11	4	10	4	19	5	26	5	28	6	39	6	42	6	36	7	42	7	27	7	33
合 計	4	17	4	14	5	26	5	24	5	26	5	28	6	39	8	48	8	45	9	51	9	35	9	41

(内容:通所介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	23 197	22 220	25 209	29 222	25 221	26 219	24 217	21 206	20 194	20 195	20 170	19 200
要介護2	12 138	11 131	12 127	11 140	12 146	11 151	12 153	13 149	13 154	15 159	15 152	12 146
要介護3	4 53	5 55	4 43	3 50	3 44	4 46	4 53	4 53	4 34	4 34	5 33	4 32
要介護4	4 15	3 15	3 11	2 10	4 10	2 9	2 10	2 10	3 23	3 23	3 23	4 28
要介護5	5 36	3 33	3 29	3 33	5 38	4 39	4 41	5 36	6 54	6 54	5 33	5 41
合 計	48 439	44 454	47 419	48 455	49 459	47 464	46 474	45 454	46 459	48 465	48 411	44 447

(新規利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0	0	5
要介護	1	1	1	3	1	1	1	2	2	4	2	2	21
合計	1	1	1	3	2	1	2	4	2	5	2	2	26
令和5年度	1	1	1	4	0	1	4	0	2	6	2	4	26

(請求状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防通所介護	54,755	77,232	115,471	115,471	141,768	141,766	173,058	208,382	223,467	247,487	209,962	209,962
通所介護	3,256,864	3,288,414	3,062,399	3,287,249	3,327,558	3,380,188	3,463,581	3,316,628	3,373,731	3,441,959	3,022,043	3,286,060
合計	3,311,619	3,365,646	3,177,870	3,402,720	3,469,324	3,521,954	3,636,639	3,525,010	3,597,198	3,689,446	3,232,005	3,496,022

(行事内容) 主な実施行事

4月	さくらまつり
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕祭り
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	運動会
11月	おやつレク
12月	クリスマス会
1月	初詣
2月	節分
3月	ひな祭り

協力ボランティア団体と活動内容(レクリエーション含む)

団体名	活動内容
デイ施設職員	アニマルセラピー
ひまわり	ギターに合わせて合唱
—	—
—	—
—	—
ひまわり	ギターに合わせて合唱
—	—
—	—
—	—
ひまわり	ギターに合わせて合唱
デイ施設職員	アニマルセラピー

令和6年度事業報告書

ヘルパーステーション サンフォート武庫之荘

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(業績結果)

- ・重度の在宅生活者の減少により、訪問内容は身体介護を必要としたケアは少なく、生活援助が中心となりました。
- ・又、ヘルパーの高齢化もあり身体中心としたケアを引き受けられないのが現状です。
- ・居宅介護支援事業所からの依頼で、訪問型独自サービスを受けない事業所の利用者様を引き受け、利用者様の増加につなげました。
- ・自費サービスの通院介助の依頼が増加し、特養利用の通院も依頼されるなど、介護保険外サービスの増加につながりました。

(1) 職員の知識・技術を向上させる活動を行いました。

- ・定期会議で個々の情報交換をメールで行い、特に登録ヘルパーに介護方法や介護方法や各種サービスに関する情報提供を行いました
- ・また訪問時指導や接遇や法令順守など様々な研修を行い、介護の質を高めるべく、職員の専門性向上を図りました。。

(2) 利用者が安心できるサービス提供を行いました。

- ・利用者の生活環境に応じたサービス提供が行えるよう、手順書の更新を行い統一したサービス内容になるように心がけました
- ・ご利用者の持っているニーズの把握や問題等を早期に把握し、解決に向けて取り組むためにチームケアにて支援するよう心がけました。
- ・介護者の立場も同時に考慮し支援していくために、状況確認し寄り添うように心がけました。

(3) 今後の課題

- ・在籍している登録ヘルパーの高齢化と常勤ヘルパー欠員の為、若い人材確保に取り組みましたが厳しい状況です。
- ・災害時や緊急事態時の業務継続に向けた取り組みの強化や見直しが必要です。(BCP)

(研修)

研修内容

月 日	内 容	場 所
4/15	接遇／法令遵守	サンフォート武庫之荘 会議室
5/17	介護保険制度	サンフォート武庫之荘 会議室
6/17	熱中症／食中毒予防(感染症)	サンフォート武庫之荘 会議室
7/22	口腔ケアの重要性／夏バテにならない身体作り	サンフォート武庫之荘 会議室
8/19	認知症	サンフォート武庫之荘 会議室
9/9	緊急時対応／事故防止、ヒアリハット	サンフォート武庫之荘 会議室
10/21	高齢者虐待	サンフォート武庫之荘 会議室
11/18	緊急時対応(脳梗塞、心筋梗塞)	サンフォート武庫之荘 会議室
12/16	今年1年振り返り、来年の抱負	サンフォート武庫之荘 会議室
1/20	尼崎市消防による救命救急講習	サンフォート武庫之荘 会議室
2/20	プライバシー保護と個人情報保護	サンフォート武庫之荘 会議室
3/20	BCP(業務継続計画・災害)	サンフォート武庫之荘 会議室

(1) 訪問時同行指導

- ・同行し、サービス提供時間、援助内容、移動距離等を見直すことにより効率的に訪問介護業務が行えるよう指導しました。

(2) 会議

- ・職員会議～毎月実施(登録職員含む)しました。あわせて上記の研修も実施しました。
- ・情報交換～職員会議時の報告のほか、必要時に実施しました。

・自費サービス対応時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費生活援助	4	6	3.5	6	10.5	10.5	11	8.5	9	11	11	8.5	99.5
自費通院介助	22.5	17.5	17	18	21	20.5	12	15	23.5	15.5	21.5	13.5	217.5
合 計	26.5	23.5	20.5	24	31.5	31	23	23.5	32.5	26.5	32.5	22	317

・訪問時間内訳

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	68	71	52	79.5	78.5	80.5	99	61	73	78.5	73	80.5	894.5
生活	509	524	481	524	528.5	520	557	586	523.5	477	471	504	6205
合計	577	595	533	603.5	607	600.5	656	647	596.5	555.5	544	584.5	7099.5

令和6年度事業報告書

居宅介護支援事業所 サンフォート武庫之荘

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度は、入所や逝去が多かったが営業活動を通じ新規利用者は定期的に獲得出来ました。地域包括や病院からの新規依頼は多いが、要支援者が多い。要介護者獲得の為に出来るだけ受けている。今後も、より一層営業に力を入れ顧客獲得に努めていきます。

令和6年度は、下記の通り居宅介護支援業務を実施しました。

【実施業務内容】

- ① 介護保険代行申請
- ② 地域包括支援センターへの基本情報提出・再委託契約・ケアプラン作成・評価
- ③ 各ケースの把握と更新申請代行
- ④ 認定調査
- ⑤ アセスメント
- ⑥ サービス担当者会議
- ⑦ ケアプラン・計画書の作成
- ⑧ 月ごとの利用票・提供票の作成
- ⑨ 月ごとの利用票を確認して頂く為の家庭訪問
- ⑩ 各サービス事業所への連絡調整とサービスの仲介や実施
状態の変化の発見により他職種へつなぐ等
- ⑪ 毎月の実績管理
- ⑫ 毎月の給付管理
- ⑬ ケアプラン請求のチェック
- ⑭ モニタリング
- ⑮ 新規ケースに関する業務
- ⑯ 各ケースの相談業務
- ⑰ 居宅介護支援の提供に関する記録の整備

【居宅サービス:介護給付費・介護予防支援費 請求実績件数】

年 月	介護給付費	介護予防支援費
令和6年 4月	55	34
5月	55	31
6月	55	30
7月	58	29
8月	58	28
9月	57	28
10月	58	27
11月	61	28
12月	60	28
令和7年 1月	56	28
2月	56	28
3月	52	28

681

347

【認定調査】

市外の認定調査も積極的に受け入れました。

	尼崎市	その他	計
令和6年 4月			
5月			
6月	1		1
7月	1		1
8月	1		1
9月			
10月	2		2
11月	3		3
12月	1		1
令和6年 1月			
2月	2		2
3月	2	1	3

令和5年度 認定調査合計 14件

令和6年度は、下記の研修会に積極的に参加し、情報獲得と援助技術向上に務めました。

〔外部研修会 参加状況〕

年月日	内容	場所
令和6年 5月16日	武庫地区ケアマネ交流会 テーマ 認知症について 講師 エーザイ株式会社販統括部 向井清氏 テーマ 感染症対策について 講師 健栄製薬株式会社 14:00～15:30	尼崎市武庫西生涯学習プラザ
5月22日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会・全体研修会 【総会】 13:30～13:55 (1)令和5(2023)年度事業報告、収支決算及び監査報告について (2)令和6(2024)年度事業計画及び収支予算についてその他 【全体研修】 14:00～16:00 テーマ ①尼崎市の認知症施策について ②認知症について 講師 ①尼崎市深津支援担当 古川祐輝係長 ②尼崎だいもつ病院副院長 瀧本裕 医師	尼崎市立中小企業センター
7月24日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 身体拘束と高齢者虐待について 講師 一般社団法人幸せ介護創造ファクトリー 代表理事 高山彰彦 氏 14:00～16:00	尼崎市立中小企業センターホール
9月19日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 薬剤師とケアマネジャーの連携 居宅療養管理指導における連携の重要性 講師 カムイ調剤薬局 薬剤師 城古和幸氏 14:00～16:00	尼崎市立中小企業センターホール
10月22日	武庫地区ケアマネ交流会 テーマ 高齢者虐待防止について 兵庫県との相談・通報状況 虐待対応の流れについて 14:00～16:00	尼崎市武庫西生涯学習プラザ
11月26日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ ①火災や閉じ込め事案における消防署と ケアマネの連携について ②尼崎市の医療・介護連携について 講師 ①尼崎市消防局予防課予防担当 消防士長 野町郁弥氏 ②尼崎市医療・介護連携支援センターあまつなぎ 小林優子氏・北村浩子氏 14:00～16:00	尼崎市中小企業センターホール
12月13日	地域包括支援センター・あまつなぎ共催研修 テーマ 入退院連携～病院とケアマネジャーの交流～ (園田地区・立花地区・武庫地区) 14:00～16:00	尼崎市立花南生涯学習プラザ
令和7年 2月13日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 共生社会の動向について (包括的支援体制及び重層的支援体制について) 講師 同志社大学社会学部社会福祉学部 永田 祐 教授 14:00～16:00 交流会16:30～18:00	尼崎市中小企業センターホール
2月28日	園田・立花・武庫地区 地域包括支援センター あまつなぎ 共催 テーマ ケアマネ/救急隊/在宅サービス事業所等 多職種連携交流会 9:40～11:50	尼崎市立花南生涯学習プラザ
3月21日	尼崎市ケアマネジャー協会災害対策委員会 テーマ BCP策定の説明 災害発生時の業務継続に向けた体制強化 ～いかにBCPを周知できるのか～ 14:00～16:30	尼崎市中央北生涯学習プラザ

〔施設内委員会〕

- :BCP委員会 第2月曜日 10:30～11:30
- :身体拘束委員会 第2水曜日 10:30～11:30
- :感染症・褥瘡委員会 第2金曜日 10:30～11:30
- :虐待防止委員会 第3水曜日 10:30～11:30
- :事故防止委員会 第3金曜日 10:30～11:30

〔内部研修会〕

年月日		内容	場所
令和6年			
8月	テーマ 講師	・高齢者虐待・身体拘束廃止に向けて ・拘束及び高齢者虐待防止について 一般社団法人幸せ介護創造ファクトリー 代表理事 高山 彰彦氏	PC
9月	テーマ 講師	感染症/災害対策 介護現場において求められる考え方と行動とは 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原宏昌氏	PC
10月	テーマ 講師	高齢者虐待の防止のための研修 高齢者虐待とはなにか (株)日本ケアコミュニケーションズ 高頭晃紀氏	PC
10月	テーマ 講師	認知症ケア① 認知症の基礎知識と利用者・家族の気持ち 認知症ケア② 認知症の専門的ケア 6つの方法 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌氏	PC
11月	テーマ 講師	ターミナルケア・褥瘡 介護現場において求められる考え方と行動とは 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌氏	PC
12月	テーマ 講師	認知症ケア3 BPAD（拒否、リスクについて） 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌氏	PC
令和7年	2月	テーマ アンダーマネジメント研修	PC
	3月	テーマ 虐待防止/身体拘束防止 介護現場における考え方と具体的な取り組み 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌氏	PC

特別養護老人ホーム 白浜 日置の郷 令和6年度 報告書
令和6年度(令和6年4月1日—令和6年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4-9月平均
定 数	1500	1550	1500	1550	1550	1500	1525.00
入居実数月累計	1495	1521	1485	1533	1514	1480	1505
在籍者1日平均	49.8	49.1	47.9	49.5	48.8	47.7	48.81
入院差し引く実数	1422	1512	1450	1442	1443	1430	1449.83
入院者差し引く実数	94.8%	97.5%	96.7%	93.0%	93.1%	95.3%	95.08%
1日当り実質空床率	4.87%	0.58%	2.33%	5.87%	4.58%	3.33%	3.59%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0
新規入所者数	3	3	1	0	2	3	2.00
退所者(内死亡者)	2(1)	3(3)	1(1)	2(2)	2(2)	3(1)	2.1(1.6)
1日当り入院者平均	2.43	0.29	1.13	2.94	2.29	1.61	1.78
入院 日数1ヵ月累計	73	9	35	91	71	50	54.83
平均入居率	99.7%	98.1%	99.0%	98.9%	97.7%	98.7%	98.7%
短期入所者延べ人数	0	216	207	186	284	236	188.2
特養＋短期 定数	1800	1860	1800	1860	1860	1800	1830
月当り在所者実数	1422	1728	1657	1628	1727	1666	1638
1日当実質在所者数	47.40	55.74	53.45	52.52	55.71	53.74	53.09
稼働率(特＋短)	79.0%	92.9%	92.1%	87.5%	92.8%	92.6%	89.48%
入所者介護度平均	3.88	3.84	3.84	3.83	3.88	3.84	3.85
要支援	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護 (1)	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護 (2)	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護 (3)	19	20	20	19	17	18	18.8
要介護 (4)	18	18	18	18	20	21	18.8
要介護 (5)	13	12	12	11	11	10	11.5
合 計	50	50	50	48	48	49	49.17
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0
外出数	0	0	1	0	0	1	0.3
通院者数	13	34	23	12	23	18	21
面会者数	52	79	74	89	143	169	101
実習生(累計)	0	0	16	0	8	0	4.0

令和6年度(令和6年10月1日—令和7年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名								全体	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均
定数	1550	1500	1550	1550	1400	1550	1517	18250	1520.83
入居実数月累計	1507	1434	1510	1545	1339	1547	1480	17910	1492.5
在籍者1日平均	48.6	46.3	48.7	49.8	43.2	49.9	47.8		48.28
入院差し引く実数	1468	1430	1487	1524	1312	1512	1456	17432	1452.7
入院者差し引く実数	94.7%	95.3%	95.9%	98.3%	93.7%	97.5%	95.93%		95.50%
1日当り実質空床率	2.52%	0.27%	1.48%	1.35%	1.93%	2.26%	1.63%		2.61%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
新規入所者数	4	4	1	2	1	3	2.5	27	2.3
退所者(内死亡者)	5(0)	3(3)	0(0)	3(2)	1(1)	1(1)	2.2(1.2)	26(17)	2.16(1.41)
1日当り入院者平均	1.26	0.13	0.74	0.68	0.87	1.13	0.80		1.3
入院日数1ヵ月累計	39	4	23	21	27	35	24.8	478	39.8
平均入居率	97.2%	95.6%	97.4%	99.7%	95.6%	99.8%	97.56%		98.1%
短期入所者延べ人数	235	203	215	215	214	217	216.5	2428	202.3
特養＋短期 定数	1860	1800	1860	1860	1680	1860	1820.0	21900	1825.0
月当り在籍者実数	1703	1633	1702	1739	1526	1729	1672.0	19860	1655.0
1日当実質在籍者数	54.94	52.88	54.90	56.10	49.23	55.77	53.9		53.5
稼働率(特＋短)	91.6%	90.7%	91.5%	93.5%	90.8%	93.0%	91.85%		90.66%
入所者介護度平均	3.77	3.71	3.67	3.65	3.58	3.60	3.66		3.76
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(2)	0	0	1	0	1	1	0	3	0.3
要介護(3)	19	21	22	24	24	25	22.5	248	20.7
要介護(4)	20	20	18	18	17	17	18.3	223	18.6
要介護(5)	8	7	8	7	6	7	7.2	112	9.3
合計	47	48	49	49	48	50	48.5	586	48.8
外泊日数	0	0	3	4	0	1	1.3	8	0.7
外出数	0	1	1	1	1	5	1.50	11	0.9
通院者数	19	16	20	14	17	31	19.5	240	20.0
面会者数	167	174	160	174	163	187	170.8	1631	135.9
実習生(累計)	12	8	0	20	8	18	11.0	90	7.5

利用者別状況表(令和7年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
白浜町	19	19
すさみ町	15	15
田辺市	6	5
上富田町	1	1
みなべ町	1	1
串本町	3	3
印南町	2	2
神戸市長田区	1	1
吹田市	1	1
尾鷲市	0	1
十津川村	1	1
	50	50

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	12名	38名	50名
平均年齢	87.67歳	87.81歳	87.4歳
最高年齢	102歳	103歳	
最低年齢	68歳	72歳	

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	1
中度	A1	2
	A2	20
重度	B1	8
	B2	11
最重度	C1	5
	C2	3
合計		50

③認知症高齢者の日常生活自立度

	レベル	人数
自立	自立	1
軽度	I	1
	Ⅱa	5
	Ⅱb	9
中度	Ⅲa	14
	Ⅲb	12
重度	Ⅳ	7
	M	1
合計		50

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	13	21	16	50
食事	40	4	6	50
排泄	8	27	15	50
入浴	0	31	19	50

⑤オムツ使用者状況

	人数
日中	13
夜間	2
常時	13
合計	28

令和7年3月31日

令和6年度事業報告書

短期入所生活介護

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	男	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
	女	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	6
障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	1	0	1	2	3	1	3	1	3	1	2	1	19
要介護1	男	4	5	5	4	8	6	6	5	4	4	4	3	58
	女	4	3	3	2	3	3	2	2	3	2	3	4	34
要介護2	男	4	4	5	4	4	4	2	3	3	4	3	3	43
	女	11	11	8	7	7	8	8	7	6	6	7	10	96
要介護3	男	3	3	3	3	5	4	4	3	3	2	4	2	39
	女	8	8	7	8	8	7	6	6	6	6	7	5	82
要介護4	男	0	1	1	1	1	1	0	1	0	2	2	1	11
	女	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	4	22
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	6	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	47
合計		42	41	38	37	46	42	38	35	35	34	39	37	464

介護度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中		0	0	0	1	1	1	1	0	2	1	1	1	9
要支援1		0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
要支援2		1	0	1	2	3	1	3	2	3	1	2	1	20
1		8	8	8	6	11	9	8	7	7	6	7	7	92
2		15	15	13	11	11	12	10	10	9	10	10	13	139
3		11	11	10	11	13	11	10	9	9	8	11	7	121
4		1	2	2	2	2	3	2	3	2	4	5	5	33
5		6	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	47
合計		42	41	38	37	46	42	38	35	35	34	39	37	464

保護者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
白浜町		17	15	16	15	21	14	15	13	13	9	14	12	174
すさみ町		20	22	18	18	19	20	18	15	15	18	18	20	221
田辺市		4	3	3	3	4	5	4	6	6	6	6	4	54
上富田町		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
福知山市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堺市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町		0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
														0
														0
合計		42	41	38	37	46	42	38	35	35	34	39	37	464

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男		0	1	1	0	3	1	1	2	2	3	2	0	16
女		2	1	0	1	3	1	2	2	2	2	3	3	22
計		2	2	1	1	6	2	3	4	4	5	5	3	38

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
女		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計		1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
66～70	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
71～75	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
	女	0	0	0	1	3	1	3	2	1	1	1	1	14
76～80	男	0	0	0	0	3	1	1	1	2	2	2	1	13
	女	3	3	3	4	4	4	4	4	5	4	5	4	47
81～85	男	2	4	3	3	4	4	4	4	3	4	4	2	41
	女	3	3	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	29
86～90	男	3	4	5	4	5	5	2	4	2	2	2	2	40
	女	14	10	10	8	9	8	9	5	5	6	6	6	96
91～95	男	2	2	2	3	2	2	2	2	1	2	1	1	22
	女	5	7	4	4	4	5	4	4	3	2	6	6	54
96以上	男	2	1	2	0	2	1	1	0	2	1	3	2	17
	女	5	4	4	4	4	5	3	3	5	4	5	7	53
合計		42	41	38	37	46	42	38	35	35	34	39	37	464

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	19	17	15	14	17	19	14	14	14	13	15	16	187
他事業所	23	24	23	23	29	23	24	21	21	21	24	21	277
合計	42	41	38	37	46	42	38	35	35	34	39	37	464

事業所別 延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	133	102	86	89	122	102	111	103	107	85	95	105	1240
他事業所	95	114	116	102	162	134	124	100	108	130	119	106	1410
合計	228	216	202	191	284	236	235	203	215	215	214	211	2650
平均	7.6	7.0	6.7	6.2	9.2	7.9	7.6	6.8	6.9	6.9	7.6	6.8	0.7

[illegible]

令和6年度 行事委員会事業報告書

白浜日置の郷 行事委員会メンバー

委員長 坂口紗矢香

副委員長 川本教子

委員 久森岳 三代真理子 南里砂 吉田智津子 中嶋明美 榎本忠良
堀野光一 桂幸広

委員会開催日

開催日 時間： 第1水曜日 14:00～15:00

第3水曜日 14:00～15:00 (必要に応じて開催)

1、目的

- ・入居者様・利用者様の記憶に残る1日にする。
- ・入居者様・利用者様個々への支援の幅を広げ、それぞれの入居者様の意思と自己決定を最大限尊重し個別ケアを実現していく。

2、目標

- ・感染対策中ではあるが、出来る事を模索し、家族・地域との交流を深める。
- ・広報誌を活用し家族との交流を図る。
- ・感染対策中ではあるが施設行事を通じ、地域との関係性を崩さないように努める。
- ・各ユニットがユニット単位、個別単位での行事を立案、実行する。

3、実施日

- ・5月24日 縁日
- ・2月3日 節分
- ・ユニット単位又は個人単位の行事は各ユニットが立案、実行する
(誕生日、季節の行事、敬老会、クリスマスなど)

(会議進捗状況詳細)

4月 縁日について

5月3日 縁日について 看板作成、必要物品の確認等

縁日について 屋台の担当者 屋台の具体的な内容

5月17日 縁日について 最終確認

6月7日 縁日終了後の反省点・改善点・提案

7月～ クリスマスイルミネーション、催しについて

クリスマスイルミネーション、催しについて 必要物品の確認、催しの内容

クリスマスイルミネーション、催しについて 装飾品の確認

クリスマスツリー(貼り絵)の作成

クリスマス、正月準備について

- クリスマスツリー(貼り絵)プレゼントボックスの作成
クリスマス、正月準備について
クリスマスツリー(貼り絵)、プレゼントボックスの作成
クリスマス、正月、節分について
- 12月 節分の企画書、稟議書提出。
- 1月～ クリスマスの振り返り、正月準備の振り返り、節分について
節分について
事業計画書の振り返り、雛人形飾り付けについて
節分準備、当日の振り返りについて
- 2月 事業報告について。令和5年度「縁日」について

4、評価

計画に沿って行事の開催は行えた。

ユニット通信など活用し家族様に発信することができた。

感染対策は継続中で家族・地域との交流は出来なかった。

季節感を感じていただけるよう季節になった飾りつけは継続して実地している。

職員不足のため行事準備など、委員は人任せにしてしまい行事内容をしっかり把握していなかった。委員長に任せきりになっていた。

ユニット単位、個別単位での行事を立案するに関しては、誕生日会は個別ではできている。

ユニット単位の行事は計画を立てておらず出来たユニット、出来ていないユニットがあった。

ユニット単位の行事はユニットで計画を立て実行すると決めた。

今年度は、通年通して職員不足が続き行事開催には介護職だけでは行事を実行することができず事務所職員や居宅職員も協力していただき無事終えることができた。

職員不足を理由にするのではなく、できる人数で出来る行事を実地し、入居者・利用者に楽しい時間を提供することができました。

以上

令和 6 年度 教育研修委員会事業報告書

白浜日置の郷 教育研修委員会メンバー

委員長 野村 清太郎

副委員長 久森 岳水本 好美

委員 南 里砂、坂口 紗矢香、田村 聡志、森邊 悠、金崎 一也

委員会開催日

毎月 第 1 水曜日

時間 10:00～10:30

- 目的
- ・介護知識、技術向上を行い、入居者に安心、安全な暮らしを提供できる施設作りを行う。
 - ・新人職員、中堅職員、リーダーの育成を行う。
 - ・仕事に対してのやりがいや、意欲の向上を行う。

- 目標
- ・介護に当たる介護職員の知識、技術が向上する。
 - ・入居者に安心、安全な暮らしを提供できる施設作りを行う。
 - ・自ら進んで、意欲を持って参加する職員を増やす。

実施計画

- ・年間計画書の作成。別紙参照。
- ・内部研修の内容の充実。
- ・内部研修の参加を促す。
- ・参加状況の把握
- ・外部研修報告会の開催を通して、施設内への反映を行う。

評価

勉強会開催について、前年度と同様に、人員不足から勤務時間中の勉強会開催が困難となり、早出業務終了後の 16:15 から勉強会を行っている。残業は任意であり、参加人数は減少した。また、早出業務終了後、現場での残業も増え、参加者は、2～3 名が最大人数となっていた。職員の意欲も低下している様に感じている。

新人職員、中堅職員、リーダーの育成については、勉強会や、現場での実地指導を行っているが、指導する職員の個々の知識になり、偏りが出ている。指導者のベースアップが最優先と考える。

仕事についてのやりがいや、意欲向上については介護職員の高齢化や、人材不足での業務負担の増加により、低下している様を感じている。
外部研修への参加については、オンラインでの研修を実施している。

令和6年度 褥瘡予防委員会実施報告書

委員長 吉田智津子

副委員長 福田光宏

委員 南 里砂 三浦恵里子 浦夕月 蔦原真奈 中嶋明美 本田一枝

委員会開催日 毎月第1水曜日

時間 15:00～15:30

年間褥瘡発生件数

仙骨	足趾	臀部	大腿部	腸骨	肩
2	2	3	1	1	

発生原因

適切な座位保持 体位交換が出来ていなかった為。

褥瘡なる前に体幹に傷あり 進行で褥瘡化することが多かった

一部のユニットで長時間の離床が目立った。

目標

- ・異常の早期発見に努め予防する。
- ・全身状態、栄養状態、活動量（自力にて体位変換が出来ない人）把握し適切な寝具の選択を行う。
- ・冬は皮膚が乾燥傾向に陥りやすい為、保湿クリームの活用。弱酸性の石鹸を使用する。
- ・褥瘡の基礎を理解してもらい、予防を行う。
- ・看取り期の対象者についてはエアーマットの使用。適切な体位交換、褥瘡後発部位（肩甲骨、仙骨部、踵）の除圧を行う。体位交換時、シーツや衣類のシワを伸ばす。

評価

原因にも上げた通り臀部のただれから褥瘡に悪化してしまう、小さな擦過傷 剥離から褥瘡にすすむこと多く 小さな傷の時点で処置をするように心がけた

食事摂取量気につけ 総蛋白 アルブミン低い入居者にDrと相談しラコールの処方をして頂く

浮腫あり 足趾の変形あり 靴が合わない事で趾間褥瘡となるなど 観察把握が大切であること 理解するため会議の度 各ユニットの委員は現状を把握する機会を持つようにした。褥瘡の判断皮膚状態の赤みの判断など プチ勉強会も入れた

6ヶ月ほど新規褥瘡者なく 現時時点でも褥瘡出来ている入居者はいない

令和6年度 感染委員会事業報告書

白浜日置の郷 感染委員会メンバー

委員長 吉田智津子

副委員長 福田光宏

ユニット 南 里砂 浦里美

- 目標
1. コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症の持ち込みや感染拡大を防ぐ。
 2. 感染症に対する知識や対処方法を身につける。
 3. 発症時には施設内感染を最小限にするため感染症対策を徹底する。

①（インフルエンザ）

感染者、職員 1名 持ち込みなし。

R6.11/21 12/5 入居者 職員 インフルエンザ予防接種実施

②（感染性胃腸炎）

職員の家庭内にて発生なし。施設内への持ち込みはなし。

③（新型コロナウイルス） 入居者 14名 職員 12名

令和6年4月29日～5/5解除

4月29日～入居7名 ゾーン分け感染対策開始 職員8名

12月24日日職員1名

12月25日職員1名

12月26日入居者4名 ショート1名 12月26日ゾーン分け感染対策開始

12月27日入居者1名

12月28日 職員1名

12月29日 職員1名

令和7年1月2日解除

年内に2回も感染の蔓延が広がっている
今回1ユニット内の感染多く他のユニットへの感染少なかった
、感染症マニュアルの見直しも途中になっている。

引き続きコロナウイルス感染対策も含めマニュアルの見直している

月1回ユニットで出来る感染対策をテーマを決め 実行している

また、ガウンテクニックなどの練習も委員会で実施し、全職員への周知徹底が

出来るよう継続し練習。

- ・ 新型コロナウイルスの状況については、委員会でも共有。

手洗い、換気などの基本的な感染対策については理解出来ている。

陽性者が出た際の感染対策については、間違った知識・理解で対応してしまう事もあり、今後も勉強が必要である。特に陽性者が発生し感染対策対応を経験していないユニット職員への指導が必須と考える。

去年8月の感染発生時にはDrより

ゾーン分けや感染者居室とリビングでの感染対策などの仕方を習う、それを参考にゾーン分けしていた為、発症はあったが、Iユニットで治まっている。 朝 職員体温測定しており手洗い嗽も行っているが なかなか予防対策が難しいのが現状である。 手洗い マスク使用 換気の徹底 手すりテーブルの清掃 パーテーション等区画分けは出来ており 委員会を中心に1か月1つ目標決め評価し きちんと足並みをそろえ全体で対応できるよう努めている

令和6年度 ユニットケア推進委員会事業報告書

白浜日置の郷 ユニットケア推進委員会メンバー

委員長：野村清太郎

副委員長：久森 岳 金崎一也

委員：三代真理子 福田光宏 南里砂 看護職員1名

坂口紗矢香 水本好美 森邊悠 田村聡志

委員会開催日

毎月 第1水曜日 第3水曜日（必要時）

時間 10:30～11:30

○目的

- ・ユニットリーダー実地研修施設としての維持と向上
- ・ユニットケア理念（暮らしの継続）の維持と向上

○目標

- ・入居者様に寄り添い、なじみの関係が深まるよう努める。
- ・入居者様にとって落ち着いた暮らしが出来るように、ユニット・居室内の設えや環境の改善に努める。
- ・ユニットリーダー実施研修施設更新調査に向けての準備。（前回更新調査での指摘部分の改善）
- ・ユニットリーダー、施設職員へユニットケアに対する知識と技術の向上と理解を深める。

○実施計画に対しての実施内容及び評価

- ・今回の更新調査では、指定可との評価を頂けた。しかし、改善すべき課題は残っており、計画と改善結果報告をユニット推進センターへ提出することとなっている。
- ・更新調査の指摘を受けた部分や受けなかった部分全体を見直し、改善・向上を図る。
→寛ぎスペースを監視するような形で記録の場が設けられているユニットが3ユニットあり、改善するように挙げられている。また、配膳、盛り付け等、普段から行っていない様子も見受けられるとの指摘もあり、普段から盛り付けの実施を行っていく必要がある。
- ・24シートとケース記録の完成と引き続きマニュアルの構築を行う。
→24シートに関しては入居当初から相談員による聞き取りから、入居までに今までの暮らしぶりを24シートに落とした状態で入居からの暮らしを追う形をとり、生活リズムやケアプランに対して正確なシートの作成を行えるように進めている。
- ・入居者がより有益に過ごせる生活に配慮した設えづくり。
→入居者が生活するリビングや居室の重要性が増しているが寛ぎスペースなど有効活用されていない為、改善すべき部分が各ユニットに見られる。
- ・全施設職員へユニットケアの理解を深めるための機会の提供

→勉強会の開催を行うが、勉強会への参加人数が少なく、深められていない。具体的に当施設での活用方法や、現場でどう取り組めば良いかといった勉強会を検討していく必要性を感じる。

全体的に目標達成ができていない為、次年度も同目標で一つでも達成できるようにしていく。

以上

令和 6 年度 苦情対応委員会実施報告書

白浜日置の郷 苦情対応委員会メンバー

委員長 : 島 副施設長

副委員長 : 久森岳 孫本未来

委員 : 南里砂、吉田靖宏、坂口紗矢香、場谷さおり、野村清太郎、田村聡志
森邊悠、金崎一也

委員会開催日

毎月 1 回 第 1 水曜日

時間 11:30～12:00

令和 6 年度の苦情報告書

13 件 (苦情報告書 別紙あり)

1. 目標の評価

1) 件数に関して

(1) 苦情件数について

前年度と比較して 1 件減っている。

今年度はコミュニケーション不足か職員の気遣い不足なのか、職員からの苦情が主となっている。次いで家族様からの意見が多くなっている。

コロナが 5 類となり入居者と職員とのやり取りの中でお互いの感覚の違い、信頼関係の希薄さから発生したものも多い。また、職員間の情報付属から発生したものもある。

前年度から継続して職員の態度や言葉遣いなど接遇に対して注意する必要がある。

(2) 家族様や他事業所からの苦情内容の多くは施設職員によるケアに関することや入居者、利用者、家族様への不注意な言動、対応が原因となるものが多い。利用者、入居者、家族との円滑な関係性が作られていないことも前年度に引き続き以上に大きな要因となっている。

連絡・報告・相談が出来ておらず苦情に発展しているケースも前年度と変わらず発生している。

1. 令和 6 年度計画に対しての振り返りとまとめ

- 1) 苦情を受けた際は、前年度苦情受付票に記入し解決に向けての話し合いの場を設け改善に努めるとなっているが、話し合いの場を設ける事ができていない。その為、苦情解決に時間を要した。

- 2) 苦情解決に時間を要した件と解決せず放置されていた件があり、苦情についての重みを再度個々に認識すべきである。
- 3) コロナが5類となり面会も実施されているが、意見箱の活用は出来ていなかった。施設職員から意見を聞き取るツールとして、寄せられた意見については、苦情対応委員会で検討し対応を掲示、改善を行う。
- 4) 日々の生活の中で、入居者様とのコミュニケーションを図り、入居者様の意向や要望に耳を傾け、意見を記録に残す目標であったが、実施できていない。
- 5) 課題を持ちより委員会で改善策を考え対策をとっていく方向であったが委員会が意見の報告の場として活用されることが多かった。次年度はもっと話し合う内容で進めていく。

3. 今後の課題

- ・ 苦情に関しての対応については速やかに苦情受付票に記入し解決に向けての話し合いの場を設け迅速な改善に努める。入居者様とのコミュニケーションを図り、入居者様の意向や希望に耳を傾ける。家族様に対しても面会時や電話等で、より細やかなコミュニケーションを図り、小さな意見や要望を汲み取れるようにしていく。
- 入居者様と信頼関係を築くために接遇マナーを身につけ特に話し方や態度は注意するよう心がける。

令和 6 年度 広報委員会実施報告書

委員会メンバー

委員長 榎本忠良
副委員長 桂幸広
委員 南里砂 堀野光一 金崎一也 場谷さおり 田村聡志

委員会開催日

開催日 第 1 水曜日
時 間 16:00～16:30

1. 目的

- ① ご家族様に施設内の行事や取り組みを案内、発信する。
- ② 広報誌やユニット通信を通じて、入居者様の様子や季節感を踏まえた情報を届ける。

2. 目標

- ① 広報新聞やユニット通信を発送することで、施設行事や各ユニットの催し活動、委員会活動や様々な情報の発信を行う。
- ② 決められた締切期限までに広報新聞、ユニット通信、年賀状を完成させる責任感を持つ。
- ③ 広報委員全員の文章作成や写真撮影、パソコン操作等のスキルアップを目指す。

3. 実施計画

①広報新聞について

- ・年3回の広報新聞を作成し、決められた月の10日に請求書と共に発送する。併せてご希望の家族様にも発送する。発送予定月は5月、9月、1月とする。
- ・広報新聞のサイズは、A3サイズとし文字フォントサイズは12とする。
- ・広報新聞は、玄関・エレベーター内に閲覧できるよう掲示する。併せて各ユニットにも配布して入居者様が閲覧出来るように配慮する。
- ・広報新聞作成にあたり、広報委員全員で進捗状況を細かく確認し完成させる。
- ・10日の発送に間に合わせるため、締切期限の前月末までに完成させる。

②ユニット通信について

- ・年3回のユニット通信を作成し、決められた月の10日に請求書と共に発送する。併せてご希望の家族様にも発送する。発送予定月は7月、11月、2月とする。
- ・各ユニットにも配布して入居者様が閲覧出来るように配慮する。

- ・写真掲載を望まないご家族様について、プライバシーを考慮して個別発送とする。

③年賀状について

- ・11月末には年賀状準備に取り掛かる。特養・ショートステイそれぞれに枚数把握を行う。
- ・年賀状は年始に届けられる様、12月20日頃に輪ゴムでひとまとめにして投函する。

④写真撮影について

- ・書かれる文章の内容と写真が合致するように考慮する。
- ・身だしなみを整える事と、映り込む背景にも気を配る。
- ・広報新聞やユニット通信で写真掲載が禁止となっている入居者様のプライバシーを守る。

◆実施計画評価

1.目的評価

- ・家族様への広報新聞とユニット通信は一部締切調整(前倒しや繰り越し)を行うも滞りなく発送し、施設内の様子等を紹介出来ている。

2.目標評価

- ・施設内での入居者の様子や催し物の情報発信については概ね出来ている。
- ・広報新聞については締切期限を設けるも、出来たりできなかったりとムラがみられた。発送自体は遅れることは無かった。ユニット通信についても同様で、こちらについては発送月を繰り越して対応をするユニットも見られた。総じて締め切りに対する責任感が少し薄く、期限厳守は完璧とは言えなかった。
- ・文章作成については、手直しも見られ不十分と感じる。写真の加工処理などはある程度慣れてきたと思える部分もあるが個人差が見られる。

3.実地計画評価

- ・広報新聞については、締切期限を過ぎても欄が埋まらずその理由報告も無い事が見られ、責任感が薄いように感じられる。又、3回目の発送に際しては締切に対して欄が埋まっていなかった事や年賀状を発送しないと決定した事などをうけて、内容変更と12月年内中の前倒しの発送となったが、そのことは委員長自身も事後報告にて聞き及ぶ事となり、全体的な進捗に対しての意思疎通や進め方にも問題が残ったと考えます。
- ・ユニット通信については、期限に関しては前半は出来ていたように見られるも、後半は退職による委員の入れ代わり等もあり少し後手にまわった感是否めず、発送を先送りにするなどのユニットも見られたので期限を守った発送は出来なかったと考えます。
- ・年賀状発送については、広報委員の意見を集約した結果、特養5ユニットは発送しないことを決定したので未発送。尚、SSこすもすはこれまで同様に発送している。

- ・写真撮影については、広報新聞、ユニット通信共に掲載不可対象者が映り込んだまま発送されたものも見られたため、確認がうまく機能しておらずプライバシー配慮はきちんと出来ていなかったと考えます。又、新規入居者に対しては事前に相談員等に契約書類での写真掲載の可否を行う事と、家族が映り込んでいるときなどは都度確認する等も必須項目として委員に理解してもらいたいと考えます。尚、写真の撮り方にも理解度合いに差がありますので平均化していければと思います。

○その他として

- ・修正箇所が後から確認できるような方法（ルール）を決める必要がある。例えば先に提出して指摘された部分が出る用紙と一緒に訂正版用紙を提出するなど。

- ・委員会が1日に集約するために、リーダーが優先的にその日は出勤となるその裏で、年間を通して広報委員会にほとんど参加できていない委員が見られるが、これでは意思疎通やスキルアップが難しく、特に責任感は成長しにくいと思われます。特にこすもすユニットがこれに該当するように思われます。

以上

令和6年度 事故予防委員会事業報告書

白浜日置の郷 事故予防委員会メンバー

委員長 島 伊津美

副委員長 福田光宏 孫本未来

委員 久森岳 南里砂 坂口紗矢香 野村清太郎 田村聡志 水本好美

山本英雄 榎本忠良 浦翔太 小出千鶴

委員会開催日

毎月 第1水曜日

時間 13:30～14:00

1. 目標の評価

目標

(総合目標) ユニットケアを考慮して職員の気付きにより入居者の事故を減らす。

(事故予防) 毎月事故報告書を10件以内減らす。

2. 評価

1) ヒヤリハット報告書件数…318件 事故報告書件数…273件 (R7.1時点)

年々ヒヤリハット報告件数が減少している。

原因としてはヒヤリハット報告書の中で改善策の記入欄を設け検討することで繰り返し発生するヒヤリハットに対しては予防することで増加を防いでいることも考えられる。しかし解決まで至らず繰り返し発生しているヒヤリハットもまだまだあるのも事実である。

2) 事故報告書は年間通し平均31件であり、前年度に比べ多くなっている。目標には届いていない。

原因として、事故発生後のミーティングは実施されているが介護職のみで行われていることが多く多職種介入が出来ていない。

事故後は多職種を含めて分析、対策を検討し期限を決めて取り組み早期対応を行う。

3. 令和6年度のまとめ

1) 委員会で活用方法を考え、過去の事故報告書の原因を見直すことで増えている事故防止に努める。

改善策を考え再度発生するヒヤリハット、事故の防止に努めるが今後も継続して行い、多職種が積極的に関わり期限を決めて分析、対策を実施する。人為的なミスによる事故が多く、もっと主体的要因、環境的要因、人的要因の分析を行い事故発生防止に繋げる。

次年度も積極的な連携を目指す。

2) 事故報告書の書式が職員により理解度に違いがある為、書き方の平均化を引き続き行う必要があり、今後も継続していく。

3) ヒヤリハット報告書の枚数は意図的に増やすのではなく、事故予防員委員会の中でヒヤリハット報告書の活用方法を考え、事故委員から部署やユニットへアナウンス

し事故件数の減少に勤めていく。

令和6年度 物品管理委員会事業報告書

白浜日置の郷 物品管理委員会メンバー

委員長 浦里美

委員長補佐 森邊悠

委員 田村聡 川本教子 江野上加代子 浦夕月

委員会開催日

開催日 第1曜日水曜日

時 間 16:30～17:00

1. 目的

- ・物品の整理整頓・維持・管理。
- ・排泄用品はご本様に合ったものを選び不快なく使用して頂く。
- ・コストを考え無駄を省く。

2. 目標

- ・消耗物品の維持管理に努める。
- ・感染症発生時等の物品不足においても、業者との連携で欠品を防ぐ。
- ・排泄物品の使用目的を理解し、モニタリングを通してご本人様に見合ったものを使用することで無駄をなくす。
- ・物品使用数の把握と経費削減に努める。
- ・サンプル等あれば職員からの意見を聞き商品の入れ替えや必要な商品の購入に繋げていく。
- ・他業者で価格を比較し、コストを抑える事を考える。

3. 実施計画

- ① 毎週月曜日、物品倉庫の在庫数確認と物品発注をする。
- ② 排泄物品は各ユニットで発注用紙に記入し毎週金曜日までに提出。
- ③ 6ユニット分を合計した個数を毎週土曜日・日曜日のいずれかでメール注文。
- ④ 毎月末は物品の使用数をデータに出し委員会で評価していく（25日締め）。
- ⑤ 経費の把握を行ない、物品委員会を通して各部署へ経費削減の発信をかける。
- ⑥ 年2回、物品倉庫の掃除をする（9月・3月 目安時期として第1月曜）。
- ⑦ 物品管理委員は、全委員が排泄用品と物品の管理と注文が出来るようになる。

- ⑧ 感染対策用としてストックしている物品の在庫維持、管理に努める。

評価

・商品の価格高騰が続いている。

- ①～③発注ミスをなくすため、倉庫物品の在庫数や注文数、排泄用品の注文数に間違いがないか2名でダブルチェックをしている。物品により発注数が決まっている商品がある。それ以下の発注となると送料が発生するため間違えることなく、決められたケース数や固定金額以上からの注文をする。間違えないように一覧表を委員は把握する。

コストを考え無駄のないように注文している。

- ④物品、排泄用品は毎月開催の委員会で分析し使用量の確認をしている。メーカーの商品が廃番になり新しく商品が変わったものもある。

- ⑤排泄用品についてはメーカーの開催する勉強会に参加して、テープタイプオムツの正しい当てかた、不必要なパットの使用は入居者には不快である事や経費増大に繋がる事を学びユニット職員に指導していく。

モニタリングを通し本人に見合った適切に排泄用品を使用する事を各委員から発信し無駄をなくす。

- ⑥倉庫の掃除に関しては、予定日程日を設定するのではなく猶予期間を設ける事で実施できた。

- ⑦勤務のすれ違いなどから物品管理の申し送りが不十分であった。

この課題も踏まえ次年度は引き継ぎをおこなう。発注先や発注個数・固定金額以上など業者によりさまざまであるため一覧表を作り委員は発注を間違えないようにしていく。

- ⑧感染対策用として保管している、一部商品の入れ替えは約半年前後でおこなっている。感染用物品在庫の数を少なくしたことで、数の把握および管理が行いやすくなった。

令和6年度 人権委員会実施報告書

白浜日置の郷 人権委員会メンバー

委員長 島 伊津美

副委員長 田村 聡志

委員 三倉 恵里子、江野上 加代子、場谷 さおり、榎本 忠良、
川本 教子、浦 翔太、畦地 叶恵

委員会開催日

9回開催（内、7回外部講師）

目標の評価

目標：①権利擁護に関する知識の向上。

②虐待を防止する勤務シフトまで考えられる。

③権利擁護について人権委員会から全職員に周知出来るようになる。

④ハラスメント、ストレスに関する理解を深める。

評価：①権利擁護に関する知識は向上しているものの、職員同士での情報共有の甘さや
人員不足を理由にしたケアの粗雑さがみられる。

②シフトの組み換えや、業務の組み立てを考慮するのではなく、漠然と「人員不足で業務が回らない」などの不満や苛立ちが見えている。

③職員の入退職、人事異動に伴い人権委員の入れ替えもあり十分に理解した職員ばかりではなくなり、他職員への周知は難しかった。

④チームケアで対応することで職員がお互いに気遣える関係を築く重要性を
学んではいるものの、注意や本音が言えずストレスを溜める傾向にある職員も
いる。

令和6年度の人権委員会のまとめ

今年度も外部講師参加による委員会が開催でき、権利擁護に対する理解がより
深まっていると思われる。全体会議でも全職員に対して権利擁護について学んで
もらっているが、周知徹底までは及んでおらず引き続き繰り返しの学習が必要である。
また、他事業所からの転職職員や他委員会でケアの粗雑さや言葉遣いの乱暴さが確認
される場面があり、適切なケアの提供に各部署、多職種による関わりが今まで以上に
必要と思われる。

入退職による人員不足やそれに伴う人事異動により、慣れない環境での業務で職員に
もストレスがかかる状態にあり、より一層のチームケアの充実、個人に対する面談等
職員へのメンタルヘルスケアも重要視していかなければならない。

令和6年度事業報告書

居宅介護支援事業所 白浜日置の郷

1、 基本理念と基本方針について

「利用者様が望む限り 望む場所で安らぎのある生活を 自らが継続していけるように 真心を持って支援」できるように努めたが、本当に自立支援に向かうことができたかどうかは今後も課題として残る。

また、介護保険制度以外の情報についても積極的に収集に努め、それが発信できるようにも努めているが、今年度これが不十分により苦情に繋がる事案が発生。今後も、この姿勢は保持したい。

対応の姿勢として「素直」「謙虚」「熱意」を上げたが、これに関してもまだ十分とは言えず、今後も精一杯取り組む。

総合的には、この理念と基本方針を継続していきたい。

2、 業務方針について

一部、コロナウィルスの感染対策により実行しがたい方針はあった。

総合的にこの業務方針に則って、利用者様及びその家族様が望む暮らしに向けて業務遂行できたと思う。来年度もこの業務方針に従い、業務を遂行していきたい。また、啓蒙活動等についても来年度は少しずつ実行できるように取り組んでいきたい。

3、 業務内容について

業務内容については問題なく実行できた。来年度も継続する。

☆月別契約件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防	27	27	28	28	27	24
介護	92	89	90	87	89	93
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防	24	26	25	22	20	
介護	89	119	110	113	113	

4、 年間目標の達成状況について

(1)利用者様自らが、それが自立した生活であることを自覚することができる支援を目指す。

その方にとっての「自立」とは何かを常に念頭に置き、居宅介護支援に取り組むことができた。来年度以降もその方にとっての自立とは何かを念頭に置きながら、ケアマネジメントに取り組んでいきたい。

(2)災害時、(および災害級の事象)に強いまちづくりに貢献できる。

今年度、9月に机上訓練を、12月に白浜梧の郷までリヤカー訓練を、2月にはそれらをまとめて日本介護支援専門員協会近畿ブロック研究大会inしがで発表することができた。これをもとに来年度も訓練を重ねつつ、白浜町、近隣施設事業所、区、住民と協力して災害対策の深めていきたい。

(3)今年度、平均稼働率が88%以上を目指す。

R6年4月～R7年2月までの平均稼働率は79.9%。介護保険法R6年4月からの改正により、ケアマネ一人当たりの受け持ち人数を勘案した上での稼働率設定ではあったが、10月までは新規相談と終了者に大きな差はなく、結果平均値としては伸びなかった。しかし、11月以降はケアマネ一人が退職し、数件ずつ引き継いだこともあり各月ごとの稼働率は90%を超えた。この状態が維持されているため、来年度は90%以上を目指せると考える。

5、 内部研修実施状況

日付	テーマ	講師役
令和6年4月24日	適切なケアマネジメント手法について	嶋中
令和6年5月22日	介護について考える(カードを使って自己覚知をする)	奥野
令和6年6月19日	頭の中を整理する。(業務の効率を上げる)	西崎
令和6年7月24日	薬の作用、副作用について	横手
令和6年8月21日	相談支援専門員とのミニ合同研修	西崎
令和6年9月18日	(災害)BCPの机上訓練	嶋中
令和6年10月24日	成年後見制度について	横手
令和6年11月27日	リハビリについて	奥野
令和6年12月18日	ターミナルケアを支援するときの心構え	西崎
令和7年1月22日	ケアマネが知っておきたい医療保険について	嶋中
令和7年2月26日	高齢者の栄養と食生活	奥野
令和7年3月19日	心不全について考える	坂本

6、 外部研修参加状況

開催日	テーマ等		参加者
	↓主催及び共催が和歌山県介護支援専門員協会または行政等の場合に「○」		
令和6年4月12日	○	令和6年度介護報酬改定について	嶋中、横手、奥野、西崎
令和6年4月16日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年4月26日	○	介護現場におけるハラスメントとその対応	横手、奥野
令和6年5月21日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年6月9日	○	難病の方と向き合うケアマネジメント	嶋中、横手、奥野、西崎
令和6年6月13日	○	適切なケアマネジメント手法を理解	嶋中、横手、奥野、西崎
令和6年6月18日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年6月20日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年7月1日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年7月4日	○	ケアマネ更新研修専門Ⅱ	奥野
令和6年7月16日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年7月17日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年7月24日	○	ケアマネ更新研修専門Ⅱ	奥野
令和6年7月30日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年8月7日	○	ケアマネ更新研修専門Ⅱ	奥野
令和6年8月19日	○	アンガーマネジメントについて	嶋中、横手、奥野、西崎
令和6年8月20日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年8月22日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年8月24日		健康長寿の秘訣 口腔ケア、人は口から老い、口で逝く	西崎
令和6年8月27日	○	ケアマネ更新研修専門Ⅱ	奥野
令和6年9月3日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年9月6日	○	認知症 破壊的増加を迎える日本、私たちはどう立ち向かうべきか	嶋中、横手、奥野、西崎
令和6年9月17日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年9月19日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年10月4日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手
令和6年10月15日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年10月18日	○	主任介護支援専門員更新研修	嶋中、横手

令和6年11月19日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和6年12月7日	○	訪問看護事業所とケアマネジャーの関わり方	西崎
令和6年12月17日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和7年1月17日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和7年1月21日	○	カウンセリング、人間関係論について(地域共生社会)	坂本、西崎
令和7年2月1日		映画「ケアニン ～こころに咲く花～」上映会	西崎
令和7年2月8日		田辺圏域で繋ぎ進めるアドバンス・ケア・プランニング	西崎
令和7年2月13日	○	介護現場におけるハラスメントとその対応	坂本
令和7年2月15日		日本ケアマネ協会近畿ブロック研究大会inしが	嶋中、西崎
令和7年2月18日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和7年3月21日		はまゆう病院とケアマネジャーの交流会	坂本、西崎
令和7年3月14日	○	できていますか？ BCP(業務継続計画)第3弾	嶋中
令和7年3月18日		医療と介護の連携を進める会定例会	西崎
令和7年3月24日	○	福祉職ができる相続、空き家対策	西崎

7、 苦情の受付について

0 件	
-----	--

デイサービスセンター白浜日置の郷 令和6年度報告

介護予防通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	5	5	5	5	5	3	4	4	4	4	4	5	53
合計	5	5	5	5	5	3	4	4	4	4	4	5	53

通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	11	10	10	10	11	10	12	15	14	13	15	16	147
女	33	34	33	30	33	30	33	35	33	35	36	32	397
合計	44	44	43	40	44	40	45	50	47	48	51	48	544

登録者総数	49	49	48	45	49	43	49	54	51	52	55	53	597
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

要介護度 一般型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14
要支援2	4	4	4	4	4	2	3	3	3	3	2	3	39
要介護度1	15	16	16	16	18	19	21	23	23	18	21	19	225
要介護度2	15	13	13	10	10	11	11	10	8	11	12	12	136
要介護度3	6	7	7	5	6	4	4	7	6	8	9	8	77
要介護度4	6	6	6	7	7	5	7	8	8	9	7	7	83
要介護度5	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	1	24
計	49	49	49	45	49	44	49	54	51	52	55	52	598
男性	11	10	10	10	11	10	12	15	14	13	15	16	147
女性	38	39	39	35	38	34	37	37	37	39	40	36	449

デイサービスセンター実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防通所介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	50
予防通所介護2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	25	24	22	26	23	12	17	14	11	12	6	12	204
通所介護 I 11時減	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 11	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 21	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

[illegible]

通所介護 I 25	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 35	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	4	3	2	5	3	2	1	0	0	0	0	23
通所介護 I 45	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	9	9	8	9	16	9	9	8	8	8	8	9	110
通所介護 I 55	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		373	358	331	371	346	318	333	339	310	296	278	337	3990

勉強会

6月 口腔ケアについて
9月 人権について
12月 認知症について
3月 人権について

行事

4月 花見会(弁当)
5月 端午の節句会(歌など)
6月 おやつレク
7月 七夕(笹飾り作り)(綿菓子)
8月 夏祭り(かき氷)
9月 敬老会
10月 運動会
11月 散歩 園芸
12月 クリスマス飾り付け クリスマス会 作品展
1月 羽根つき 福笑い
2月 節分 豆まき
3月 ひな祭り(雛あられ)

(その月々に誕生日会)

社会福祉法人 三養福祉会
四宮三養苑

令和6年度 事業報告書

- 地域密着型特別養護老人ホーム
- 短期入所生活介護
- デイサービスセンター
- 養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 四宮三養苑 2024年度 報告書

2024年度(2024年4月1日-2024年9月30日)

2024年度(2024年10月1日-2025年3月31日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム29名、短期入所10名														全体	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月平均	合計	月平均
定数	870	899	870	899	899	870	884.5	899	870	899	899	899	899	894.2	10672	889.3
入居在籍者 累計	864	840	835	899	899	850	864.5	872	865	893	899	899	899	887.8	10514	876.2
在籍者 1日平均	0.1	27.1	27.8	29.0	29.0	28.3	23.6	28.1	28.8	28.8	29.0	29.0	29.0	28.8		26.18
入居者実数	864	840	835	899	899	850	864.5	872	865	893	899	865	899	882	10480	873.3
入居者 累計平均	0.1	27.1	27.8	29.0	29.0	28.3	23.6	28.1	28.8	28.8	29.0	27.9	29.0	29	313.0	26.1
1日当り 実質空床率	0.7%	6.6%	4.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.26%	3.0%	0.6%	0.7%	0.0%	3.8%	0.0%	1.34%		1.80%
新規入所者数	1	0	3	0	0	0	0.67	2	1	0	0	1	1	0.83	9	0.8
退所者 (内死亡者)	1	0	3	0	0	2	0.67	0	1	0	0	0	1	0.83	8	0.7
1日当り 入院者平均	0.00	1.90	1.17	0.00	0.00	0.67	0.62	0.87	0.17	0.19	0.00	0.19	0.00	0.24	5.2	0.4
入院日数 1ヵ月累計	6	59	35	0	0	20	20.0	27	5	6	0	6	0	7.3	164	13.7
平均入所率	99.3%	93.4%	96.0%	100.0%	100.0%	97.7%	97.7%	97.0%	99.4%	99.3%	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%		98.5%
短期入所者 延べ人数	289	320	294	318	328	347	316.0	299	279	411	429	302	360	346.7	3976	331.3
短期入所者 利用平均	0.03	10.32	9.80	10.26	10.58	11.57	8.8	9.85	9.30	13.26	13.84	9.74	11.61	11.2		0.0
特養＋短期 定数	416208	1209	1170	1209	1209	1170	70362.5	1209	1170	1209	1209	1209	1209	1202.5	429390	35782.5
月当り 在籍者実数	1153	1160	1129	1217	1227	1197	1180.5	1171	1144	1304	1328	1167	1259	1228.8	14456.0	1204.7
1日当り 実質在籍者数	0.1	37.4	37.6	39.3	39.6	39.9	3231.7%	37.8	38.1	42.1	42.8	37.6	40.6	3984.48%		3608.1%
稼働率 (特＋短)	0.3%	95.9%	96.5%	100.7%	101.5%	102.3%	0.83	96.9%	97.8%	107.8%	109.8%	96.5%	104.1%	1.02	11.10	0.93
入所者 介護度平均	4.66	4.66	4.66	4.66	4.66	4.66	4.7	4.66	4.66	4.66	4.79	4.66	4.79	4.7		0.0
要介護（1）	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
要介護（2）	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
要介護（3）	1	1	1	1	1	1	1.0	1	1	1	1	1	1	1.0	12	1.0
要介護（4）	8	8	8	8	8	8	8.0	8	8	8	9	8	9	8.3	98	8.2
要介護（5）	20	20	20	20	20	20	20.0	20	20	20	20	20	20	20.0	240	20.0
合 計	29	29	29	29	29	29	29.0	29	29	29	29	29	29	29.0	348	29.0
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
外出数	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	1	0.17	1	0.1
通院者数	5	11	10	4	5	10	7.5	5	5	2	1	2	3	3.0	63	5.3
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	6	5	6	5	3.7	22	1.8
実習生 (累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②障害高齢者日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	0
	A2	3
重度	B1	6
	B2	9
最重度	C1	5
	C2	5
合計		29

③認知症高齢者日常生活自立度

レベル		人数
軽度	自立	0
	I	0
	IIa	1
	IIb	2
中度	IIIa	13
	IIIb	2
重度	IV	9
	M	2
合計		29

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	5	5	19	29
食事	2	9	18	29
排泄	1	8	20	29
入浴	0	8	21	29

⑤オムツ使用者状況

人数	
常時	20
夜間のみ	8
合計	28

⑥在所期間の状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	平均在所
男	2人	2人	1人	0人	0人	0人	2.0年
女	8人	8人	7人	6人	4人	0人	4.2年
計	10人	10人	8人	6人	4人	0人	3.9年

⑦日常生活の状況調査

区 分				実数	割合	区 分				実数	割合		
移動	自立	独立歩行		2 人	6.9	%	排泄	便所	自己で可能		1 人	3.4	%
		杖等の歩行補助器使用		0 人	0.0	%			一部介助		1 人	3.4	%
		車椅子使用		27 人	93.1	%			全部介助		4 人	13.8	%
		要介助		0 人	0.0	%				自己で可能		0 人	0.0
	食事	自己で可能		2 人	6.9	%		一部介助			0 人	0.0	%
		一部介助		9 人	31.0	%		全部介助			0 人	0.0	%
		全部介助		18 人	62.1	%		おむつ使用			12 人	41.4	%
	入浴	自己で可能		0 人	0.0	%		便所	自己で可能		1 人	3.4	%
		一部介助		8 人	27.6	%			一部介助		1 人	3.4	%
		全部介助		21 人	72.4	%			全部介助		0 人	0.0	%
着脱衣	自己で可能		0 人	0.0	%				自己で可能		0 人	0.0	%
	一部介助		8 人	27.6	%			一部介助		0 人	0.0	%	
	全部介助		21 人	72.4	%			全部介助		0 人	0.0	%	
	じょうそう者数		2 人	6.9	%			おむつ使用		15 人	51.7	%	
認知症	重	度		19 人	65.5	%	トイレ誘導実施者数				6 人	20.7	%
	中	度		9 人	31.0	%							
	軽	度		1 人	3.4	%							

0名

排便時のみ一部介助でトイレ誘導。

0名 排便時のみ一部介助でトイレ誘導。

【活動内容】

イベント名	月	開催日	イベント内容・報告	支出
子供の日	5月	5月12日	5月の5日子供の日折り紙を紙に貼って貰いました。	¥0
			「可愛かった」と話されました。	
			参加者20名	
スイカ割り	8月	7月12日	8月18日(日)3階フロアにてスイカ割り	¥2,570 (税込)
			イベントを実施しました。テーブルにスイカを	
			置き、一人ずつ棒を持ってもらいスイカを	
			叩いていただきました。その後スイカを提供して	
			「おいしい」と仰られる。	
			胃ろうの方はプレゼントを渡す	
			参加者20名	
敬老祝賀会	9月	9月15日	9月15日敬老祝賀会を実施しました。	¥0
			壁の装飾対して、配った後にご入居者様が	
			「ありがとう」「綺麗だわ」と仰り。	
			ご入居者様の笑顔がみれて良かったです。	
			参加者20名	
運動会	11月		玉入れとお菓子取り競争・リレーをしました。	¥3,700 (税込)
			あまり体を動かない入居者様はちゃんと動く様に	
			なり、楽しませていました。お菓子を提供し	
			召し上がられ「おいしいわ」と皆様喜ばれていました。	
			参加者19名	
クリスマス会	7月		当日までにご入居者様に紙を折ったりのり付けしたり	¥3,630 (税込)
			するのを手伝ってもらいました。それを壁に貼り大きな	
			クリスマスツリー完成しました。	
			当日プレゼントお渡しする際「これ何?」や	
			「クリスマスやね、タオルありがとう」等皆様の笑顔が	
			見られ喜んでいました。	
			参加者19名	
バレンタインの日	2月	2025/2/16	バレンタインイベントを行いました。	¥2,475 (税込)
			練りきり和菓子を提供しました。胃ろうの方は、	
			プレゼントをお渡ししました。皆様喜んで頂きました。	
			参加者20名	
お花見	3月	3月30日	菓議書は遅かった為、一階のデイサービスでお花見	¥0
			を行いました。皆様「少し寒かった。良かった」と	
			言われました。次回はもうちょっと早めに考えて	
			公園等を見に行きたいと思います。	
			参加者19名	
合計				¥12,375

《反省と課題》

もっと時間あれば色々なレクリエーション等行いたいと思います。

ゲーム企画では利用者様にわかりやすい内容でしたが、当日の用意に時間がかかってしまいました。

ADLが様々な中で、全入居者様・ご利用者様が参加、楽しめるイベントを企画していくことが課題となっていくと思います。

■4階イベント委員実施報告書

担当者;梅澤貴子

【活動内容】

イベント名	月	開催日	イベント内容・報告	支出
4月・5月誕生日お祝い	5月	5月12日	4月・5月の誕生日の方にプレゼントBOXを渡し	¥1,784
			歌と拍手でお祝いをし、季節のカルピスを	
			提供しました。飲み物ではなく食べ物が	
			良かったとの意見がありました。	
			参加者20名	
七夕まつり	7月	7月12日	笹に願い事を書いた短冊を飾りました。	¥5,770
			おやつにはミルクプリンを食べていただきました。	
			星形のコースターにプリンカップを乗せたので	
			七夕をより感じていただけたようで	
			喜んで頂きました。	
			参加者20名	
敬老祝賀会	9月	9月15日	職員からの敬老のお祝いのメッセージのついた	¥4,950
			写真立をプレゼントしました。ご自身の写真を	
			見て大変喜んでおられました。	
			参加者19名	
クリスマス会	12月	12月22日	くじ引きでクリスマスプレゼントを選んで	¥3,415
			いただきました。お隣の方同士でプレゼントを	
			見せ合い、笑顔あふれる会になったと思います。	
			1階エントランスのクリスマスツリーの前で	
			写真を撮りました。	
			参加者20名	
ひな祭り会	3月	3月2日	おやつに普通食の方は「どら焼き」	¥2,590
			それ以外の方は「プリン」を提供しました。	
			「おいしい」と大変好評でした。	
			1階エントランスの雛壇の前で写真を撮りました。	
			参加者18名	
合計				¥18,509

《反省と課題》

職員不足や感染症の懸念もあり3丁目・4丁目で別々にイベントを行った為、大いに盛り上がる事が無く、
 淡々と進んでいったので、音楽を流す等の盛り上げ策があればよかったと思います。

ADLが様々ある中で、全入居者様・ご利用者様が参加、楽しめるイベントを企画していくことが
 課題となっていくと思います。

■広報委員会実施計画書

担当者:輪島真矢・村瀬剛一

【活動内容】

ご家族様に少しでも日常の様子などを取りれた新聞作成を行っていききたいと思います。
 新聞作成を行っていく上で、他職員協力のもと、入居様の日常写真や行事レクの様子などを撮影していきます。

【反省と課題】

ご家族様にお手紙配布が中々出来ておらず、今後行事レクなどの写真を撮りお手紙と一緒に送りたいと思います。
 また新聞作成にも力を入れて作成していきたいです。

■スキルアップ委員会実施報告書書

担当者:村瀬剛一・エカ・塗野友博・安藤優紀・松本香織

【活動内容】

虐待の勉強会10月開催(スピーチロック)

感染の勉強会11月開催

【スタッフ会議での勉強会内容】

4月(リスクマネジメントについて)	10月(身体拘束・虐待)
5月(介護事故防止について)	11月(ポジティブシンキング)
6月(感染症・食中毒について)	12月(BCP机上訓練とは)
7月(感染症の基礎知識)	1月(褥瘡とは)
8月(感染対策)	2月(食事時の注意点・食事介助について)
9月(認知症について)	3月(排泄について)

【反省と課題】

コロナウイルスも大夫落ち着いてきた中で、少しずつしかできなかった。

活動としては2つのみでした。来期はもっと勉強会が開催できるように頑張りたいと思います。

■接遇委員会 実施報告書

担当者:塚田美紀・城谷愛翔・エルナワティ・本郷明子

【活動内容】

8月:「言葉ひとつで大きな違い。介護の声掛け、タブー集」

- ・学習資料配布
- ・アンケート回収
- ・正しい声掛けの回答配布

《反省と課題》

今年もう一度、勉強会をしようと準備をしていましたが、開催するまでには至りませんでした。

(内容は「介護職の基本的接遇マナー」)

1年間の研修内容とスケジュールを、あらかじめ決めていなかったため計画的に動けなかったと反省しています。

次年度の担当者にこの件を申し送ります。

■令和6年度 車椅子委員実施報告書

担当者:金谷章正・テーインビュー・隅田明海・イテッピョー

【活動内容】

- ・車椅子の台数、種類等チェックシテプラ一貼り等行いました。
- ・1週間単位で車椅子の点検を順に行いました。(出来ない月もありました)
- ・車椅子の空気入れや、故障箇所の把握等。
- ・故障については、報告書にて報告を行いました。

《反省と課題》

- ・車椅子の物品等の知識をもっと知るべきと感じた点がみられた。(空気バルブ等)
- ・故障台数が増え、汚染等で乗り換える車椅子の台数が、少ない状況が続いてしまっていた。
- ・汚染時や修理後車椅子の管理や把握が出来ない事が見られた。

2024年度 事業報告書

短期入所生活介護 四宮三養苑

1. 介護度別利用者数

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	男	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	6
	女	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	9
要介護3	男	1	0	0	0	1	1	1	3	3	4	4	4	22
	女	2	3	3	4	2	3	2	3	5	4	3	4	38
要介護4	男	2	2	2	1	1	0	1	1	2	1	2	1	16
	女	3	2	3	2	2	2	1	2	3	3	4	3	30
要介護5	男	0	0	0	0	2	2	2	1	1	1	1	1	11
	女	5	5	6	6	6	5	6	6	4	3	1	0	53
合計		14	13	15	14	16	15	14	17	20	18	16	14	186
夜間人数		290	319	294	319	328	345	301	277	412	427	302	358	3972
平均		9.35	10.29	9.48	10.29	10.58	11.13	9.71	8.94	13.29	13.77	9.74	11.55	12.81

2. 保険者別利用者数

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
門真市	14	13	15	14	16	15	12	15	18	16	14	13	175
守口市	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
四条畷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寝屋川市	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	7
大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	13	15	14	16	15	14	17	20	18	16	14	186

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	1	0	1	0	0	0	1	3	0	0	2	0	8
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	6
	計	1	0	1	0	0	0	1	3	1	1	4	2	14

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66～70	男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
71～75	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
76～80	男	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	8
	女	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
81～85	男	0	0	0	0	3	3	2	2	2	2	2	2	18
	女	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	2	4	46
86～90	男	0	0	1	1	1	0	0	2	2	0	1	2	10
	女	4	2	4	2	2	1	1	1	3	3	2	1	26
91～95	男	2	1	1	0	1	1	2	1	2	3	1	1	16
	女	1	3	2	3	2	3	3	3	3	2	2	1	28
96以上	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	0	23
合計		14	13	15	14	16	15	14	17	20	18	16	14	186

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
三養苑居宅	1	1	2	2	2	1	2	2	3	2	2	2	22
第5包括(委託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他事業所	13	12	13	12	14	14	12	15	17	16	14	12	164
合計	14	13	15	14	16	15	14	17	20	18	16	14	186

事業所別 延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑居宅	32	33	35	37	39	40	42	44	47	49	51	53	502
第5包括(委託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他事業所	306	318	331	343	357	371	383	398	415	431	445	457	4555
合計	338	351	366	380	396	411	425	442	462	480	496	510	5057
平均	11.27	11.32	12.20	12.26	12.77	13.70	13.71	14.73	14.90	15.48	17.10	16.45	13.83

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑	32	33	35	37	39	40	42	44	47	49	51	53	502
第5包括(委託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケアサービス まるせ	64	66	68	70	75	79	84	88	92	95	97	99	977
萱島居宅介護支援事業所ラガール	34	37	40	42	43	44	45	46	47	50	52	52	532
みどりケアプランセンター	68	70	72	74	76	78	80	83	85	86	86	87	945
Nログ	32	33	34	35	36	37	38	39	39	39	39	39	440
さくらケアプランセンター	32	33	34	34	35	36	36	37	39	41	43	45	445
エルケアひがしくすのきケアプランセンター	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	42	449
ミーツケアプランセンター	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	45	452
囲炉裏ケアプランセンター	12	13	14	15	16	17	17	17	17	17	17	17	189
スマイリーケアプランセンター	0	0	1	2	3	4	4	4	4	4	4	4	34
SONPOケア門真居宅介護支援事業所	0	0	0	1	1	2	3	5	8	10	11	12	53
朝日ケアプランセンター	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	5	15
ケアサポート都	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	5	12
ニチイケアセンター門真	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	7
ケアプランセンターあかり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
アシストケアプランセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
													0
他事業所合計	306	318	331	343	357	371	383	398	415	431	445	457	4555
合計	338	351	366	380	396	411	425	442	462	480	496	510	5057

令和6年度 三養福祉会デイサービスセンター四宮三養苑 事業報告書

当デイサービスは、おかげさまで11年目の運営を終えました。これまでに培ってきた経験や気づきを活かしながら職員間でのミーティングや研修を重ね、より質の高い支援とサービス提供を目指して取り組んでまいりました。

本年度は特に、職員一人ひとりの意識向上を目的とした【毎月の勉強会】を欠かさず実施し、接遇・安全・介護技術など多岐にわたるテーマで研鑽を積んでまいりました。そうした日々の積み重ねが、ご利用者様への対応の質を高め「接客マナーがとても良い」といったケアマネージャー様やご家族様からの温かいお言葉として返ってきたことは、職員一同の励みとなりました。

また、レクリエーション活動や季節ごとの行事にも力を入れ、節分・七夕・敬老会・クリスマスなど、四季を感じていただける催しを企画・実施し、多くのご利用者様の笑顔と喜びに繋がりました。これらの行事は、日々の生活に彩りを添える大切な時間であり、心身の活性化にも寄与しています。

登録者数につきましては、ゆるやかながらも増加傾向を維持しており、体験利用から新規利用への定着率も90%を超えるなど、良い成果が見られました。年間を通じて前年比104%と、安定した実績を残すことができました。

特に一事業所からの紹介によるリピート率の高さや、居宅介護支援専門員とのパートナー関係の深化は、本年度の大きな成果の一つです。本報告書で、月ごとの活動実績を表や数値で整理し、より具体的に振り返っております。

年度別・月別の傾向を多角的に分析することで、来年度以降のサービス改善に繋げてまいります。

これからも、地域に信頼されるデイサービスを目指して、職員一同努力を続けてまいります。

令和7年度は、さらに登録者数の増加を目指し、今後の課題にも前向きに取り組んでいく所存です。

スタッフ会議勉強会の実施内容

	内容		内容
4月	リスクマネジメント	10月	身体拘束/虐待
5月	介護事故防止について	11月	ポジティブシンキング
6月	食中毒について	12月	BCP卓上訓練とは
7月	感染症の基礎知識	1月	褥瘡
8月	感染対策	2月	食事時の注意点・食事介助
9月	認知症対応	3月	排泄について

以下が令和6年度の実績と、過去7年間の推移比較となっています。

【 令和6年度 三養福祉会 デイサービスセンター四宮三養苑 実績報告 】

介護保険 ・ 総合事業 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	27	26	29	32	33	33	33	31	35	34	30	31	374
女 性	37	41	37	37	38	37	36	34	32	32	33	36	430
合 計	64	67	66	69	71	70	69	65	67	66	63	67	804

介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
要支援 1	4	6	6	7	7	7	7	7	8	8	7	7	81
要支援 2	6	6	6	7	7	7	6	5	5	5	4	4	68
要介護 1	12	13	14	16	17	17	17	15	16	15	17	18	187
要介護 2	22	22	21	21	22	21	21	20	20	20	19	22	251
要介護 3	10	10	9	8	8	8	8	8	8	8	5	5	95
要介護 4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
要介護 5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	26
合 計	64	67	66	69	71	70	69	65	67	66	63	67	804

介護度別 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総合事業・緩和型	63	76	68	89	92	71	73	62	66	56	52	58	826
総合事業・現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護・2～3時間	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護・3～4時間	10	10	12	18	17	18	18	13	7	5	4	1	133
要介護・4～5時間	33	33	35	49	47	50	42	46	43	36	25	16	455
要介護・5～6時間	101	100	96	113	121	113	128	127	123	104	113	113	1352
要介護・6～7時間	238	247	215	227	217	211	240	226	228	181	187	198	2615
要介護・7～8時間	72	73	68	85	83	94	98	97	110	99	135	156	1170
要介護・8～9時間	14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
合 計	533	546	494	581	577	557	599	571	577	481	516	542	6574
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	310
利用平均人数	20.5	20.2	19.8	21.5	21.4	22.3	22.2	22.0	22.2	20.0	21.5	20.8	21.2
前年比(人数)	101%	100%	98%	105%	104%	106%	113%	108%	113%	96%	104%	96%	104%

総合事業・緩和型⇒ 通所型サービスA・緩和型(全日)

総合事業・現行相当⇒ 通所型サービスA・現行相当

介護保険 + 総合事業 利用実績 前年比較推移

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	463	373	369	374	389	380	443	417	437	400	369	444
1日平均利用者数(人)	17.8	13.8	14.2	14.4	14.5	15.8	16.4	16.1	16.8	16.0	15.4	16.8
定員に対する稼働率(%)	50.7	55.3	56.7	57.5	57.5	63.3	65.6	64.3	67.2	64.0	61.5	67.2



令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	436	409	416	461	466	458	518	532	509	491	527	560
1日平均利用者数(人)	16.8	15.1	16.6	17.1	17.9	18.3	19.9	20.5	19.6	20.5	21.1	21.5
定員に対する稼働率(%)	67.1	60.6	66.6	68.3	71.7	73.3	76.7	81.8	78.3	81.8	84.3	86.2



令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	457	447	512	535	514	505	506	458	449	335	392	484
1日平均利用者数(人)	17.6	17.9	19.2	19.8	19.8	19.4	18.7	18.3	16.6	15.2	16.3	17.9
定員に対する稼働率(%)	73.1	71.5	78.8	79.3	79.1	77.7	75.0	73.3	66.6	60.9	65.3	71.7



令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	463	464	463	511	507	529	510	518	538	454	310	421
1日平均利用者数(人)	17.8	17.8	17.8	18.9	19.5	20.3	19.6	19.9	19.9	18.9	12.9	15.6
定員に対する稼働率(%)	71.2	71.2	71.2	75.7	78.0	81.4	78.5	79.7	79.7	75.7	51.7	62.4



令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	481	472	497	502	371	527	519	538	553	470	477	547
1日平均 利用者数(人)	18.5	18.2	19.2	19.3	13.7	20.3	20.0	20.7	20.5	19.6	19.9	20.3
定員に対する 稼働率(%)	74.0	72.6	76.5	76.6	54.9	81.1	79.8	82.7	81.9	78.3	79.5	81.0

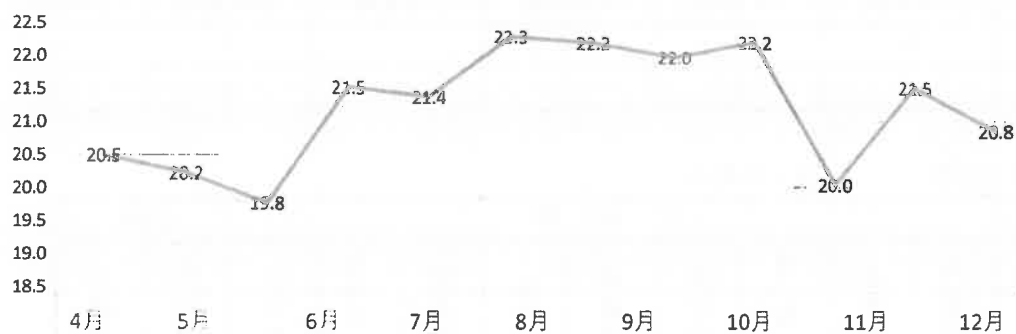


令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	506	544	527	529	536	546	529	527	509	499	529	563
1日平均 利用者数(人)	20.2	20.2	20.3	20.3	19.9	21.0	20.3	20.3	19.6	20.8	21.1	21.7
定員に対する 稼働率(%)	80.9	80.1	81.0	81.4	79.4	84.0	81.4	81.1	78.3	83.2	84.4	86.7



令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	533	546	494	581	577	557	599	571	577	481	516	542
1日平均 利用者数(人)	20.5	20.2	19.8	21.5	21.4	22.3	22.2	22.0	22.2	20.0	21.5	20.8
定員に対する 稼働率(%) 25名換算	82.0	80.9	79.0	86.1	85.5	89.1	88.7	87.8	88.8	80.1	86.0	83.4

1日平均
利用者数(人)



養護老人ホーム 四宮三養苑
令和6年度事業報告書

1.利用及び入退所の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退居者数(人)	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	5
男性入居者数	11	10	10	10	10	9	9	8	7	7	7	7	105
女性入居者数	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	170
月初日現在 在籍者数(人)	26	25	24	24	24	23	23	22	21	21	21	21	平均 21.1

2.入居者の年齢、性別状況 R7.3.31現在

	65歳 未満	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	平均年齢
男性	0	0	2	0	3	0	2	0	0	79
女性	0	0	0	1	5	6	2	1	0	81.6
合計	0	0	2	1	8	6	4	1	0	80.7

3.要介護度別状況 R7.3.31現在

要介護度別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	未申請
人数	7	2	1	3	5	2	2	0	0

4.入居者の平均在所期間 R7.3.31現在

	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上
男性	0	3	0	2	3	0
女性	1	0	0	3	6	4

5.措置市町村別入居者数 R7.3.31現在

都道府県	大 阪 府									府外	
市町村	門真市	都島区	東大阪市	豊中市	浪速区	旭区	鶴見区	東淀川区	住吉区	神戸市	京都市
人数	5	0	0	1	1	2	0	1	0	1	11

6.退所者状況 R7.3.31現在

区分	在宅復帰	他施設入所	長期入院	死亡	その他
退居者数	0	4	0	1	0

7.面会・外泊・入院・外出の状況 R7.3.31現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者数	0	0	2	1	6	2	2	2	4	2	5	0	26
外出者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	10	10	2	10	7	5	10	5	4	1	5	7	76
入院者数	3	1	1	1	1	2	3	2	2	2	6	3	27
入院日数	44	22	13	23	27	35	36	42	31	46	14	47	380

8. 日常生活状況

R7.3.31現在

	自立	一部介助	全介助
食事	17	5	0
排泄	14	5	3
入浴	14	5	3
移動	15	5	2

9. スタッフ会議勉強会の実施内容

	内容		内容
4月	リスクマネジメント	10月	身体拘束/虐待
5月	介護事故防止について	11月	ポジティブシンキング
6月	食中毒について	12月	BCP卓上訓練とは
7月	感染症の基礎知識	1月	褥瘡
8月	感染対策	2月	食事時の注意点・食事介助
9月	認知症対応	3月	排泄について

10. 各委員会

委員会	開催時期	主催者
感染防止対策委員会	毎月第3水曜日	施設長
身体的拘束虐待防止委員会		
BCP対策委員会(災害・感染症)		
褥瘡対策委員会	毎月第3水曜日	看護師
安全対策推進委員会(事故防止委員会)	毎月第4木曜日	施設長
生産性向上委員会(業務改善委員会)	3ヵ月に1回第4火曜日	

11. 各会議

会議	開催時期	主催者
運営推進会議	毎月第3水曜日	施設長
職員(ケース)会議	毎月1回	ホーム長
給食会議	毎月第4水曜日	管理栄養士

12. 令和6年度 年間行事報告

4月	開苑12周年記念祭とおやつレク(まんまるホットケーキ)・お花見・お誕生日会
5月	母の日のお祝いとおやつレク(冷凍イチゴとフルーツあんみつ)・お誕生日会
6月	父の日を祝うおやつレク(フレンチトーストリンドのコンポート)・お誕生日会
7月	七夕祭とおやつレク(七夕パフェ)・お誕生日会
8月	おやつレクリエーション(さっぱりソーメン)・お誕生日会
9月	敬老の日を祝うとお月見を兼ねて(さつまいももち)・お月見に和菓子・お誕生日会
10月	おやつレクリエーション(ハロウィン かぼちゃのモンブラン)・お誕生日会
11月	おやつレクリエーション(中止)・お誕生日会
12月	クリスマス会を楽しむおやつレク(スイートポテト)・お誕生日会
1月	手作り神社への初詣、書初め・おやつレク(ぜんざい)・お誕生日会
2月	節分祭とおやつレク(キャベツ焼き) バレンタインデーを楽しむ(豆腐のチョコレートムース)・お誕生日会
3月	雛祭り会とおやつレク(中止)・お誕生日会

令和 6 年度

社会福祉法人三養福祉会

田辺の郷

事業報告書

特別養護老人ホーム田辺の郷

短期入所生活介護田辺の郷

ヘルパーステーション田辺の郷

特別養護老人ホーム 田辺の郷 令和6年度 報告書
令和6年度(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

令和6年度(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										全体	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	定数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均					
定数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,525		1,550	1,500	1,550	1,550	1,450	1,550	1,525	18,300	1,525					
入居実数月累計	1,478	1,449	1,365	1,448	1,412	1,368	1,420	入居実数月累計	1,398	1,320	1,425	1,449	1,332	1,479	1,401	16,923	1,410					
在籍者1日平均	49.3	46.7	44.0	46.7	45.5	45.6	46.32	在籍者1日平均	45.1	44.0	46.0	46.7	43.0	47.7	45.4		45.87					
入院差し引く人数	1,467	1,442	1,323	1,418	1,412	1,338	1,400	入院差し引く人数	1,367	1,282	1,378	1,396	1,319	1,430	1,365	16,592	1,383					
入院者差し引く人数	97.8%	93.0%	88.2%	91.5%	91.1%	89.2%	91.8%	入院者差し引く人数	89.5%	85.5%	88.9%	90.1%	91.0%	92.3%	89.5%		90.66%					
1日当り実質空床率	2.2%	7.0%	11.8%	8.5%	8.9%	10.8%	8.20%	1日当り実質空床率	10.5%	14.5%	11.1%	9.9%	9.0%	7.7%	10.5%		9.34%					
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0					
新規入所者数	0	2	2	2	0	1	1.2	新規入所者数	1	3	3	3	1	5	2.7	23	1.9					
退所者(内死亡者)	0	4(2)	2(2)	0	2	2	1.7(1.5)	退所者(内死亡者)	1(1)	2(1)	1	4	1(0)	4(2)	2.2(0.7)	23(12)	1.9(1.0)					
1日当り入院者平均	0.38	0.24	1.45	1.03	2.16	1.00	1.04	1日当り入院者平均	0.37	1.27	1.57	4(1)	0.43	1.58	1.04		1.04					
入院日数1ヵ月累計	11	7	42	30	67	30	31	入院日数1ヵ月累計	11	38	47	1.77	13	49	26.6	347	28.9					
平均入所率	98.5%	93.5%	91.0%	93.4%	91.1%	91.2%	93.1%	平均入所率	90.2%	88.0%	91.9%	93.5%	91.9%	95.4%	91.8%		92.47%					
短期入所者延べ人数	149	191	138	128	156	154	152.7	短期入所者延べ人数	192	256	153	265	265	260	231.8	2,307	192.3					
特養+短期 定数	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,830	特養+短期 定数	1,860	1,800	1,860	1,860	1,740	1,860	1,830	21,960	1,830					
月当り在籍者実数	1,627	1,640	1,503	1,576	1,568	1,522	1,573	月当り在籍者実数	1,590	1,576	1,578	1,714	1,597	1,739	1,632	19,230	1,603					
1日当実質在籍者数	54.2	52.9	50.1	50.8	50.6	50.7	51.6	1日当実質在籍者数	51.3	52.5	50.9	55.3	51.5	56.10	52.9		52.3					
稼働率(特+短)	90.4%	88.2%	83.5%	84.7%	84.3%	84.6%	85.9%	稼働率(特+短)	85.5%	87.8%	84.8%	92.2%	91.8%	93.5%	89.2%		87.58%					
入所者介護度平均	4.0	4.1	4.1	3.9	3.8	3.8	4.0	入所者介護度平均	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	4.00	3.85		3.90					
要支援	0	0	0	0	0	0	0	要支援	0	0	0	0	0	0	0							
要介護(1)	0	0	0	1	1	1	1	要介護(1)	1	1	1	1	1	1	1							
要介護(2)	3	3	3	3	3	3	3	要介護(2)	3	3	3	2	2	2	2.5							
要介護(3)	11	11	12	12	13	13	12	要介護(3)	13	14	14	14	13	13	13.5							
要介護(4)	19	17	16	17	17	16	17	要介護(4)	14	19	18	17	18	18	17.3							
要介護(5)	16	15	15	15	12	13	14	要介護(5)	14	12	12	13	13	14	13.0							
合計	49	46	46	48	46	46	47	合計	45	49	48	47	47	48	47.3							
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0					
外出数	1	1	1	1	3	1	1	外出数	3	11	5	7	10	5	7	49	4.1					
通院者数	39	23	28	28	28	17	27	通院者数	22	23	29	16	15	28	22	296	24.7					
面会者数	36	40	49	45	38	37	41	面会者数	56	59	61	57	57	72	60	607	50.6					
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0					

利用者別状況表(令和7年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
田辺市	34	34
みなべ町	4	4
白浜町	7	7
すさみ町	1	1
上富田町	2	2
計	48	48

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	8	40	48
平均年齢	86.8	87.7	87.56
最高年齢	94	100	
最低年齢	73	56	

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	1
中度	A1	1
	A2	6
重度	B1	9
	B2	21
最重度	C1	5
	C2	5
合計		48

③痴呆性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	6
	Ⅱa	1
	Ⅱb	7
中度	Ⅲa	16
	Ⅲb	7
重度	Ⅳ	11
	M	0
合計		48

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	1	18	29	48
食事	26	9	13	48
排泄	0	25	23	48
入浴	0	21	27	48

⑤おむつ使用者状況

	人数
日中	
夜間	7
常時	22
合計	29

令和6年度 事業報告書
短期入所生活介護

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	3	1	8
要介護1	男	2	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	9
	女	2	3	1	3	1	1	2	1	2	3	1	2	22
要介護2	男	4	4	2	1	2	1	1	1	1	2	1	2	22
	女	0	1	1	5	5	3	2	4	2	3	8	6	40
要介護3	男	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	14
	女	3	3	2	2	2	3	4	6	5	6	8	5	49
要介護4	男	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	4	4	31
	女	8	7	6	4	5	3	4	5	2	4	4	4	56
要介護5	男	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1	15
	女	1	1	0	0	1	3	2	3	1	2	2	4	20
合計		24	24	16	19	22	21	23	26	19	28	35	31	288
夜間入数		124	164	121	110	132	154	167	226	133	236	234	225	2,026
平均		4.13	5.29	4.03	3.55	4.26	5.13	5.39	7.53	4.29	7.61	8.36	7.26	5.6

介護度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援2		0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	3	1	9
1		4	3	1	3	2	2	3	1	3	4	2	3	31
2		4	5	3	6	7	4	3	5	3	5	9	8	62
3		4	4	3	3	3	5	6	7	6	7	9	6	63
4		10	9	8	6	7	5	7	8	4	7	8	8	87
5		2	2	1	1	2	4	4	5	2	3	4	5	35
合計		24	24	16	19	22	21	23	26	19	28	35	31	288

保険者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
田辺市		23	20	14	17	19	17	18	21	17	24	30	28	248
みなべ町		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
白浜町		0	2	0	0	1	2	3	2	0	3	4	2	19
上富田町		1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	0	0	10
														0
														0
														0
合計		24	24	16	19	22	21	23	26	19	28	35	31	288

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男		2	0	0	0	1	2	1	0	3	2	2	1	14
女		3	4	0	3	3	2	2	3	0	5	7	4	36
計		5	4	0	3	4	4	3	3	3	7	9	5	50

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	7
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	7

事業所別件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅		3	5	4	4	6	6	5	0	0	0	0	0	33
他事業所		21	19	12	15	16	15	18	26	19	28	35	31	255
合計		24	24	16	19	22	21	23	26	19	28	35	31	288

事業所別 延べ利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅		10	72	50	43	52	70	60	0	0	0	0	0	357
他事業所		139	119	88	85	104	84	132	256	153	265	265	260	1950
合計		149	191	138	128	156	154	192	256	153	265	265	260	2307
平均		5.0	6.2	4.6	4.1	5.0	5.1	6.2	8.5	4.9	8.5	9.1	8.4	6.3

令和 6 年度 ケアプラン委員会 報告書

柿平 雅代（生活相談員兼介護支援専門員）

○ケアプランについて

- ・ケアプラン更新表を作成し、相談員、管理栄養士、看護職員、介護職員に提出。
ケアチェックはユニットリーダー（医療面は看護職員）に聞き取りを行った。
ユニットリーダーはユニットスタッフと話し合い介護職の意見をまとめ、委員会にて発表した。
委員会にて情報の共有をし、問題点を話し合いそれに対しての目標をたて、ケアプランを作成した。
- ・栄養ケアプランについては管理栄養士が作成した。

○書類関係

- ・ケアプラン更新表を作成し、各情報がスムーズに収集することが出来た。
- ・各利用者様のケースファイルに、新プランをファイリングし各職員がプランの内容を把握出来るようにした。

○アセスメント

- ・会議の度に現状把握の為、アセスメントを実施した。新たな問題点が無いか見直しも行った。

○モニタリング

- ・ユニットリーダーが毎月月末にサービスが計画通り実施され、状況がどう変わっているか評価しケアマネジャーに報告を行った。
- ・医療面に関しては、看護職員がケアプラン更新時に評価し、ケアマネジャーに報告した。
- ・ケアプラン更新時にはサービスが実施されているか、目標は達成しているか等のモニタリングを実施した。

【反省点】

- ・状態の変化時など、プラン内容の変更が速やかに行えなかった。
- ・リーダーをはじめユニットの職員全員がケアプランを把握できていなかった。

令和 6 年度 感染委員会報告書

委員長、特養ケアマネジャー 特養相談員 施設管理栄養士 ユニットリーダー
各フロアより委員 2 名
計 6 名

感染の発生状況

季節性インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルスに関して

令和 6 年度 特養入居者様で、入居者様の季節性インフルエンザ、ノロウイルスの発症はありませんでしたが、新型コロナウイルスの発症者が多数出ました。フロア職員の新型コロナウイルス、季節性のインフルエンザの発症者も多数出ました。

職員の新型コロナウイルス、季節性のインフルエンザの発症時は、厚生労働省・医療機関が定められている療養期間の指示に従い、自宅待機とした。

感染が拡大中は、飛沫防止の為、業務中はフェイスシールドを着用した。入浴介助時もゴーグルを着用し入浴介助を行った。

食事休憩の際、車で出勤している職員はなるべく自家用車で休憩をとるようにした。休憩室で休憩をとる際、間隔をあけて黙食を徹底した。

その他

口呼吸にて入眠している方について

夜間巡回時に時折口呼吸している方は何人もおられるが頻繁にみられる方もおられる。頻繁に見られる方については、口腔内にスプレーを噴霧して湿潤を保てるようにしている

面会の制限が緩和されました。

面会時間が午前 10 : 00～11 : 00 午後 14 : 00～16 : 00

できるだけ 1 家族 15 分程度

面会時、窓口で検温・手指消毒・マスクの着用をする。入居者様も面会時には必ずマスクの着用し感染対策の徹底をする。

今まで通り、事前予約制です。

令和 6 年度の目標

感染症の発生・予防する。(インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス含む)

- ・ 早期に感染症の発生状況を行う。
- ・ 職員からの持ち込み予防の声かけを続ける。
- ・ 来所者への持ち込み予防の声かけを行う。

- ・職員出勤時は、必ず通用口、エレベーター、内部階段でアルコール消毒を実施し、他の部署に菌を持ち込まないように徹底する。その後手洗い・うがい・マスク使用を徹底する。
- ・職員出勤前は必ず爪切りを行う。

- ・施設内の清潔、加湿をする
- ・四季で流行する感染症予防の啓発

入居者様の感染予防

毎食時前の手洗い・うがい、爪切りの励行

口呼吸の予防

夜間頻繁に口呼吸して睡眠している方は枕の位置を工夫する。それでも効果がなければ加湿（洗面台に水を張る。濡れタオルを干す、加湿器を入れる等）実施する
口呼吸で呼吸されている入居者様は毎食後番茶でうがい、口腔スプレーにて噴霧する。

新人職員への口腔ケア指導を活用

翌年度も継続して指導を受けることになった。

指導を受ける事によりブラッシング方法等、技術・技能を学ぶ。

令和 6 年度 教育研修委員会 報告書

委員責任者：下地 敦司

委員：施設介護支援専門員、生活相談員、各ユニットリーダー

委員会開催：毎月 1 回

開催時間：30 分～1 時間程度

○1 年間の活動

- ・年間計画を元に内部研修(勉強会)を実施
- ・外部研修の受講希望者については、受講のための各種調整を実施

○研修実施、参加実績

【内部研修(勉強会)】

- ・全体会議【人権擁護、虐待防止、労務関連(処遇改善等加算について)など】
- ・高齢者虐待・身体拘束について
- ・避難訓練（日中・夜間想定）、津波想定訓練
- ・感染予防について
- ・事故予防について
- ・業務継続計画(BCP)について

【外部研修】

- ・認知症介護基礎研修(Zoom)
- ・高齢者虐待防止に向けた取り組みの研修会
- ・成年後見人制度について
- ・嚥下調整食施設講習会

○令和 6 年度のまとめ

- ・内部研修(勉強会)については、期間中コロナ感染症が施設内で発生したこと等により予定通りの実施が難しい場面もあったが、日程調整の上、予定していた議題についての研修を実施することはできた。研修受講スタッフ(ユニットリーダーまたは各委員会委員)はフロア会議で伝達研修を行い、他スタッフへの研修内容共有に努めた。
- ・外部研修は、対象者は必須となる認知症介護基礎研修や職員から受講希望があった研修についての参加調整を行った。

○令和 7 年度の取り組み

- ・運営上実施が必須となっている研修について、実施漏れのないように計画的に取り組む。
- ・外部研修においては、順次情報提供するとともに要望があった際は受講のための各種調整を行う。

令和 6 年度 苦情対応委員会 報告書

田辺の郷

委員責任者 柿平 雅代（生活相談員）

委員責任者補佐

委員 崎口和也、山本賢志郎、三井悠平、堀智寿、原代雄志、村上直志
（各ユニットリーダー）

委員会開催 毎月 1 回

開催時間 30 分程度

令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

苦情件数・・・0 件

- ・はや 1 丁目（ショート） 0 件
- ・はや 2 丁目件 0 件
- ・はや 3 丁目件 0 件
- ・はや 4 丁目件 0 件
- ・はや 5 丁目件 1 件
- ・はや 6 丁目件 1 件

令和 6 年度のまとめ

- ・ 1 件は、入居者様の口腔ケアがきちんと出来てなかった。その時だけではなく家族様は以前から気になっていたが、改善されてないため、今回の苦情に繋がった。
改善策として、今まで本人に任せていたが、今後は職員も介助を行うことで家族様に説明し、今後きちんとしてもらえればと納得された。
- ・ もう 1 件は、ケアマネが家族様への必要な連絡を行っていなかったため、心配した家族様から問い合わせがあり、連絡をして居なかったことが分かった。

今後の課題

- ・ 職員間の連携、情報共有をしっかりと行う。
- ・ 積極的に報告書の作成を行う。
- ・ 苦情を受けた際は、丁寧な対応を行う。
- ・ 苦情を受けた職員が、詳細な書類作成を行う。
- ・ 日頃から利用者、家族とコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。

令和 6 年度広報委員会報告書

担当職員 柿平相談員・山本（賢）ユニットリーダー、

- ・今年度は広報紙の発行を行わず、数か月に 1 度イベントや普段の様子の写真を手紙と一緒に送りました。

令和 6 年度 行事委員会 報告書

○行事委員会担当職員

柿平相談員、山本（賢）ユニットリーダー

○令和 6 年度の大型行事は新型コロナウイルスの流行の為に中止となり、各ユニットにて代替の行事を行いました。

クリスマス会、花見会等は各ユニットで企画、実施行いました。

○来年度の課題

- ・新型コロナウイルスの状況をみながら、大型行事の計画を行う。
- ・毎月のイベントレクリエーションに関しては各ユニット行事委員が主となり計画し実施する。実施後はレクリエーション報告書を作成しユニット保管する。

令和6年度 事故予防・安全対策委員会 報告書

田辺の郷 事故予防・安全対策委員会メンバー

責 任 者 : 井上章雄

責任者補佐 : (安全対策管理担当者) 柿平雅代相談員

委 員 :

委員会開催

毎月1回 第3木曜日

時間 30分間程度

令和5年度の件数報告

4月

ヒヤリハット・・・50件	2階・・・15件	3階・・・26件	4階・・・9件
事故・・・11件	2階・・・3件	3階・・・8件	4階・・・0件
服薬ミス・・・1件	2階・・・0件	3階・・・1件	4階・・・0件

5月

ヒヤリハット・・・32件	2階・・・10件	3階・・・11件	4階・・・11件
事故・・・7件	2階・・・3件	3階・・・3件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

6月

ヒヤリハット・・・22件	2階・・・6件	3階・・・13件	4階・・・3件
事故・・・6件	2階・・・1件	3階・・・1件	4階・・・4件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

7月

ヒヤリハット・・・20件	2階・・・4件	3階・・・24件	4階・・・0件
事故・・・9件	2階・・・2件	3階・・・7件	4階・・・3件
服薬ミス・・・2件	2階・・・0件	3階・・・2件	4階・・・0件

8月

ヒヤリハット・・・28件	2階・・・2件	3階・・・24件	4階・・・2件
事故・・・3件	2階・・・2件	3階・・・0件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

9月

ヒヤリハット・・・15件	2階・・・1件	3階・・・10件	4階・・・4件
事故・・・4件	2階・・・1件	3階・・・2件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

10月

ヒヤリハット・・・14件	2階・・・6件	3階・・・4件	4階・・・4件
事故・・・9件	2階・・・5件	3階・・・3件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

11月

ヒヤリハット・・・15件	2階・・・5件	3階・・・6件	4階・・・4件
事故・・・7件	2階・・・3件	3階・・・2件	4階・・・2件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

12月

ヒヤリハット・・・20件	2階・・・7件	3階・・・12件	4階・・・1件
事故・・・11件	2階・・・6件	3階・・・1件	4階・・・4件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

令和5年1月

ヒヤリハット・・・45件	2階・・・3件	3階・・・36件	4階・・・6件
事故・・・9件	2階・・・3件	3階・・・5件	4階・・・1件
服薬ミス・・・1件	2階・・・0件	3階・・・1件	4階・・・0件

2月

ヒヤリハット・・・14件	2階・・・6件	3階・・・7件	4階・・・1件
事故・・・2件	2階・・・1件	3階・・・1件	4階・・・0件
服薬ミス・・・1件	2階・・・0件	3階・・・1件	4階・・・0件

3月

ヒヤリハット・・・15件	2階・・・1件	3階・・・9件	4階・・・5件
事故・・・14件	2階・・・2件	3階・・・6件	4階・・・6件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

フロア別件数

2階	ヒヤリハット件数・・・66件	事故件数・・・32件	服薬ミス件数・・・0件
3階	ヒヤリハット件数・・・182件	事故件数・・・39件	服薬ミス件数・・・5件
4階	ヒヤリハット件数・・・50件	事故件数・・・24件	服薬ミス件数・・・0件

令和5年度の種別件数

ヒヤリハット件数・・・298件	事故件数・・・95件	服薬ミス件数・・・5件
-----------------	------------	-------------

令和5年度のまとめ

- ・ヒヤリハットや事故が発生した際に、関係者間での対策の検討や情報共有を行い、必要に応じて安全対策部門への報告、相談、対応依頼等を行いました。
- ・報告書は比較的些細な件にいたるまで報告書として書類に残し、多職種間の情報の共有に役立てたと思います。
- ・委員会として、職員の事故予防意識、介護技術の向上となるよう、責任者と池田委員が講師となり介護技術勉強会を毎回委員会で実施し、その内容を各フロアの事故委員が所属のフロアに伝達することで、職員全員が介護能力の向上、自己の予防能力を高め、事故の減少に努めました。

今後の課題

- ・安全対策部門の下部組織として事故防止に取り組み、万一事故が発生した場合は必要な対応を迅速に行えるよう体制を整える。
- ・事故報告書・ヒヤリハット報告書は早急に提出すると共に、職員全員が把握し未然に事故を防ぐ。
- ・事故発生時には他職種と連携を図り、早急にユニット職員間で話し合える機会を設ける。
- ・転倒等の事故報告件数が多くなっている一方、ヒヤリハット報告書についてフロアによって数にばらつきが題きく、未然の気づきをよりできるように意識付けが必要。
- ・業務優先にとらわれず入居者様の状態の変化により気づきが持てるよう努める。
- ・事故予防、介護技術向上のため継続して勉強会を実施する。

令和 6 年度 身体拘束防止委員会 報告書

田辺の郷

委員責任者

委員 施設長 看護職員 生活相談員 ケアマネ 管理栄養士 介護職員

委員会開催 3 ヶ月に 1 回

開催時間 30 分程度

令和 6 年度のまとめ

令和 6 年度は身体拘束につながる可能性のものは該当ありませんでした。

身体拘束についての勉強会を年 2 回開催しました。

今後の課題

- ・職員間の連携、情報共有をしっかりと行う。
- ・各職員に身体拘束に対しての知識を持ってもらう。

令和 6 年度 物品委員会 報告書

委員会メンバー 3 名

<委員責任者>村上直志

<責任者補佐>三井雄平

<委員>井上章雄

○令和 6 年 4 月 1 日からの活動

- ・ 第 4 木曜日に委員会で集まり物品使用状況等について話し合いました。
- ・ 物品の在庫をきらさないよう、物品倉庫の確認を行い発注していました。
- ・ 各階へ物品を分配できるように取り組みました。
- ・ 各階が必要とする物品を把握し、見積もりをとりました。

○反省と対策

- ・ 今年度からは各委員メンバーが月担当で物品の発注を行いました。
各委員に発注方法や提出書類の仕様も改善し、把握しやすいようにした。
- ・ 物品の在庫状態が危うくなる事があった。
職員で都度確認し、在庫を切らさないように努めたが備蓄を使用することもあった為在庫管理を徹底していく。

令和 6 年度 褥瘡委員会 報告書

褥瘡予防委員会

委員長、特養ケアマネジャー、特養相談員、施設管理栄養士、ユニットリーダー
各フロアーより 2 名 計 6 名

褥瘡発生状況

施設に入居している入居者様で、現在褥瘡発症者は 2 名です。

発症部位：両腸骨部 右足第 2 指 右腸骨部

褥瘡発生のリスクが高そうな方について・・・

必要に応じて、マットレスを耐圧分散マット、エアーマットに変更し、リスク軽減につと
めている。適宜体位変換の実施を行う。

【介護保険者】

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	9	8	8	9	9	8	9	9	8	9	9	8	103
身体介護1・2人													0
身体介護1・夜朝													0
身体介護1・深夜													0
身体介護2	21	22	18	9	9	11	14	12	8	10	20	25	179
身体介護2・夜朝													0
身体介護2・2人													0
身体介護3													0
身体介護3・夜朝													0
身体介護4													0
身体介護4・夜朝													0
身体介護5													0
身体介護6													0
身体介護7													0
身体介護8													0
身体介護9													0
身体介護9・2人													0
計	30	30	26	18	18	19	23	21	16	19	29	33	282

[illegible]

【訪問時間】

介護保険者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問型サービス	0	24	15	22	36	37	50	58	66	65	56	65	494
身体介護	25.5	26	22	13.5	13.5	15	18.5	16.5	12	14.5	24.5	29	230.5
生活援助	67.25	89.5	75.25	76	61	66	69	65.25	63	59.25	71.5	75	838.0
複合介護	220.75	201.8	203.3	235	238.8	204	233.3	233.5	235	267.8	215.8	242.3	2731.0
合計	313.5	341.3	315.5	346.5	349.3	322.0	370.8	373.3	376.0	406.5	367.8	411.3	4293.5

訪問時間総計	313.5	341.3	315.5	346.5	349.3	322.0	370.8	373.3	376.0	406.5	367.8	411.3	4293.5
前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【利用者状況】

利用者数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険者	38	39	39	37	36	39	41	42	42	43	44	44	484
実費													0
													0
計	38	39	39	37	36	39	41	42	42	43	44	44	484

利用者終了内容

入所	死亡	中止	他事業所	転居	合計
14	2	2	2	5	25

利用者男女対比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援者 男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援者 女	2	2	2	2	3	4	5	6	6	5	6	6	49
要支援者 計	3	3	3	3	4	5	6	7	7	6	7	7	61

要介護者 男	6	7	7	7	7	8	8	8	8	10	10	10	96
要介護者 女	29	29	29	27	25	26	27	27	27	27	27	27	327
要介護者 計	35	36	36	34	32	34	35	35	35	37	37	37	423

令和元年度 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	16
要支援2	2	2	2	2	3	3	4	4	5	4	6	6	43
介護度1	18	17	19	18	18	19	19	19	20	22	22	23	234
介護度2	13	12	11	10	10	10	10	10	9	9	8	8	120
介護度3	1	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	30
介護度4	3	4	3	3	1	3	3	4	4	4	5	4	41
介護度5													0
合計	38	39	39	37	36	39	41	42	42	43	44	44	484

【令和6年度ヘルパー会議報告】

第1回	4月18日	事故発生又は発生防止	西谷 飛田 挟間 谷
第2回	5月16日	認知症及び認知症ケア	西谷 谷 挟間 田井
第3回	6月25日	緊急時の対応	西谷 挟間 田井 谷
第4回	7月23日	ハラスメント研修	挟間 西谷 田井 谷
第5回	8月10日	プライバシーの保護の取り組み	西谷 挟間 谷 田井
第6回	9月26日	接遇に関する研修	挟間 西谷 田井 飛田 谷
第7回	10月26日	人権擁護・虐待防止	谷 西谷 田井 西村 挟間
第8回	11月20日	感染症及び災害時に係る業務継続計画	谷 西谷 西村 挟間
第9回	1月24日	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	西谷 谷 挟間 西村
第10回	3月21日	論理及び法令遵守に関する研修	西谷 田井 挟間 西村 谷

令和6年度事業報告書

ケアハウス白浜椿の郷

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

・入退居及び外泊入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在籍者数(月末)	50	49	49	46	46	50	50	50	50	50	49	50	589
新規入居者数		3	1		1	6		1	1		1	1	15
外泊者数													0
入院者数													0
退居者	他施設入居	2	1	2	1	2		1	1		1		11
	病院入院												0
	家族宅	1		1									2
	死亡退居	1								1			2

・認定区分別(各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自 立	3	4	4	3	3	4	3	2	1	1	1	1
要支援 1	2	1	1	1	1	2	3	3	3	3	2	1
要支援 2	4	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7
要介護 1	20	18	18	19	19	21	21	23	24	24	23	22
要介護 2	12	12	13	11	9	10	9	9	8	8	8	10
要介護 3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4
要介護 4	5	4	4	3	4	3	4	4	5	5	4	5
要介護 5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	50	49	49	46	46	50	50	50	50	50	49	50

・法人内サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
訪問介護	316	348	320	347	347	320	369	370	373	402	373	414	4299
体験宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1.入居者平均年齢

	男 性	女 性	全体
人数	13	37	50
平均年齢	83	87.3	86.2
最高年齢	102	101	
最低年齢	65	68	

2.保険者別入居者数 (R7.3.31)

保険者別	
白浜町	16
上富田町	3
串本町	4
田辺市	11
すさみ町	5
みなべ町	1
和歌山市	1
その他	8
自立(介護保険適用外)	1
合 計	50

3.住所別入居者数 (R7.3.31)

住所地別	
白浜町	2
白浜町椿	16
白浜町日置	5
白浜町堅田	4
白浜町その他	1
田辺市	7
上富田町	3
串本町	1
すさみ町	5
みなべ町	1
和歌山市	1
串本町	1
那智勝浦	1
兵庫県	1
大阪府	1
合 計	50

4.日常生活動作介助別人数 (R7.3.31)

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	40	5	5	50

食事	46	4	0	50
排泄	38	7	5	50
入浴	1	48	1	50

(総括)

①入居者の快適環境

- ・コロナの対応が緩和された為、再開・実施したこと
家族の居室への訪問
各フロアーのソファの配置
外出ツアーの実施
家族との外出、外食の許可
- ・換気のための、窓の開閉を怠らなかった。
- ・廊下や食堂の衛生に気を付け、ハイターなどを使用し清潔に心がけた。
- ・毎日、耳にする施設内の音楽を入居者の親しみやすい音楽に変更した。
- ・レジオネラ対策として、週1回の水抜きと浴槽内の掃除。1日2回の残留塩素の測定を実施。(継続)
- ・浴室の天井の改修を行った。

②入居者が満足する食事提供

- ・身体状況によって調理形態（一口大、刻み）を変えている。
- ・美味しく食事をして頂けるように口腔内の清潔、歯科受診なども積極的に声掛けを行った。
- ・目で見、鼻で匂い、口で味わうを基本に置き食事を提供した。
- ・体調の変化により当日でも食事形態を変えて提供した。
- ・透析患者、腎機能低下などの方への減塩食の提供。
- ・行事食やお誕生日メニュー等の工夫をしている。
- ・毎日の食事に変化を加える為に、外出ツアーを行った。
施設では提供されない、お刺身やお寿司などの外食。

③入居者の健康で安全な生活

- ・食堂へ移動時の見守り、声掛け。
- ・病院受診の付き添い、Dr.の説明付き添い、その後、受診報告書作成。必要ならば家族に提示。
- ・病院の往診の実施
- ・リスクがある入居者には、ケアマネや訪問リハビリと情報共有し解決策を話し合った。
- ・入院時の対応 遠方の家族様が多い為、洗濯物などの手配や様子を見に顔を出し入院生活に不安が無いように配慮した。
- ・朝、夕のラジオ体操の実施

④入居者への各種サービス

- ・月1回の理容店の訪問。
- ・日曜日のカラオケの時間を実施した。
- ・週1回移動スーパー、ヤクルト販売を行っている。
- ・コロナの対応が緩和した事により、外出ツアーを再開した。

⑤入居者とスタッフの関係性

- ・遠慮なく話せる雰囲気作り。
- ・スタッフからの挨拶、何気ない声掛けなど。
- ・認知症の方に事務所で過ごす時間を提供。
- ・天気の良い日は、玄関先へ一緒に出て散歩をした。

⑥行事

	楽しむ行事
4月	※
5月	※
6月	※
7月	BBQ・流しそうめん
8月	流し素麺
9月	夏祭り
10月	橋杭岩ツアー・ハロウィン

	手作り行事
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	

11月	橋杭岩ツアー
12月	クリスマス会・運動会
1月	つき・カラオケ大会・鏡開
2月	節分
3月	お茶会

11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

※栄養士、不在の為実施せず

売)

令和六年度

社会福祉法人 三養福祉会

特別養護老人ホーム 網島の郷

事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 網島の郷
- ・ 短期入所生活介護 網島の郷
- ・ デイサービスセンター 網島の郷

特別養護老人ホーム 網島の郷 令和6年度 報告書

令和6年度(R6年4月1日ーR6年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム90名、短期入所10名						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4ー9月平均
定 数	2700	2790	2700	2790	2790	2700	2745
入居実数月累計	2590	2701	2675	2763	2672	2548	2658.2
在籍者1日平均	83.5	87.1	89.2	89.1	86.2	84.9	86.7
入院差し引く実数	2395	2533	2485	2573	2545	2475	2501.0
入院者差し引く実数	77.3	81.7	82.8	83.0	82.1	82.5	81.6
1日当り実質空床率	11.3%	9.2%	8.0%	7.8%	8.8%	8.3%	8.89%
新規入所者数	5	6	2	2	3	5	3.83
退所者(内死亡者)	3	4	3	2	6	1	3.17
1日当り入院者平均	6.50	5.42	6.33	6.13	4.10	2.43	5.15
入院 日数1ヵ月累計	195	168	190	190	127	73	157.2
平均入所率	95.9%	96.8%	99.1%	99.0%	95.8%	94.4%	96.8%
短期入所者延べ人数	179	142	174	216	189	263	193.8
特養＋短期 定数	3000	3100	3000	3100	3100	3000	3050.0
月当り在籍者実数	2574	2675	2659	2789	2734	2738	2694.8
1日当実質在籍者数	85.8	86.3	88.6	90.0	88.2	91.3	88.4
稼働率(特＋短)	85.8%	86.3%	88.6%	90.0%	88.2%	91.3%	88.4%
入所者介護度平均	3.73	3.71	3.71	3.73	3.70	3.70	3.71
要介護 (1)	1	1	1	0	0	0	0.5
要介護 (2)	4	4	4	4	4	4	4.0
要介護 (3)	34	35	34	34	35	37	34.8
要介護 (4)	29	30	31	32	30	30	30.3
要介護 (5)	21	20	19	18	17	18	18.8
合 計	89	90	89	88	86	89	88.5
外泊日数	0	0	0	0	1	0	0.2
外出数	0	0	0	1	2	1	0.7
通院者数	33	28	31	32	41	33	33.00
面会者数	104	104	107	97	108	111	105.2
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0

令和6年度(R6年10月1日—R7年3月31日)

[illegible]

②障害高齢者日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	0
	A2	2
重度	B1	52
	B2	32
最重度	C1	1
	C2	3
合計		90

③認知症高齢者日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	1
	II a	0
中度	II b	10
	III a	75
重度	III b	1
	IV	3
合計		90

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	29	29	32	90
食事	53	20	17	90
排泄	30	22	38	90
入浴	0	44	46	90

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	37
夜間のみ	18
合計	55

⑥在所期間の状況

	1 年未 満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	平 均 在 所
男	10 人	10 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1.1 年
女	23 人	24 人	7 人	16 人	0 人	0 人	2.5 年
計	33 人	34 人	7 人	16 人	0 人	0 人	2.1 年

⑦日常生活の状況調査

区 分					実数	割合	区 分					実数	割合
移動 立 食 事 入 浴 着 脱 衣	自立	独立歩行	24 人	26.7 %	排泄	昼 間	便所	自己で可能	30 人	33.3 %			
		杖等の歩行補助器使用	5 人	5.6 %				一部介助	20 人	22.2 %			
		車椅子使用	29 人	32.2 %				全部介助	2 人	2.2 %			
		要介助	32 人	35.6 %				ポータブル 便器	自己で可能	0 人	0.0 %		
	食事	自己で可能	53 人	58.9 %			一部介助		1 人	1.1 %			
		一部介助	20 人	22.2 %			全部介助		0 人	0.0 %			
		全部介助	17 人	18.9 %			おむつ使用		37 人	41.1 %			
	入浴	自己で可能	0 人	0.0 %		夜 間	便所	自己で可能	22 人	24.4 %			
		一部介助	14 人	15.6 %				一部介助	8 人	8.9 %			
		全部介助	76 人	84.4 %				全部介助	0 人	0.0 %			
	着脱衣	自己で可能	33 人	36.7 %			ポータブル 便器	自己で可能	2 人	2.2 %			
		一部介助	22 人	24.4 %				一部介助	3 人	3.3 %			
		全部介助	35 人	38.9 %				全部介助	0 人	0.0 %			
じょくそう者数		0 人	0.0 %	おむつ使用				55 人	61.1 %				
認知症	重 度	88 人	97.8 %	ト イ レ 誘 導 実 施 者 数					20 人	22.2 %			
	中 度	2 人	2.2 %										
	軽 度	0 人	0.0 %										

令和6年度 事業報告書

短期入所生活介護 網島の郷

1. 介護度別利用者数（延べ）

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0	0	0	11
	女	3	3	6	0	0	0	0	1	0	0	0	2	15
要介護2	男	31	52	44	54	42	48	33	33	34	31	27	34	463
	女	15	10	6	5	4	25	21	6	7	4	9	13	125
要介護3	男	37	56	51	69	65	92	108	96	105	84	67	92	922
	女	38	27	10	35	44	31	32	49	43	36	80	49	474
要介護4	男	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	22
	女	11	25	37	31	22	45	34	30	86	69	38	53	481
要介護5	男	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	女	17	12	14	22	7	20	10	25	26	11	20	69	253
合計		175	185	170	216	188	261	243	246	323	243	258	287	2795
夜間人数		140	158	148	189	173	243	220	234	310	229	249	260	2553
平均		5.8	6.0	5.7	7.0	6.1	8.7	7.8	8.2	10.4	7.8	9.2	9.3	7.6

2. 保険者別利用者数

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市	20	18	20	15	13	18	20	18	16	13	14	17	202
枚方市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
名古屋市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
東大阪市	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
大東市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	20	18	20	16	14	19	20	18	16	13	15	19	208

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	1	1	3	0	0	1	3	0	2	1	0	0	12
	女	4	2	4	2	4	5	0	7	2	2	4	3	39
計		5	3	7	2	4	6	3	7	4	3	4	3	51

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66～70	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71～75	男	2	2	2	2	2	1	3	1	1	1	1	1	19
	女	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
76～80	男	0	0	1	1	0	1	1	1	2	1	1	1	10
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	4
81～85	男	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
	女	1	1	0	1	1	0	0	1	1	1	2	1	10
86～90	男	3	3	3	3	2	2	2	1	2	2	1	1	25
	女	6	3	5	2	3	4	4	7	4	4	4	6	52
91～95	男	2	2	2	1	1	2	3	3	2	0	1	1	20
	女	6	6	6	4	5	8	6	2	4	3	2	3	55
96以上	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	7
合計		20	18	20	16	14	19	20	18	16	13	15	20	209

3. 地域別利用者数

住所地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市 都島区	8	8	12	9	5	6	8	8	9	9	6	7	95
大阪市 北区	7	6	4	3	4	5	5	4	3	1	4	6	52
大阪市 中央区	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
大阪市 天王寺区	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
大阪市 住之江区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
大阪市 旭区	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
大阪市 城東区	2	2	2	2	4	5	3	0	0	0	0	0	20
その他	0	0	1	1	0	2	1	2	1	1	3	5	17
合計	20	18	20	16	14	19	20	18	16	13	15	20	209

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
あかり						17			24				41
大阪城ケアプランセンター	18	17	16	23	15	19							108
おおみち												2	2
おかだ				4			4		22				30
おかえり									12	5			17
からまつ	23	25	8				2						58
北区医師会								4				2	6
北区訪問介護											2	3	5
グッドライフケア大阪北			2		2	3	3		3		3	6	22
ケア21 中央											28	57	85
ケア21 都島	1	5	3										9
ケア21 北	2												2
コスモ						7							7
さくしあ	25	50	37	41	38	36	69	68	136	121	108	111	840
さくらがわ			3	4									7
さくらそう旭											5		5
寿梨の里	23											13	36
多根総合病院居宅								9					9
辻外科						4	31	30	31	31	28	31	186
ケアプランセンターつるみ					2	18	10						30
なかよし			2	31	31	30	31	5					130
ハート介護			12	31	31	60	31	31	15				211
ハッピー				1	13								14
パルコープ							2						2
ひまわり			3										3
フレンズ						1	1						2
ほんわり	9	6	4	5		4	8	6	4	4	4	4	58
みと介護					15	17							32
皆輪			2	4		3		3	3			3	18
都島ナース	9	10	14	18	7	13	10	12	13	11	14	10	141
都島北部地域包括			2		4								6
都島区在宅サービスセンター										10	10	9	29
ユアーズ	3	3	3										9
ユアアイ	14	18	30	24									86
ゆめ都島							3	6					9
よつ葉	6	18					9	43	31	31	28	5	171
いきいき	3												3
ハートフルかのう	8	2											10
居宅介護センター大阪北	2	2											4
わか	29	29	29	30	30	29	29	29	29	30	28	31	352
合計	175	185	170	216	188	261	243	246	323	243	258	287	2795

4. エリア別 居宅支援事業所

住所地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市 都島区	6	5	9	5	2	4	7	4	5	5	3	4	59
大阪市 北区	6	3	2	0	1	1	1	1	1		2	4	22
大阪市 城東区	2	2	3	3	3	4	2	2	1			1	23
大阪市 中央区	2	1					2	2	1	1	2	3	14
天王寺区						1	1	1	1	1	1	1	7
大阪市 旭区											1		1
大阪市 住之江区	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
その他	3	6	5	6	6	8	6	7	6	5	5	6	69
合計	20	18	20	16	14	19	20	18	16	13	15	20	209

令和6年度 デイサービスセンター網島の郷 事業報告書

【 令和6年度 デイサービスセンター網島の郷 実績報告(介護保険) 】

介護保険 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	13	14	15	15	15	16	18	18	18	18	17	17	194
女 性	33	31	31	32	31	31	32	33	34	32	32	32	384
合 計	46	45	46	47	46	47	50	51	52	50	49	49	578

要介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護度 1	11	10	11	12	10	10	11	10	11	11	11	11	129
要介護度 2	18	19	18	17	16	18	19	21	21	19	19	19	224
要介護度 3	11	9	9	9	11	12	15	15	15	14	13	12	145
要介護度 4	5	6	6	7	7	6	4	4	4	5	5	5	64
要介護度 5	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	16
合 計	46	45	46	47	46	47	50	51	52	50	49	49	578

要介護度別 利用実績(延べ)

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所介護 I 21・時減													0
通所介護 I 22・時減													0
通所介護 I 23・時減								1					1
通所介護 I 24・時減						1							1
通所介護 I 11	37	35	37	53	50	42	51	47	51	51	62	54	570
通所介護 I 12	69	67	57	73	52	51	54	59	61	69	60	41	713
通所介護 I 13	57	49	53	50	57	54	59	62	57	47	42	44	631
通所介護 I 14	28	27	26	28	25	11	9	17	17	21	18	21	248
通所介護 I 15	0	0	4	4	4	3	5	0	0	0	0	2	22
通所介護 I 35	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	4
通所介護 I 45	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	3	2	11
通所介護 I 51	8	10	5	8	9	2	0	0	0	0	0	0	42
通所介護 I 52	20	25	23	23	26	30	34	41	32	27	29	38	348
通所介護 I 53	4	7	3	5	19	23	24	28	30	26	16	13	198
通所介護 I 54	22	23	18	27	8	7	4	4	4	0	0	0	117
通所介護 I 55	4	5	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	17
合 計	249	248	230	275	250	224	240	262	255	243	231	216	2923
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21	257
利用平均	11.3	10.8	11.5	12.0	11.4	10.7	10.4	12.5	12.1	12.2	11.6	10.3	11.4

【 令和6年度 デイサービスセンター網島の郷 大阪市介護予防・日常生活支援総合事業 実績報告 】

総合事業 利用登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	3	3	25
女 性	17	17	15	14	13	14	13	12	11	11	10	10	157
合 計	19	19	17	15	15	16	15	14	13	13	13	13	182

○ 大阪市介護予防型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	5	44
要支援2	15	15	13	11	12	13	12	11	10	9	9	8	138
合 計	19	19	17	15	15	16	15	14	13	13	13	13	182

○ 大阪市短時間型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大阪市介護予防・日常生活支援総合事業 利用実績(延べ)

○ 大阪市介護予防型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	15	16	14	14	12	12	15	12	11	12	12	15	160
要支援2	83	81	67	59	60	65	63	53	45	44	47	48	715
合 計	98	97	81	73	72	77	78	65	56	56	59	63	875
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21	257
利用平均	4.5	4.2	4.1	3.2	3.3	3.7	3.4	3.1	2.7	2.8	3.0	3.0	3.4

○ 大阪市短時間型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業日数													0
利用平均													

介護保険 + 総合事業 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	58	59	58	58	54	53	54	57	58	55	53	52
1日平均 利用者数(人)	15.8	15.0	15.6	15.1	14.6	14.3	13.8	15.6	14.8	15.0	14.5	13.3
定員に対する 稼働率(%)	79%	75%	78%	76%	73%	72%	69%	78%	74%	75%	73%	66%

令和 6 年度

特別養護老人ホーム プライムガーデンズ高円寺

事業報告書

【特別養護老人ホーム】

【短期入所生活介護】

【高円寺わくわく保育園】

特別養護老人ホーム プライムガーデンズ高円寺

令和 6 年度事業報告書

【総括】

開設から 5 年目を迎える中、入居者が昨年 84 名で満床となりましたが、年度後半より入院者が増加し併せて帰設に至らず他の医療機関への転院が増えたことで、年度末での入所率が 91.7%にまで落ち込む結果となりました。新規入居者の申込を増やすべく改善を図っております。

新型コロナウイルスが一昨年に 5 類相当に引き下げられましたが、施設外でのコロナウイルス感染者及びインフルエンザウイルス感染者も増えている状況下で、3 月にノロウイルス感染者が発生し、家族面会については 1 階エントランスでの面会ができるように移行しておりますが、マスク着用、手洗いの徹底含め引き続き感染症の徹底を図っております。

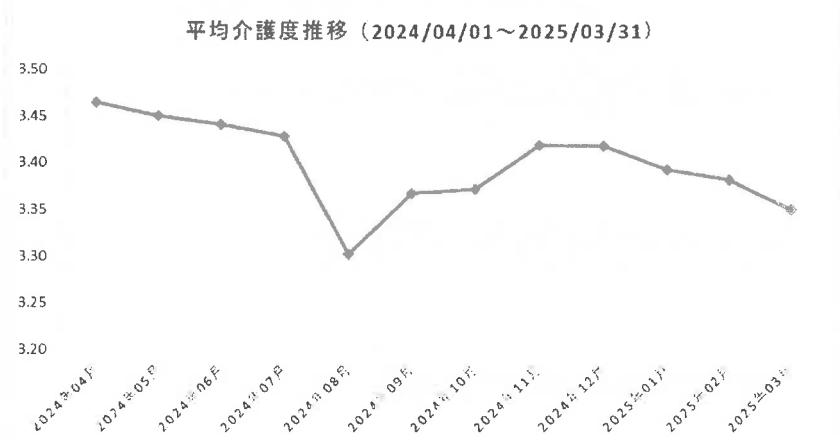
職員の採用に関しては以前より介護、看護、保育共に難しい状況ではありますが、外国人職員の採用含め、新規採用により職員確保を引き続き進めてまいります。

【入居者の状況】

平均年齢 全体 88 歳（男性 83 歳、女性 89 歳） 最高年齢 104 歳
最高年齢 男性 95 歳 女性 102 歳
最低年齢 男性 69 歳 女性 64 歳

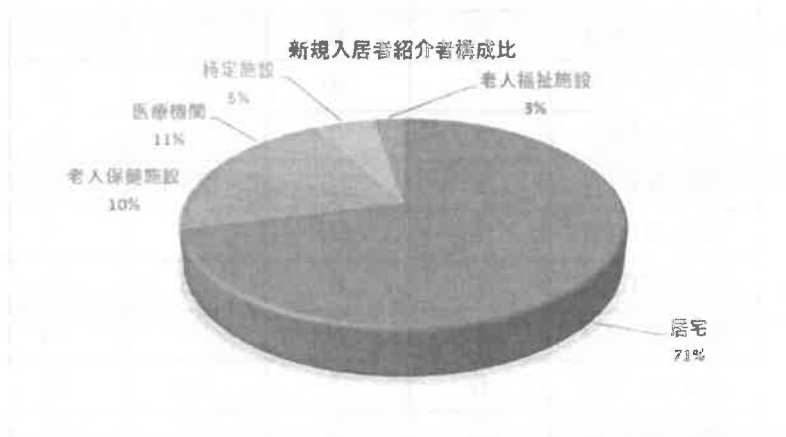
① 【平均介護度】

	平均介護度
2024年04月	3.46
2024年05月	3.45
2024年06月	3.44
2024年07月	3.43
2024年08月	3.30
2024年09月	3.37
2024年10月	3.37
2024年11月	3.42
2024年12月	3.42
2025年01月	3.39
2025年02月	3.38
2025年03月	3.35
合 計	3.40



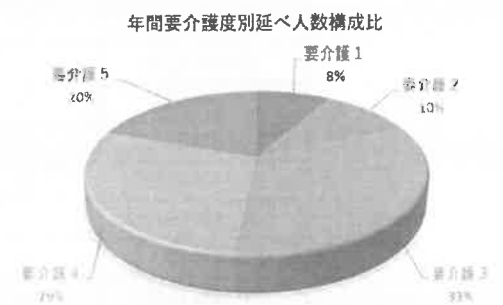
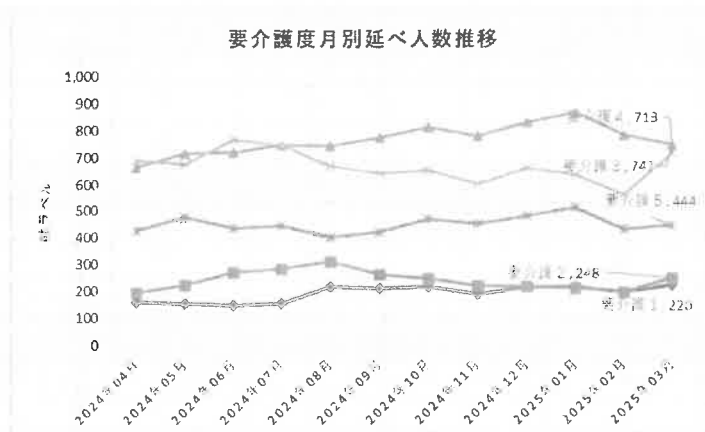
② 【新規入居者数】

	居宅	老人保健施設	医療機関	特定施設	老人福祉施設	合計
2024年04月	4	2	0	0	1	7
2024年05月	5	1	2	1	0	9
2024年06月	3	0	0	0	0	3
2024年07月	2	0	0	0	0	2
2024年08月	2	0	0	0	0	2
2024年09月	4	0	0	0	0	4
2024年10月	1	0	1	0	0	2
2024年11月	0	1	0	0	0	1
2024年12月	2	0	1	1	0	4
2025年01月	2	0	0	0	0	2
2025年02月	0	0	0	0	0	0
2025年03月	2	0	0	0	0	2
合 計	27	4	4	2	1	38



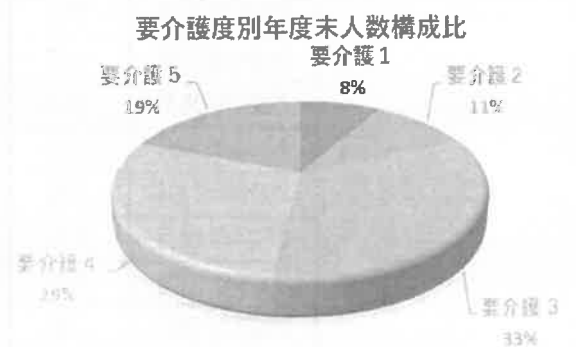
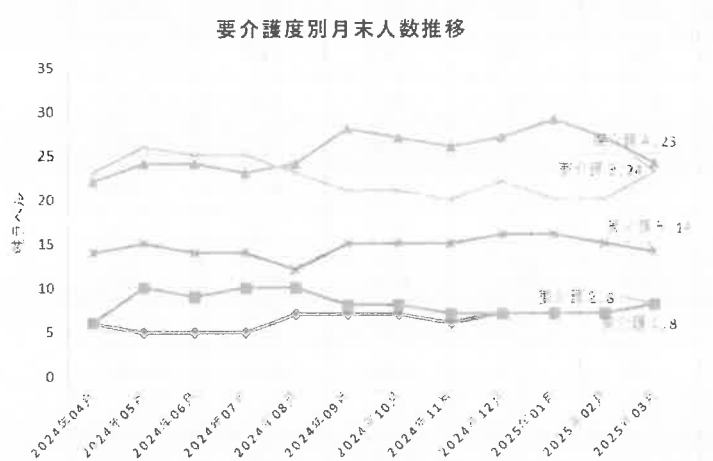
③ 【延べ人数】

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
2024年04月	163	194	665	692	426	2,140
2024年05月	155	223	715	672	478	2,243
2024年06月	150	271	718	766	437	2,342
2024年07月	155	284	745	745	444	2,373
2024年08月	217	310	744	667	402	2,340
2024年09月	210	263	773	638	421	2,305
2024年10月	217	248	813	652	468	2,398
2024年11月	190	221	778	601	450	2,240
2024年12月	213	217	831	662	480	2,403
2025年01月	217	211	869	634	512	2,443
2025年02月	196	196	783	560	429	2,164
2025年03月	220	248	747	713	444	2,372
合 計	2,303	2,886	9,181	8,002	5,391	27,763



④ 【月末人数】

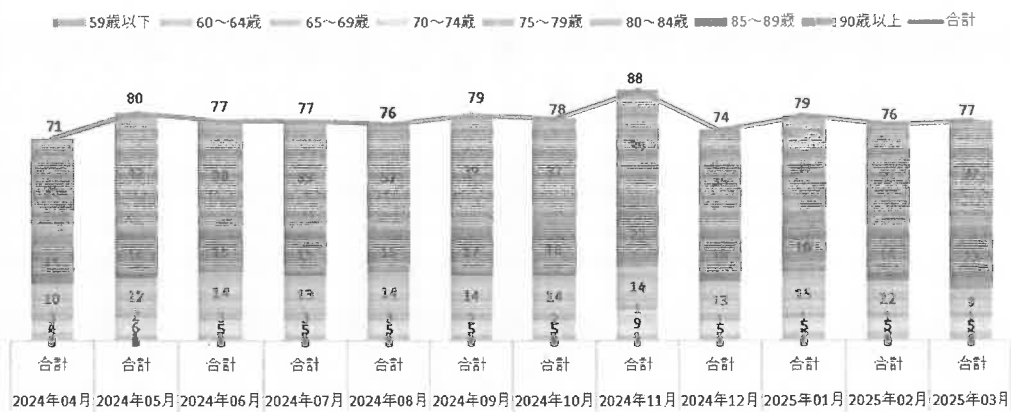
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2024年04月	6	6	22	23	14	71
2024年05月	5	10	24	26	15	80
2024年06月	5	9	24	25	14	77
2024年07月	5	10	23	25	14	77
2024年08月	7	10	24	23	12	76
2024年09月	7	8	28	21	15	79
2024年10月	7	8	27	21	15	78
2024年11月	6	7	26	20	15	74
2024年12月	7	7	27	22	16	79
2025年01月	7	7	29	20	16	79
2025年02月	7	7	27	20	15	76
2025年03月	8	8	24	23	14	77
合 計	77	97	305	269	175	923



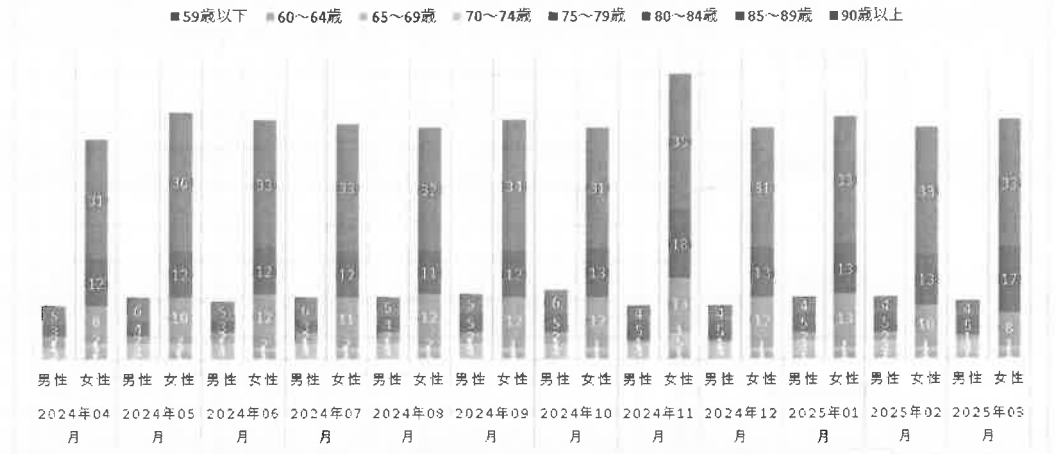
⑤ 【年齢別月末人数】

		59歳以下	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
2024年04月	男性				3	1	2	3	5	14
	女性		1	2	1	2	8	12	31	57
	合計	0	1	2	4	3	10	15	36	71
2024年05月	男性				4		2	4	6	16
	女性		1	1	2	2	10	12	36	64
	合計	0	1	1	6	2	12	16	42	80
2024年06月	男性				4	1	2	3	5	15
	女性		1	1	1	2	12	12	33	62
	合計	0	1	1	5	3	14	15	38	77
2024年07月	男性				4	1	2	3	6	16
	女性		1	1	1	2	11	12	33	61
	合計	0	1	1	5	3	13	15	39	77
2024年08月	男性				4	1	2	4	5	16
	女性		1	1	1	2	12	11	32	60
	合計	0	1	1	5	3	14	15	37	76
2024年09月	男性				4	1	2	5	5	17
	女性		1	1	1	1	12	12	34	62
	合計	0	1	1	5	2	14	17	39	79
2024年10月	男性				4	1	2	5	6	18
	女性		1	1	1	1	12	13	31	60
	合計	0	1	1	5	2	14	18	37	78
2024年11月	男性				4		1	5	4	14
	女性		1	1	5	1	13	18	35	74
	合計	0	1	1	9	1	14	23	39	88
2024年12月	男性				4		1	5	4	14
	女性		1	1	1	1	12	13	31	60
	合計	0	1	1	5	1	13	18	35	74
2025年01月	男性			1	4		2	5	4	16
	女性		1	1	1	1	13	13	33	63
	合計	0	1	2	5	1	15	18	37	79
2025年02月	男性			1	4		2	5	4	16
	女性		1	1	1	1	10	13	33	60
	合計	0	1	2	5	1	12	18	37	76
2025年03月	男性			1	4		1	5	4	15
	女性		1	1	1	1	8	17	33	62
	合計	0	1	2	5	1	9	22	37	77

年齢別月末人数推移

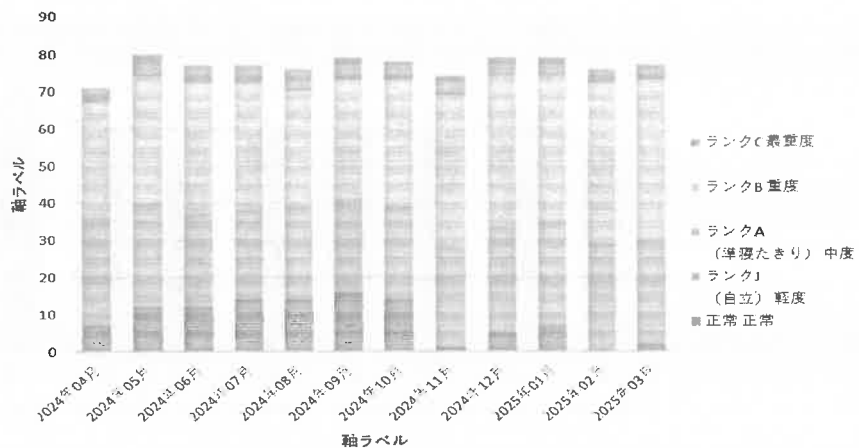


年齢別月末人数推移



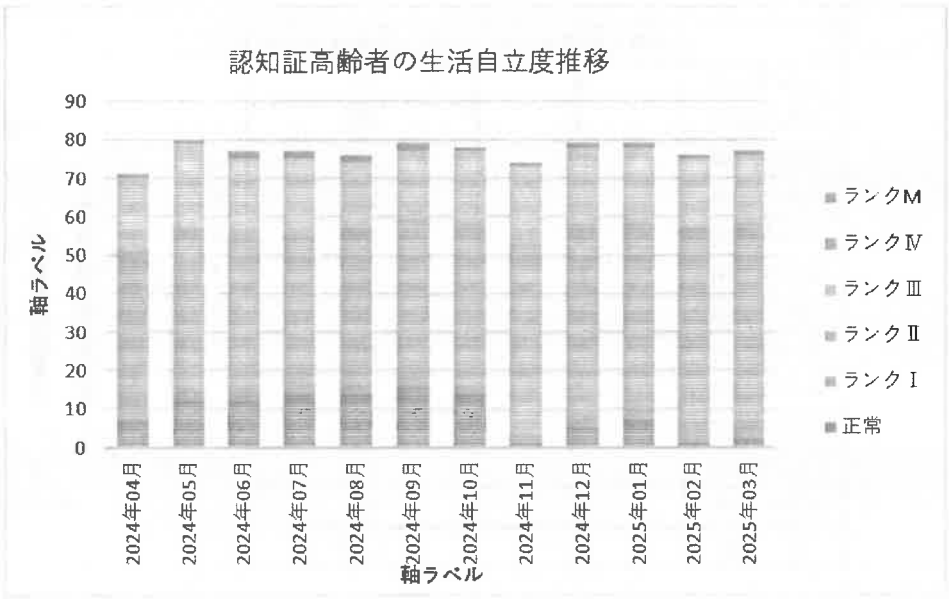
⑥ 【寝たきり度基準別人数】

	正常	ランクJ (自立)	ランクA (準寝たきり)	ランクB	ランクC	合計
	正常	軽度	中度	重度	最重度	
2024年04月	7	0	29	31	4	71
2024年05月	12	0	28	34	6	80
2024年06月	12	0	25	35	5	77
2024年07月	14	0	24	34	5	77
2024年08月	14	0	25	31	6	76
2024年09月	16	0	25	32	6	79
2024年10月	14	0	25	34	5	78
2024年11月	1	0	27	41	5	74
2024年12月	5	0	28	41	5	79
2025年01月	7	0	28	39	5	79
2025年02月	0	0	29	43	4	76
2025年03月	2	0	28	43	4	77



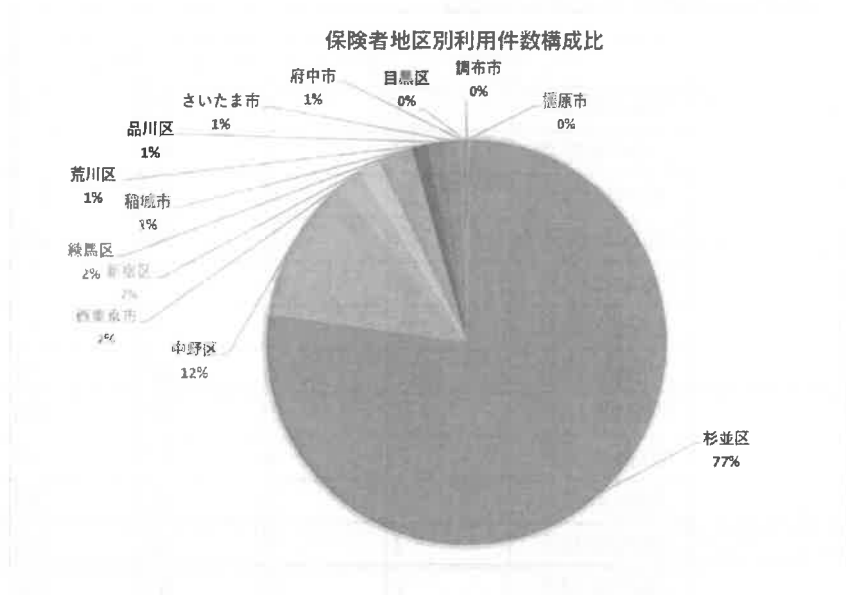
⑦ 【認知症高齢者の生活自立度】

	正常	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
2024年04月	7	4	40	19	1	0	71
2024年05月	12	3	42	22	1	0	80
2024年06月	12	3	39	21	2	0	77
2024年07月	14	3	38	20	2	0	77
2024年08月	14	2	41	17	2	0	76
2024年09月	16	2	41	18	2	0	79
2024年10月	14	2	42	19	1	0	78
2024年11月	1	2	50	20	1	0	74
2024年12月	5	3	50	20	1	0	79
2025年01月	7	3	48	20	1	0	79
2025年02月	1	3	53	18	1	0	76
2025年03月	2	3	53	18	1	0	77



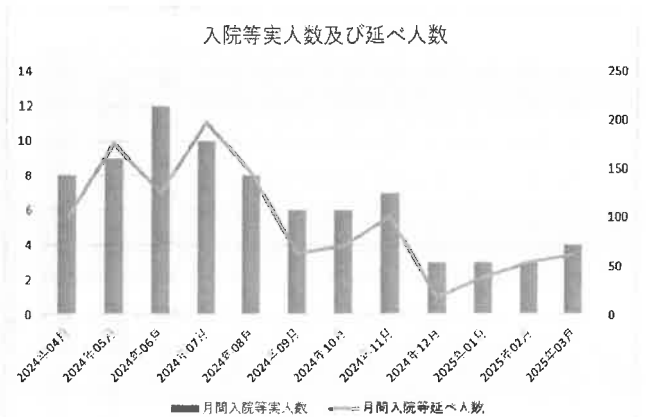
⑧ 【保険者別利用件数】

	杉並区	中野区	練馬区	荒川区	品川区	西東京市	新宿区	目黒区	府中市	稲城市	さいたま市	調布市	横原市	合計
2024年04月	58	8	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	71
2024年05月	61	9	1	1	1	1	1	0	0	2	1	1	1	80
2024年06月	60	9	1	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	77
2024年07月	60	10	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	77
2024年08月	60	9	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	76
2024年09月	62	9	1	1	1	2	1	0	0	1	1	0	0	79
2024年10月	61	9	1	1	1	2	1	0	0	1	1	0	0	78
2024年11月	58	8	1	1	1	2	1	0	0	1	1	0	0	74
2024年12月	60	9	1	1	1	2	2	0	1	1	1	0	0	79
2025年01月	59	9	1	1	1	2	2	0	1	1	1	0	0	78
2025年02月	56	9	2	1	1	2	2	0	1	1	1	0	0	76
2025年03月	57	9	1	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	77
合 計	712	107	13	12	12	19	16	1	4	13	11	1	1	922



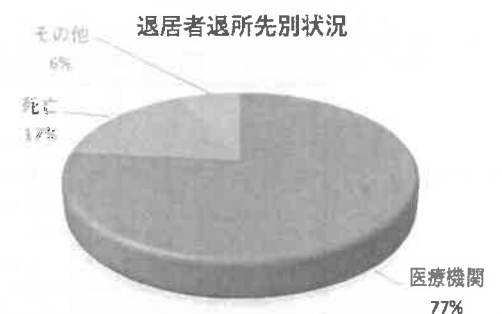
⑨ 【入院者数】

	月間入院等実人数	月間入院等延べ人数
2024年04月	8	99
2024年05月	9	176
2024年06月	12	125
2024年07月	10	198
2024年08月	8	146
2024年09月	6	63
2024年10月	6	70
2024年11月	7	101
2024年12月	3	17
2025年01月	3	38
2025年02月	3	53
2025年03月	4	61
合 計	79	1,147



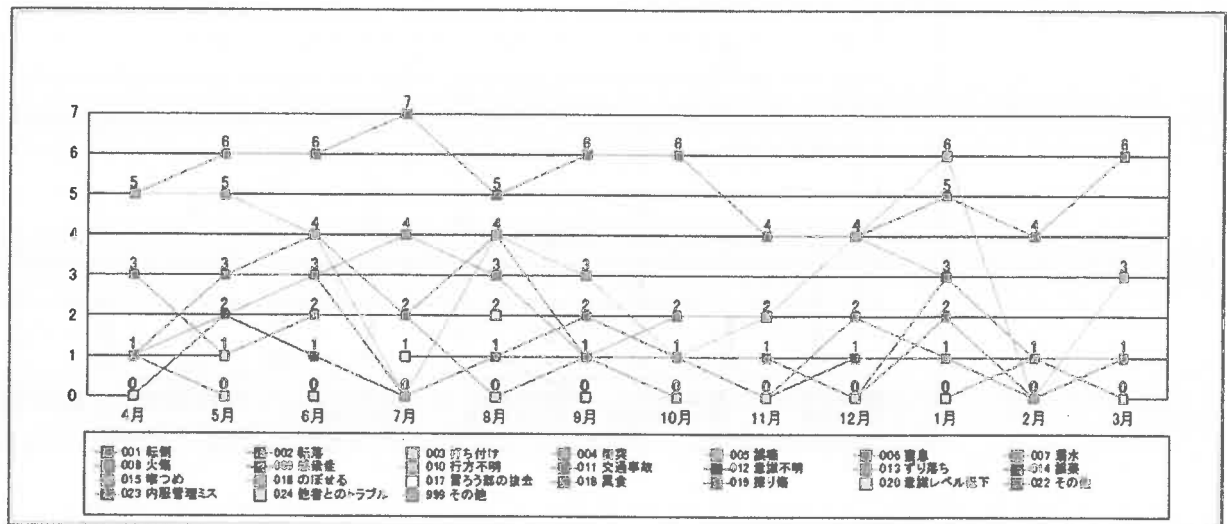
⑩ 【退居者状況】

	医療機関	死亡	その他	合計
2024年04月	0	1	0	1
2024年05月	2	1	0	3
2024年06月	1	1	0	2
2024年07月	4	0	0	4
2024年08月	3	1	0	4
2024年09月	2	0	0	2
2024年10月	5	0	0	5
2024年11月	3	0	0	3
2024年12月	1	1	0	2
2025年01月	0	0	1	1
2025年02月	1	0	1	2
2025年03月	1	0	0	1
合 計	23	5	2	30

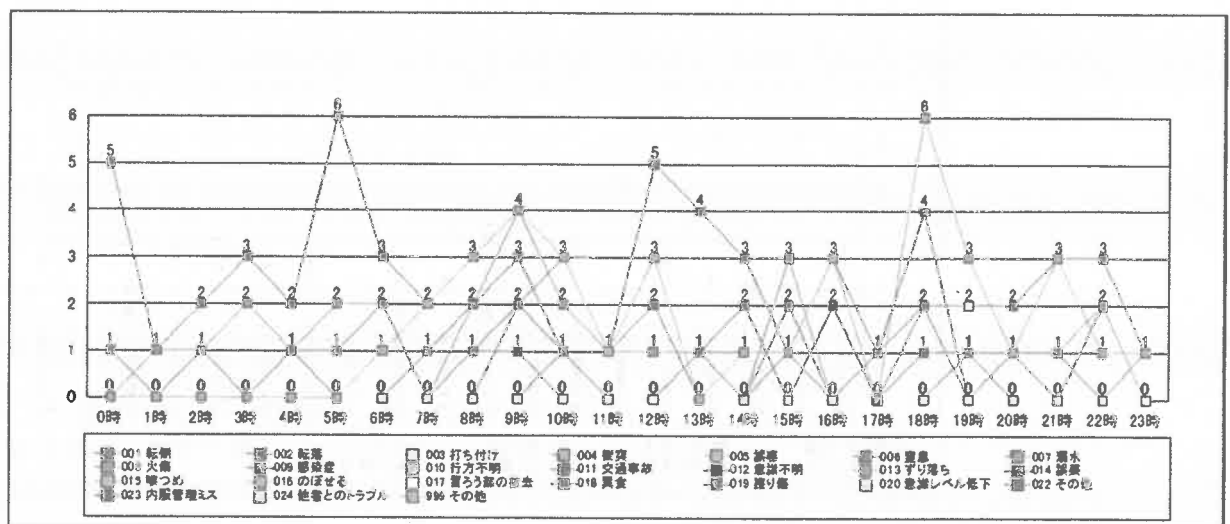


【事故報告について】

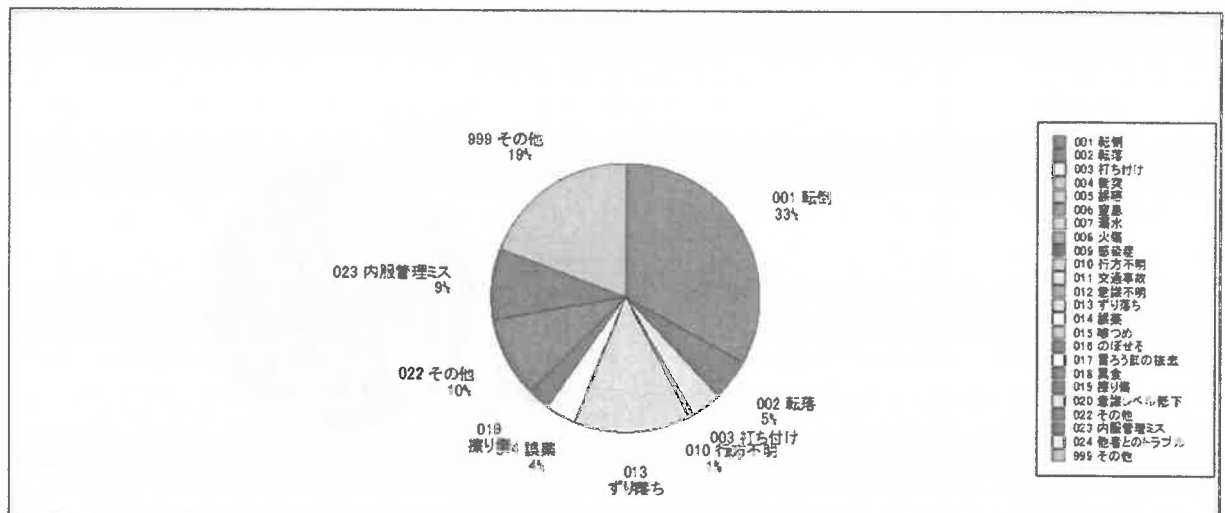
【事故発生業態別推移】



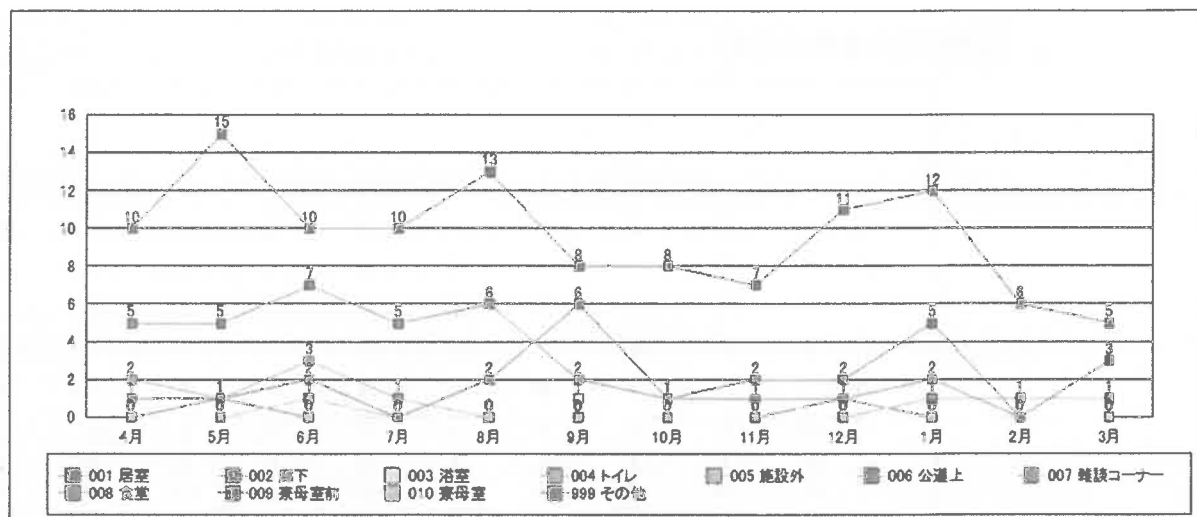
【事故発生業態時間別発生件数】



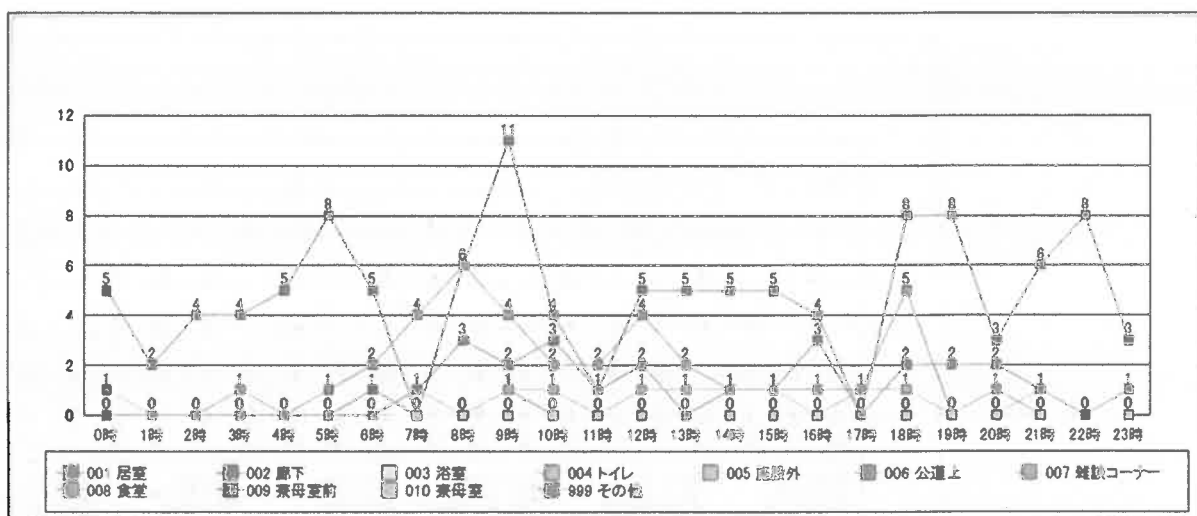
【事故発生業態別構成】



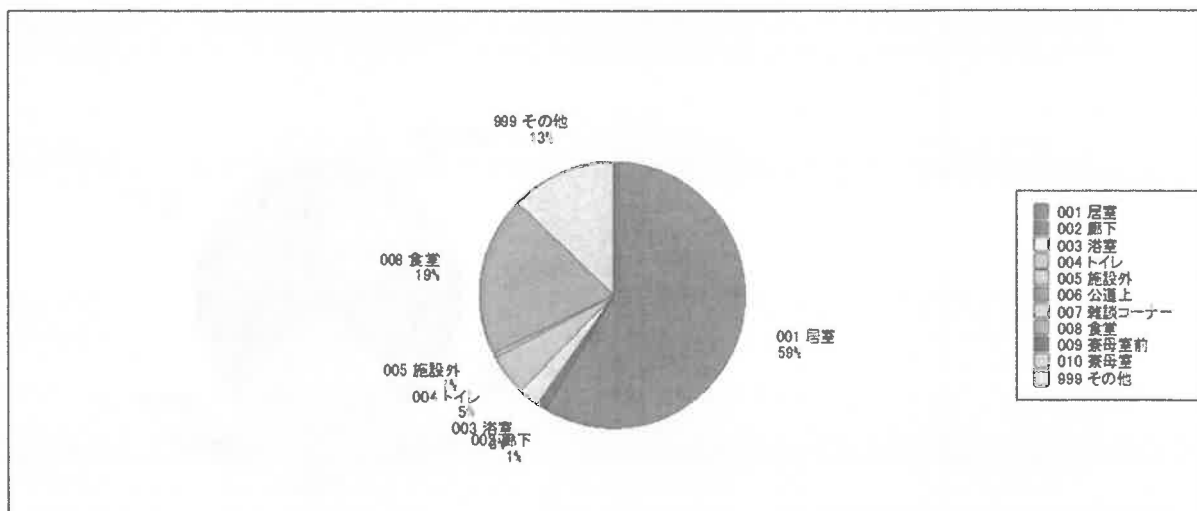
【事故発生場所件数】



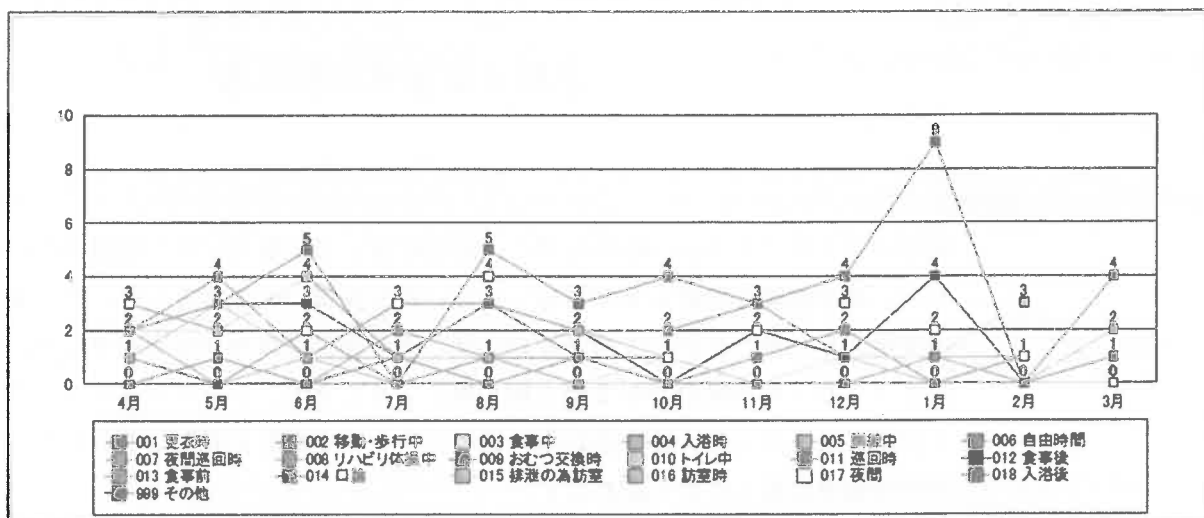
【事故発生場所時間帯別発生件数】



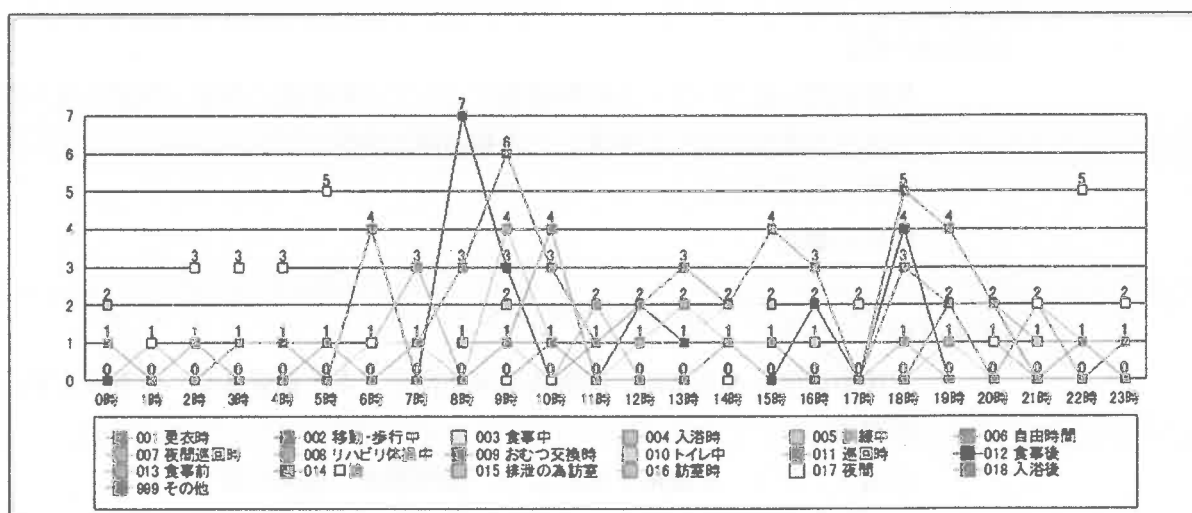
【事故発生場所別構成比】



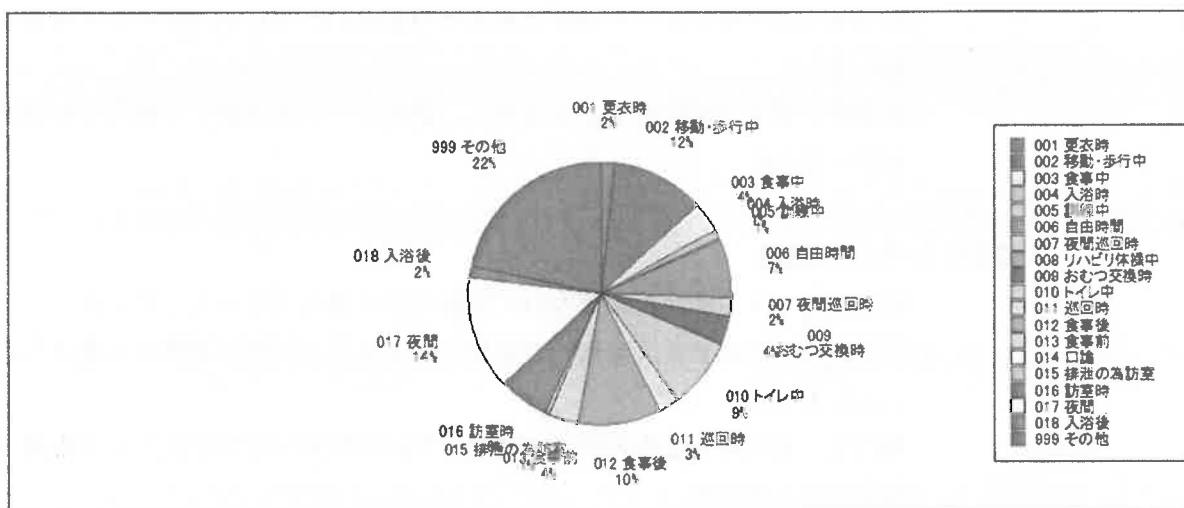
【事故発生場面別発生状況】



【事故発生場面時間別推移】



【事故発生場面別構成比】



短期入所生活介護 プライムガーデンズ高円寺

令和6年度事業報告書

【総括】

新型コロナウイルスが一昨年5月に、感染症法上の位置付けが5類感染症に変更となりましたが、市中感染に注意しなければいけない状況が続いておりました。その中で職員の感染者が発生いたしましたが、入居者でのクラスターの発生には至りませんでした。しかしながら3月にノロウイルス感染者が3階2階で発生したことで、ショートステイでの利用者が減少する状況になりました。感染者が落ち着いてからは定期的に利用していただいている利用者の利用も徐々に増えてきております。

特養入居者の減少に伴い、ショートステイの入居者の空室利用も積極的に推進し、ロングステイの確保に努めました。

【感染症対策】

- ・複数利用いただいている利用者様については利用前の体温・体調変化の確認
- ・マスクの着用の促しと手洗い・手指消毒の励行
- ・座席の配置の工夫
- ・換気の徹底

【営業活動について】

- ・近隣の居宅介護事務所、病院の地域連携室、老人保健施設への電話と郵送にて営業活動の実施。
- ・担当ケアマネとの連携を密に行い、信頼関係の構築を図りました。

【ケアの充実・リピーターの獲得・業務の見直しについて】

- ・接遇（挨拶・言葉づかい）などの見直しを実施
- ・入居時の持ち物チェック方法と退去時の忘れ物が無いかのチェック方法の見直しを行いました。
- ・送迎時の安全な運行ができるように、送迎ルートの見直しや車内での健康状態確認の実施を行いました。

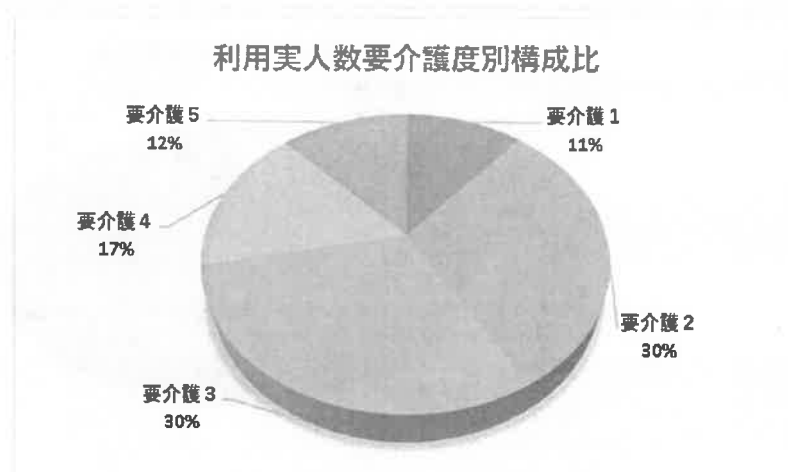
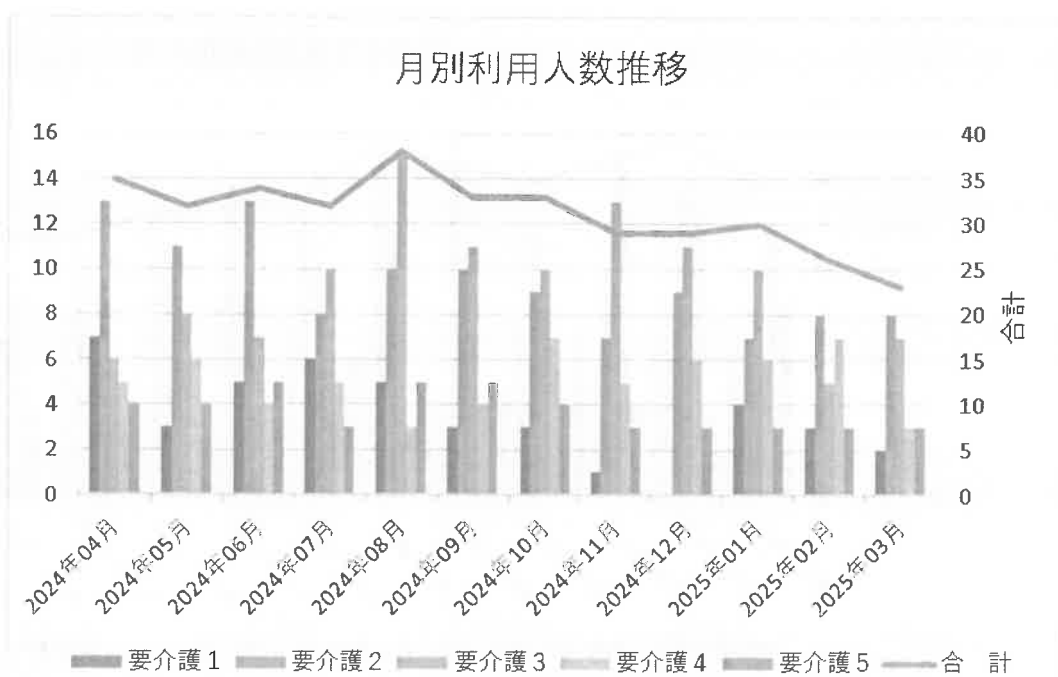
【柔軟な対応の実施】

- ・緊急ショートの受け入れについて可能な限り受入対応いたしました。
- ・ご家族の都合による入退去時の変更に対するできる限り希望をう受け入れるよう対応いたしました。
- ・利用者・家族等による入居日の変更、利用日数の短縮や延長にも出来得る限り柔軟に対応いたしました。

I. ショートステイ

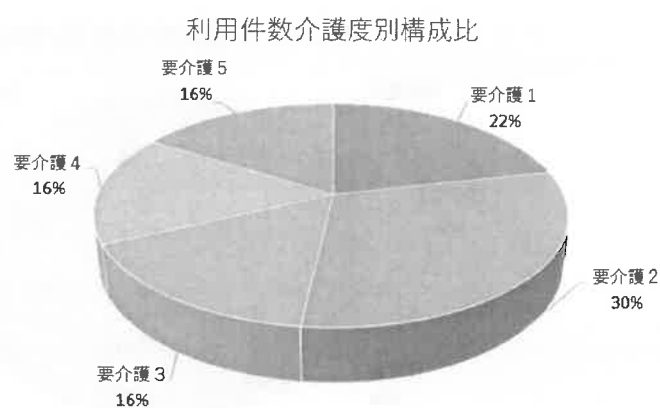
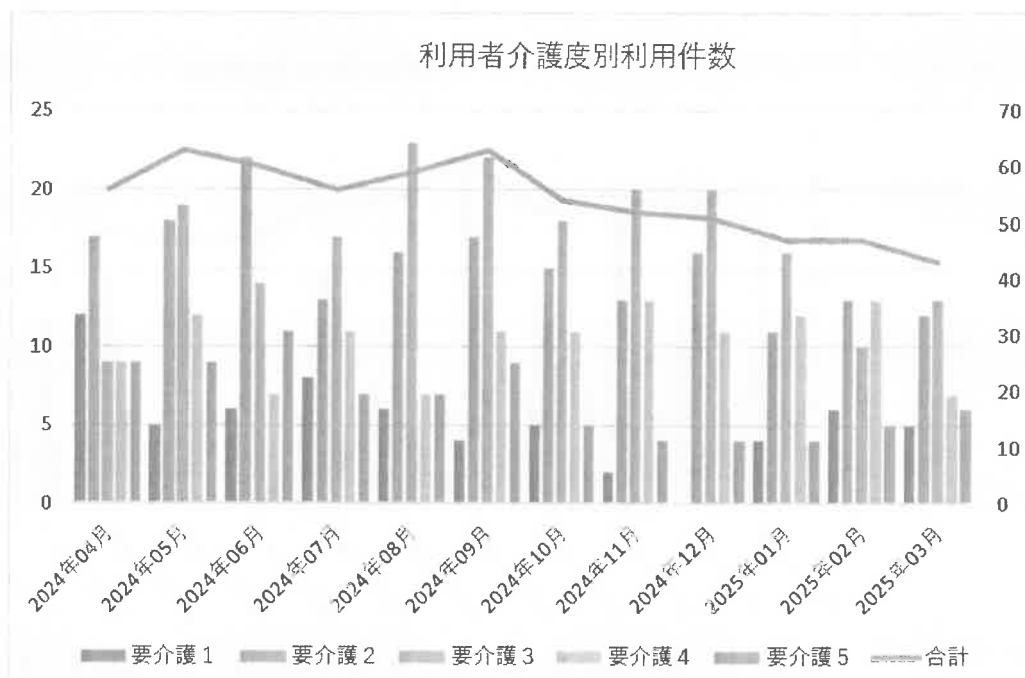
① 【利用実人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
2024年04月	7	13	6	5	4	35
2024年05月	3	11	8	6	4	32
2024年06月	5	13	7	4	5	34
2024年07月	6	8	10	5	3	32
2024年08月	5	10	15	3	5	38
2024年09月	3	10	11	4	5	33
2024年10月	3	9	10	7	4	33
2024年11月	1	7	13	5	3	29
2024年12月	0	9	11	6	3	29
2025年01月	4	7	10	6	3	30
2025年02月	3	8	5	7	3	26
2025年03月	2	8	7	3	3	23
合 計	42	113	113	61	45	374



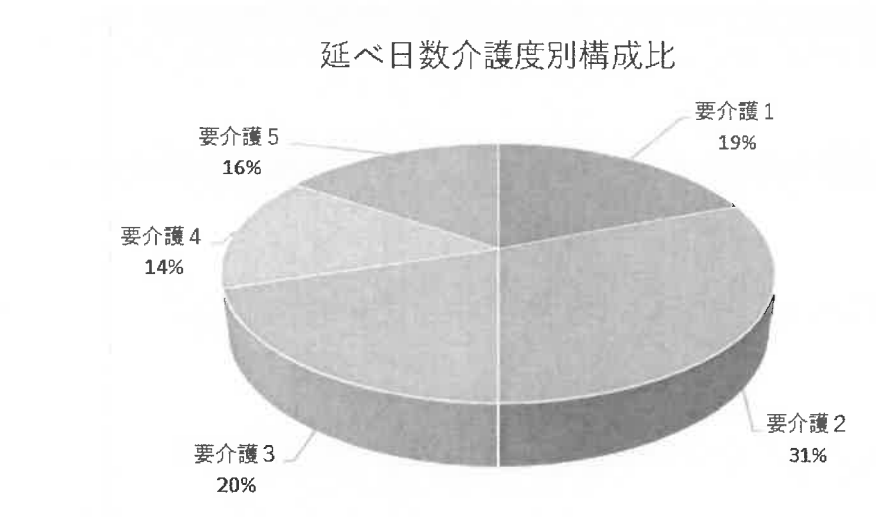
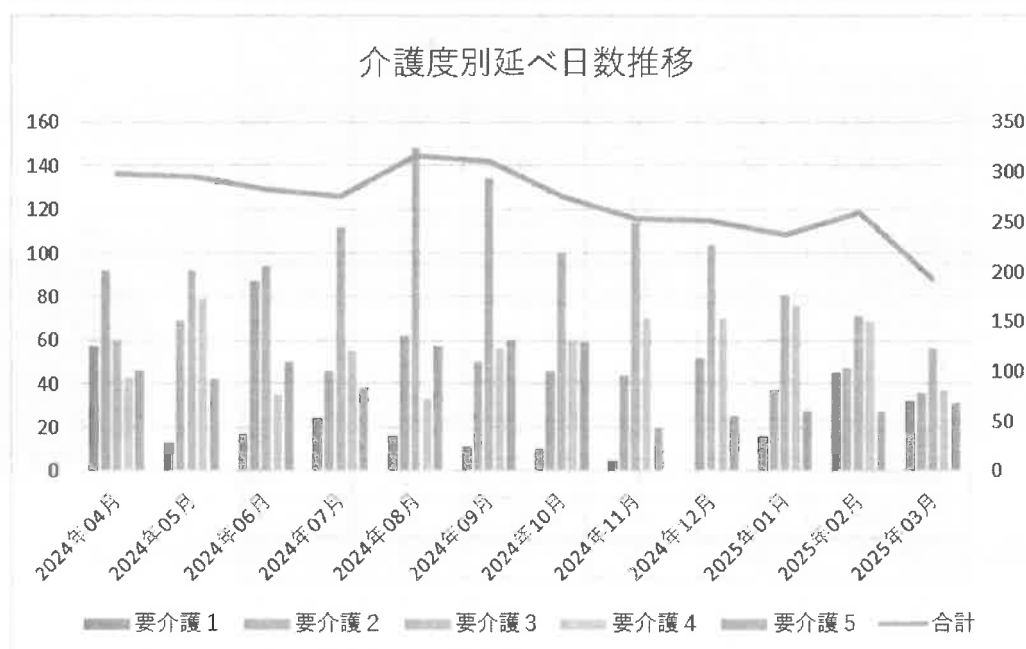
② 【例用件数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2024年04月	12	17	9	9	9	56
2024年05月	5	18	19	12	9	63
2024年06月	6	22	14	7	11	60
2024年07月	8	13	17	11	7	56
2024年08月	6	16	23	7	7	59
2024年09月	4	17	22	11	9	63
2024年10月	5	15	18	11	5	54
2024年11月	2	13	20	13	4	52
2024年12月	0	16	20	11	4	51
2025年01月	4	11	16	12	4	47
2025年02月	6	13	10	13	5	47
2025年03月	5	12	13	7	6	43
合 計	63	183	201	124	80	651



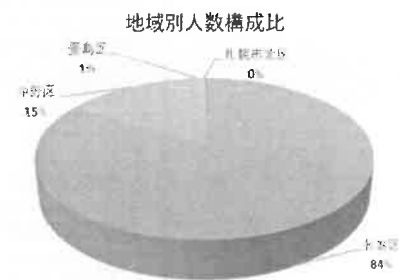
③ 【延べ日数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2024年04月	57	92	60	43	46	298
2024年05月	13	69	92	79	42	295
2024年06月	17	87	94	35	50	283
2024年07月	24	46	112	55	38	275
2024年08月	16	62	148	33	57	316
2024年09月	11	50	134	56	60	311
2024年10月	10	46	100	60	59	275
2024年11月	5	44	114	70	20	253
2024年12月	0	52	104	70	25	251
2025年01月	16	37	81	76	27	237
2025年02月	45	47	71	69	27	259
2025年03月	32	36	56	37	31	192
合 計	246	668	1166	683	482	3,245



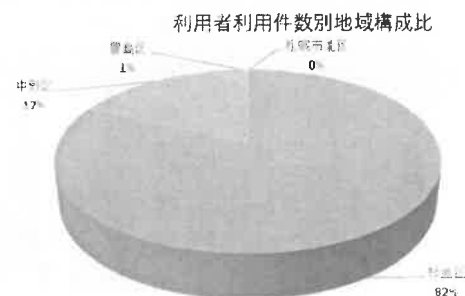
④ 【保険者地域別実人数】

	杉並区	中野区	札幌市北区	豊島区	合計
2024年04月	28	7	0	0	35
2024年05月	28	4	0	0	32
2024年06月	30	4	0	0	34
2024年07月	25	7	0	0	32
2024年08月	35	3	0	0	38
2024年09月	27	5	1	0	33
2024年10月	28	5	0	0	33
2024年11月	24	5	0	0	29
2024年12月	25	4	0	0	29
2025年01月	23	6	0	1	29
2025年02月	21	4	0	1	25
2025年03月	19	3	0	1	22
合 計	313	57	1	3	371



⑤ 【保険者地域別利用件数】

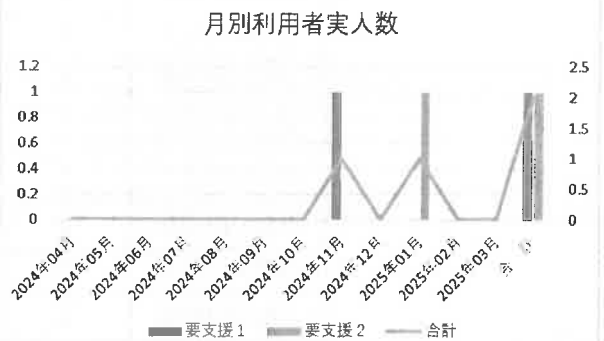
	杉並区	中野区	札幌市北区	豊島区	合計
2024年04月	46	10	0	0	56
2024年05月	53	10	0	0	63
2024年06月	52	8	0	0	60
2024年07月	45	11	0	0	56
2024年08月	54	5	0	0	59
2024年09月	52	10	1	0	63
2024年10月	44	10	0	0	54
2024年11月	41	11	0	0	52
2024年12月	42	9	0	0	51
2025年01月	36	10	0	1	46
2025年02月	21	4	0	1	25
2025年03月	31	9	0	3	40
合 計	517	107	1	5	625



II. 介護予防短期入所サービス

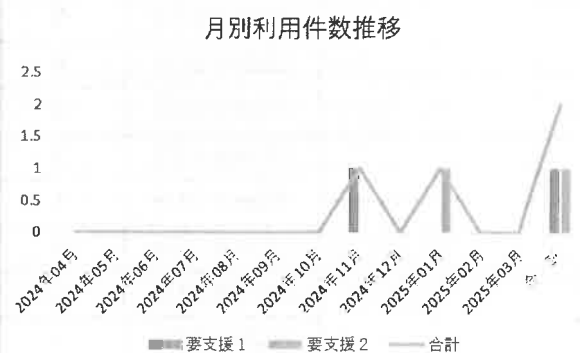
① 【利用実日人数】

	要支援 1	要支援 2	合計
2024年04月	0	0	0
2024年05月	0	0	0
2024年06月	0	0	0
2024年07月	0	0	0
2024年08月	0	0	0
2024年09月	0	0	0
2024年10月	0	0	0
2024年11月	1	0	1
2024年12月	0	0	0
2025年01月	0	1	1
2025年02月	0	0	0
2025年03月	0	0	0
合 計	1	1	2



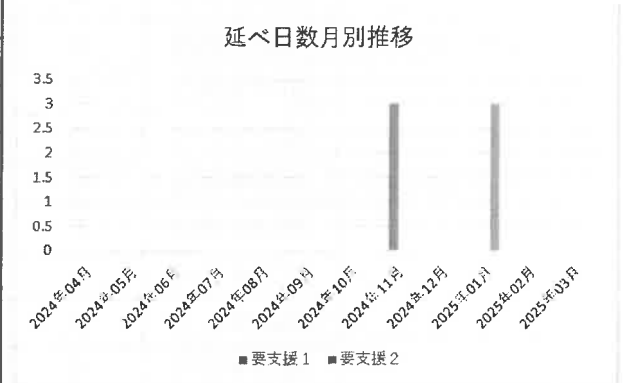
② 【利用件数】

	要支援 1	要支援 2	合計
2024年04月	0	0	0
2024年05月	0	0	0
2024年06月	0	0	0
2024年07月	0	0	0
2024年08月	0	0	0
2024年09月	0	0	0
2024年10月	0	0	0
2024年11月	1	0	1
2024年12月	0	0	0
2025年01月	0	1	1
2025年02月	0	0	0
2025年03月			0
合 計	1	1	2



③ 【延べ日数】

	要支援 1	要支援 2	合計
2024年04月	0	0	0
2024年05月	0	0	0
2024年06月	0	0	0
2024年07月	0	0	0
2024年08月	0	0	0
2024年09月	0	0	0
2024年10月	0	0	0
2024年11月	3	0	3
2024年12月	0	0	0
2025年01月	0	3	3
2025年02月	0	0	0
2025年03月	0	0	0
合 計	3	3	6



④ 【保険者別実人数】

	杉並区	合計
2024年04月	0	0
2024年05月	0	0
2024年06月	0	0
2024年07月	0	0
2024年08月	0	0
2024年09月	0	0
2024年10月	0	0
2024年11月	1	1
2024年12月	0	0
2025年01月	1	1
2025年02月	0	0
2025年03月	0	0
合 計	2	2

⑤ 【利用者件数】

	杉並区	合計
2024年04月	0	0
2024年05月	0	0
2024年06月	0	0
2024年07月	0	0
2024年08月	0	0
2024年09月	0	0
2024年10月	0	0
2024年11月	1	1
2024年12月	0	0
2025年01月	1	1
2025年02月	0	0
2025年03月	0	0
合 計	2	2

事業所内保育所 高円寺わくわく保育園

令和6年度事業報告書

【総括】

令和3年7月から開園し、当初は従業員枠のみで開園予定でしたが、児童育成協会及び杉並区と相談の上、地域枠も加えることとして園児を受け入れてきました。従業員枠としての園児も増えない為、共同利用契約として子育てコンシェルジュを利用した企業からの園児の採用を図り、2月から1名入園していただいております。従業員のお子様を9月に初めて預かることになり、更に従業員のお子様を預かるようにアピールしていきます。

認可園の入園が決まったことによる退園が2名あり、対応策を検討する必要があります。

新型コロナが一昨年5月に5類相当に引き下げられましたが、手洗い、換気等感染対策を実施しながら他の感染症へ感染を注意しながら運営していきます。

特養入居者との世代間交流や地域との交流については、感染症対策に注意しなければいけない状況でしたので実施できませんでした。

【保育の質の向上と保育環境の整備】

- ・それぞれの子どもに適した保育の実施
 - ・0歳児、1歳児、2歳児とそれぞれの児童に、規則正しい生活リズムを身に付けられるプログラムの提供、3歳児には遊びを通して学びの時間を提供しました。
 - ・午前中は天候が良ければ屋外活動（近隣公園へのお出かけ）し、天候が悪い場合は屋内6階地域交流スペースやベランダへ行きできるだけ体を動かせる方法をとりました。
- 又、午後からは机上遊びなどを行い、メリハリのある生活ができるようにしました。

【世代間交流と異年齢保育の実施】

感染症感染の可能性が高く、入居者との交流を持つ機会がありませんでしたが、近くのお花見に入居者をお連れしたときに、同時に園児も連れていき、楽しんでもらいました。

【保育職員人材確保について】

介護職員のお子さんを開園以来初めて9月からお預かりでき、更に従業員のお子さんを預かるようアピールしています。

福利厚生充実した特徴の魅力をアピールしながら、人材の確保に努めており、常勤の職員採用に向け採用活動継続していきます。

【研修の実施について】

- ・出来る限り、社内及び社外での研修に参加するように努め、最低1回/月の研修参加をすることができました。1月には消防署よりきていただき、心肺蘇生の講習会を実施いただきました。

【利用園児数】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠
0歳児		1		1		1		1		1	1	
1歳児	1		1		1		1		1		1	
2歳児	1		1		1		1		1			1
3歳児												1
小 計	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	2
合 計	3		3		3		3		3		4	
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠
0歳児	1		1		1		1	3	2	2	1	2
1歳児	1		1		1		1		1	1	1	1
2歳児		1										
3歳児		1		1		1		1		1		1
小 計	2	2	2	1	2	1	2	4	3	4	2	4
合 計	4		3		3		6		7		6	

【研修受講記録】

	研修内容
5月	事故防止①（内部）
8月	乳幼児保育Ⅰ
	虐待防止①（内部）
	乳幼児の健康管理Ⅰ
	こんなに深い絵本のメッセージ
9月	発達が気になる子どもへの対応
	キャリアアップ研修 乳児保育
	保育安全研修
10月	衛生管理
12月	こんなに深い絵本のメッセージ
	危機管理～災害時への準備と心構え
	事故防止と事故対応
1月	児童虐待
	虐待防止②（内部）
2月	救命講習

【年間行事実績】

	行 事
4月	ミニ遠足
5月	野菜の栽培
	子どもの日の会
6月	内科健康診断
	歯科健診
7月	七夕の会
	水遊び
8月	水遊び
	お店屋さんごっこ
9月	敬老の日
10月	ハロウィン
11月	ミニ遠足
12月	クリスマス会
	内科健康診断
	歯科健診
1月	お正月遊び
2月	節分の会
3月	ひな祭りの会
	お別れの遠足
	お別れ会

【お誕生会】

5月、9月、1月、2月に実施

(2) 保育目標

- 心も体も健康な子ども
元気にあいさつができ、また生活習慣を身につけたり、活動的な遊びを通して心身の健康と自立をめざす。
- 豊かに感じて表現できる子ども
自分のありのままの姿を認めてもらうことで安心し、見たことや考えを自由にイメージでき素直に伝えたり行動に移せる。
- よく見て、よく聞いて、よく考える子ども
いつも自分の思いを聞いてもらう経験から、相手の話にも耳を傾け、好奇心や探求心をもって積極的に物事に関わる。
- 優しく感謝のできる子ども
自分を認め、他者を認められる肯定感や共感できる力を育み、全てのものに対する感謝や大切に扱うことを知る。

(3) 保育方針

- 子ども達が日々の生活を通して安心して楽しく自分らしく過ごし、見通しを持って生活することで自立した活動ができ、また保護者にとっても安心して任せられる場所にいらしてきます。
- 家庭的な雰囲気の中で、保育士に対して安心感と信頼感が持てるように一人ひとりを大切に優しく関わっていきます。
- 相手の話に耳を傾け、自分の言葉で挨拶や気持ちを伝えられるよう育みます。
- 子ども、保護者、保育者にとっても幸せであるための居場所となり、一人ひとりが輝ける環境作りに励みます。

(4) 保育をするうえで大切にしていること

「一人ひとりを丁寧に育む保育」

基本的信頼関係の築きが大切な1歳児期は、「愛着関係を基に丁寧に一人ずつ関わる保育（自分を受容してもらう）」、1歳児期は、「自我（自分からやりたい）を大切にする保育（自己主張を受け入れてもらう）」、2歳児期は、「みんな（少しずつ友だちどうし）でやる（集団の）楽しさやルールに気づかせる保育」を展開していく。社会性の芽生えと共に自我のコントロールと基本的生活習慣の自立を目指す。

「一人ひとりが大切にされる保育」

子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた活動を見守り、重視しながら保育をしていく。それぞれの子どもの違いを認め、自分の考えを持ち、それを他人に伝えていくことを通して「生きる力」を育めるよう援助していく。

(5) 保育時間

(平 日)	7時30分 ～ 19時30分
(土曜日)	7時30分 ～ 18時30分
保育標準時間	7時30分 ～ 18時30分
保育短時間	8時00分 ～ 16時00分

(6) 特別保育事業

○ 延長保育

保育時間は、午前7時30分～午後6時30分までの11時間とするが、保護者の就労時間や家庭状況等を考慮し、時間外保育の必要があれば、保育時間を延長する

{	保育標準時間	18時30分 ～ 19時30分
	保育短時間	7時30分 ～ 8時00分
		16時00分 ～ 18時30分

○ 障害児保育

配慮が必要な子どもを受け入れ、発達の遅れや、それぞれの障害を理解し、保護者や子ども発達支援センター、児童相談所等の療育機関や専門機関との連携をとりながら、保育・支援していった。また、障害児ではないが、身体的、体力的、精神的、知的等に特別な配慮を要する子どもに対しても、家庭や関係機関と連携を図りながら、大切に見守りをしていった。

(7) 要支援園児への対応

- ・ 特別な配慮が必要な子どもの受け入れについての配慮をし、積極的に受け入れる。
- ・ 気になる園児に対し、関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を図った。
- ・ 子ども中央相談センターの方とも情報共有しながら要保護園児の対応を行った。
- ・ 加配の必要な園児や気になる園児への保護者との定期的な面談を行い、支援の方法を共有を行う。

(8) 地域交流活動

実施日	子育て支援活動
4月	園庭解放
5月	園庭解放 ・ 玩具に触れよう ・ 子育てカフェ
6月	玩具であそぼう ・ 子育てカフェ ・ 七夕飾りを作ろう
7月	みずあそび ・ フィンガーペインティング ・ 子育てカフェ
8月	みずあそび ・ フィンガーペインティング
9月	園庭解放 ・ 感触あそび
10月	園庭開放 ・ 子育てカフェ
11月	玩具であそぼう ・ リズム運動
12月	ふれあいあそび ・ 子育てカフェ
1月	絵本のふれよう ・ 絵本とわらべうた
2月	玩具であそぼう ・ 子育てカフェ
3月	絵本とわらべうた ・ 子育てカフェ

○ ボランティア・保育実習生の学生を受入れ実施した。

3. 年齢別保育目標

0歳児	○安全で清潔な環境の中、心地よく過ごし身の回りの物、人への興味・関心を育てる。 ○特定の保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆を深め信頼関係を築く。
1歳児	○自分でしようとする気持ちの芽生えを受け止められ、保育者との信頼関係の中で安心して過ごす。 ○五感を使って探索活動を通し、周囲の物・人への視野を広げる。
2歳児	○基本的生活習慣が身に付き、自分でできることを喜ぶ。 ○日常生活に必要な言葉が分かり、模倣遊びや戸外遊びを通して、保育者やとだちとのやりとりや表現する楽しさを味わう。
3歳児	○基本的な生活習慣が身に付き自分でできることを喜ぶ。 ○様々なことに興味を持ち、楽しんで参加する。 ○自分の気持ちを様々な方法で表現し、友だちとのつながりを広げる。
4歳児	○自立に向けて葛藤や経験をしながら、自分の感じたことや想いを表現する。 ○友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育てたり、みんなで決まりを考え、継続的に活動できることの楽しさを感じる。
5歳児	○自分でできることの範囲を広げ、様々なことに好奇心や興味、関心を持ち、工夫しながら、意欲的に活動する。 ○友だちどうしで認めあい、自分の役割を果たそうとしたり目標に向かって取り組みやり遂げることの達成感や喜びを味わう。

- ① 子ども達にとって保育園が「第2のおうち」となるよう一人ひとり丁寧に、その成長を見守る保育を進めた。また、コーナー保育により自らしたい遊びが直ぐでき、遊び込める空間があることで主体性や自主性、集中力を育んでいった。落ち着いて遊べる室内環境を心掛け、食事や午睡は決まったところで行い、家庭的な温かい雰囲気づくりを心掛ける保育を行った。
- ② 保育士が保育園内の”お母さん”になれるよう、乳児クラスは育児担当保育を実施し、子ども達と密な信頼関係を築くことで安心して過ごしていった。
また、そのことで保育士も子どもの心身の小さい変化に気付いたり、保護者も安心して何でも相談できる関係を構築していった。
- ③ 一人ひとりの成長や生活リズムを大切にできるよう、家庭との連携をとった。特に乳幼児期は、その子の一日の生活リズムに無理がないようタイムスケジュールを作成し、食事を摂ったり午睡したり毎日規則正しい生活リズムで過ごした。幼児クラスになってからも、日々同じリズムで見通しを持ちながら保護者と連絡を取り合い、夜遅くに寝ていたり、また体調がおもわしくない時は、保育内容を変えたり休息をとったりと、その子に応じた活動をした。
- ④ 幼児クラスでは、乳児の時に培った大人との信頼関係を基に、友だちの中で自分の存在をうまく発揮できるよう関わっている。また、体育指導や英会話を取り入れ、無理なく興味を持って楽しく参加できるように進めた。
- ⑤ 幼児クラスは、様々な事物に対して不思議に思ったり関心を持てるような働きかけを意識した関わりをし季節の事や動植物等、興味をもったことを五感を使って実際に感じたり、絵本や図鑑を使って調べていくという活動を進めた。
- ⑥ 年齢に応じた内容の月刊絵本を取り入れている。0・1歳児クラスは、お話絵本、2～5歳児はおはなし絵本を選び、ひと月楽しんで持ち帰った。
- ⑦ 3～5歳児は、ピアノの音に合わせてながら音楽やリズムで楽しく遊びながらリズム運動を実施した。集中力を高める即時反応の活動を行うことで、一定の速さで拍子を保つ事や頭で考え体を使って表現することが出来るよう進めた。身体的・感覚的・知的的にもあらゆる教育を十分に吸収し大きく育つための基礎作りとなる事を目的とする。

- 体を動かすことが好きになる
- 姿勢を保持する力が育つ
- しなやかな体をつくる
- 健康な体をつくっていく

- ⑧ 同じ年齢の中で育まれる「人と関わる力」もありますが、色々な年齢と多く関わることで、より育まれます。また、色々な人と関わるということは、色々な人がいるということを知りきっかけになります。一人ひとりの想いを認め受け入れることが「人と関わる力」になり、また相手の立場になる、友だちを好きになる「心」の育ちを助長できる取組みとして、異年齢保育を進めていく。

4. 給 食

給食は 株式会社魚国総本社 に業務委託し、提供している。

- 給食は、離乳食(初期食・中期食・後期食・完了食)・乳児食・幼児食・アレルギー食に分類し、子どもに応じた調理によって提供をした。
- 0歳児は その子に合った離乳食を食べる。
一対一で食事をしながら食事を摂る中で、咀嚼や嚥下状態、また歯の本数や便の様子を見ながら、保護者と相談して初期～中期～後期～完了期～乳児食と進めていった。
- 乳児は、生活リズムを整え担当保育士と少人数で食事をする。幼児はランチルームにて、食べるが、食べ物への興味を持たせること、職員や子ども同士のかかわりあいを通じて、自ら食べようという意志を育て、生きる力を育もうという考え方にて「セミ・バイキング」形式を導入した。食事を摂る時間は子ども達自身が決め、子どもの希望する量の給食をよそって提供することで、子どもたち一人ひとりが積極的に食事に向き合うと同時に、自身の体の調子を考えるようになり、結果として残食の量が減った。
- 献立は、委託による栄養士により作成し、自園で調理したものを温かく食べると美味しい物は温かい状態で、冷たく食べると美味しいものは冷たい状態で提供する。
- 給食は、食育という保育の重要な一部である。給食を通し、心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食べ物を提供すると共に、望ましい生活習慣をしつけ、栄養や衛生の知識を与える等、重要な役割を果たすと考える。
- 乳児クラスは朝のおやつ、全園児に給食と午睡のおやつ(手作り)を提供する。
- 日々の給食、おやつで話しかけを行い、見た目も美味しさを味わったり食材の名前やその栄養について話をする他、幼児クラスを中心に指導計画に基づいた食育活動を行う。
- 年齢に関わらず、その子の状態に合った食事を食べる。

【食育活動】

郷土料理や世界の料理を取り入れた献立を提供し、保護者へもレシピの提供をした。
また、旬の食材を提供するとともに、子ども達にも季節の野菜を知り、その特徴を分かりやすく伝えたり、食べることで体にどのような効果があるのか知らせたりし、積極的に食に興味を持ち食べる意欲に繋がるようにする。

5. 避難訓練および消火訓練

- 消防法に則り防火管理者の指揮の下、乳幼児の生命を守り、安全対策を行う。
- 各種災害時に非難訓練および消火訓練を行うことにより、各々の状態で臨機応変に判断し、避難誘導等の適切な対応が出来るようにする。

(避難訓練等実施状況)

実施月	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4	地震	無	無	
5	火災	無	無	
6	火災 (避難・通報・消火)	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
7	不審者対応	無	無	
8	地震	無	無	
9	台風・地震	無	無	大阪880万人訓練
10	火災 (午睡時)	無	無	
11	地震 (引き渡し訓練)	無	無	実際に保護者の方に引き渡す
12	不審者対応	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
1	地震・火災	無	無	
2	火災	無	無	
3	地震・火災	無	無	南海トラフを想定しての訓練

6. 職員研修

- 職員の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を図り、自己研鑽に努めれるよう園内研修および外部研修を招いたり、ズームにて積極的に研修を実施した。
保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。
- キャリアアップのための各種研修会にズーム積極的に参加をした。
- 保育者の専門知識・技術を習得したり、相互理解を深めることを目的として姉妹園とともに公開保育を一年間を通して実施した。

4月5日(金)	乳児保育(食事の介助・乳児のリズム運動・わらべうた 毎日読み・1対1の関わり 等)
5月22日(水)	第3ブロック研究部 研究保育(近隣幼稚園での公開保 育)
5月24日(金)	みんなが楽しい保育って?
6月1日～ 8月10日 (オンライン研 修)	乳児の生活(食事について)
	乳児の生活(排泄と睡眠について)
	幼児のあそびについて①
	幼児のあそびについて②
	幼児のあそび実践したその先の姿
全7回	○子どもの育ちを大切につなげたい ～応答・手助け・対話のある丁寧な暮らしと豊かなあそび ～ ○自己表現する子どもたち ○「環境を使った保育」って何? ～幼児編～ ○「環境を使った保育」って何? ～乳児編～ 等
8月3日(土)	職員合同研究発表会(ゆめの樹保育園・大正ゆめの樹保育 園) 『保育の中の月間絵本』
3月2日(日)	受け入れ＝環境と関わりをデザインする

7. 年間行事報告

4月	入園式 進級式
5月	こどもの日のつどい 園外保育
6月	保育参観 保育参加 プール開き 歯科検診 内科検診
7月	たなばたの集い プール参観 特別保育(5歳児のみ)
8月	なつまつり
9月	おやこであそぼうかい(0～2歳児)
10月	運動会(3～5歳児)
11月	親子遠足
12月	音楽会 おもちつき クリスマス会
1月	たこあげ会
2月	節分豆まき会 生活発表会
3月	ひなまつり会 おわかれ会 お別れ遠足(5歳児のみ) 卒園式
毎月	○避難訓練 ○身体測定 ○食育活動 ○体育教室 ○英語教室 ○リズム運動 ○異年齢交流

令和6年度 社会福祉法人 三養福祉会 幼保連携型認定こども園 大正ゆめの樹保育園 事業報告書

【総括】

質の高い保育を展開するため、絶えず、一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の向上を図ることに重点を置き、職員研修に取り組んだ。

研修を行うことで課題や目標を共有する事ができたと思われる。

年度の初めに掲げた「保育理念、保育目標を強く意識しより良い保育提供を行う」という目標では全員で、全体の計画・年間カリキュラムの見直しを行い園の課題に気付く事ができた。

正規職員の年度途中の異動がなかったことで、職員の中での不安感は少ない状態で、安定して過ごせていたように感じる。とはいえ、人員不足は起こっていたため、短時間派遣(スキマバイト)を利用することで、安全な保育環境を整えるようにした。

研修等を積極的に実施したが、保育現場での実践には繋がる事案が少なかったことも否めない。保育現場の状態、保育能力に適した内容や進め方の工夫が必要である。

保幼小での交流も定期的の実施することができ、当園園児と地域の園児での交流ができた。また、悩みを抱えているご家庭もあることから、改めて保育園の役割や存在の意味を感じる。卒園してからも相談できる、話を聞いてもらえる場所として、思い出してもらえるようまた地域と結びつきを強めていく努力をしていきたい。

1. 保育の概要

(1)所在地

大阪市大正区三軒家西1-3-21

(2)入園児数

利用定員 126 名 入園率

〔令和5年 4月 84%
令和6年 3月 84%〕

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月	6	15	18	19	24	25	107
5月	5	15	18	19	24	25	106
6月	5	15	18	19	24	25	106
7月	5	15	18	20	24	25	107
8月	5	15	18	20	24	24	106
9月	6	15	18	20	24	24	107
10月	6	15	18	20	24	24	107
11月	6	15	18	20	24	24	107
12月	6	15	18	20	23	24	106
1月	6	15	18	21	23	24	107
2月	6	15	18	21	23	24	107
3月	6	15	18	21	23	23	106

(3)職員数

職種	園長	主幹保育教諭	正規保育士	非正規保育士	子育て支援員	保育補助	事務員	看護師	合計
4月人数	1	1	14	3	9	3	1	0	32
3月人数	1	1	14	4	5	3	1	0	29

(1)保育理念

一人ひとりの個性を大切に见守り、健康で意欲のある子どもに育てます
どの子も きらきら のびのびと「明るく素直で元気な子」

(2)保育目標

- 心も体も健康な子ども
元気にあいさつができ、また生活習慣を身につけたり、活動的な遊びを通して心身の健康と自立をめざす。
- 豊かに感じて表現できる子ども
自分のありのままの姿を認めてもらうことで安心し、見たことや考えを自由にイメージでき素直に伝えたり行動に移せる。
- よく見て、よく聞いて、よく考える子ども
いつも自分の思いを聞いてもらう経験から、相手の話にも耳を傾け、好奇心や探求心をもって積極的に物事に関わる。
- 優しく感謝のできる子ども
自分を認め、他者を認められる肯定感や共感できる力を育み、全てのものに対する感謝や大切に扱うことを知る。

(3)保育方針

- 子ども達が日々の生活を通して安心して楽しく自分らしく過ごし、見通しを持って生活することで自立した活動ができ、また保護者にとっても安心して任せられる場所になります。
- 家庭的な雰囲気の中で、保育士に対して安心感と信頼感が持てるように一人ひとりを大切に優しく関わっていきます。
- 相手の話に耳を傾け、自分の言葉で挨拶や気持ちを伝えられるよう育みます。
- 子ども、保護者、保育者にとっても幸せであるための居場所となり、一人ひとりが輝ける環境作りに励みます。

(4)保育をするうえで大切にしていること

「一人ひとりを丁寧に育む保育」

基本的信頼関係の築きが大切な0歳児期は、「愛着関係を基に丁寧に一人ずつ関わる保育(自分を受容してもらう)」、1歳児期は、「自我(自分からやりたい)を大切にする保育(自己主張を受け入れてもらう)」、2歳児期は、「みんな(少しずつ友だちどうし)でやる(集団の)楽しさやルールに気づかせる保育」を展開していく。社会性の芽生えと共に自我のコントロールと基本的生活習慣の自立を目指す。

「一人ひとりが大切にされる保育」

子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた活動を見守り、重視しながら保育をしていく。それぞれの子どもの違いを認め、自分の考えを持ち、それを他人に伝えていくことを通して「生きる力」を育めるよう援助していく。

(5)保育時間

(平 日)	7時30分 ~ 19時30分
(土曜日)	7時30分 ~ 18時30分
保育標準時間	7時30分 ~ 18時30分
保育短時間	8時00分 ~ 16時00分

(6)特別保育事業

○ 延長保育

保育時間は、午前7時30分～午後6時30分までの11時間とするが、保護者の就労時間や家庭状況等を考慮し、時間外保育の必要があれば、保育時間を延長する

{	保育標準時間	18時30分 ~ 19時30分
	保育短時間	7時30分 ~ 8時00分
		16時00分 ~ 18時30分

○ 障害児保育

配慮が必要な子どもを受け入れ、発達の遅れや、それぞれの障害を理解し、保護者や子ども発達支援センター、児童相談所等の療育機関や専門機関との連携をとりながら、保育・支援していった。また、障害児ではないが、身体的、体力的、精神的、知的等に特別な配慮を要する子どもに 対しても、家庭や関係機関と連携を図りながら、大切に見守りをしていった。

(7)地域交流活動

実施日	子育て支援活動
4月	おやつ試食会
5月	園庭あそび ・ 室内遊具あそび
6月	園庭あそび ・ 絵本の読み聞かせ ・ 身体測定
7月	みずあそび ・ 身体測定
8月	みずあそび ・ 園庭あそび
9月	お店屋さんごっこ ・ 室内遊具あそび ・ 身体測定
10月	園庭あそび ・ 小麦粉粘土あそび ・ 身体測定
11月	新聞あそび ・ 園庭あそび ・ 身体測定
12月	お店屋さんごっこ ・ クリスマスあそび
1月	小麦粉粘土あそび ・ ままごとあそび ・ 身体測定
2月	サーキットあそび ・ 身体測定
3月	園庭あそび ・ 新聞あそび

○ 毎月、園の利用を考えておられる地域の方に、園見学を実施。

○ ボランティア・保育実習生の学生を受入れ実施。

3. 年齢別保育目標

0歳児	○安全で清潔な環境の中、心地よく過ごし身の回りの物、人への興味・関心を育てる。 ○特定の保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆を深め信頼関係を築く。
1歳児	○自分でしようとする気持ちの芽生えを受け止められ、保育者との信頼関係の中で安心して過ごす。 ○五感を使って探索活動を通し、周囲の物・人への視野を広げる。
2歳児	○基本的生活習慣が身に付き、自分でできることを喜ぶ。 ○日常生活に必要な言葉が分かり、模倣遊びや戸外遊びを通して、保育者やとだちとのやりとりや表現する楽しさを味わう。
3歳児	○基本的生活習慣が身に付き自分でできることを喜ぶ。 ○様々なことに興味を持ち、楽しんで参加する。 ○自分の気持ちを様々な方法で表現し、友だちとのつながりを広げる。
4歳児	○自立に向けて葛藤や経験をしながら、自分の感じたことや想いを表現する。 ○友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育てたり、みんなで決まりを考え、継続的に活動できることの楽しさを感じる。
5歳児	○自分でできることの範囲を広げ、様々なことに好奇心や興味、関心を持ち、工夫しながら、意欲的に活動する。 ○友だちどうしで認めあい、自分の役割を果たそうとしたり目標に向かって取り組みやり遂げることの達成感や喜びを味わう。

- ① 子ども達にとって保育園が「第2のおうち」となるよう、一人ひとり丁寧にその成長を見守る保育を進めた。また、コーナー保育により自らしたい遊びがすぐでき、遊び込める空間があることで主体性や自主性、集中力を育んでいった。落ち着いて遊べる室内環境を心掛け、食事や午睡は決まったところで行い、家庭的な温かい雰囲気づくりを心掛ける保育を行った。
- ② 保育教諭が保育園内での「親」になれるよう、乳児クラスは育児担当保育を実施し、子ども達と密な信頼関係を築くことで安心して過ごすことを意識した。また、そのことで保育教諭も子どもの心身の小さい変化に気付いたり、保護者も安心して何でも相談できる関係を構築していった。
- ③ 一人ひとりの成長や生活リズムを大切にできるよう、家庭との連携をとった。特に乳幼児期は、その子の一日の生活リズムに無理のないタイムスケジュールを作成し、食事を摂ったり午睡したり毎日規則正しい生活リズムで過ごした。幼児クラスになってからも、日々同じリズムで見通しを持ちながら保護者と連絡を取り合い、夜遅くに寝ていたり、また体調が思わしくない時は、保育内容を変えたり休息をとったりと、その子に応じた生活・活動をした。
- ④ 幼児クラスでは、乳児の時に培った大人との信頼関係を基に、友だちの中で自分の存在をうまく発揮できるよう関わっていく。また、体育・英語・絵画教室を取り入れ、無理なく興味を持って楽しく参加できるように進めた。
- ⑤ 幼児クラスは、【テーマ活動】を取り入れる。様々な事物に対して不思議に思ったり関心を持てるような働きかけを意識した関わりをし季節の事や動植物等、興味をもったことを五感を使って実際に感じたり、絵本や図鑑を使って調べていくという活動を進めた。
- ⑥ 年齢に応じた内容の月刊絵本を取り入れている。0～5歳児クラスでお話絵本を取り入れ、「先生と子ども」の関係で絵本の読み聞かせを行う。幼児クラスは毎日読みを実施し、そのお話の世界観をその子なりの気づきを持ったり、その子なりの楽しみ方で表現し、ひと月楽しんで持ち帰った。
- ⑦ 3～5歳児は、ピアノの音に合わせてながら音楽やリズムで楽しく遊びながらリズム運動を実施した。集中力を高める即時反応の活動を行うことで、一定の速さで拍子を保つ事や頭で考え体を使って表現することが出来るよう進めた。身体的・感覚的・知的にもあらゆる教育を十分に吸収し大きく育つための基礎作りとなる事を目的とする。
- 体を動かすことが好きになる
 - 姿勢を保持する力が育つ
 - しなやかな体をつくる
 - 健康な体をつくっていく

- ⑧ 同じ年齢の中で育まれる「人と関わる力」は、色々な年齢と多く関わることで、より育まれます。
- また、色々な人と関わるということは、色々な人がいるということを知るきっかけになります。一人ひとりの想いを認め受け入れることが「人と関わる力」になり、また相手の立場になる友だちを好きになる「心」の育ちを助長できる取組みとして、異年齢保育を進め、自然な姿で気づいたことを声かけたり、少し待ってみたりと、温かい雰囲気の中で相手を気遣う様子が見られた。

4. 給食

給食は 株式会社魚国総本社 に業務委託し、提供している。

- 給食は、離乳食(初期食・中期食・後期食・完了食)・乳児食・幼児食・アレルギー食・宗教食に分類し、子どもに応じた調理によった食事を提供をした。
- 0歳児は その子に合った離乳食を食べる。
一対一で食事をしながら食事を摂る中で、咀嚼や嚥下状態、また歯の本数や便の様子を観察しながら、保護者と相談して初期～中期～後期～完了期～乳児食と進めていった。
- 乳児は、生活リズムを整え担当保育士と少人数で食事をする。幼児はランチルームにて、食べるが、食べ物への興味を持たせること、職員や子ども同士のかかわりあいを通じて、自ら食べようという意志を育て、生きる力を育もうという考え方で「セミ・バイキング」形式を導入した。食事を摂る時間は子ども達自身が決め、子どもの希望する量の給食をよそって提供することで、子どもたち一人ひとりが積極的に食事に向き合うと同時に、自身の体の調子を考えるようになり、結果として残食の量が減った。
- 献立は、委託による栄養士により作成し、自園で調理したものを温かく食べると美味しい物は温かい状態で、冷たく食べると美味しいものは冷たい状態で提供している。
- 給食は、食育という保育の重要な一部である。給食を通し、心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食べ物を提供すると共に、望ましい生活習慣をしつけ、栄養や衛生の知識を与える等、重要な役割を果たすと考える。
- 乳児クラスは朝のおやつ、全園児に給食と午睡のおやつ(手作り)を提供している。
- 日々の給食、おやつで話しかけを行い、見た目も美味しさを味わったり食材の名前やその栄養について話をする他、幼児クラスを中心に指導計画に基づいた食育活動を行う。
- 乳児も幼児も年齢に関わらず、その子の状態に合った食事を食べる。

【食育活動】

郷土料理や世界の料理を取り入れた献立を提供し、保護者へもレシピの提供をした。

また、旬の食材を提供するとともに、子ども達にも季節の野菜を知り、その特徴を分かりやすく伝えたり、食べることで体にどのような効果があるのか知らせたりし、積極的に食に興味を持ち食べる意欲に繋がるようにする。

5. 避難訓練および消火訓練

- 消防法に則り防火管理者の指揮の下、乳幼児の生命を守り、安全対策を行う。
- 各種災害時に非難訓練および消火訓練を行うことにより、各々の状態で臨機黄変に判断し、避難誘導等の適切な対応が出来るようにする。

(避難訓練等実施状況)

実施月	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4	火災・地震	無	無	
5	火災	無	無	
6	火災(避難・通報・消火)・不審者	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
7	火災・台風時の対応	無	無	
8	火災・地震(水遊び時)	無	無	プールでの避難訓練
9	火災・合同避難訓練	無	無	大阪880万人訓練
10	火災(午睡時)・弾道ミサイルの想定	無	無	
11	火災・合同避難訓練	無	無	保護者への引き渡し訓練
12	火災・不審者	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
1	地震火災・阪神大震災の話	無	無	
2	火災・津波対応	無	無	南海トラフを想定しての訓練
3	火災・東日本大震災の話	無	無	

6. 職員研修

研修計画保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。保育教諭等に求められる人間性と専門性について、次の3つの視点を挙げる。

- (1) 子どもたちの育ちを援助する力を身に付ける。保育教諭等の意図を優先し、子ども達に対して、一方的に自分自身の考えを押し付けたり、働きかけたり するのではなく、保育の心は、子どもが主体であるという認識のもと、子どもの思い(心に寄り添うこと)を感じ取ることが大切である。援助の方法は、子ども一人ひとりの状態や状況によって違う。常に、その時々 に保育教諭等は、子ども自身が自ら、自分の課題を乗り越えていくことの出来るよう、援助を行うことが必要 だと考える。
- (2) 保育教諭等が豊かな人間性を身に付ける。子どもの理解や受容は決して一方的なものではなく、保育教諭等の心と子どもの心の相互的な営みであると 考える。子どもの気持ちを受け止めようと、保育教諭等が一人の人間として、子どもと関わる時、子どもたちは、それを感じ取り、心を開き、自分らしさを表現する。この関係こそが、互いの信頼関係を生み出す基盤と なる と考える。

- (3) モデルとしての保育教諭等 保育教諭等が自覚しなければならないことは、自分の持つ文化や価値観の枠組みを、保育の場において、意図的、または無意識のうちに、子どもに示しているということである。その時、常に保育教諭等は、この枠組みや価値観を絶対視することなく、いつも柔軟な姿勢で見直し続ける必要があると考える。子どもに自分の価値観を押し付けるのではなく、子ども自身が主体的に、それを取り入れたり、乗り越えて行けるようにすることが大切だと考える。

4月5日(金)	乳児保育(食事の介助・乳児のリズム運動・わらべうた・毎日読み・1対1の関わり 等)
5月22日(水)	第3ブロック研究部 研究保育(近隣幼稚園での公開保育)
5月24日(金)	みんなが楽しい保育って？
6月1日～ 8月10日 (オンライン研修)	乳児の生活(食事について)
	乳児の生活(排泄と睡眠について)
	幼児のあそびについて①
	幼児のあそびについて②
	幼児のあそび実践したその先の姿
全7回 (6月20・27日、7月29日、8月7・19日、9月5日、1月15日)	●子どもの育ちを大切につなげたい ～応答・手助け・対話のある丁寧な暮らしと豊かなあそび～ ●自己表現する子どもたち ●「環境を使った保育」って何？ ～ 幼児編 ～ ●「環境を使った保育」って何？ ～ 乳児編 ～ 等
8月3日(土)	職員合同研究発表会(ゆめの樹保育園・大正ゆめの樹保育園) 『保育の中の月間絵本』
3月2日(日)	受け入れ＝環境と関わりをデザインする

○ 園外研修

キャリアアップのための各種研修会にZoomにて参加をした。

7. 年間行事報告

4月	入園式 進級式
5月	こどもの日のつどい 園外保育
6月	保育参観 保育参加 プール開き 歯科検診 内科検診
7月	たなばたの集い プール参観 特別保育(5歳児のみ)
8月	なつまつり
9月	おやこであそぼうかい(0～2歳児)
10月	運動会(3～5歳児)
11月	親子遠足
12月	音楽会 おもちつき クリスマス会
1月	たこあげ会
2月	節分豆まき会 生活発表会
3月	ひなまつり会 おわかれ会 お別れ遠足(5歳児のみ) 卒園式
毎月	○ 避難訓練 ○ 身体測定 ○ 食育活動 ○ 体育教室 ○ 英語教室 ○ リズム運動 ○ 異年齢交流

8. 要支援園児への対応

- ・特別な配慮が必要な子どもの受入れについての配慮をし、積極的に受け入れる。
- ・気になる園児に対し、関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を図った。
- ・子ども中央相談センターの方とも情報共有しながら要保護園児の対応を行った。
- ・加配の必要な園児や気になる園児への保護者との定期的な面談を行い、支援の方法を共有を行う。

9. 小学校との円滑な接続

本園での教育・保育が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培得よう育つことを意識し卒園後に関わるだろう地域の子どもたちと接することで、新たな世界をスタートする不安を軽減できるようにした。また、園児の発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向け、地元小学校の児童との交流や、修了児の就学先小学校教諭との意見交換や情報交換の機会を設け、連携を通じ質の向上を図る。